掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
855	Ⅰ－3	SD1027	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.4 底径3.8 高台高0.3 器高4.2 全体の2/5	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付のちヨコナデ・ナデ、内面磨耗により調整不明瞭	精良、石・長、0.1～2　焼成良好 内：灰色7.5Y5/1 外：灰白色7.5YR8/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
856	Ⅰ－3	SD1027	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.4 底径3.2 高台高0.3 器高4.0 全体の1/2	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・赤、0.1～3　焼成やや不良 内・外：灰色5Y4/1	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
857	Ⅰ－6	SD1027	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.7 残存高4.7 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成やや不良 内：灰白色5Y8/1 外：灰白色5Y7/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 器壁は極端に厚く模倣品か 口縁歪み大きく法量は変更する可能性あり 和泉型Ⅳ－1期前後か 13C 中葉
858	Ⅰ－3	SD1027	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.6 残存高4.0 口縁～体部の1/3	口縁外面ナデ、体部外面ユビオサエ、内面磨耗のため調整不明瞭	良好、石・長、0.1～3　焼成不良 内：灰白色2.5Y7/1 外：灰色 N5/0	一部合成、反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C 前葉～中葉
859	Ⅰ－3	SD1027	遺構埋土	瓦器 椀	口径12.8 残存高4.0 口縁～体部の1/4	口縁外面ユビオサエのちナデ、体部外面ユビオサエ、内面磨耗のため調整不明瞭	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内：黄灰色2.5Y5/1 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期か 13C 前葉～中葉
860	Ⅰ－3	SD1027	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.4 残存高3.6 口縁～体部の1/5	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面磨耗のため調整不明瞭	精良、石・長、0.1～0.5　焼成やや不良 内・外：灰色5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 12C 末～13C 初頭
861	Ⅰ－7	SD1027	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.2 底径3.4 高台高0.1 器高3.4 全体の1/2	口縁外面ヨコナデ、体部上位外面ユビオサエのちナデ、体部下位外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・赤、0.1～2　焼成やや不良 内・外：オリーブ黒5Y3/1	一部反転復元 内外面炭素吸着やや不良 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅳ－1期 13C
862	Ⅰ－7	SD1027	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.2 底径3.1 高台高0.15 器高3.0 全体の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向・斜方向のヘラミガキ（幅0.15cm）	良好、石・長・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 口径が歪みのため大きいが器高が低いため、和泉型Ⅳ－1期前後とみられる 13C 中葉
863	Ⅰ－7	SD1027	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.0 残存高3.0 口縁～体部の1/6	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・赤、0.1～5　焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期か 13C 前葉～中葉
864	Ⅰ－6	SD1027	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.4 残存高2.3 口縁～体部の1/10	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～1.5　焼成やや不良 内：灰黄色2.5Y7/2 外：灰白色5Y7/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 和泉型かⅢ－3～Ⅳ－1期か 13C 前葉～中葉
865	Ⅰ－6	SD1027	遺構埋土	瓦器 椀	口径12.7 残存高1.6 口縁の1/10	外面ヨコナデ、内面ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1　焼成不良 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：橙色5YR7/6	反転復元 内外面炭素吸着不良 酸化炎焼成気味 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅳ－1期か 13C 中葉
866	Ⅰ－6	SD1027	遺構埋土	陶器か 碗	底径7.0 残存高1.4 底部～体部下位の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内・外：灰色 N6/0	反転復元 備前焼碗か 内外面炭素付着
867	Ⅰ－6	SD1027	遺構埋土	白磁 碗	底径6.7 高台高1.0 残存高2.2 底部～体部下位の1/8	ロクロナデのち高台削り出しのち施釉、外面残存部は露胎	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色2.5Y7/1 微細な黒斑あり	反転復元 大宰府分類白磁碗Ⅳ－1類 11C 後半～12C 前半
868	Ⅰ－7	SD1027	遺構埋土	青磁 碗	口径16.3 残存高1.8 口縁の1/8	ロクロナデのち内面ヘラ片彫陰刻圏線２条・飛雲文のち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみのオリーブグリーン10YG5.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/1	反転復元 釉わずかに白濁し、粗い貫入あり 口縁端部に１カ所凹みを入れるが輪花形になるかは不明 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－4ｂ類 12C 中頃～後半
869	Ⅰ－7	SD1027	遺構埋土	青磁 碗	底径5.3 高台高0.8 残存高4.7 底部～体部の1/4	ロクロナデ、高台削り出しのち外面櫛描文、内面櫛描文・ヘラ片彫施文のち内面～体部下位外面まで施釉	精良　焼成良好 釉：にぶい黄8Y7.5/3S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 釉透明度高く、全体的に薄く施釉 大宰府分類同安窯系青磁碗Ⅰ－1ｂ類 12C 中頃～後半
870	Ⅰ－6	SD1027	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径24.9 残存高5.2 口縁～体部の1/8	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅰ期第２段階～第Ⅱ期 第１段 階 11C 末～12C 後半
871	Ⅰ－6	SD1027	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径33.0 残存高2.7 口縁の1/24	内外面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：青灰色5B6/1	反転復元 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅰ期第２段階～第Ⅱ期 第１段 階 11C 末～12C 後半
872	Ⅰ－7	SD1027	遺構埋土	土師質土器 鍔付鍋	口径20.6 頸径22.0 残存高7.3 口縁～体部上位の1/4	口縁～頸部外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのち鍔部貼り付けのちナデ、口縁～頸部内面ヨコナデ、体部内面斜板ナデ（幅1.4cm）	良好、石・長・赤、0.1～2　焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：明赤褐色5YR5/6	反転復元 赤色斑粒を多く含む 紀伊型鍔付鍋 13C 代か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	法量(cm) 残存率	技法	胎土、含有物、法量(mm) 焼成 色調	備考
873	Ⅰ－7	SD1027	遺構埋土	瓦質土器 羽釜	口径20.3 鍔径24.4 残存高4.2 鍔部の1/24	口縁～鍔部外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデ・ヨコ板ナデか	良好、石・長・赤、0.1～6 焼成やや不良 内：灰色10Y6/1 外：灰色10Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 鍔部貼付、鍔下面に接して脚部取り付け 畿内山城地域周辺からの搬入 12C末～13C前半か
874	Ⅰ－6	SD1027	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径24.9 体部最大径28.3 残存高10.0 全体の1/3	口縁内面～鍔部外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面格子タタキ、内面ヨコ板ナデ（幅1.0cm）	良好、石・長・赤・金、0.1～3　焼成良好 内：橙色7.5YR7/6 外：黒褐色7.5YR3/1	反転復元 鍔部以下外面に煤付着あり 15C後半～16C代
875	Ⅰ－6	SD1027	遺構埋土	須恵質土器 壺	頸径11.5 残存高5.3 頸部の一部	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～6　焼成良好 内：灰白色2.5Y7/1 外：灰色5Y6/1	反転復元 体部外面自然釉付着あり 古代に遡るか
876	Ⅰ－6	SD1027	遺構埋土	陶器 甕	残存高7.8 体部中位の一部	外面長格子押印文、内面ユビオサエ・ヨコナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰色N6/0 外：(自然釉)くらい黄8Y6.5/3S	断面実測 自然釉付着
877	Ⅰ－7	SD1027	遺構埋土	陶器 甕	残存高16.8 体部下位の一部	外面平行タタキ(5条/2cm)か押印文か、タテ板ナデ（幅1.7cm）、内面ナデ	良好、石・赤、0.1～4　焼成良好 内・外：灰色N5/0	断面実測 内面自然釉付着 常滑か渥美か
878	Ⅰ－3	SD1027	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.2 径0.8 孔径0.3 重量2.7g 端部欠損	ナデ	精良、石・赤、0.1～1　焼成良好 黄橙色7.5YR8/8	
879	Ⅰ－6	SD1027	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.0 径1.1 孔径0.4 重量4.7g 完形	ユビオサエ・ナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 にぶい橙色7.5YR7/3	
880	Ⅰ－7	SD1027	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.5 径1.2 孔径0.3 重量5.1g ほぼ完形	ユビオサエ・ナデ	精良、長・赤、0.1～0.5 焼成良好 黄灰色2.5Y4/1	
881	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.4 底径4.9 器高1.2 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
882	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.0 底径5.0 器高1.3 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元
883	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 皿	口径6.6 底径5.2 器高1.4 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元
884	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.5 底径6.3 器高1.5 全体の3/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：灰白色10YR8/2	
885	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.7 底径5.6 器高1.2 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	一部反転復元
886	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 底径6.4 器高1.5 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤・チか、0.1～3　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：にぶい黄橙色10YR7/3	反転復元
887	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.4 底径6.5 器高1.1 口縁～体部の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：淡赤橙色2.5YR7/4 外：橙色2.5YR7/6	反転復元
888	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.6 底径8.0 器高1.3 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面ナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元 底部切り離し技法不明
889	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.6 底径5.7 器高1.4 口縁～体部の1/5	内外面回転ナデ、底部外面磨耗のため調整不明瞭	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
890	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 皿	口径6.8 底径5.0 器高1.7 全体の1/6	口縁ヨコナデ、体部内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/4 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元
891	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	土師質土器 柱状高台付 皿	底径4.0 高台高1.4 残存高2.3 底部～体部下位の1/2	外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、内面回転ナデ・ナデ	良好、石・長・赤・チ、0.1～1　焼成やや不良 内：浅黄橙色10YR8/4 外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元
892	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.2 底径8.2 器高3.0 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長・赤、0.1～4 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元
893	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.0 底径7.4 器高3.1 全体の3/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤・在地花・チか、0.1～6　焼成やや不良 内・外：浅黄橙色7.5YR8/3	内外面磨耗により調整不明瞭
894	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	底径6.8 残存高2.65 底部～体部下位の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/4 外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元
895	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.1 底径6.9 器高2.6 全体の1/10	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：橙色5YR7/6	反転復元 内外面磨耗気味
896	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.0 底径7.0 器高2.3 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：淡橙色5YR8/4	反転復元

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
897	Ⅰ－4	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.8 底径6.9 器高3.2 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内：橙色5YR7/6 外：浅黄橙色7.5YR8/4	内外面磨耗により調整不明瞭
898	Ⅰ－4	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径14.2 底径6.8 器高3.3 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/3 外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
899	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.0 底径5.6 器高2.6 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元
900	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.8 底径7.0 器高2.7 全体の1/12	内外面回転ナデか、底部内外面磨耗のため調整不明瞭	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
901	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径10.6 底径6.9 器高2.2 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面切り離し技法不明	良好、石・赤・チ、0.1～0.2 焼成良好 内・外：灰白色10YR8/2	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
902	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径10.9 底径6.6 器高2.1 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面切り離し技法不明・板目痕著しい	良好、石・赤、0.1～1　焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/3 外：浅黄橙色7.5YR8/6	一部反転復元 底部外面板目痕著しく切り離し技法不明
903	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.8 底径4.6 器高2.5 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部内外面磨耗のため調整不明瞭	精良、石・長・赤・チか、0.1～1　焼成良好 内・外：黄橙色7.5YR8/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
904	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径15.8 残存高2.7 口縁～体部の1/12	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：黄橙色7.5YR7/8	反転復元
905	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.8 残存高2.7 口縁～体部の1/5	内外面回転ナデ	精良、石・長・赤、0.5～2.5 焼成不良 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
906	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径9.8 残存高2.2 口縁～体部の1/8	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 胎土に細粒多く、表面ザラつく
907	Ⅰ－4	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.6 残存高2.3 口縁～体部の1/10	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内：浅黄橙色10YR8/4 外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
908	Ⅰ－4	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯か	口径14.9 残存高2.3 口縁～体部の1/12	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 内：浅黄橙色10YR8/4 外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元
909	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径10.7 底径6.8 器高2.2 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板目痕	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	
910	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径10.8 底径6.5 器高3.3 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元
911	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	口径9.8 残存高2.9 口縁～体部の1/4	内外面回転ナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元
912	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 杯	底径6.0 高台高0.3 残存高1.5 底部～体部下位の1/4	体部外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか、内面回転ナデか	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
913	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径7.8 底径5.0 器高1.7 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヘラミガキ（幅0.1cm）	良好、石、0.1～0.5　焼成良好 内：黄灰色2.5Y6/1 外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行か
914	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径7.8 底径3.1 器高2.4 全体の1/3	口縁～体部上位外面ヨコナデ、体部下位～底部ユビオサエ、内面ナデか	良好、石・長、0.1～2　焼成やや不良 内：灰白色2.5Y7/1 外：灰白色5Y7/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 磨耗により調整不明瞭 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行か
915	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高3.3 口縁～体部の1/12	口縁内外面ヨコナデ、体部内外面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：褐灰色10YR5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良、磨耗気味 和泉型 Ⅲ－1～2期 12C後葉～13C初頭
916	Ⅰ－4	SD1028	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 底径5.4 高台高0.1 器高4.8 全体の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付のちヨコナデ、内面磨耗により不明	精良、石・長、0.1～0.5 焼成不良 内：灰白色2.5Y7/1 外：灰色 N4/0	反転復元 胎土黒色化 器表面のみ還元炎焼成で炭素吸着不良 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
917	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.5 残存高4.2 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、口縁～体部上位内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部下位内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・赤、0.1～3.5 焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 酸化炎焼成気味 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
918	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.6 残存高3.5 口縁～体部の1/8	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・赤、0.1～2　焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好、磨耗気味 和泉型Ⅲ－3期か 13C前葉
919	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.3 残存高3.7 口縁～体部の1/12	口縁内外面ヨコナデか、体部外面ユビオサエ、体部内面ナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：灰白色2.5Y7/1 外：灰色5Y6/1	反転復元 炭素吸着 内面不良、外面良好 口縁内面に稜線があり、和泉型としては異形である 和泉型であるなら Ⅲ－3期頃とみられる

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	法量(cm) 残存率	技法	胎土、含有物、法量(mm) 焼成 色調	備考
920	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.9 底径5.2 高台高0.2 器高3.3 全体の1/6	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちヨコナデ、内面ナデ	良好、石・長、0.1～0.3 焼成不良 内：灰白色2.5Y7/1 外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型 Ⅳ－1期 13C 中葉
921	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.4 残存高3.1 口縁～体部の1/16	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・赤、0.1～1.5 焼成やや不良 内：褐灰色10YR4/1 外：褐灰色10YR5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 磨耗により調整不明瞭 和泉型 Ⅳ－1期 13C 中葉
922	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	瓦器 椀	口径12.3 残存高3.3 口縁～体部の1/3	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成不良 内・外：灰黄色2.5Y6/2	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型 Ⅳ－1期 13C 中葉
923	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.0 残存高2.7 口縁～体部の1/10	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：褐灰色10YR5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C 前葉～中葉
924	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.0 残存高3.0 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：灰色5Y4/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C 前葉～中葉
925	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.4 残存高3.0 口縁～体部の1/9	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、体部内面ナデのち体部上位はヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）体部下位は連結輪状ヘラミガキ暗文	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 紀伊型瓦器椀か、和泉型瓦器Ⅳ－1期前後併行か 13C 中葉
926	Ⅰ－4	SD1028	遺構埋土	瓦器か 椀	口径13.6 残存高3.5 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデ	粗、石・長・赤・チか在地花か、0.1～3　焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR6/3	反転復元 全体的に酸化炎焼成で器表面のみやや暗色化している 器形から瓦器椀か 瓦器椀ならば和泉型の模倣品でⅣ－1期か 13C 中葉
927	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	瓦器 椀	底径4.8 高台高0.4 残存高1.6 底部～体部下位の1/2	体部下位外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちヨコナデ、内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.2cm）	良好、0.1～0.5　焼成良好 内：黄灰色2.5Y5/1 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－2～3期 12C 末～13C 前葉
928	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	瓦器 椀	口径11.8 残存高3.1 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内：灰白色2.5Y8/1 外：淡黄色2.5Y8/3	反転復元 炭素吸着なし 和泉型Ⅳ－2～3期か 13C 中葉～14C 初頭
929	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	瓦質土器 杯か	底径4.8 残存高2.7 底部～体部下位の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内・外：青灰色5B6/1	反転復元 底部内外面重焼による剥離痕あり 内外面炭素吸着やや不良 産地・時期不明
930	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	陶器 小坏	口径4.8 底径2.8 器高1.9 全体の1/4	内外面回転ナデのちナデ、底部外面回転糸切り、内面～口縁外面鉄釉施釉	緻密　焼成良好 釉：赤みのブラウン4rO 4.5/5S 素地：灰白色2.5Y8/2	反転復元 瀬戸美濃系か 時期不明
931	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	白磁 碗	口径14.4 残存高2.4 口縁～体部の1/12	ロクロナデ、施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 7.5/3S 素地：灰白色7.5Y7/1 微細な黒斑わずかに含む	反転復元 内外面釉とびあり 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C 後半～12C 前半
932	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	青磁 碗	底径6.0 高台高0.9 残存高1.4 底部のほぼ完形	ロクロナデのち見込みヘラ片彫花文陰刻、のち施釉、釉は高台畳付まで回るが掻き取られる	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色5Y7/1	釉透明度高く、粗い貫入がみられる 内外面と破面との境2カ所でエッジがつぶれており、スクレイパーのように使用したとみられる 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－2b類 12C 中頃～後半
933	Ⅰ－7	SD1028 (2－1区)	遺構埋土	瓦質土器 捏鉢	口径25.5 残存高4.9 口縁の1/11	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデか	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成やや不良 内・外：褐灰色10YR5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 酸化炎焼成気味 内外面磨耗により調整不明瞭 擂目未確認
934	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径34.0 残存高5.3 口縁～体部上位の1/13	外面回転ナデ、内面回転ナデのち斜板ナデ（幅1.7cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成やや不良 内・外：灰白色7.5Y7/1	反転復元 口縁部炭素付着、重焼痕 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第2段階 12C 末～13C 初頭
935	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径31.8 残存高7.9 口縁～体部の1/10	外面回転ナデ、内面回転ナデのち斜板ナデ（幅1.4cm以上）	精良、石、0.1～4　焼成良好 内：灰白色10YR8/2 外：灰白色10YR8/1	反転復元 体部内面下位使用により剥離、磨耗が著しい 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第2段階 12C 末～13C 初頭
936	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	陶器 擂鉢	口径29.6 残存高6.9 口縁～体部上位の1/9	内外面回転ナデ、体部内面タテ方向の擂目（8条/2.5cm）のち上位ヨコ方向の擂目（4条/1cm）	良好、石・長・赤、0.1～6 焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 口縁内外面自然釉わずかに付着 体部上位外面に重焼痕あり 備前焼 重根編年Ⅳ B－2期 15C 後葉
937	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	陶器 擂鉢	底径15.4 残存高6.6 底部～体部下位の1/6	外面回転ナデ、底部外面不調整、内面回転ナデのち擂目（7条/1.7cm）、底部内面回転ナデ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～6 焼成良好 内・外：灰赤色2.5YR5/2	反転復元 内面使用によりわずかに磨耗 備前焼 重根編年Ⅳ期後半～Ⅴ期 15～16C 代

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
938	Ⅰ－4	SD1028	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径38.4 頸径35.4 残存高8.1 口縁～体部の1/7	口縁外面ヨコナデ、頸部外面ユビオサエのちヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデ・ヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・長・赤・金・花、0.1～2　焼成良好 内：(口縁)浅黄橙色10YR8/4 (体部)橙色5YR6/6 外：灰褐色7.5YR5/2	反転復元 古代末か
939	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 鍔付鍋	口径29.0 頸径25.8 残存高18.6 口縁～体部の1/3	口縁外面ヨコナデ、頸部外面ユビオサエのちヨコナデ、体部外面ナデのち鍔部貼り付け、口縁～頸部内面ナデ・ヨコナデ、体部内面ユビオサエのちタテ・ヨコ板ナデ(幅1.2cm以上)	粗、石・長・結・赤、0.1～6 焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：橙色2.5YR6/6	反転復元 紀伊型鍔付鍋 鍔部退化、扁平な体部 13C 後半～14C 前半
940	Ⅰ－7	SD1028 (2－1区)	遺構埋土	土師質土器 鍋か	口径20.7 残存高2.0 口縁の1/13	内外面ヨコナデ	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：にぶい赤褐色5YR5/3	反転復元 内外面煤付着 紀伊型鍔付鍋とみられる、古代末土師器甕か
941	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 鍔付鍋	口径22.4 頸径20.8 残存高6.4 口縁～体部上位の1/8	口縁～頸部内外面ナデ、体部外面貼付凸帯文1条、体部内面ヨコ板ナデ（幅2.0cm）・ユビオサエ	粗、石・長・チか、0.1～3 焼成良好 内：灰褐色7.5YR4/2 外：灰黄褐色10YR6/2	反転復元 外面煤付着 紀伊型鍔付鍋 13C 代か
942	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	瓦質土器 羽釜	口径14.0 鍔径18.0 残存高9.2 全体の2/3	口縁外面ヨコナデ、鍔部ユビオサエのちヨコナデ、体部外面ナデ（脚の付け根部分はユビオサエのちナデ）、内面ナデ	良好、石・長・赤、0.1～5 焼成良好 内：黄灰色2.5Y5/1 外：黒色2.5Y2/1	反転復元 内外面炭素吸着不良、磨耗気味 外面鍔部以下煤付着 体部外面に脚剥離痕あり 畿内山城地域からの搬入 13C 前半頃
943	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径20.2 鍔径23.5 残存高5.5 口縁～体部の1/4	口縁～鍔部外面～口縁内面ヨコナデ、体部外面ナデ、底部外面平行タタキ、内面板ナデ・ハケ（9条/cm）	良好、石・長・赤、0.1～4 焼成良好 内・外：橙色7.5YR6/6	反転復元 鍔部以下煤付着あり 播磨型羽釜 長谷川編年Ⅴ～Ⅵ期 15～16C 代
944	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径24.0 鍔径24.4 残存高10.2 口縁～体部の1/3	口縁～鍔部外面ヨコナデ、体部外面（上）ヨコ板ナデ（幅1.2cm）（中）ユビオサエ・格子タタキ（下）ヨコ・斜板ナデ（幅1.0cm）、底部外面格子タタキ、口縁内面ナデ、体部内面板ナデ	良好、石・長・赤・金、0.1～4　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：褐灰色10YR4/1	一部合成、反転復元 15～16C 代
945	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径26.6 鍔径29.8 残存高8.2 口縁～体部の1/7	口縁～鍔部外面～口縁内面ヨコナデ、体部外面（上～中）ユビオサエのちナデ（下）ユビオサエのち板ナデ（幅1.2cm）、内面ヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・長・赤、0.5～5 焼成良好 内：明黄褐色10YR7/6 外：橙色7.5YR6/6	反転復元 鍔部以下煤付着あり 15～16C 代
946	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径21.0 鍔径24.2 残存高7.0 口縁～体部の1/4	口縁～鍔部外面ヨコナデ、体部外面（上）ヨコナデ・沈線1条（中～下）ユビオサエのちナデ、内面ヨコ板ナデ（幅1.7cm）	粗、石・長・赤・花、0.1～4　焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/4 外：灰黄褐色10YR5/2	反転復元 15～16C 代
947	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径25.7 鍔径28.3 残存高7.3 口縁～体部の1/10	口縁～鍔部外面～口縁内面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、斜・タテ板ナデ(幅1.3cm)、内面ヨコ・斜板ナデ（幅1.0cm以上）	粗、石・長・赤、0.1～4 焼成良好 内：にぶい橙色5YR6/4 外：褐灰色5YR4/1	反転復元 鍔部以下煤付着あり 15～16C 代
948	Ⅰ－4	SD1028	遺構埋土	須恵質土器 壺か	頸径11.0 残存高5.8 頸径～体部上位の1/6	頸部外面ヨコナデ、体部外面平行タタキ（3条/cm）、内面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内：灰色 N5/0 外：灰色 N4/0	反転復元 技法・プロポーションから讃岐西村系とみられる
949	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	須恵質土器 甕	口径20.6 残存高3.5 口縁～頸径の1/8	口縁外面ヨコナデ、頸部外面平行タタキ（3条/cm）のちヨコナデ、内面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 十瓶山系 佐藤編年Ⅳ－2期 12C 初頭か
950	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	陶器 甕	残存高9.6 体部上位の一部	外面タテ板ナデのち長格子押印文、内面ヨコ板ナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰褐色5YR5/2	断面実測 常滑焼
951	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	陶器 甕	残存高9.4 体部上位の一部	外面ナデ・板ナデのち長格子押印文、内面ナデ・板ナデ	良好、石・長、0.1～0.3 焼成良好 内：灰白色2.5Y7/1 外：灰黄色2.5Y6/2	断面実測 常滑焼、須恵質焼成
952	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	陶器 甕	残存高12.0 体部上位の一部	外面格子状押印文、内面ナデ	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内：灰色 N5/0 外：灰色 N4/0	断面実測 外面自然釉付着 常滑焼または渥美焼
953	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	陶器 甕	底径27.0 残存高6.5 底部～体部下位の1/4	体部外面ヨコ・タテ板ナデ（幅不明）・ナデ、底部外面不調整、体部内面ヨコナデ・ヨコ板ナデ（幅1.8cm）、底部内面ナデ	粗、石・長・赤、0.1～10 焼成良好 内：灰白色10YR8/2 外：にぶい黄褐色10YR5/3	反転復元 備前焼 詳細・時期不明
954	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	陶器 甕か壺	底径26.8 残存高6.7 底部～体部下位の1/13	外面斜板ナデ（幅2.4cm）、底部外面不調整か、内面ヨコ板ナデ（幅1.5cm）	粗、石・長・赤・花、0.1～6　焼成良好 内：灰白色7.5Y7/1 外：灰色7.5Y5/1	反転復元 酸化炎焼成気味 備前焼か
955	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質土器 把手	長さ5.1 幅4.2 厚さ3.0	ナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 浅黄橙色10YR8/4	
956	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.8 径1.5 孔径0.4 重量9.0g ほぼ完存	ナデ	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 にぶい橙色2.5YR6/4	

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
957	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長5.0 径1.3 孔径0.3 重量7.1g ほぼ完存	ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 橙色7.5YR7/6	
958	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長6.0 径1.2 孔径0.3 重量6.1g 端部欠損	ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 橙色5YR6/8	
959	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	須恵質 平瓦	長さ6.9 幅8.2 厚さ2.6	凹面布目圧痕（不明瞭）、凸面縄席文	良好、石・長・赤・チか・泥か、0.1　焼成良好 凹・凸：緑灰色10G5/1	側面自然釉付着
960	Ⅰ－4	SD1028	遺構埋土	須恵質 平瓦	長さ16.5 幅8.2 厚さ1.7	凹面布目圧痕、凸面板ナデ・ナデ	良好、石・長、0.1～12　焼成やや不良 凹・凸：灰白色2.5Y7/1	内外面炭素吸着やや不良 軟質の須恵質焼成
967	Ⅰ－3	SD1029	遺構埋土	土師質土器 鍔付鍋	口径26.1 頸径24.5 残存高11.5 口縁～体部上位の1/5	口縁～頸部内外面ナデ、体部外面ナデ・鍔部貼付痕、体部内面強いユビナデ・ヨコ板ナデ（幅1.7cm）	良好、石・長・結か・赤・泥か、0.1～2　焼成良好 内：にぶい黄褐色10YR5/3 外：灰黄褐色10YR4/2	反転復元 外面煤付着 紀伊型鍔付鍋 13C 代か
968	Ⅰ－3	SD1030	遺構埋土	須恵質土器 甕	底径17.0 残存高14.0 底部～体部上位の1/8	体部外面ヨコナデのち格子タタキのちタテ・斜板ナデ（幅1.2cm以上）・ナデ、内面ナデ・斜板ナデ(幅1.3cm以上)	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰白色10YR7/1	反転復元 内面自然釉付着 十瓶山系とみられるが正確な産地は不明 十瓶山産ならば佐藤編年Ⅳ－1～2段階か 11C 中葉～12C 前葉か
969	Ⅰ－3	SD1038	遺構埋土	瓦質土器 羽釜	口径21.8 鍔径25.6 残存高3.8 口縁～体部上位の1/6	口縁外面ヨコナデ、鍔部～体部外面ユビオサエのちヨコナデ、内面ナデか	良好、石・長、0.1～2.2 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着やや不良 鍔の下面に接して脚部貼り付け 畿内山城地域からの搬入 12C 末～13C 前半か
970	Ⅰ－3	SD1038	遺構埋土	瓦質土器 煮炊具脚部	脚部残存高9.7 脚部の一部	ユビオサエのちナデ	良好、石・長、0.1～2.2 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	No969と胎土が似ていることから同個体か 炭素吸着やや不良 畿内山城地域からの搬入
971	Ⅰ－6	SD1044	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.6 底径5.6 器高1.5 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	粗、石・長・チ、0.1～3.5 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
972	Ⅰ－6	SD1044	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.8 底径9.2 器高3.2 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・赤、0.1～1　焼成不良 内・外：橙色5YR7/8	内外面磨耗により調整不明瞭
973	Ⅰ－6	SD1044	遺構埋土	土師質土器 杯	底径8.2 残存高1.4 底部の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	良好、石・長・赤・チ・石灰か、0.1～5　焼成良好 内：灰白色10YR8/2 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
974	Ⅰ－6	SD1044	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.0 残存高3.5 口縁～体部の1/15	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成不良 内：浅黄橙色10YR8/3 外：黄橙色10YR8/6	反転復元 内外面炭素吸着なし 酸化炎焼成 和泉型か Ⅲ－3期前後 13C 前葉
975	Ⅰ－6	SD1044	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長2.7 径1.1 孔径0.3 重量2.5g 全体の1/2	ナデ	良好、石、0.1～0.2　焼成良好 灰白色2.5Y8/2	
976	Ⅰ－6	SD1044	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長3.1 径0.9 孔径0.3 重量1.3g 全体の1/2	ユビオサエ	精良、石・赤、0.1～0.5 焼成やや不良 褐灰色10YR5/1	
978	Ⅰ－7	SD1048	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.4 底径7.7 器高1.1 全体の1/5	内外面ヨコナデか	良好、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
979	Ⅰ－7	SD1048	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.0 底径6.8 器高1.3 全体の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	粗、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
980	Ⅰ－7	SD1048	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.4 底径5.4 器高1.6 全体の2/15	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・チか、0.1～1　焼成やや不良 内：橙色7.5YR7/6 外：明黄褐色10YR7/6	反転復元
981	Ⅰ－7	SD1048	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.4 底径9.4 器高2.5 全体の1/8	内外面ヨコナデか、底部外面ナデか	良好、石・長・赤、0.1～2.5 焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：灰白色10YR8/2	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
982	Ⅰ－7	SD1048	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.2 底径8.3 器高3.0 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	良好、石・赤・チか・砂、0.1～7　焼成良好 内・外：灰白色10YR8/2	一部反転復元
983	Ⅰ－7	SD1048	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.8 底径11.0 器高3.0 全体の1/14	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/6 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
984	Ⅰ－7	SD1048	遺構埋土	土師質土器 杯	底径9.8 残存高2.6 底部～体部下位の5/12	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	精良、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/4 外：にぶい黄橙色10YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 底体部の境に接合痕
985	Ⅰ－7	SD1048	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.3 底径5.9 器高3.2 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤・チか、0.1～1　焼成やや不良 内：浅黄橙色7.5YR8/3 外：橙色5YR7/6	反転復元
986	Ⅰ－7	SD1048	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.8 残存高2.4 口縁～体部の1/5	内外面回転ナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR6/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
987	Ⅰ－7	SD1049	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.5 残存高3.0 口縁～体部の1/6	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
989	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	土師質土器 皿	口径6.4 底径6.2 器高1.3 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面切り離し技法不明	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/4 外：にぶい黄橙色10YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
990	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.6 底径1.8 器高6.2 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
991	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	土師質土器 皿	口径13.0 底径7.2 器高3.3 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
992	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	土師質土器 皿	口径10.5 底径6.6 器高1.8 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・赤、0.1～2　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元
993	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	土師質土器 杯	底径8.0 残存高2.2 底部～体部下位の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内・外：橙色2.5YR6/8	反転復元
994	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	瓦器 皿	口径8.5 底径4.1 器高1.6 全体の3/4	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：灰色5Y5/1	内外面炭素吸着やや不良 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行か
995	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	瓦器 皿	口径7.8 底径4.6 器高1.4 ほぼ完形	内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、底部内面ナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内・外：褐灰色10YR6/1	内外面炭素吸着やや不良 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行か
996	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 底径4.2 高台高0.2 器高4.4 全体の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：灰白色2.5Y7/1 外：灰白色2.5Y8/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 口縁内外面重焼痕あり 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
997	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.8 底径6.5 高台高0.3 器高4.5 全体の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
998	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高4.3 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデのちヘラミガキ(幅0.3cm)	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：黄灰色2.5Y5/1 外：灰黄色2.5Y6/2	反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面磨耗により調整不明瞭 体部外面に接合痕あり 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
999	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.2 残存高3.1 口縁～体部の1/5	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコナデ・ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.3cm)	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内：灰色 N4/0 外：暗灰色 N3/0	反転復元 炭素吸着外面良好、内面やや不良 体部外面に接合痕あり 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1000	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.7 底径3.4 高台高0.2 器高3.5 全体の1/2	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、見込み部分ナデのち連結輪状ヘラミガキ暗文（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内：灰白色2.5Y8/2 外：灰白色2.5Y8/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 酸化炎焼成気味 紀伊型瓦器椀か、和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期併行か 13C 前葉～中葉
1001	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.4 残存高2.2 口縁～体部の1/6	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：灰色5Y5/1 外：黒色 N2/0	反転復元 炭素吸着外面～口縁内面良好、体部内面不良、重焼によるものか 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1002	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	白磁 碗	口径15.6 残存高2.2 口縁の1/16	ロクロナデ、内外面施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色5Y8/1 微細な黒斑あり	反転復元 内外面貫入あり 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C 後半～12C 前半
1003	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	青磁 碗	底径5.0 高台高0.6 残存高2.8 底部～体部下位の1/5	ロクロナデのち体部外面ヘラ片彫鎬蓮弁文、体部内面～高台外面途中まで施釉	精良　焼成良好 釉：オリーブ8Y5.5/5S 素地：灰白色5Y8/1	反転復元 内外面貫入あり 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－5b類 13C 初頭～前半 見込み印花文か、あれば 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－5c類 13C 中頃～14C 初頭
1004	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径25.8 残存高7.2 口縁～体部の1/3	外面回転ナデ、内面回転ナデのちナデ	精良、石・長、0.1～7　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 体部下位内面使用により磨耗 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1～2段階 12C 中葉～13C 初頭
1005	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	須恵器 甕	口径31.0 頸径22.6 残存高5.0 口縁～頸部の1/20	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 口縁内面・体部外面に自然釉付着 平安時代前半期か
1006	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	須恵質土器 甕	口径18.4 頸径16.8 残存高6.0 口縁～頸径1/11	口縁～頸部外面ヨコナデ、体部外面平行タタキ（3条/cm）のちヨコナデ、内面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 東播系須恵質土器甕 森田編年第Ⅰ期第2段階か 11C 後半～12C 前半
1007	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	須恵質土器 甕	残存高5.2 体部下位の一部	外面平行タタキ（5条/cm）、内面ヨコ板ナデ（幅1.0cm以上）	良好、石・赤・泥か、0.1～0.5　焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR7/3 外：にぶい橙色5YR7/4	断面実測 酸化炎焼成気味 東播系か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1008	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	青磁か 壺か	残存高3.8 最大径8.7 頸部の一部	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみのオリーブ8Y 5.5/3S 素地：褐灰色10YR6/1	反転復元 胎土は須恵質で黒褐色の含有物が目立つ 釉は外面だけでなく内面にも薄くかけられる 器種・産地・時期不明
1009	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長5.1 径1.0 孔径0.3 重量407g ほぼ完形	ユビオサエ・ナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 にぶい黄橙色10YR7/3	
1010	Ⅰ－7	SD1052	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長5.8 径1.1 孔径0.3 重量5.5g ほぼ完形	ユビオサエ・ナデ	精良、石・赤、0.1～1　焼成良好 にぶい黄橙色10YR7/3	
1011	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径7.6 底径5.6 器高1.6 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	一部合成
1012	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径7.8 底径5.7 器高1.3 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤・砂か、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	胎土に細粒多く、表面ザラつく
1013	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.0 底径7.4 器高1.4 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR 7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1014	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径14.2 底径10.6 器高3.3 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1015	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径7.2 底径5.7 器高1.2 全体の2/5	内外面回転ナデ、底部外面不明	粗、石・長・チ、0.1～2 焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1016	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.0 底径6.1 器高1.2 全体の4/5	外面ヨコナデか、底部外面ナデか、内面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰白色10YR8/1	一部反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1017	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	土師質土器 杯	口径14.2 底径10.6 器高3.3 全体の1/7	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1018	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.0 底径6.6 器高3.1 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：灰白色10YR8/1 外：浅黄橙色7.5YR8/3	反転復元
1019	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	土師質土器 杯	底径6.0 残存高2.6 底部～体部下位の9/10	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・チか、0.1～1　焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：橙色5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1020	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	土師質土器 杯	底径7.7 残存高2.5 底部～体部下位の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰白色10YR8/2	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1021	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	土師質土器 杯	底径5.9 残存高1.2 底部完存	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	精良、長、0.1～0.5　焼成やや不良 内：灰黄褐色10YR6/2 外：にぶい黄橙色10YR7/2	一部反転復元
1022	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.1 底径10.3 器高2.9 完形	内外面ナデ、底部内外面ユビオサエのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：橙色2.5YR7/6 外：橙色2.5YR6/6	内面に接合痕、金雲母含まず京都系土師器Ⅲ D タイプの搬入か模倣 13C 代
1023	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.0 底径4.9 高台高0.2 器高3.4 全体の1/5	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部内面ナデのち連結輪状ヘラミガキ暗文（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内：灰色7.5Y4/1 外：灰色7.5Y5/1	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着やや不良 酸化炎焼成気味 紀伊型瓦器椀か、和泉型Ⅲ－3期併行か 13C 前葉
1024	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.6 残存高2.3 全体の1/7	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.35 cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内：灰黄色2.5Y7/2 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 炭素吸着口縁内外面のみ、重焼痕 和泉型Ⅳ－1期 13C 中葉
1025	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	陶器か 碗か	口径12.2 底径5.8 器高2.5 全体の1/7	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石、0.1～1　焼成不良 内：灰白色2.5Y7/1 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 口縁内面～外面炭素付着 内面重焼痕 備前焼碗か
1026	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	須恵器 高杯	残存高3.0 杯体部下位～杯底部の1/7	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元
1027	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	須恵器 甕	残存高7.0 体部下位の一部	外面平行タタキ、内面同心円状当具痕	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色5Y6/1	断面実測
1028	Ⅰ－8	SD1055	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径27.0 残存高6.2 口縁～体部の1/16	口縁～頸部内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、体部内面ヨコハケ（14条/1.5cm）	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR 7/4	反転復元 外面煤付着
1029	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径6.9 底径5.7 器高1.3 全体の3/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～5 焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/4 外：にぶい橙色5YR7/4	
1030	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径7.4 底径5.6 器高1.1 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1031	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径7.8 底径6.0 器高1.3 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色2.5YR7/8	反転復元
1032	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径7.1 底径5.2 器高1.5 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元
1033	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径7.7 底径4.8 器高1.1 全体の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 胎土に細粒多く、ややザラつく
1034	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径10.9 底径6.3 器高1.9 全体の3/10	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成やや不良 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1035	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径9.2 底径4.0 器高1.6 全体の1/8	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内：褐灰色10YR4/1 外：にぶい橙色7.5YR7/3	反転復元 金雲母含まず 京都系土師器Ⅲ D タイプの模倣か 13C 代
1036	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.7 底径6.3 器高3.0 全体の3/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：明黄褐色10YR7/6	
1037	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.4 底径8.4 器高3.0 全体の1/10	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元 内外面剥離・磨耗により調整不明瞭
1038	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.5 底径7.2 器高3.1 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内・外：黄橙色7.5YR8/8	一部反転復元 胎土に細粒多く、わずかにザラつく
1039	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.6 底径6.1 器高3.1 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成不良 内・外：灰白色10YR8/2	内外面磨耗著しく調整不明瞭
1040	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.8 底径6.6 器高2.9 全体の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：浅黄橙色10YR8/3 外：浅黄橙色7.5YR8/3	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1041	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.0 底径6.4 器高2.7 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 内：黄灰色2.5Y5/1 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1042	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.5 底径6.6 器高2.9 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成やや不良 内：黄橙色10YR8/6 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1043	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	土師質土器 杯	底径5.8 残存高1.9 底部～体部下位の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕か	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：灰白色7.5Y8/2 外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 内面の一部煤付着
1044	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	土師質土器か 土師器か 高台付椀か 杯かⅢ	残存高1.6 底部の3/8	外面回転ナデ・高台貼付のちナデ、内面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内・外：橙色5YR7/6	反転復元 古代末か
1045	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径8.7 底径5.6 器高1.7 全体の1/5	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.15cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	精良、長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅲ－3期併行
1046	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径9.4 底径7.9 器高1.4 全体の1/7	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ヨコナデ・ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型瓦器Ⅳ期併行
1047	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径8.5 底径7.6 残存高1.5 口縁～体部の5/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～5 焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/4 外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元 内外面斑状剥離あり 内外面炭素吸着良好、酸化炎焼成気味 和泉型瓦器Ⅳ期併行
1048	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径8.6 底径4.4 器高1.2 全体の1/8	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内：灰色 N6/0 外：褐灰色10YR6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型瓦器Ⅳ期併行
1049	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径7.8 底径6.6 器高1.1 全体の1/5	内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部内面ナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：暗灰色 N3/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅳ期併行
1050	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.0 残存高3.2 口縁～体部の1/11	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.4cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－2期 12C 末～13C 初頭
1051	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.7 残存高3.5 口縁～体部の1/17	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ・ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－2期か 12C 末～13C 初頭
1052	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 残存高3.8 口縁～体部の1/5	口縁外面ナデ・ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 外面ミガキは弱い 和泉型Ⅲ－2期 12C 末～13C 初頭
1053	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.5 残存高3.3 口縁～体部上位の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.3cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－2期 12C 末～13C 初頭

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1054	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径16.0 残存高3.8 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.25cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰色5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良、口縁内面～体部中位外面は良好 重焼痕あり 口縁歪みのため復元型やや大きい 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1055	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦器か 椀	口径13.2 底径2.6 高台高0.2 器高4.0 全体の7/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅳ－1～2期 13C 中～後葉
1056	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.7 残存高3.6 口縁～体部の1/8	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅳ－1期 13C 中葉
1057	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.6 残存高3.1 口縁～体部の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、口縁内面ヨコナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色7.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1058	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.0 底径4.7 高台高0.3 器高3.5 全体の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・赤、0.1～2　焼成やや不良 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内面～体部外面炭素吸着良好 外面重焼痕あり 和泉型Ⅳ－2期 13C 後葉
1059	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径11.8 底径3.5 高台高0.3 器高2.9 全体の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石、0.1～1　焼成やや不良 内・外：灰白色10YR8/2	反転復元 内外面炭素吸着不良 和泉型Ⅳ－2期前後か 13C 後葉
1060	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 残存高2.1 口縁～体部上位の1/8	内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.3cm)	良好、石・赤、0.1～1　焼成やや不良 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 内外面炭素吸着なし 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型かⅢ－3期か 13C 前葉
1061	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.2 底径3.5 高台高0.2 器高3.3 全体の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部内面ナデのち連結輪状ヘラミガキ暗文（幅0.3cm）	良好、石・長、0.1～3　焼成やや不良 内・外：灰白色10YR8/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 口縁内外面重焼痕 紀伊型瓦器椀か、和泉型Ⅳ－1期併行か 13C 中葉
1062	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径12.8 底径3.8 高台高0.3 器高3.1 ほぼ完形	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデのち連結輪状ヘラミガキ暗文（幅0.35cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内：灰白色2.5Y7/1 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 紀伊型瓦器椀か、和泉型Ⅳ－1期併行か 13C 中葉
1063	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	底径3.9 高台高0.4 残存高3.9 底部～体部のほぼ完存	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	一部反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1064	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	底径4.5 高台高0.7 残存高3.1 底部～体部の1/8	体部外面ヨコナデ・ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.15cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰白色5Y8/1 外：灰色7.5Y6/1	反転復元 炭素吸着内面不良、外面やや不良 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1065	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.2 底径4.6 高台高0.3 器高3.6 全体の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデか	良好、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 内：黄灰色2.5Y5/1 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅳ－1期か 13C 中葉
1066	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径19.6 鍔径26.9 残存高4.9 口縁～体部の1/3	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、体部内面ナデか	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成不良 内：橙色7.5YR6/6 外：橙色5YR6/6	反転復元 内外面剥離・磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着不良 和泉型Ⅳ－1～2期か 13C 中葉～後葉
1067	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径16.2 残存高3.1 口縁～体部の1/5	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、体部内面ナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面磨耗により調整不明瞭 口縁歪みにより復元型は大きい 和泉型かⅣ－1～2期 13C 中葉
1068	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.4 残存高3.5 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ナデ・ヨコナデ、底部内面粗いヘラミガキ暗文	精良、石・長・赤、0.1～2 焼成不良 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：にぶい黄橙色10YR7/3	反転復元 内外面炭素吸着なし 酸化炎焼成 和泉型かⅣ－1～2期 13C 中葉～後葉
1069	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高2.8 口縁～体部上位の1/11	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、口縁内面沈線、体部内面ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色5Y6/1	反転復元 内面～口縁外面炭素吸着やや不良、口縁外面重焼痕 楠葉型Ⅲ－2期 13C 前葉
1070	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 椀	底径7.0 残存高1.8 底部～体部下位の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りか	精良、長・赤、0.1～2　焼成良好 内：灰白色2.5Y7/1 外：灰黄色2.5Y7/2	反転復元 東播系か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1071	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	白磁 Ⅲ	口径10.8 残存高0.9 口縁の1/11	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 外面釉とびあり 森田分類白磁Ⅲ E 群か 16C 代
1072	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	白磁 Ⅲ	底径3.0 残存高1.3 底部～体部下位の7/10	ロクロナデ、内面～体部外面施釉、底部外面露胎	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色2.5Y8/1 微細な黒斑わずかに含む	反転復元 大宰府分類白磁Ⅲ V 類 11C 後半～12C 前半
1073	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	白磁 碗	口径15.6 残存高3.4 口縁～体部の1/10	ロクロナデ、内外面施釉	精良　焼成良好 釉：うすい黄緑10YG8.5/3S 素地：灰白色5Y8/1 微細な黒斑ごくわずかに含む	反転復元 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C 後半～12C 前半
1074	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	白磁 碗	底径6.5 高台高0.7 残存高2.9 底部～体部下位の1/4	ロクロナデ、高台削り出し、内面～体部下位外面途中まで施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：浅黄色2.5Y7/3 微細な黒斑あり	反転復元 胎土・調整ともに粗め、釉とびあり 大宰府分類白磁碗Ⅳ－1a 類 11C 後半～12C 前半
1075	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	白磁 碗	口径14.7 残存高2.1 口縁の1/20	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 7.5/3S 素地：灰白色7.5Y7/1	反転復元 胎土は暗い灰色を呈する、化粧土あり 釉とびが多い 大宰府分類白磁碗Ⅷ類か 12C 中葉～13C 前半
1076	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	白磁 碗	口径17.2 残存高1.8 口縁～体部上位の1/24	ロクロナデ、施釉、口縁外面に沈線１条	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1	反転復元 内外面貫入あり、釉透明度高い 化粧土あり 大宰府分類白磁碗Ⅴ－1類 11C 後半～12C 前半
1077	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	白磁 碗	口径14.5 残存高1.2 口縁の1/13	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 胎土はきめ細かく白色、釉もきれいな白色系 大宰府分類白磁碗Ⅴ類か 11C 後半～12C 前半
1078	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	青白磁 碗	底径4.8 高台高0.8 残存高2.8 底部～体部の1/2	ロクロナデ、内面～高台外面途中まで施釉、畳付以内露胎	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色2.5Y8/2 微細な黒斑あり	反転復元 釉に粗い貫入がみられる 産地・時期不明
1079	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	青磁 碗	底径5.4 高台高0.9 残存高2.2 底部の1/2	ロクロナデ、高台削り出し、内面ヘラ片彫草花文施文、内面～高台外面途中まで施釉（一部は畳付を越えて高台内側に達する）	精良　焼成良好 釉：あかるいグレイみの緑 12YG6.5/3S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－2類 12C 中頃～後半
1080	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径26.0 残存高3.5 口縁の1/10	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内：灰白色10YR7/1 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 外面わずかに自然釉付着 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅰ期第2段階 11C 末～12C 前半
1081	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径26.2 残存高3.7 口縁の1/20	内外面回転ナデ	良好、石・長・金、0.1～3 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 ごくわずかに金雲母含む 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1段階 12C 中葉～後半
1082	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径26.2 残存高3.5 口縁の1/25	外面ヨコナデのちナデ、口縁内面ヨコナデ、体部内面斜板ナデ（幅1.0cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 口縁外面炭素付着、重焼痕あり 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1段階か 12C 中葉～後半
1083	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径28.0 残存高3.1 口縁の1/14	外面回転ナデ、口縁内面回転ナデ、体部内面ヨコ板ナデ（幅1.0cm以上）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：灰白色 N7/0 外：灰色 N5/0	反転復元 口縁内外面炭素付着、重焼痕がみられる 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期 12C 中葉～13C 初頭
1084	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径30.2 残存高2.6 口縁の1/20	内外面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 口縁外面炭素付着 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期か 12C 中葉～13C 初頭
1085	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	底径9.2 残存高2.7 底部～体部下位の5/8	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長、0.1～5　焼成良好 内：青灰色5B6/1 外：青灰色5B5/1	反転復元 体部内面使用により磨耗 東播系須恵質土器捏鉢
1086	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	底径10.8 残存高4.2 底部～体部下位の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内・外：灰白色5Y7/1	反転復元 体部内面使用により剥離 東播系須恵質土器捏鉢
1087	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径33.8 残存高4.7 口縁の1/8	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ヨコ板ナデ（幅1.2cm）	良好、石・長・赤・金・角・花、0.1～4　焼成良好 内：にぶい褐色7.5YR5/4 外：灰黄褐色10YR5/2	反転復元 外面煤付着 瀬戸内沿岸～大阪湾岸からの搬入 古代末か
1088	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径27.8 頸径24.8 残存高3.3 口縁の1/24	口縁外面ヨコナデ、頸部外面ユビオサエのちヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデか、口縁内面ヨコハケ（5条/1.1cm）、体部内面ヨコハケ（5条/0.5cm）、（5条/0.75cm）	良好、石・長・赤・チ、0.1～2　焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：にぶい黄橙色10YR7/2	反転復元 外面にわずかに煤付着

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1089	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	土師質土器 鍔付鍋	口径25.2 頸径21.4 残存高3.5 口縁～頸径の1/8	口縁外面ヨコナデ、頸部～体部外面ユビオサエのちヨコナデ、口縁～体部内面ヨコナデ、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 外面煤付着 形状・胎土から紀伊型鍔付鍋とみられる 13C代か
1090	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	瓦質土器 鍋	口径28.3 頸径26.5 残存高4.6 口縁の1/6	口縁内外面ヨコナデ、頸部外面ユビオサエのちヨコナデ、体部外面不明、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）か	精良、石・長、0.1～2　焼成良好 内：灰色10Y4/1 外：にぶい黄橙色10YR7/2	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 炭素吸着外面不良、内面良好 外面わずかに煤付着 畿内山城地域からの搬入 13C代
1091	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径19.6 鍔径26.9 残存高4.9 口縁～体部の1/3	口縁端部ヨコナデ、口縁外面～鍔部ユビオサエのちヨコナデ、体部外面不明、口縁内面ナデ、体部内面ヨコナデ	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 鍔部以下煤付着 奥井分類河内型羽釜Ⅰ型（菅原分類河内A型） 13C後葉
1092	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦質土器 羽釜	口径17.0 鍔径20.8 残存高(体部)11.5 残存高(脚部含む)14.1 全体の1/7	口縁外面～鍔部ヨコナデ、体部～底部外面ユビオサエ・ナデ、口縁内面ヨコナデ、体部内面ヨコ・斜板ナデ（幅1.5cm以上か）、脚部ナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 脚部と鍔部下端がかろうじて接する 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着良好、脚部内側は炭素吸着なし、被熱によるものか 瓦質土器三足羽釜 畿内山城地域からの搬入 13C中葉
1093	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦質土器 羽釜	口径17.0 鍔径21.3 体部最大径21.8 残存高(体部)11.3 残存高(脚部含む)23.6 全体の2/7	口縁外面ナデ・ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、口縁内面板ナデ、体部内面ユビオサエ、脚部ユビオサエ・ナデ	精良、石・長・赤、0.1～10 焼成良好 内：黄灰色2.5Y6/1 外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 炭素吸着外面良好、内面不良、脚部内側は被熱のためカーボン消失 口縁は高さを保つ、脚部は鍔部から離れる 瓦質土器三足羽釜 畿内山城地域からの搬入 13C中葉
1094	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	瓦質土器 甕	残存高3.6 頸部～体部の一部	外面格子タタキ、頸部内面ヨコナデ,体部内面ヨコハケ(5条/cm)	精良、石・長・黒、0.1～2 焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰色 N5/0	断面実測 亀山焼系瓦質土器甕 内外面炭素吸着良好 内面に同心円状当具痕がハケによって消されていること、体部の傾斜がゆるいことから、14C代とみられる
1095	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 甕	口径30.2 残存高2.5 口縁の1/13	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰白色5Y7/1 外：灰色 N6/0	反転復元 産地・時期不明
1096	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 甕	口径32.0 頸径29.1 残存高5.8 口縁～頸径の1/13	口縁外面ヨコナデ、頸部外面平行タタキのちヨコナデ、体部外面平行タタキ（5条/cm）、口縁内面ヨコナデ、体部内面調整不明	良好、石・長・赤、0.1～4 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR7/2 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内面酸化炎焼成気味 内面剥離・磨耗著しく調整不明瞭、一部不明 東播系 森田編年第Ⅰ期第2段階に相当か 11C末～12C前半
1097	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 甕	口径27.6 頸径23.0 残存高9.4 口縁～体部上位の1/6	口縁外面ナデ・ヨコナデ、頸部外面平行タタキ(3条/cm)のちヨコナデ、体部外面平行タタキ（5条/cm）、口縁～頸部内面ヨコナデ、体部内面タテ・斜ハケ（6条/cm）	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：灰色 N5/0 外：暗灰色 N3/0	反転復元 東播系か
1098	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 甕	残存高4.6 口縁～頸部の一部	口縁外面ナデ、頸部外面平行タタキ（6条/cm）のちヨコナデ、内面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰色 N4/0	断面実測 東播系須恵質土器甕 12C代か
1099	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 甕	頸径33.0 残存高6.7 頸径～体部上位の1/12	頸部外面平行タタキ（5条/cm）のちヨコナデ、体部外面平行タタキ（3条/cm）、頸部内面ヨコナデ、体部内面無文当具痕	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰色 N5/0	反転復元 東播系須恵質土器甕 12C代か
1100	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 甕	残存高5.0 体部上位の一部	外面平行タタキ（3条/cm）、内面ヨコナデか	良好、石・長、0.1～2　焼成やや不良 内：灰白色2.5Y8/1 外：灰白色2.5Y8/2	断面実測 東播系
1101	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 甕	残存高7.0 体部中位の一部	外面平行タタキ（3条/cm）、内面磨耗のため不明	良好、石・長・角、0.1～1 焼成やや不良 内：灰黄褐色10YR6/2 外：黄灰色2.5Y4/1	断面実測 酸化炎焼成気味 外面炭素付着 東播系須恵質土器甕か
1102	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 甕	残存高6.5 体部中位の一部	外面平行タタキ（4条/cm）、内面斜板ナデ（幅不明）	粗、石・長、0.1～1　焼成不良 内・外：黄灰色2.5Y4/1	断面実測 酸化炎焼成気味 内外面炭素付着 東播系須恵質土器甕
1103	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 甕	残存高5.7 体部中位の一部	外面平行タタキ（4条/cm）、内面斜板ナデ(幅1.2cm以上)	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：暗青灰色5B4/1	断面実測 東播系
1104	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 甕	残存高8.8 体部中位の一部	外面格子タタキ、内面同心円状当具痕	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：青灰色5BG5/1	断面実測 古代須恵器か
1105	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 甕	残存高8.0 体部中位の一部	外面格子タタキ、内面無文当具痕のちヨコ板ナデ（幅1.5cm以上）	粗、石・長、0.1～8　焼成やや不良 内：灰白色 N8/0 外：灰白色7.5YR8/1	断面実測 古代須恵器か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1106	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	陶器 甕	口径43.0 頸径39.0 残存高7.9 口縁の1/25	口縁～頸部外面回転ナデか、体部外面釉付着のため不明、口縁～頸部内面回転ナデ・ナデ、体部内面ヨコ板ナデか(幅不明)	精良、石・長、0.1～6　焼成良好 内：灰色 N4/0 外：灰色 N5/0	反転復元 口縁内面・体部外面に自然釉付着 常滑焼 中野編年1a～b型式 12C前半
1107	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	陶器 甕	口径29.2 残存高2.2 口縁の1/16	内外面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：灰白色10YR7/1 外：灰黄色2.5Y7/2	反転復元 常滑焼 中野編年1b型式～4型式 12C中頃～13C前葉
1108	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	陶器 甕	残存高3.8 体部上位の一部	外面ナデのち長格子押印文、内面ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長、0.1～1.5 焼成良好 内：褐灰色10YR6/1 外：灰褐色7.5YR6/2	断面実測 常滑焼 詳細時期不明
1109	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	陶器 甕	残存高7.5 体部上位の一部	外面長格子押印文、内面ナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：赤褐色10R5/3	断面実測 常滑焼
1110	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	陶器 甕	残存高6.3 体部中位の一部	外面板ナデ・ナデのち長格子押印文、内面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰色10Y6/1	断面実測 常滑焼
1111	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	陶器 甕	残存高9.5 体部中位の一部	外面長格子押印文、内面ヨコ板ナデ（幅1.8cm以上）	良好、石・長、0.1～5　焼成良好 内：灰白色10YR7/1 外：にぶい橙色5YR6/4	断面実測 常滑焼 外面自然釉付着
1112	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	陶器 甕	残存高7.1 体部中位の一部	外面長格子押印文、内面ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	断面実測 常滑焼か
1113	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	陶器 甕	残存高7.7 体部中位の一部	外面長格子押印文、内面ヨコ板ナデ（幅1.8cm以上）	良好、長、0.1～2　焼成良好 内：灰黄色2.5Y7/2 外：(自然釉)グレイみのオリーブ8Y5.5/3S	断面実測 常滑焼
1114	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	陶器 甕	底径18.2 残存高8.9 底部～体部下位の1/10	体部外面ナデのち長格子押印文、底部外面不調整か、内面無文当具痕のちナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内：黄灰色2.5Y6/1 外：灰白色10YR7/1	反転復元 常滑焼か
1115	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	陶器 甕	残存高8.1 体部中位の一部	外面ナデか粗い調整、内面ヨコ板ナデ（幅不明）で粗い調整	精良、石・長・赤・黒、0.1～1　焼成良好 釉：くらい黄8Y5.5/5S 露胎部分：オリーブ黒5Y3/1	断面実測 内外面に釉（灰釉か）かかるが、人為的かは不明 露胎部は黒色化している 全体的に細かい貫入あり 産地・時期不明
1116	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	須恵質土器 壺	残存高6.4 頸部～肩部1/5	外面ヨコナデ、頸部内面ヨコナデ、体部内面ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 西村産須恵器壺とプロポーションが酷似、西村産または西村系か 12C代か
1117	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長3.8 径1.1 孔径0.3 重量3.2g ほぼ完形	ユビオサエ・ナデか	良好、石・長・チ、0.1～3 焼成良好 明赤褐色2.5YR5/6	磨耗のため調整不明瞭
1118	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.3 径1.6 孔径0.5 重量8.08g ほぼ完形	ユビオサエ・ナデ	良好、石・長・チか、0.1～1　焼成良好 にぶい黄橙色10YR7/4	
1119	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長5.1 径1.2 孔径0.4 重量3.9g ほぼ完形	ユビオサエ・ナデ	良好、石・赤、0.1～1　焼成良好 赤褐色5YR4/6	剥離・磨耗のため調整不明瞭
1120	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.8 復元径3.8 復元孔径2.2 重量18.7g 全体の1/3	ナデ	良好、石・長・赤・チ、0.1～2　焼成良好 にぶい黄橙色10YR7/4	
1121	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	須恵質 平瓦	長さ10.0 幅10.2 厚さ2.2	凹面布目圧痕、凸面ナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 凹：暗灰色 N3/0 凸：灰色 N5/0	凹面に模骨痕あり
1122	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	須恵質 平瓦	長さ7.7 幅5.2 厚さ2.2	凹面布目圧痕、凸面縄蓆文、側面板ナデ	良好、石・長・赤・黒、0.1～10　焼成やや不良 凹・凸：灰白色 N7/0	0.1～1cm大の黒色粒子が目立つ わずかに炭素付着
1123	Ⅰ－8	SD1056	遺構埋土	瓦質 平瓦	長さ6.0 幅5.8 厚さ2.1	凹面布目圧痕、凸面格子タタキ、側面板ナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 凹・凸：黄灰色2.5Y6/1	
1129	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 底径5.9 器高1.3 完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR6/4	胎土に細粒多く、わずかにザラつく
1130	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 底径6.2 器高1.3 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元
1131	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 底径6.2 器高1.4 全体の4/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：浅黄橙色7.5YR8/4	内外面磨耗により調整不明瞭 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1132	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.4 底径5.9 器高1.2 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1133	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.6 底径8.2 器高1.3 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色2.5YR6/8	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1134	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.5 底径6.0 器高1.4 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	
1135	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.6 底径6.2 器高1.3 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤・チ、0.1～6　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	内外面磨耗により調整不明瞭
1136	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.7 底径5.8 器高1.4 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	胎土に細粒多く、ややザラつく
1137	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.5 底径5.2 器高1.2 完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内：橙色5YR7/6 外：黄橙色10YR8/6	
1138	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.5 底径6.3 器高1.9 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	
1139	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.2 残存高2.0 口縁～体部の1/8	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1.5 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/3	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1140	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.2 底径5.4 器高2.4 全体の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元
1141	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.0 残存高2.6 口縁～体部の1/10	内外面回転ナデ	精良、長、0.1～0.5　焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/4 外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元
1142	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.5 底径6.5 器高2.7 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板ナデ	精良、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	一部反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1143	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.7 底径6.9 器高3.4 全体の3/2	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：橙色7.5YR7/6 外：浅黄橙色7.5YR8/4	
1144	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.4 底径6.8 器高3.0 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1145	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.0 底径6.5 器高3.1 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色7.5YR7/6	一部反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1146	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.7 底径7.4 器高2.8 全体の2/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR7/4	一部反転復元
1147	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.7 底径7.1 器高3.2 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	内外面磨耗により調整不明瞭
1148	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.3 底径6.0 器高2.9 完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	
1149	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 杯	底径7.8 残存高1.2 底部～体部下位の1/4	内外面回転ナデ、底部外面磨耗により調整不明	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1150	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.0 底径5.0 高台高0.3 器高4.8 完形	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちランダムなヘラミガキ(幅0.2cm)	精良、石、0.1～1　焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y5/1	内外面炭素吸着やや不良、重焼痕あり 内外面磨耗により調整不明瞭 口径に比べて器高が高く、口縁内面にヨコナデがみられるランダムなヘラミガキを施すことから、スタンダードな和泉型ではない 内面は筋状に白色化している部分をヘラミガキととらえており、調整が異なる可能性がある 和泉型かⅢ－3期か 13C 前葉
1151	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	瓦器 椀	口径12.8 底径4.0 高台高0. 器高3.3 全体の9/10	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのち螺旋状ヘラミガキ暗文（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	内外面炭素吸着良好 体部外面に接合痕あり 底部の1/2のみ高台貼り付け 紀伊型瓦器椀か、和泉型Ⅳ－2期併行か 13C 後葉
1152	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.6 残存高3.6 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部～底部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデのちヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：暗灰色 N3/0	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期か 13C 前葉～中葉
1153	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	瓦器 椀	底径5.0 高台高0.3 残存高2.6 底部～体部下位の1/3	体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面調整不明	良好、長、0.1～1　焼成やや不良 内・外：灰白色2.5Y8/2	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着なし 胎土に細粒多く、表面ザラつく 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－2期か 13C 前葉～後葉
1154	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	白磁 碗	底径7.4 高台高0.8 残存高2.8 底部～体部下位の1/6	ロクロナデ、高台削り出しのち内面施釉、外面残存部露胎	精良　焼成良好 釉：うすい黄緑10YG8.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/1 微細な黒斑わずかに含む	反転復元 大宰府分類白磁碗Ⅳ－1類 11C 後半～12C 前半
1155	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	青磁 碗	口径14.6 残存高4.3 口縁～体部の1/24	ロクロナデ、外面ヘラ片彫鎬蓮弁文施文のち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色10Y7/1	反転復元 釉にごく粗い貫入あり 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－5b類 13C 初頭～前半

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1156	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	瓦質土器 捏鉢	口径28.8 残存高6.4 口縁～体部の1/13	外面回転ナデか、口縁内面ヨコナデ、内面ヨコ板ナデ（幅1.1cm）	良好、石・長・チ、0.1～5 焼成やや不良 内・外：灰白色10YR8/1	反転復元 内外面炭素吸着良不、口縁外面にのみ吸着良好、重焼痕あり 在地産、東播系の模倣か
1157	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径41.0 頸径37.4 残存高3.6 口縁の1/14	口縁～頸部外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（5条/cm）、内面ヨコハケ（6条/cm）	良好、石・長・角、0.1～1 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：にぶい黄褐色10YR5/3	反転復元 外面煤付着 吉備系か
1158	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	陶器 甕	残存高10.3 頸部の一部	口縁外面ヨコナデ、頸部外面ナデ・板ナデ、体部外面ケズリ、内面ナデ・ヨコ板ナデ(幅1.2cm)	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内：にぶい褐色7.5YR6/3 外：灰黄色2.5Y6/2	断面実測 口縁内面・体部外面に自然釉付着 常滑焼か
1160	Ⅰ－9	SD1058	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.8 底径5.9 器高1.3 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面磨耗により調整不明	精良、長・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1161	Ⅰ－9	SD1059	遺構埋土	土師質土器 杯	口径10.6 底径8.6 器高2.9 全体の1/4	外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、内面ナデ	精 良、石・長・赤、0.1～0.5.　焼成やや不良 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元
1162	Ⅰ－9	SD1059	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.5 底径9.2 器高3.0 全体の4/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	粗、石・長・赤・花・チ、0.1～6　焼成やや不良 内：浅黄橙色10YR8/3 外：浅黄橙色7.5YR8/3	内外面磨耗により調整不明瞭
1163	Ⅰ－9	SD1059	遺構埋土	土師質土器 杯	底径10.4 残存高3.3 底部～体部下位の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元
1164	Ⅰ－9	SD1059	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.6 残存高3.9 口縁～体部の1/3	口縁内外面ヨコナデ、外面ユビオサエ、内面ナデか	精良、長、0.1～0.5　焼成良好 内：黄灰色2.5Y5/1 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着やや不良 内面口縁体部境に稜線あり、外面ユビオサエ弱い 非和泉型か、和泉型瓦器Ⅳ－1期併行か 13C 中葉
1165	Ⅰ－9	SD1059	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.2 残存高3.8 口縁～体部の1/8	口縁内外面ヨコナデ、外面ユビオサエ、内面ナデか	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元
1166	Ⅰ－9	SD1059	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.4 残存高3.8 口縁～体部の1/4	口縁内外面ヨコナデ、外面ユビオサエ、内面ナデか	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：黄灰色2.5Y5/1 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 内面口縁体部境に稜線あり 非和泉型か、和泉型瓦器Ⅲ－3期併行か 13C 前葉
1167	Ⅰ－9	SD1059	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径27.6 残存高2.5 口縁の1/17	口縁端部ヨコナデ、外面回転ナデ、内面斜板ナデ(幅不明)	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 酸化炎焼成気味 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第2段階 12C 末～13C 初頭
1168	Ⅰ－9	SD1059	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径28.4 頸径26.2 残存高5.3 口縁～体部上位の1/6	口縁内外面ヨコナデ、頸部～体部外面ユビオサエのちヨコナデ・ナデ、体部内面ユビオサエのちナデ	粗、石・長・赤、0.1～4 焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 外面煤付着 残存部では鍔部が確認できないものの、全体のプロポーションや胎土・技法から紀伊型鍔付鍋とみられる 13C 後葉～14C 前葉か
1169	Ⅰ－9	SD1059	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.7 径1.1 孔径0.5 重量4.0g ほぼ完形	ユビオサエのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 橙色5YR7/8	
1170	Ⅰ－9	SD1059	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長5.4 径1.1 孔径0.4 重量4.4g ほぼ完形	ユビオサエのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 にぶい褐色7.5YR5/4	
1171	Ⅰ－10	SD1060	遺構埋土	白磁 碗	口径15.2 残存高3.4 口縁～体部の1/7	ロクロナデのち体部外面回転ヘラケズリ、内面～体部外面上位施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色7.5Y8/1	反転復元 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C 後半～12C 前半
1172	Ⅰ－7	SX1005	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.9 底径6.4 器高3.6 全体の3/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1173	Ⅰ－8	SX1008	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.3 底径6.8 器高1.3 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：灰白色2.5Y8/2	
1174	Ⅰ－8	SX1008	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径7.5 底径5.3 器高1.4 全体の4/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/3 外：橙色7.5YR7/6	胎土に細粒多く、ややザラつく
1175	Ⅰ－8	SX1008	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.9 底径7.0 器高3.5 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	一部反転復元 胎土に細粒多く、わずかにザラつく
1176	Ⅰ－8	SX1008	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.9 底径8.0 器高4.5 全体の9/10	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内・外：橙色5YR7/8	内外面磨耗により調整不明瞭
1177	Ⅰ－8	SX1008	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.5 底径10.5 器高3.2 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	内外面磨耗により調整不明瞭
1178	Ⅰ－8	SX1008	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.6 底径6.1 器高2.8 全体の2/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	良好、石・長・赤、0.1～1.5 焼成不良 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1179	Ⅰ－8	SX1008	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.8 残存高2.4 口縁～体部の1/5	内外面回転ナデか	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1180	Ⅰ－8	SX1008	遺構埋土	土師質土器 杯	底径6.7 残存高2.2 底部～体部下位の9/10	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内・外：橙色2.5YR7/8	
1181	Ⅰ－8	SX1008	遺構埋土	瓦器 椀	口径12.7 底径2.4 高台高0.2 器高3.5 完形	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）・螺旋状ヘラミガキ暗文か	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：灰色5Y5/1	内外面炭素吸着やや不良 内外面重焼痕か 体部外面に接合痕あり 紀伊型瓦器椀か、和泉型Ⅳ－2期併行か 13C後葉
1182	Ⅰ－8	SX1008	遺構埋土	瓦器 椀	口径12.6 底径2.2 高台高0.2 器高3.4 全体の4/5	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1～0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：暗青灰色5PB3/1	内外面炭素吸着良好 体部外面に接合痕あり 見込みに暗文あるが、法量が小さい 和泉型Ⅳ－2期 13C後葉
1183	Ⅰ－8	SX1008	遺構埋土	陶器 甕か壺	底径14.4 残存高3.6 底部の1/5	内外面ナデ、底部外面不調整	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰白色2.5Y8/1	反転復元 内面自然釉付着、細かい貫入あり 底体部の境に接合痕あり 産地時期不明
1184	Ⅰ－8	SX1008	遺構埋土	瓦質 軒丸瓦	長さ7.3 幅5.4 厚さ3.3	外面八葉複弁文か、内面ナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成不良 内：浅黄橙色10YR8/4 外：浅黄橙色10YR8/3	炭素吸着なし やや酸化炎焼成気味であるが、淡色を呈しており瓦質と認定
1186	Ⅰ－8	SX1009	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.5 底径6.5 器高1.6 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのちナデ	精良、長・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	全体的に歪む
1187	Ⅰ－8	SX1009	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.0 器高5.3 底径1.5 全体の3/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR6/8	
1188	Ⅰ－8	SX1009	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.4 底径6.0 器高3.0 全体の1/13	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	粗、石・長・赤・チ、0.1～2　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1189	Ⅰ－8	SX1009	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.4 器高3.5 底径8.6 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元
1190	Ⅰ－8	SX1009	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.7 底径3.8 高台高0.3 器高3.9 全体の1/2	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ、底部内面ナデのち螺旋状ヘラミガキ暗文	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰色5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面重焼痕 紀伊型瓦器椀か、和泉型Ⅲ－3期併行か 13C前葉
1191	Ⅰ－8	SX1009	遺構埋土	須恵質土器 甕	口径40.0 残存高3.4 口縁の1/12	内面～口縁外面ヨコナデ、頸部外面磨耗不明	粗、石・赤、0.1～2　焼成やや不良 内・外：灰黄色2.5Y6/2	反転復元 口径は歪みのため不正確 内外面剥離・磨耗により調整不明瞭 内外面わずかに炭素付着 東播系須恵質土器甕か
1192	Ⅰ－8	SX1009	遺構埋土	陶器 甕	残存高12.5 体部中位の一部	外面ナデ・斜板ナデ（幅不明）のち長格子押印文、内面ヨコ板ナデ	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：灰色 N6/0	断面実測 常滑焼 外面一部自然釉付着
1193	Ⅰ－8	SX1009	遺構埋土	陶器 甕	残存高27.7 体部の一部	外面ナデ・タテヨコ板ナデ（幅不明）のち長格子押印、内面ナデ・ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長、0.1～6　焼成良好 内・外：褐灰色10YR6/1	断面実測 常滑焼
1194	Ⅰ－9	SX1011	遺構埋土	土師質土器 杯	底径6.1 残存高1.8 底部～体部下位の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：灰白色10YR8/2 外：淡黄色2.5Y8/3	反転復元 胎土に細粒多く、ややザラつく
1195	Ⅰ－9	SX1011	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.2 残存高4.5 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成不良 内・外：黒色2.5GY2/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 胎土に細粒多く、表面ザラつく 和泉型Ⅲ－2期か 12C末～13C初頭
1196	Ⅰ－9	SX1011	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高3.5 口縁～体部の1/15	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.2cm)	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 外面重焼痕 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1197	Ⅰ－9	SX1011	遺構埋土	白磁 碗	口径9.0 残存高2.6 口縁～体部の1/6	内外施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色5Y8/1 微細な黒斑あり	反転復元 口縁露胎（口禿） 大宰府分類白磁碗Ⅸ類 13C中葉～14C初頭
1198	Ⅰ－9	SX1011	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	残存高2.2 口縁の一部	口縁外面ヨコナデ、外面回転ナデか、内面ヨコナデか・ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	断面実測 口縁外面炭素付着、重焼痕がみられる 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第2段階 12C末～13C初頭
1199	Ⅰ－9	SX1011	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径27.4 残存高3.4 口縁の1/18	口縁内外面ヨコナデ、外面回転ナデか・ナデ、内面ヨコナデか	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：灰白色2.5Y8/2 外：淡黄色2.5Y8/3	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅲ期第1段階か 13C前半～後半
1200	Ⅰ－1	SP10002	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.6 底径6.2 器高3.3 全体の5/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面・内面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰白色10YR8/2	反転復元

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1201	Ⅰ－1	SP10002	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.0 残存高3.9 口縁～体部の1/8	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、体部内面ナデのち強いナデ	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：灰色 N5/0 外：灰色 N4/0	反転復元 内面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着良好、外面重焼痕 体部外面に接合痕あり 非和泉型か、和泉型瓦器Ⅳ－1～2期併行か 13C中葉～後葉
1202	Ⅰ－1	SP10055	遺構埋土	土師質土器 皿	口径11.6 底径6.0 器高2.4 全体の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面・内面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成やや不良 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元
1203	Ⅰ－1	SP10117	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.9 器高1.4 底径5.8 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのちナデ、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤・チか、0.1～0.5　焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR7/4	反転復元
1204	Ⅰ－1	SP10123	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 底径5.7 器高1.3 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/3 外：にぶい橙色7.5YR7/4	
1205	Ⅰ－1	SP10130	遺構埋土	青磁 皿	口径9.8 器高1.9 底径4.4 全体の1/2	ロクロナデのちケズリ、ヘラ片彫模様及び櫛描文施文のち施釉（体部外面下端～底部外面は露胎）	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色5Y7/1	反転復元 大宰府分類同安窯系青磁Ⅲ－1ｂ類 12C中頃～後半
1206	Ⅰ－1	SP10132	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.1 器高1.2 底径6.2 完存	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤・砂か、0.1～3　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	
1207	Ⅰ－1	SP10139	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.2 器高3.1 底径8.6 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1208	Ⅰ－1	SP10166	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 器高1.2 底径6.4 全体の9/10	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・在地花か、0.1～5　焼成やや不良 内・外：灰白色2.5Y8/1	
1209	Ⅰ－1	SP10167	遺構埋土	青磁 椀	口径15.6 底径5.4 高台高0.8 器高6.3 全体の1/2	ロクロナデのち体部外面ヘラ片彫鎬蓮弁文のち施釉（畳付部～高台内側は露胎）	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG6.5/3S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－5ｂ類 13C初頭～前半
1210	Ⅰ－1	SP10168	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.6 器高3.0 底径5.4 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～5 焼成やや不良 内・外：灰白色10YR8/1	一部反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1211	Ⅰ－1	SP10339	遺構埋土	瓦器 椀	口径16.2 底径5.0 高台高0.4 器高5.7 全体の1/3	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部外面高台貼付のちヨコナデ	精良、長、0.1～0.1　焼成良好 内：黄灰色2.5Y4/1 外：黄灰色2.5Y5/1	一部反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－1～2期 12C後葉～13C初頭
1212	Ⅰ－1	SP10339	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 底径4.4 高台高0.5 器高4.4 全体の1/3	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ、平行ヘラミガキ暗文、底部外面高台貼付のちヨコナデ	精良、石・長、0.1～3　焼成やや不良 内・外：灰色5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1213	Ⅰ－1	SP10339	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.8 残存高4.5 口縁～体部の1/10	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのち斜方向のヘラミガキ(幅0.2cm)	良好、石・長・赤、0.1～4 焼成やや不良 内：灰白色2.5Y8/1 外：にぶい黄色2.5Y6/3	反転復元 炭素吸着内面不良、外面やや不良 和泉型Ⅲ－3期か 13C前葉
1214	Ⅰ－2	SP10385	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径34.0 頸径29.8 残存高19.9 口縁～体部の1/5	口縁端部ヨコナデ、頸部～体部上位外面ユビオサエのちナデ、体部下位外面タテ及び斜ハケ（9条/1.2cm）、一部板ナデ（幅1.7cm）、口縁～体部上位内面ヨコ板ナデ（幅1.5cm以上）、体部下位内面ユビオサエのち斜板ナデ（幅1.7cm以上）	良好、石・長・赤・金、0.1～3　焼成良好 内：にぶい褐色7.5YR6/4 外：灰褐色7.5YR5/2	反転復元 外面煤付着 内外面の一部わずかに炭素付着 瀬戸内沿岸～大阪湾岸からの搬入か 12C代とみられるが古代末か
1215	Ⅰ－2	SP10392	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径30.0 頸径27.0 残存高5.1 口縁～体部の1/5	口縁外面ユビオサエのちヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ（ハケか）、内面ヨコ板ナデ（ハケか、幅不明）	粗、石・長・金、0.1～4 焼成良好 内：にぶい黄褐色10YR6/4 外：にぶい黄褐色10YR5/3	反転復元 瀬戸内沿岸～大阪湾岸からの搬入か 12C代とみられるが古代末か
1217	Ⅰ－2	SP10664	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.1 器高1.5 底径6.4 ほぼ完存	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板目痕	良好、石・長・赤、0.1～4 焼成やや不良 内：橙色5YR6/6 外：橙色5YR6/8	内外面磨耗により調整不明瞭
1218	Ⅰ－2	SP10734	遺構埋土	白磁 椀	口径15.9 残存高3.6 全体の1/12	ロクロナデ、施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色5Y8/1	反転復元 玉縁口縁 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C後半～12C前半
1219	Ⅰ－3	SP10823	遺構埋土	土師質土器 椀	底径5.3 高台高0.9 残存高3.1 底部～体部下位の3/4	体部外面ナデ・ユビオサエ、底部外面高台貼付のちヨコナデ、内面ナデか、見込み部分ユビオサエ	良好、石・長・赤・花、0.1～3　焼成良好 内・外：橙色2.5YR6/6	一部反転復元 内外面二次焼成のためか部分的に炭素付着 吉備系土師質土器椀 山本編年Ⅲ－1～Ⅱ期 13C代
1220	Ⅰ－5	SP11088	遺構埋土	土師質土器 鍔付鍋か	口径31.8 頸径28.0 残存高3.8 口縁～頸径の1/15	口縁ヨコナデ、頸部～体部・鍔部外面ユビオサエのちナデ・ヨコナデ、体部内面ユビオサエのち板ナデ	良好、石・長・赤・在地花・チか、0.1～5　焼成良好 内・外：橙色5YR6/8	反転復元 口縁の歪み著しい 奥井分類河内Ⅱ型羽釜の可能性があるが、胎土に在地の鉱物を含んでいることから在地での模倣品か 12C中葉か
1221	Ⅰ－7	SP11229	遺構埋土	白磁 碗	口径16.5 残存高2.2 口縁の1/10	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色5Y7/1	反転復元 口縁内外面貫入あり 大宰府分類白磁Ⅲ V類または Ⅷ類か 11C後半～12C前半

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	法量(cm) 残存率	技法	胎土、含有物、法量(mm) 焼成 色調	備考
1222	Ⅰ－7	SP11229	遺構埋土	青磁 碗	口径14.4 残存高2.7 口縁～体部の1/12	ロクロナデのち内面に圏線、外面に櫛描文のち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 7.5/3S 素地：灰白色 N7/0	反転復元 釉はやや白濁気味 大宰府分類同安窯系青磁碗Ⅰ－1b類 12C 中頃～後半
1223	Ⅰ－7	SP11264	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 残存高2.4 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅1.5cm）	良好、石・赤、0.1～1.5 焼成不良 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：褐灰色10YR5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅳ－1期前後か 13C 中葉
1224	Ⅰ－7	SP11264	遺構埋土	瓦器 椀	底径5.8 高台高0.4 残存高0.8 底部の1/5	外面ヨコナデ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：オリーブ黒2.5Y2/1 外：黒色2.5Y2/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期前後か 13C 前葉
1225	Ⅰ－7	SP11264	遺構埋土	土師質土器 鍋	残存高5.1 口縁の一部	口縁外面ヨコハケ（5条/cm）、頸部～体部外面タテハケ（7条/cm）、内面ヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色7.5YR6/6	断面実測 12C 代と考えられるが古代末か
1226	Ⅰ－7	SP11280	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.6 器高1.7 底径3.4 全体の1/3	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコナデ、底部内面ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：灰白色7.5YR8/2 外：灰白色10YR8/2	反転復元 内外面磨耗気味 京都系土師器Ⅲ E タイプの模倣か
1227	Ⅰ－7	SP11294	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.6 器高1.0 底径6.3 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
1228	Ⅰ－7	SP11294	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.1 残存高2.7 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.2～0.4cm)	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：灰白色2.5Y8/1 外：浅黄色2.5Y7/3	反転復元 内外面炭素吸着なし 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1229	Ⅰ－7	SP11314	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.9 器高3.3 底径7.0 全体の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成やや不良 内：浅黄橙色7.5YR8/4 外：橙色5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1230	Ⅰ－7	SP11314	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.6 器高3.9 底径4.8 全体の1/3	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.25cm）、底部外面高台貼付のちナデ、底部内面ナデのちジグザグ状のヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	精良、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 体部外面に接合痕あり 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1231	Ⅰ－7	SP11314	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.2 底径4.9 高台高0.2 器高4.1 全体の1/6	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付のちヨコナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）	精良、石・長・黒、0.1～2 焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅳ－1～2期 13C 中葉～後葉
1232	Ⅰ－7	SP11331	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.4 器高1.4 底径6.0 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元 口縁内面～外面の一部に煤付着
1233	Ⅰ－7	SP11331	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 残存高3.6 口縁～体部の1/8	口縁外面ユビオサエのちヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：灰白色10YR8/1 外：灰色5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 外面重焼痕 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C 前葉～中葉
1234	Ⅰ－7	SP11331	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径29.3 残存高2.6 口縁の1/16	外面回転ナデ、口縁内面回転ナデ、内面回転ナデのち斜板ナデ（幅0.8cm）	良好、石・長・黒、0.1～3 焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 口縁外面炭素付着、重焼痕あり 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1～2段階 12C 中葉～13C 初頭
1235	Ⅰ－7	SP11355	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.4 器高1.5 底径5.9 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：橙色7.5YR7/6 外：黄橙色7.5YR7/8	
1236	Ⅰ－7	SP11430	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.6 器高2.6 底径9.1 全体の1/9	内外面ヨコナデ、底部内外面ナデ	良好、石・長・赤・チ、0.1～2.5　焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR 7/3	反転復元 京都系土師器Ⅲ D タイプの模倣か
1237	Ⅰ－7	SP11430	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 残存高1.7 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、長、0.1～0.5　焼成良好 内・外：暗灰色 N3/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C 前葉～中葉
1238	Ⅰ－7	SP11473	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.4 器高1.3 底径5.7 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：灰白色10YR8/2	
1239	Ⅰ－7	SP11473	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 器高1.3 底径6.2 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面切り離し技法不明	精良、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1240	Ⅰ－7	SP11480	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.1 器高2.9 底径6.6 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤・在地花か、0.1～3　焼成良好 内・外：黄橙色7.5YR8/8	
1241	Ⅰ－7	SP11480	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.4 残存高2.3 口縁～体部の1/10	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：にぶい黄橙色10YR7/4	反転復元 内外面炭素吸着なし 和泉型Ⅳ－1～2期 13C 中葉～後葉
1242	Ⅰ－7	SP11502	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.9 器高1.9 底径4.8 全体の5/12	内外面ヨコナデ、底部内外面ユビオサエのちナデ	良好、石・長・赤・チか、0.1～0.5　焼成良好 内：淡黄色2.5Y8/3 外：灰白色2.5Y8/2	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 京都系土師器Ⅲ E タイプの模倣 13C 代
1243	Ⅰ－7	SP11502	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高3.4 口縁～体部の1/15	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ナデ・ユビオサエ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1244	Ⅰ－7	SP11502	遺構埋土	青磁 碗	口径15.3 残存高2.6 口縁の1/12	ロクロナデのち外面ヘラ片彫 鎬蓮弁文施文のち内外面施釉	精良　焼成良好 釉：灰オリーブ色7.5Y5/2 素地：灰色5Y6/1 微細な黒含む	反転復元 口縁端部釉とびあり 釉、透明度低くわずかに白濁、蓮弁文不鮮明 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－5a類 13C初頭～前半
1245	Ⅰ－7	SP11502	遺構埋土	瓦器 加工円盤	長さ1.9 幅2.0 厚さ0.4	側面を研削整形し、円盤状に作る	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：にぶい黄橙色10YR7/4	瓦器椀体部片の転用 炭素吸着なし 内面ヨコ方向のヘラミガキ、内外面ユビオサエ残る
1246	Ⅰ－7	SP11523	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径29.3 残存高9.8 口縁～体部の1/10	口縁端部ヨコナデ、内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～5　焼成不良 内・外：褐灰色10YR5/1	反転復元 内外面炭素付着 東播系須恵質土器の焼成不良品 森田編年第Ⅱ期第1段階 12C中葉～後半
1247	Ⅰ－7	SP11559	遺構埋土	陶器 甕	残存高7.2 体部上位の一部	外面タテハケ（3条/cm）のち押印文、内面ヨコ板ナデ(幅1.7cm)	良好、石・長・黒、0.1～4 焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰白色 N7/0	断面実測 常滑焼か
1248	Ⅰ－7	SP11590	遺構埋土	瓦器 皿	口径8.6 器高1.6 底径4.0 全体の1/3	外面ヨコナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ、底部外面ユビオサエ	精良、石・長、0.1～2　焼成良好 内：黄灰色2.5Y5/1 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行か
1249	Ⅰ－7	SP11635	遺構埋土	土師器 甕	口径17.6 頸径15.2 底径12.8 器高31.7 全体の1/2	口縁内外面ヨコナデ、外面タテハケ（6条/1.3cm）、内面タテ・ヨコ板ナデ(幅1.4cm)	粗、石・長・結・赤、0.1～12 焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	一部反転復元 内外面剥離・磨耗により調整不明瞭 体部中～下位外面煤付着
1250	Ⅰ－7	SP11643	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.9 器高2.7 底径8.2 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤・チか、0.1～4　焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元
1251	Ⅰ－7	SP11643	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.0 残存高2.7 口縁～体部の1/10	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1252	Ⅰ－7	SP11668	遺構埋土	青磁 合子蓋	口径5.4 残存高1.1 全体の1/2	ロクロナデのち外面花文陰刻のち外面のみ施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 7.5/3S 素地：灰白色5Y8/1	反転復元 釉の一部白濁及び貫入がみられる
1254	Ⅰ－7	SP11743	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.6 残存高4.8 口縁～体部の1/5	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのち斜線刻1条、内面ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）のちタテ・斜線刻多数	良好、石・長、0.1～6　焼成良好 内：灰白色2.5Y8/1 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内面及び外面に焼成後の線刻多数 炭素吸着内面不良、外面やや不良 和泉型Ⅳ－1期か 13C中葉
1255	Ⅰ－7	SP11755	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.2 器高1.2 底径7.4 全体の2/3	内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ	良好、石・長・赤・黒、0.1～1　焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/6 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 金雲母含まず 京都系土師器皿Dタイプの模倣 13C代か
1256	Ⅰ－7	SP11755	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.0 器高1.4 底径6.5 完形	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1257	Ⅰ－7	SP11771	遺構埋土	白磁 碗	口径15.6 残存高3.2 全体の1/8	ロクロナデ、施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑8Y7.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/1 微細な黒斑あり	反転復元 胎土は灰色がかる、釉は緑がかる 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C後半～12C前半
1258	Ⅰ－7	SP11838	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.5 器高1.3 底径5.7 全体の9/10	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR6/4	
1259	Ⅰ－7	SP11838	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.0 器高1.3 底径7.3 全体の1/2	外面ヨコナデ、底部外面ナデ・ユビオサエ、内面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR7/3 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 京都系土師器皿Dタイプの模倣か 13C代
1260	Ⅰ－7	SP11870	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.6 器高1.4 底径5.2 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～4 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/3	一部反転復元、合成
1261	Ⅰ－7	SP11870	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.2 器高2.9 底径9.2 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：黄橙色7.5YR8/8	内外面磨耗気味
1262	Ⅰ－7	SP11870	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.6 器高3.2 底径6.4 全体の3/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	粗、石・長・チ・在地花、0.1～10　焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：にぶい黄橙色10YR7/4	一部反転復元
1263	Ⅰ－7	SP11908	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.0 器高1.5 底径5.7 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤・絹、0.1～1　焼成やや不良 内・外：橙色5YR6/6	
1264	Ⅰ－7	SP11908	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.0 器高3.5 底径9.0 全体の2/3	内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、底部内面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	一部反転復元 京都系土師器皿Dタイプの模倣
1265	Ⅰ－7	SP11908	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.9 器高3.0 底径10.4 全体の1/6	口縁～体部内外面ヨコナデ・ナデ、底部内外面ユビオサエ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR 7/4	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく 京都系土師器皿Eタイプの模倣 13C代
1266	Ⅰ－8	SP11998	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.3 底径6.7 器高2.1 全体の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りかのちナデ、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：橙色2.5YR6/6 外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元 部分的に磨耗・剥離あり

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1267	Ⅰ－8	SP12110	遺構埋土	白磁 Ⅲ	口径11.1 残存高1.9 口縁～体部の1/5	ロクロナデ、体部外面下位回転ヘラケズリのち内面～体部上位施釉	精良　焼成良好 釉：うすい黄8Y8.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/1	反転復元 釉は黄色みを帯び、細かい貫入がみられる 森田分類白磁Ⅲ D 群か 15C 前半
1268	Ⅰ－8	SP12359	遺構埋土	須恵質土器 甕	口径21.8 頸径19.4 底径15.8 器高37.9 全体の1/4	口縁内外面ヨコナデ、頸部外面斜平行タタキ（3条/cm）のちヨコナデ・ナデ、体部外面斜平行タタキ（3条/cm）・板ナデ・ヨコナデ、底部外面粗いナデ、頸部内面ナデ、体部内面無文当具痕のち（上）ナデ・ユビオサエ（中）ヨコナデ板ナデ（下）強い板ナデ、底部内面ユビオサエ	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内：灰白色 N7/0 外：灰色 N5/0	反転復元 十瓶山産もしくは十瓶山系か 佐藤編年Ⅳ－2期か 12C 初頭
1269	Ⅰ－9	SP12553	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.4 残存高3.2 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのち斜方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.3cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 外面重焼痕 和泉型Ⅲ－1～2期 12C 後葉～13C 初頭
1270	Ⅰ－9	SP12553	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径33.0 頸径27.8 残存高9.2 口縁～体部の1/12	口縁内外面ヨコナデ、頸部外面ユビオサエのちヨコナデ、体部外面ユビオサエのちタテハケ（5条/cm）、体部内面ヨコ板ナデ（幅2.0cm）	粗、石・長・赤・金、0.1～2　焼成良好 内：灰黄褐色10YR5/2 外：にぶい黄褐色10YR5/3	反転復元 外面に煤付着 12C 代、古代末か
1271	Ⅰ－9	SP12554	遺構埋土	青磁 碗	口径16.0 残存高4.5 口縁～体部の1/10	内外面ロクロナデのち内面ヘラ片彫陰刻花文のち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 6.5/3S 素地：灰白色7.5Y7/1	反転復元 粗い貫入がみられる 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－2類 12C 中頃～後半
1272	Ⅰ－9	SP12589	遺構埋土	白磁 碗	底径4.8 高台高0.9 残存高3.0 底部～体部下位の1/6	ロクロナデ、施釉、体部外面下位～底部露胎	精良　焼成良好 釉：うすい黄8Y8.5/3S 素地：灰白色10YR8/1	反転復元 やや黄色みがかった釉、胎土は灰色がかる 体部外面下位露胎 大宰府分類白磁碗Ⅲ類 12C 中葉～後半
1273	Ⅰ－9	SP12614	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.4 器高3.5 底径3.4 完形	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼り付け、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：黒褐色2.5Y3/1 外：黄灰色2.5Y4/1	
1274	Ⅰ－9	SP12638	遺構埋土	青磁 碗	口径16.8 残存高6.0 口縁～体部の2/5	内外面ロクロナデのち内面ヘラ片彫区画文・飛雲文のち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑8Y7.5/3S 素地：灰白色5Y8/1	反転復元 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－4a類 12C 中頃～後半
1275	Ⅰ－9	SP12670	遺構埋土	土師質土器 鍋	残存高1.6 口縁の一部	口縁外面ヨコナデ、頸部外面ヨコナデのちタテハケ（5条/cm）、内面ヨコナデのちヨコハケ（4条/cm）	良好、石・長・黒、0.1～1 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：にぶい黄褐色10YR4/3	断面実測 外面および破面の一部に煤付着
1276	Ⅰ－9	SP12671	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径9.0 器高1.8 底径4.0 全体の1/2	口縁外面ヨコナデ、体部～底部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y4/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅲ－3期併行か
1277	Ⅰ－9	SP12671	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.0 残存高2.3 口縁～体部の1/8	外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 内面重焼痕 和泉型Ⅲ－1～2期 12C 後葉～13C 初頭
1278	Ⅰ－9	SP12671	遺構埋土	瓦器 椀	底径4.2 高台高0.3 残存高3.8 底部の1/4	体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰色 N5/0 外：灰色5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1279	Ⅰ－9	SP12673	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.4 残存高3.9 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長・赤、0.1～1.5 焼成良好 内：灰色5Y4/1 外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 外面磨耗により調整不明瞭 内面にハゼによる剥離痕、体部外面に接合痕あり 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1280	Ⅰ－9	SP12673	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径25.5 残存高3.6 口縁の1/24	口縁内外面回転ナデ、内面回転ナデのちヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長、0.1～1.5 焼成やや不良 内：灰白色2.5Y8/1 外：灰色 N6/0	反転復元 口縁内外面炭素付着 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1段階 12C 中葉～後半
1281	Ⅰ－9	SP12678	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.1 底径3.5 高台高0.2 器高4.1 完形	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、底部内面平行ヘラミガキ暗文のち体部ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	精良、石、0.1～2　焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR 7/4	内外面炭素吸着不良 酸化炎焼成 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1282	Ⅰ－9	SP12685	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径8.6 器高2.3 底径4.0 全体の1/2	内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、底部内面ヨコナデのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰白色2.5Y8/2	反転復元 和泉型瓦器Ⅲ－3期併行か
1283	Ⅰ－9	SP12685	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.9 残存高3.1 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰色 N4/0 外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1284	Ⅰ－9	SP12816	遺構埋土	青磁 碗	底径5.6 高台高0.8 残存高2.5 底部～体部下位ほぼ全体	ロクロナデ、高台削り出しのち外面蓮弁文、底部内面印花文、内面～高台外側施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 7.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1	一部反転復元 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－5c類 13C 中頃～14C 初頭
1285	Ⅰ－11	SP13152	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径9.3 器高2.0 底径6.5 全体の4/5	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/6 外：橙色7.5YR7/6	

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1286	Ⅰ－9		第1包含層	須恵器 蓋	口径13.8 残存高2.4 口縁の1/8	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰色 N5/0 外：灰色 N6/0	反転復元
1287	Ⅰ－9		第1包含層	土師質土器 高台付椀	底径6.2 高台高0.7 残存高1.7 底部～体部下位の1/3	外面ナデか、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデ	良好、石・長・赤・チ、0.1～5　焼成やや不良 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 吉備系土師質土器椀の模倣か
1288	Ⅰ－7		第1包含層	土師質土器 皿	口径7.7 器高1.7 底径5.8 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：灰黄褐色10YR6/2 外：灰黄褐色10YR5/2	胎土に細粒多く、表面ザラつく
1289	Ⅰ－7		第1包含層	土師質土器 皿	口径7.5 器高1.5 底径5.0 全体の7/10	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：橙色7.5YR7/6	反転復元
1290	Ⅰ－8		第1包含層	土師質土器 皿	口径11.0 底径5.6 器高1.9 全体の3/5	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りかのちナデ	良好、石・長・砂か、0.1～1　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 内外面磨耗気味
1291	Ⅰ－7		第1包含層	土師質土器 杯	口径11.4 底径5.7 器高3.4 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤・在地花か、0.1～6　焼成良好 内：灰白色10YR8/2 外：浅黄橙色7.5YR8/3	内外面磨耗により調整不明瞭
1292	Ⅰ－1		第1包含層	土師質土器 杯	口径12.7 器高3.3 底径6.9 全体の3/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	粗、石・長・赤・チ・砂、0.1～5　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	口縁に歪みあり
1293	Ⅰ－7		第1包含層	土師質土器 杯	口径12.5 器高3.3 底径5.2 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色2.5YR6/8	一部反転復元
1294	Ⅰ－9		第1包含層	瓦器 皿	口径8.5 残存高1.3 口縁～体部の1/6	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ヨコナデのちナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅳ期併行か
1295	Ⅰ－5		第1包含層	瓦器 椀	口径14.8 残存高4.1 口縁～体部の1/4	口縁～体部上位外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部下位内面ヨコナデのちユビオサエ、内面ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－2期 12C末～13C初頭
1296	Ⅰ－9		第1包含層	瓦器 椀	口径15.8 残存高4.3 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.15cm）	精良、石、0.1～0.5　焼成良好 内・外：灰黄色2.5Y7/2	反転復元 内外面炭素吸着不良 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1297	Ⅰ－9		第1包含層	瓦器 椀	口径14.4 残存高4.3 口縁～体部上位の1/4	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文	精良、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1298	Ⅰ－9		第1包含層	瓦器 椀	口径14.6 残存高4.3 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、口縁内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部内面ナデのち平行（斜格子状か）ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	精良、0.1～0.5　焼成良好 内・外：灰黄色2.5Y6/2	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1299	Ⅰ－9		第1包含層	瓦器 椀	口径13.0 残存高3.5 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：にぶい黄橙色10YR7/2	反転復元 内外面炭素吸着不良 酸化炎焼成気味 和泉型Ⅳ－1期か 13C中葉
1300	Ⅰ－7		第1包含層	瓦器 椀	口径14.0 底径4.4 高台高0.2 器高3.5 全体の1/4	口縁外面ナデ・ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ	良好、石・長、0.1～1　焼成不良 内・外：浅黄色2.5Y7/4	反転復元 内外面炭素吸着不良 磨耗及び剥離により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C前葉～中葉
1301	Ⅰ－8		第1包含層	瓦器 椀	口径14.3 底径3.4 高台高0.2 器高3.8 全体の1/2	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ヨコハケ（9条/cm）のち連結輪状（？）ヘラミガキ暗文	精良、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：暗灰色 N3/0	内外面炭素吸着良好 紀伊型瓦器椀か、和泉型Ⅲ－3期併行か 13C前葉
1302	Ⅰ－8		第1包含層	瓦器 椀	口径13.8 底径2.7 高台高0.2 器高3.1 全体の1/2	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、見込み部分螺旋状ヘラミガキ暗文	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 炭素吸着内面良好、外面やや不良 紀伊型瓦器椀か、和泉型Ⅳ－1期併行か 13C中葉
1303	Ⅰ－7		第1包含層	白磁 皿	底径3.9 高台高0.2 残存高1.0 底部の1/3	ロクロナデのちヘラ描き花文のち施釉	精良　焼成良好 釉：うすい黄緑10YG8.5/3S 素地：灰白色2.5GY8/1 微細な黒斑あり	反転復元 釉に細かい貫入あり 大宰府分類白磁Ⅲ Ⅶ－1b類かⅦ－2類 11C後半～12C前半
1304	Ⅰ－7		第1包含層	白磁 碗	口径15.8 残存高3.8 全体の1/16	内外面ロクロナデのち口縁内面ヨコ沈線1条、体部外面斜方向のヘラ片彫文のち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 6.5/3S 素地：灰白色5Y7/1	反転復元 釉は全体的に薄く緑色味をおびる 内外面共釉とびあり 大宰府分類白磁碗Ⅴ－2b類 11C後半～12C前半
1305	Ⅰ－7		第1包含層	白磁 碗	口径14.7 残存高3.0 全体の1/10	ロクロナデのち体部外面ヘラ片彫文・体部内面沈線1条のち施釉	緻密　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 大宰府分類白磁碗Ⅴ－2b類 11C後半～12C前半
1306	Ⅰ－2		第1包含層	白磁 碗	口径15.0 残存高3.7 全体の1/12	ロクロナデ、施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 7.5/3S 素地：灰白色5Y8/1	反転復元 内外面粗い貫入あり 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C後半～12C前半

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1307	Ⅰ－4		第1包含層	白磁 碗	底径8.0 高台高0.8 残存高2.3 底部～体部下位の1/4	ロクロナデ、高台削り出しのち施釉、体部外面下端より高台内側にかけて露胎	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄色8Y7.5/3S 素地：灰白色5Y8/1 微細な黒斑あり	反転復元 釉は薄く、やや緑がかっている 大宰府分類白磁碗Ⅳ類か 11C後半～12C前半
1308	Ⅰ－7		第1包含層	青磁 皿	口径9.8 残存高1.4 口縁～体部の1/5	ロクロナデ・ケズリのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色5Y7/1	反転復元 釉透明度高く、粗い貫入がみられる 大宰府分類龍泉窯系青磁皿Ⅰ類か 12C中頃～後半 大宰府分類同安窯系青磁皿Ⅰ類か 12C中頃～後半
1309	Ⅰ－8		第1包含層	青磁 皿	底径5.6 残存高0.9 底部の1/2	底部内面櫛描ジグザク文のち施釉のち底部外面釉掻き取り	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG7.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1	反転復元 釉透明度高く、貫入あり 文様や釉・形状から同安と判断 大宰府分類同安窯系青磁皿Ⅰ－2類 12C中頃～後半
1310	Ⅰ－7		第1包含層	青磁 碗	口径16.3 残存高3.0 口縁～体部の1/4	ロクロナデのち外面ケズリ、内面ヘラ片彫草花文のち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色5Y7/1	反転復元 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－2類 12C中頃～後半
1311	Ⅰ－9		第1包含層	青磁 碗	口径15.0 残存高2.1 口縁～体部上位の1/9	ロクロナデのち外面ヘラ片彫蓮弁文のち施釉	精良　焼成良好 釉：くらい黄8Y6.5/5S 素地：灰黄色10YR7/1	反転復元 鎬なし、釉に粗い貫入がみられる 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－5a類 13C初頭～前半
1312	Ⅰ－8		第1包含層	青白磁 合子蓋	口径5.6 残存高1.2 口縁の1/10	外面型押し、内面ナデ、のち内外面施釉、外面一部露胎	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0	反転復元
1313	Ⅰ－9		第1包含層	青白磁 合子身	口径6.3 残存高1.3 口縁の1/8	外面型押しか、内面ヨコナデか、のち施釉、口縁端部～受け部釉掻き取り露胎	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0	一部合成、反転復元
1314	Ⅰ－9		第1包含層	須恵質土器 捏鉢	口径26.4 残存高2.9 口縁の1/16	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 口縁外面わずかに炭素付着、重焼痕 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第2段階 12C末～13C初頭
1315	Ⅰ－1		第1包含層	須恵質土器 捏鉢	口径29.8 残存高4.2 口縁～体部上位の1/12	外面・口縁内面回転ナデ、体部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長、0.1～1 内・外：灰色 N6/0	反転復元 口縁に自然釉・炭素付着、重焼痕あり 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1～2段階 12C中葉～13C初頭
1316	Ⅰ－3		第1包含層	須恵質土器 捏鉢	口径28.0 底径11.6 器高10.5 口縁部の1/12～底部の1/6	内外面回転ナデのちナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長、0.1～4　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 2－3区のSPと接合 口縁外面に炭素付着、重焼痕がみられる 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅰ期第2段階～第Ⅱ期第1段階 11C末～12C後半
1317	Ⅰ－1		第1包含層	土師質土器 鍔付鍋	口径25.8 頸径23.0 残存高7.0 口縁～体部の1/12	口縁～頸部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、鍔部貼付のちヨコナデ、体部内面板ナデ	良好、石・長・結・赤・金か、0.1～4　焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：にぶい赤褐色5YR5/3	反転復元 鍔部剥離、剥離面も含め外面煤付着 紀伊型鍔付鍋 13C代か
1318	Ⅰ－9		第1包含層	土師質土器 鍋	口径23.0 頸径21.6 残存高4.2 口縁～体部上位の1/16	内面～口縁端部ヨコナデ、口縁外面ユビオサエのちヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ	精良、石・長・赤・金、0.1～0.5　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 被熱によりカーボン消失した畿内山城地域産瓦質土器鍋か
1319	Ⅰ－9		第1包含層	土師質土器 鍋	口径26.0 残存高3.3 口縁の1/13	口縁ヨコナデ、外面平行タタキ（2条/cm）、内面斜板ナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：にぶい褐色7.5YR6/3 外：灰褐色7.5YR5/2	反転復元 外面煤付着 兵庫津遺跡Ⅱ図版91土師質土器鍋に類例あり 13C後半～14C代か
1320	Ⅰ－8		第1包含層	土師質土器 羽釜	口径18.1 頸径20.9 残存高5.1 口縁～体部の1/10	口縁内面～鍔部ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ・ヨコナデ、体部内面ヨコハケ（8条/cm）	良好、石・長・赤・金、0.1～3　焼成良好 内：橙色7.5YR6/6 外：橙色5YR6/6	反転復元 外面鍔部以下煤付着 長谷川編年播磨型羽釜Ⅳ期 15C後半～16C初頭
1321	Ⅰ－7		第1包含層	土師質土器 羽釜	口径27.8 鍔径34.0 残存高7.4 口縁～体部上位の1/6	口縁～鍔部外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコナデ、内面ヨコハケ（6条/cm）	良好、石・長・赤、0.1～4 焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：褐灰色10YR4/1	反転復元 外面煤付着（鍔端部には煤付着なし）
1322	Ⅰ－8		第1包含層	瓦質土器 火鉢か	残存高3.2 口縁の一部	外面～口縁内面ヨコナデ、体部内面斜板ナデ（幅1.1cm以上）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：暗灰色 N3/0	断面実測 内外面炭素吸着良好
1323	Ⅰ－8		第1包含層	陶器 甕	口径25.0 頸径21.5 残存高4.5 口縁～頸径の1/14	ロクロナデ	良好、石・長・黒、0.1～1 焼成良好 内外自然釉：グレイみの黄緑10YG6.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1	反転復元 内外面自然釉付着 常滑焼 中野編年3～4型式 12C末～13C初頭
1324	Ⅰ－8		第1包含層	陶器 壺か	口径14.6 残存高1.8 口縁の1/15	内外面回転ナデのち施釉	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外釉：グレイみのブラウン6YO3.5/3S 素地：灰色5Y5/1	反転復元 釉には貫入がみられる 産地・時期不明
1325	Ⅰ－9		第1包含層	須恵器 甕	口径17.8 残存高3.2 口縁の1/6	内外面ヨコナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR7/2 外：にぶい黄橙色10YR7/3	反転復元

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1332	Ⅱ－1	SB1001	遺構埋土	須恵器 蓋	口径12.0 器高4.1 ほぼ完形	口縁内外面回転ナデ、天井部外面回転ヘラケズリ、天井部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長、0.1～4　焼成良好 内：青灰色5B6/1 外：灰色 N6/0	
1333	Ⅱ－1	SB1001	遺構埋土	須恵器 高杯	口径12.4 受部径15.3 脚端径9.4 脚部高3.6 器高7.5 杯部ほぼ完形 脚部1/2	口縁外面～内面回転ナデ、杯部外面下半回転ヘラケズリ、脚部内外面回転ナデ	良好、石・長・黒、0.1～8 焼成良好 内・外：灰白色 N7/0	脚部反転復元 有蓋短脚
1334	Ⅱ－1	SB1001	遺構埋土	須恵器 高杯	口径15.0 脚部残存高8.3 残存高13.2 全体の3/4	内外面回転ナデ、杯部外面下半回転ヘラケズリ、脚部に透かし孔２カ所、脚内面に絞り痕	良好、石・長・赤・黒、0.1～3　焼成良好 内：灰白色5Y7/1 外：灰白色2.5Y7/1	脚部の一部合成・反転復元 無蓋長脚
1335	Ⅱ－1	SB1001	遺構埋土	須恵器 壺	口径8.4 頸径8.8 体部最大径14.4 残存高5.4 口縁～体部中位の1/12	内外面回転ナデ、体部下半回転ヘラケズリ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰白色5Y7/1 外：灰白色2.5Y7/1	反転復元
1336	Ⅱ－1	SB1001	遺構埋土	須恵器 ハソウ	体部最大径9.8 残存高7.5 底部～体部は完存	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリ、体部最大径付近に穿孔１カ所	粗、石・長・黒、0.1～3 焼成良好 内・外：灰白色 N7/0	
1337	Ⅱ－1	SB1001	遺構埋土	土師器 甕	口径16.1 頸径14.2 体部最大径16.8 残存高10.4 口縁～体部中位の11/12	口縁外面タテハケ（８条/cm）のちヨコナデ、体部外面タテハケ（10条/1.5cm）、口縁内面ナデ・ヨコナデ、体部内面ユビオサエのち斜ヘラケズリ（幅1.0cm以上）のちタテハケ（８条/cm）	粗、石・長・結・赤、0.1～5 焼成やや不良 内：橙色5YR6/6 外：明赤褐色5YR5/6	田川分類Ｄ－１かＤ－３類
1338	Ⅱ－1	SB1001	遺構埋土	土師器 甕	口径14.6 頸径12.9 体部最大径15.8 残存高13.8 口縁～体部下位の11/12	口縁外面タテハケ(12条/cm)のちナデ、体部外面タテハケ（12条/cm）、口縁内面ヨコハケ（11条/cm）、体部内面ユビオサエのちヨコ板ナデ(幅1.7cm以上)	良好、石・長・赤・チ・石灰、0.1～3　焼成良好 内：赤褐色5YR4/6 外：明赤褐色2.5YR5/6	田川分類Ｄ－１かＤ－３類
1339	Ⅱ－1	SB1001	遺構埋土	土師器 甕	口径22.3 頸径16.0 残存高10.5 口縁～体部中位の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（17条/cm）、口縁内面ヨコ板ナデ（幅不明）、体部内面斜ヘラケズリ（幅1.0cm以上）のち部分ナデ	精良、石・長・赤・金、0.1～2　焼成良好 内：橙色2.5YR6/6 外：橙色5YR7/6	反転復元 体部外面わずかに煤付着 田川分類Ｃ類 観音寺遺跡の自然流路出土遺物に類例あり
1340	Ⅱ－1	SB1001	遺構埋土	土師器 鍋	残存高4.2 口縁～頸部の一部	口縁外面ハケのちヨコナデ、体部外面ハケ（９条/1.6cm）、口縁内面ハケ（５条/cm）、体部外面ハケ（６条/1.3cm）	良好、石・長・赤・角、0.1～1　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR6/3 外：褐灰色10YR4/1	断面実測 外面煤付着
1341	Ⅱ－1	SB1001	遺構埋土	土師器 甑	口径25.1 頸径23.2 残存高25.7 全体の1/6	口縁端部ヨコナデ、外面タテハケ（７条/cm）、口縁～頸部内面ヨコ板ナデ（幅不明）、体部内面ユビオサエのちタテ板ナデ（幅不明）	良好、石・長・結・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR6/4	一部合成・反転復元
1342	Ⅱ－1	SB1001	遺構埋土	土師器 甑	把手部分	ナデ・ユビオサエ	粗、石・長・赤・チ・石灰、0.1～2　焼成良好 にぶい黄橙色10YR7/4	田川分類甑Ｂ類
1344	Ⅱ－3	SA1003 EP1	遺構埋土	土師質土器 杯	口径8.8 器高2.7 底径5.4 全体の1/12	内外面回転ナデ、底部外面切り離し技法不明のち板ナデ・ナデか、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元 16C 末～17C 代
1345	Ⅱ－3	SA1003 EP3	遺構埋土	土師質土器 杯	口径10.2 器高3.6 底径6.2 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面切り離し技法不明のちナデか、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元 外面に赤漆付着、木製漆碗と重ねられていたために付着したものと考えられる、土器に塗られたものではない 口縁部煤付着、灯明皿として使用か 16C 末～17C 代
1346	Ⅱ－4	SA1008 EP6	遺構埋土	土師質土器 椀	口径11.8 底径5.2 高台高0.9 器高3.9 全体の1/2	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、高台貼り付け、内面ナデ	良好、石・長、0.1～4　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	一部反転復元 内外面わずかに煤付着 吉備系土師質土器椀 山本編年Ⅲ－２期前後 13C 中葉～後葉
1347	Ⅱ－4	SA1009 EP4	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.6 底径6.6 器高1.8 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りか	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1348	Ⅱ－4	SA1009 EP4	遺構埋土	黒色土器 (B類) 椀	口径15.6 残存高4.7 口縁～体部の1/6	外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.3～0.5cm)、内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.5cm）	精良、石・結・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：黒色2.5Y2/1	反転復元 内外面炭素吸着良好
1349	Ⅱ－4	SA1009 EP4	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径28.2 頸径24.2 残存高5.9 口縁の1/12	口縁外面ヨコナデ、頸部～体部外面ユビオサエのちナデ、内面ヨコ板ナデ（幅1.2cm以上）	粗、石・長、0.1～6　焼成良好 内・外：褐色7.5YR4/3	反転復元 12C 代とみられるが古代末か
1350	Ⅱ－4	SA1009 EP9	遺構埋土	土師質土器 皿	口径11.4 器高1.6 底径8.6 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：にぶい黄橙色10YR7/3	反転復元
1351	Ⅱ－4	SA1009 EP9	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.2 残存高2.6 口縁の1/8	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.8 焼成良好 内：橙色5YR7/6 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1352	Ⅱ－4	SA1009 EP9	遺構埋土	須恵器 杯	底径9.5 残存高1.8 底部の1/7	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1354	Ⅱ－4	SA1009 EP17	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.8 器高1.1 底径7.9 全体の1/3	内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ・ナデ	良好、石・長・赤・チか、0.1～2　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 京都系土師器Ⅲ D タイプの模倣か 13C 代
1355	Ⅱ－4	SA1009 EP17	遺構埋土	瓦器 椀	底径4.6 高台高0.5 残存高1.9 底部の4/5	体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.2cm）	精良、石・長・黒、0.1～0.5 焼成良好 内：灰白色2.5Y8/1 外：暗灰黄色2.5Y5/2	一部反転復元 炭素吸着外面やや不良、内面不良 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1356	Ⅱ－4	SA1009 EP23	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.6 器高1.6 底径6.8 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板目痕、底部内面ナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR 7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1357	Ⅱ－4	SA1009 EP23	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径9.0 器高1.6 底径7.6 全体の3/5	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰黄褐色10YR4/2 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1358	Ⅱ－4	SA1009 EP23	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.8 底径7.2 器高1.2 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元
1359	Ⅱ－4	SA1009 EP23	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.5 器高1.2 底径6.3 全体の1/7	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：黄橙色10YR7/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1360	Ⅱ－4	SA1009 EP23	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.9 器高1.0 底径6.4 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り（もしくは粘土紐巻き上げの痕跡か）	良好、石・赤、0.1～2　焼成良好 内：橙色7.5YR7/6 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元
1361	Ⅱ－4	SA1009 EP23	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径9.0 器高1.3 底径7.5 全体の1/3	内外面ヨコナデ、底部外面ナデか・切り離し技法不明	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 胎土に細粒多く、表面ザラつく 京都系土師器Ⅲ D タイプの模倣か 13C 代
1362	Ⅱ－4	SA1009 EP23	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.5 器高1.1 底径6.3 全体の1/12	内外面ヨコナデ、底部外面ナデか	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR 7/3	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく 京都系土師器Ⅲ D タイプの模倣か 13C 代
1363	Ⅱ－4	SA1009 EP23	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.3 残存高2.2 口縁の1/7	内外面回転ナデ	粗、石・長、0.1～4　焼成良好 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元
1364	Ⅱ－4	SA1009 EP23	遺構埋土	土師質土器 杯	口径14.0 残存高2.6 口縁の1/21	内外面ヨコナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元 小片のため復元径は不正確 胎土に細粒多く、表面ザラつく 京都系土師器Ⅲ D タイプの模倣か 13C 代
1365	Ⅱ－4	SA1009 EP23	遺構埋土	黒色土器 （A 類） 椀	口径15.1 残存高2.5 口縁の1/18	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ナデ、内面ヨコナデのちタテ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石・赤・絹、0.1～1 焼成良好 内：黒色10Y2/1 外：にぶい黄橙色10YR7/4	反転復元
1366	Ⅱ－4	SA1009 EP23	遺構埋土	黒色土器 （B 類） 椀	底径7.4 高台高0.8 残存高2.5 底部の1/2	外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部外面高台貼付のちナデ、内面平行ヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：黒色5Y2/1	反転復元 内外面炭素吸着良好
1368	Ⅱ－4	SA1009 EP27	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径7.8 器高1.0 底径6.7 全体の1/8	内外面ヨコナデ、底部外面切り離し技法不明	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：黄橙色7.5YR8/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 胎土に細粒多く、表面ザラつく 京都系土師器Ⅲ D タイプの模倣か 13C 代
1369	Ⅱ－4	SA1009 EP27	遺構埋土	土師器 杯	口径11.0 残存高3.3 口縁～体部の1/8	口縁外面ナデ・ヨコナデ、外面ナデ、口縁内面ナデ、内面ナデのち放射状暗文（幅0.1cm）	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内：黄灰色2.5Y4/1 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内面炭素付着 土師器杯 C か　7 C 代
1370	Ⅱ－4	SA1009 EP28	遺構埋土	黒色土器 （A 類） 椀	口径14.3 残存高3.2 口縁の1/20	外面ヨコナデ、内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石・長・結・赤、0.1～4　焼成良好 内：褐灰色10YR4/1 外：黄橙色7.5YR7/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1371	Ⅱ－4	SA1009 EP28	遺構埋土	土師器 羽釜	口径24.2 頸径29.7 残存高2.6 口縁の1/22	外面ヨコナデ・鍔部貼り付け、内面ヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：灰黄褐色10YR6/2 外：灰褐色7.5YR6/2	反転復元 摂津 C 型羽釜 11C 代前後
1372	Ⅱ－4	SA1010 EP7	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高3.9 口縁～体部の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y4/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 酸化炎焼成気味 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1373	Ⅱ－4	SA1010 EP11	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径35.2 頸径31.6 残存高14.3 ほぼ全体の1/9	口縁端部3条（ヨコハケか）、口縁～頸部外面ユビオサエのちヨコナデ、体部上位外面タテハケ（3～4条/cm）のちユビオサエのちヨコナデ・ナデ、体部下位外面ユビオサエのち斜ハケ（3～4条/cm）、口縁～頸部内面ヨコナデ、体部上位内面ヨコ板ナデ（幅不明）、体部下位内面ヨコハケ（3条/cm）	良好、石・長・赤・角、0.1～2　焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 瀬戸内沿岸～大阪湾岸からの搬入

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1374	Ⅱ－4	SA1011 EP1	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.4 底径5.2 高台高0.6 器高5.4 完形	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1～0.2cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1375	Ⅱ－4	SA1011 EP9	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.3 残存高4.3 口縁～体部の1/7	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、口縁～体部上位内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.3cm）、体部下位内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	精良、石、0.1～1　焼成良好 内：灰白色2.5Y7/1 外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1376	Ⅱ－4	SA1011 EP10	遺構埋土	白磁 椀	口径12.8 残存高3.2 口縁～体部の1/24	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色7.5YR8/1	反転復元 器表面微細な気泡が浮き出しザラつく、一部灰黄色に変色、二次的な被熱によるものか 森田分類白磁椀C群かE群 15C～16C 代
1377	Ⅱ－4	SA1011 EP15	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径9.0 器高1.6 底径6.3 全体の1/3	口縁～体部外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、口縁～体部内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデ	良好、石、0.1～1　焼成良好 内：灰色 N4/0 外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行
1378	Ⅱ－4	SA1011 EP15	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 底径4.1 高台高0.5 器高4.8 全体の1/6	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 硬質な須恵質焼成 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1379	Ⅱ－4	SA1011 EP15	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 底径3.6 高台高0.4 器高5.1 全体の1/3	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1382	Ⅱ－5	SA1014 EP3	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.9 残存高3.3 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.15cm）	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 口縁の一部酸化炎焼成 胎土に細粒多く、ややザラつく 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1383	Ⅱ－5	SA1014 EP3	遺構埋土	須恵質土器 甕	口径22.0 頸径18.7 残存高6.4 口縁の1/6	外面平行タタキのち回転ナデ、内面回転ナデ	良好、石・長・黒・白色粒、0.1～2　焼成やや不良 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元
1384	Ⅱ－4	SA1014 EP24	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径7.8 器高0.9 底径6.8 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか	粗、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
1385	Ⅱ－4	SA1014 EP24	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長6.7 径4.2 孔径2.1 重量88.0g ほぼ完存	ナデ	良好、石・長・赤、0.1～6 焼成良好 浅黄橙色7.5YR8/6	
1386	Ⅱ－5	SA1017 EP4	遺構埋土	白磁 Ⅲ	口径10.8 器高3.0 底径5.0 全体の1/6	ロクロナデのち底部外面回転ヘラケズリ、内面～体部外面まで施釉、底部外面露胎	精良　焼成良好 釉：うすい黄緑8Y8.5/3S 素地：灰白色7.5YR8/1 微細な黒斑あり	反転復元 釉に細かい貫入あり 大宰府分類白磁ⅢV－2類 11C 後半～12C 前半
1387	Ⅱ－5	SA1017 EP4	遺構埋土	白磁 椀	口径15.4 残存高3.3 口縁～体部の1/20	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色5Y8/1 微細な黒斑あり	反転復元 口縁の玉縁が小さいので、Ⅰ～Ⅲ類のいずれか 釉は黄色みを帯び、貫入はみられない、胎土は灰色気味で粗めであることから、大宰府分類白磁椀Ⅲ類か 11C 後半～12C 前半
1388	Ⅱ－5	SA1018 EP1	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.6 残存高4.3 口縁～体部の1/3	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：暗灰色 N3/0	反転復元 体部外面に接合痕あり 内外面炭素吸着良好 内外面磨耗によ調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1389	Ⅱ－5	SA1018 EP8	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.0 器高1.3 底径5.8 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～8 焼成良好 内・外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元
1390	Ⅱ－5	SA1018 EP8	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高2.3 口縁～体部の1/10	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内・外：灰白色2.5Y8/1	反転復元 内外面炭素吸着なし 酸化炎焼成気味、被熱によるカーボン消失か 胎土から模倣品か 和泉型瓦器Ⅲ－3期併行か
1391	Ⅱ－5	SA1045 EP5	遺構埋土	土師質土器 杯	口径14.9 残存高3.8 口縁～体部の1/5	内外面回転ナデ	粗、石・長・赤、0.1～3 焼成やや不良 内・外：橙色5YR6/6	反転復元
1392	Ⅱ－5	SA1045 EP6	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 残存高4.4 口縁～体部の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、底部内面平行ヘラミガキ暗文	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：黄灰色2.5Y4/1 外：褐灰色10YR4/1	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1394	Ⅱ－4	SA1049 EP1	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径7.9 器高1.4 底径6.0 全体の1/4	口縁～体部外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、口縁～体部内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、底部内面ナデ・平行ヘラミガキ暗文（幅0.2cm）	良好、石、0.1～1　焼成良好 内：灰色 N4/0 外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1396	Ⅱ－4	SA1049 EP3	遺構埋土	白磁 碗	口径15.3 残存高4.3 口縁～体部の1/15	ロクロナデのち内面櫛描施文 のち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色10YR8/1	反転復元 内外面わずかに釉とび、貫入あり 大宰府分類白磁碗Ⅴ－4ｂ類 12C 中葉～後半
1397	Ⅱ－4	SA1049 EP4	遺構埋土	須恵器 杯	口径14.8 残存高3.5 口縁～体部の1/11	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：灰白色10YR7/1	反転復元 口縁内面やや磨耗気味
1398	Ⅱ－5	SA1052 EP5	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径20.7 鍔径23.0 残存高10.3 口縁～体部下位の1/6	口縁～鍔部ヨコナデ、体部外面（上位）ユビオサエのちナデ（中位）格子タタキのち斜板ナデ（幅0.8cm）（下位）格子タタキ、口縁内面ヨコハケ（4～5条/cm）、体部内面タテ・ヨコハケ（4～5条/cm）のち部分的に板ナデ	粗、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：にぶい褐色7.5YR5/3	反転復元・一部合成 鍔部以下煤付着 13C 後半～14C 前半か
1399	Ⅱ－7	SA1021 EP4	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.6 器高0.8 底径6.3 全体の1/6	内外面ヨコナデ、底部外面ナデか、底部内面ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：灰白色10YR8/2	反転復元 内外面磨耗・剥離により調整不明瞭 京都系土師器皿Ｂタイプに近似する 11C 前後か
1400	Ⅱ－7	SA1021 EP4	遺構埋土	土師質土器 杯	口径9.6 器高2.6 底径6.3 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りか	良好、石・長・在地花か、0.1～1　焼成やや不良 内・外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1401	Ⅱ－7	SA1024 EP1	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.5 残存高1.8 口縁～体部の1/6	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元 外面磨耗により調整不明瞭
1402	Ⅱ－7	SA1024 EP1	遺構埋土	土師質土器 杯か皿	底径7.1 残存高1.7 底部～体部下位の1/9	内外面回転ナデ、底部外面ナデか	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元
1403	Ⅱ－7	SA1024 EP1	遺構埋土	青磁 皿	口径10.8 残存高0.8 口縁の1/12	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 粗い貫入あり 15C～16C 代か
1404	Ⅱ－7	SA1023 EP1	遺構埋土	土師質土器 杯	口径10.9 残存高1.6 口縁の1/16	内外面ヨコナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1405	Ⅱ－7	SA1023 EP1	遺構埋土	土師質土器 杯	口径10.5 器高1.9 底径8.1 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ・板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤・泥、0.1～3　焼成やや不良 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
1406	Ⅱ－7	SA1023 EP1	遺構埋土	黒色土器 (B類) 椀	口径12.8 残存高3.0 口縁～体部の1/20	内外面ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石、0.1～1　焼成良好 内・外：黒色 N2/0	反転復元 炭素吸着良好で胎土内部まで黒色化 大和型瓦器椀Ⅰ期か 11C 代
1407	Ⅱ－7	SA1023 EP13	遺構埋土	土師質土器 杯か皿	口径9.8 残存高1.9 口縁～体部の1/6	内外面回転ナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
1408	Ⅱ－7	SA1023 EP17	遺構埋土	土師質土器 杯か皿	口径9.8 器高2.2 底径5.4 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：淡橙色5YR8/3	
1409	Ⅱ－7	SA1023 EP17	遺構埋土	土師質土器 杯か皿	口径9.9 器高1.9 底径5.3 全体の1/10	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか	精良、石・長、0.1～1　焼成堅緻 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元
1410	Ⅱ－7	SA1023 EP17	遺構埋土	土師質土器 杯か皿	口径11.0 残存高2.2 口縁～体部の1/8	内外面回転ナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成堅緻 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1411	Ⅱ－7	SA1023 EP17	遺構埋土	白磁 皿	口径10.9 残存高2.0 口縁～体部の1/6	ロクロナデ、外面回転ヘラケズリ・高台削り出しのち内面～体部下位外面施釉	精良　焼成良好 釉：白6yO9.5/0 素地：灰白色2.5Y8/1 微細な黒斑あり	反転復元 釉、細かい貫入あり、内外面釉とびあり 森田分類白磁Ⅲ Ｄ群 15C 前半
1412	Ⅱ－7	SA1023 EP21	遺構埋土	土師質土器 杯か皿	口径10.7 残存高1.9 口縁～体部の1/8	内外面回転ナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成堅緻 内・外：浅黄橙色7.5YR8/3	反転復元 胎土に細粒多く、ややザラつく
1413	Ⅱ－7	SA1023 EP21	遺構埋土	青磁 碗	残存高3.2 底部～体部下位の一部	外面ロクロナデのち高台削り出しのち施釉、内面蕨手文型押し	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 6.5/3S 素地：灰色5Y7/1	断面実測 釉に粗い貫入あり 明代 14C 代
1414	Ⅱ－7	SA1023 EP22	遺構埋土	土師質土器 皿	口径11.8 器高1.7 底径8.0 全体の1/9	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ	良好、石・長・絹、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元
1415	Ⅱ－8	SA1025 EP8	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径24.4 鍔径27.8 残存高4.2 口縁の1/14	口縁内外面～鍔部ヨコナデ、体部外面ヨコナデのち平行タタキ（3条/cm）、体部内面ヨコ板ナデ	精良、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内：橙色2.5YR7/8 外：灰褐色7.5YR5/2	反転復元 鍔部以下煤付着 播磨型羽釜 長谷川編年Ⅵ～Ⅶ期 15C 後半～16C 中葉
1416	Ⅱ－7	SA1026 EP12	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.8 残存高1.0 口縁の1/9	内外面回転ナデ	良好、石・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
1417	Ⅱ－7	SA1026 EP12	遺構埋土	土師質土器 杯	底径7.8 残存高1.2 底部～体部下位の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板目痕、底部内面ナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元
1418	Ⅱ－7	SA1053 EP6	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.9 底径4.8 高台高0.5 器高5.5 全体の1/7	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	一部反転復元 炭素吸着内面良好、外面やや不良、重焼痕 和泉型Ⅲ－1期 12C 後葉

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1420	Ⅱ－7	SA1055 EP3	遺構埋土	染付 碗	口径13.9 残存高4.6 口縁～体部下位の1/12	内外面ロクロナデのちアラベスク文絵付	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N7/0	反転復元 小野分類染付碗Ｄ群Ⅳ類 15C 後葉～16C 前半
1421	Ⅱ－9	SA1029 EP5	遺構埋土	土師質土器 皿	口径11.6 器高2.2 底径8.6 全体の1/10	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR6/3 外：灰赤色2.5YR6/2	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1422	Ⅱ－9	SA1029 EP5	遺構埋土	灰釉陶器 碗	口径12.0 残存高3.7 口縁～体部の1/16	内外面回転ナデのち施釉	精良、石・長、0.1～1.5 焼成良好 内：灰黄褐色10YR6/2 外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 釉厚は内面が厚く外面は薄く、色調にも反映されている 体部下位内面に赤色顔料付着 O53～H72窯式期か 10C～11C 初頭
1426	Ⅱ－11	SA1036 EP1	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.2 残存高1.3 口縁の1/12	外面ヨコナデか、内面ヨコナデか・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
1427	Ⅱ－11	SA1036 EP1	遺構埋土	瓦器 椀	口径12.9 残存高1.5 口縁の1/15	外面ヨコナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.2cm)	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 小片のため復元径は小さい可能性あり 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－2期 13C 前葉～後葉
1428	Ⅱ－11	SA1036 EP1	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長3.4 径0.9 孔径0.3 重量2.1g 全体の1/2	ユビオサエ・ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色2.5YR7/6	
1429	Ⅱ－11	SA1036 EP1	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長2.9 径1.1 孔径0.4 重量1.8g 全体の1/2	ユビオサエ・ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色2.5YR7/6	
1432	Ⅱ－11	SA1037 EP4	遺構埋土	土師質土器 杯か皿	口径10.9 器高2.0 底径6.8 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元
1433	Ⅱ－11	SA1037 EP6	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.5 底径6.3 器高1.7 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：淡橙色5YR8/4	反転復元
1434	Ⅱ－11	SA1037 EP6	遺構埋土	青磁 鉢か	残存高4.1 体部の一部	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみのオリーブグリーン10YG5.5/3S 素地：灰白色 N8/0	断面実測 外面に牡丹か、花文か 大型品で碗ではなく、鉢か 釉が分厚い 15C 代
1435	Ⅱ－11	SA1038 EP1	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.6 底径7.2 器高1.2 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元
1436	Ⅱ－11	SA1039 EP7	遺構埋土	陶器 碗	口径9.6 底径4.3 高台高1.0 器高7.2 全体の4/5	ロクロナデ、体部下位外面回転ヘラケズリ、高台削り出しのち内面～体部下位外面施釉、体部下端外面以下露胎	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 鉄釉：グレイみのブラウン6YO4.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1	一部反転復元 釉に貫入あり 近世瀬戸美濃系か、天目茶碗
1437	Ⅱ－5	SG1005 EP5	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	底径12.0 残存高5.7 底部～体部下位の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板ナデか、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・黒・泥か、0.1～2　焼成良好 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 内面ほとんど磨耗せず 東播系須恵質土器捏鉢
1438	Ⅱ－1	SK1008	遺構埋土	瓦器 椀	口径16.0 残存高2.8 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面磨耗により調整不明瞭 口縁歪みのため復元径が大きい 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1439	Ⅱ－1	SK1010	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.4 残存高2.9 口縁～体部の1/16	口縁外面ナデ・ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面部分的にヘラミガキ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内：褐灰色10YR4/1 外：黒褐色10YR3/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 酸化炎焼成気味 被熱によるものか 胎土に細粒多く、表面ザラつく 和泉型Ⅲ－3期前後か 13C 前葉
1440	Ⅱ－1	SK1010	遺構埋土	白磁 碗	残存高2.2 口縁の一部	ロクロナデのち内面櫛描き文、外面連続する細いタテヘラ描き沈線のち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/1	断面実測 大宰府分類白磁碗Ⅴ－4ｃ類 12C 中葉～13C 前半
1441	Ⅱ－1	SK1011	遺構埋土	土師質土器 杯か	口径13.0 残存高2.3 口縁～体部の1/13	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコナデか、内面ヨコナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成やや不良 内：橙色5YR6/6 外：橙色7.5YR6/6	反転復元 酸化炎焼成気味 瓦器椀か
1442	Ⅱ－1	SK1011	遺構埋土	瓦製 球状加工品	長さ2.6 幅2.6 厚さ2.4 重量14.9g	瓦片を球状に研削整形	良好、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 灰白色5Y7/1	部分的に布目圧痕が観察できる
1443	Ⅱ－1	SK1015	遺構埋土	土師質土器 杯	底径9.8 残存高1.4 底部～体部下位の3/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長・赤・石灰、0.1～2　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元
1444	Ⅱ－1	SK1015	遺構埋土	瓦器 皿	口径8.4 底径6.6 器高1.6 完形	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	内外面炭素吸着やや不良 外面重焼痕 酸化炎焼成気味 和泉型瓦器Ⅳ期併行か
1445	Ⅱ－1	SK1015	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.4 残存高3.8 口縁～体部の1/6	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文か（幅0.15cm）	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内：暗灰色 N3/0 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1446	Ⅱ－1	SK1015	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.0 残存高3.3 口縁～体部の1/5	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1447	Ⅱ－1	SK1021	遺構埋土	土師質土器 鍋	残存高4.1 口縁の一部	口縁内外面～頸部外面ヨコナデのちヨコ板ナデ(幅不明)、体部外面ヨコ板ナデ（幅不明)、体部内面ナデか	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：にぶい赤褐色5YR5/4 外：灰褐色7.5YR4/2	断面実測 外面煤付着 内面炭素付着
1448	Ⅱ－1	SK1021	遺構埋土	土師質土器 捏鉢	口径28.7 残存高3.0 口縁の1/16	口縁外面～内面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR7/3	反転復元 東播系の焼成不良品か 森田編年第Ⅲ期第1～2段階 13C 前半～14C 前半か
1449	Ⅱ－1	SK1024	遺構埋土	瓦器 椀	底径6.1 高台高0.5 残存高2.8 底部～体部下位の1/2	体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：浅黄色2.5Y7/3	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 内面重焼痕 和泉型Ⅲ－3期前後か 13C 前葉
1450	Ⅱ－1	SK1026	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 底径4.5 器高1.4 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元
1451	Ⅱ－1	SK1026	遺構埋土	土師質土器 杯	底径6.0 残存高2.0 底部～体部下位の4/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、内面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：浅黄橙色10YR8/3	一部反転復元
1452	Ⅱ－1	SK1026	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.0 残存高3.2 口縁～体部の1/10	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成不良 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 和泉型Ⅳ－2期か 13C 後葉
1453	Ⅱ－1	SK1026	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	底径10.1 残存高3.5 底部～体部下位の2/9	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 内面使用により磨耗 東播系須恵質土器捏鉢
1454	Ⅱ－1	SK1028	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径25.8 残存高4.0 口縁～体部の1/12	外面回転ナデのちナデ、内面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：灰白色5Y7/1	反転復元 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1段階 12C 中葉～後半
1455	Ⅱ－1	SK1028	遺構埋土	土師質土器 羽釜	鍔径39.6 残存高2.7 鍔部の1/12	鍔部貼付のちユビオサエ・ヨコナデ、体部外面ヨコ板ナデ（幅不明）か、内面ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石、0.1～5　焼成良好 内：灰黄褐色10YR6/2 外：灰褐色7.5YR6/2	反転復元 鍔部下面以下外面煤付着 奥井分類河内型羽釜Ⅰか Ⅱ型 13C 代か
1456	Ⅱ－1	SK1029	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.1 残存高2.7 口縁～体部の1/10	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・赤、0.1～1　焼成やや不良 内：黒褐色10YR3/1 外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1457	Ⅱ－1	SK1029	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長5.6 径1.2 孔径0.4 重量6.4g ほぼ完存	ユビオサエ・ナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 灰黄褐色10YR6/2	
1458	Ⅱ－1	SK1034	遺構埋土	土師器 甕	口径18.2 頸径16.0 体部最大径21.0 残存高14.8 口縁～体部の1/3	口縁内外面ヨコナデ、頸部外面タテハケ（5条/0.8cm）のちヨコナデ、体部外面タテハケ（4条/cm)、体部内面（上位）ヨコハケ（6条/cm)・(中位）タテヘラケズリ（幅1.0cm以上）	粗、石・長・結・赤・絹、0.1～5　焼成良好 内：にぶい褐色7.5YR6/3 外：にぶい黄橙色10YR7/2	反転復元 古墳時代後期
1459	Ⅱ－1	SK1058	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.4 底径5.5 器高1.3 全体の4/11	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：灰褐色7.5YR6/2	反転復元
1460	Ⅱ－1	SK1058	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.2 残存高4.2 口縁～体部の2/15	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石・赤、0.1～1　焼成やや不良 内・外：褐灰色10YR4/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C 前葉～中葉
1461	Ⅱ－1	SK1058	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.9 残存高3.6 口縁～体部の2/13	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面磨耗不明	良好、石・長、0.1～2　焼成やや不良 内：黒色5Y2/1 外：黒色2.5Y2/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 内面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C 前葉～中葉
1464	Ⅱ－4	SK1093	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.3 器高1.4 底径5.2 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良　好、石・長・チ、0.1～5　焼成やや不良 内：褐灰色7.5YR5/1 外：褐灰色10YR4/1	反転復元 内外面磨耗気味
1465	Ⅱ－4	SK1094	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.2 器高3.9 底径6.1 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～4 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元
1466	Ⅱ－4	SK1094	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.9 器高3.9 底径6.1 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内：橙色5YR7/6 外：橙色5YR7/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1467	Ⅱ－4	SK1094	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.7 器高4.0 底径6.2 全体の4/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元
1468	Ⅱ－4	SK1096	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.1 器高1.2 底径6.3 全体の1/10	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りか、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1469	Ⅱ－4	SK1096	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 器高1.4 底径6.6 全体の4/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 胎土に細粒多く、わずかにザラつく
1470	Ⅱ－4	SK1096	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.0 器高1.5 底径6.0 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1471	Ⅱ－4	SK1096	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.9 器高1.0 底径5.9 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1472	Ⅱ－4	SK1096	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.6 残存高2.5 口縁の1/12	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成やや不良 内：浅黄橙色10YR8/3 外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 胎土に細粒多く、ややザラつく
1473	Ⅱ－4	SK1096	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.9 底径3.6 高台高0.3 器高3.1 全体の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：灰白色2.5Y8/1 外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 口縁内面～体部外面炭素吸着（やや不良） 器形に歪みあるため、復元径は扁平、復元口径もやや大きい 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期か 13C 前葉～中葉
1474	Ⅱ－4	SK1096	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高2.6 口縁～体部の1/9	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石、0.1～2　焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1475	Ⅱ－4	SK1096	遺構埋土	陶器 碗	口径13.0 残存高3.0 口縁～体部の1/4	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：灰白色2.5Y8/1	反転復元 口縁内外面炭素付着、重焼痕 備前焼 重根編年ⅡA期前半 13C 中葉～後葉
1476	Ⅱ－4	SK1096	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.5 径0.9 孔径0.2 重量3.30g 全体の9/10	ユビオサエ・ナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 灰白色10YR7/1	器表面磨耗気味
1477	Ⅱ－4	SK1097	遺構埋土	白磁 碗	口径16.6 残存高2.8 口縁～体部の1/8	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：うすい黄8Y8.5/3S 素地：灰白色5Y8/1	反転復元 破面側面著しく磨耗、使用によるものか 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C 後半～12C 前半
1478	Ⅱ－4	SK1104	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 器高1.3 底径6.1 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	粗、石・長・赤・チか、0.1～2　焼成良好 内・外：黄橙色7.5YR7/8	反転復元
1479	Ⅱ－4	SK1104	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.0 残存高2.6 口縁～体部の1/9	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1480	Ⅱ－4	SK1105	遺構埋土	瓦器 皿	口径8.8 残存高1.8 口縁～体部の1/6	口縁～体部外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：灰白色2.5Y7/1 外：黄灰色2.5Y4/1	反転復元 炭素吸着内面やや不良、外面良好 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行
1481	Ⅱ－4	SK1105	遺構埋土	瓦器 椀	底径2.8 高台高0.2 残存高0.8 底部の1/4	体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのち螺旋状ヘラミガキ暗文（幅0.3cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 紀伊型瓦器椀か、和泉型Ⅳ－1期前後併行か 13C 中葉
1482	Ⅱ－4	SK1105	遺構埋土	瓦質 有溝土錘	長さ4.8 幅3.6 厚さ3.4 重量53.2g ほぼ完形	ナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成やや不良 黄灰色2.5Y4/1	
1483	Ⅱ－4	SK1108	遺構埋土	瓦器 皿	口径8.0 底径6.6 残存高1.1 全体の1/5	口縁～体部外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、内面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰色 N4/0 外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 胎土に細粒多く、表面ザラつく 和泉型瓦器Ⅳ期併行
1484	Ⅱ－4	SK1108	遺構埋土	瓦器 椀	口径12.8 残存高3.6 口縁～体部の1/13	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	精良、石、0.1～1　焼成やや不良 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 内外面炭素吸着なし 酸化炎焼成、被熱によるカーボン消失か 和泉型かⅣ－2期前後か 13C 後葉
1485	Ⅱ－4	SK1108	遺構埋土	白磁 碗	口径15.0 残存高2.5 口縁の1/17	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 外面釉とびあり 体部上位内面に沈線1条 大宰府分類白磁碗Ⅴ－4aまたはⅧ－2類 12C 中葉～13C 前半
1486	Ⅱ－4	SK1108	遺構埋土	土師質 管状土錘	復元長5.8 径0.9 孔径0.3 重量3.7g 全体の9/10	ナデ	精良、石・チか、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色2.5YR6/6	器表面部分的に強く赤色を帯びる
1487	Ⅱ－4	SK1109	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.5 器高1.1 底径6.7 全体の1/8	内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデか、切り離し技法不明、底部内面ヨコナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR7/4	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく 京都系土師器皿Dタイプの模倣
1488	Ⅱ－4	SK1109	遺構埋土	瓦器 皿	口径7.9 底径5.8 残存高1.4 全体の1/8	口縁～体部外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ヨコナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 胎土に細粒多く、わずかにザラつく 和泉型瓦器Ⅳ期併行
1489	Ⅱ－4	SK1109	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 残存高3.2 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、口縁内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）、体部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文か（幅0.1cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：灰黄色2.5Y6/2 外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期か 13C 前葉～中葉
1490	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.0 器高1.7 底径5.4 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内／外：にぶい黄橙色10YR7/3	反転復元

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1491	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.4 器高1.2 底径7.8 全体の1/2	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ヨコナデ、底部内面ナデ	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR 7/4	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく 京都系土師器Ⅲ D タイプの模倣 13C 代
1492	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.1 器高1.1 底径7.5 全体の2/3	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、内面ヨコナデ、底部内面ヨコナデのちナデ	良好、石・長・赤・チ、0.1～4　焼成やや不良 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく 京都系土師器Ⅲ D タイプの模倣 13C 代
1493	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.7 器高3.5 底径12.5 全体の4/5	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、内面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	金雲母含まず 胎土に細粒多く、ややザラつく 京都系土師器Ⅲ D タイプの模倣 13C 代
1494	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.2 器高3.4 底径12.3 全体の4/5	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、内面ヨコナデ・ナデ	粗、石・長・赤・石灰か、0.1～2　焼成良好 内・外：橙色7.5YR7/6	金雲母含まず 京都系土師器Ⅲ D タイプの模倣 13C 代
1495	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径7.6 器高1.6 底径6.5 全体の1/2	口縁～体部外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、内面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：灰色 N5/0	内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅳ期併行
1496	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径7.4 底径5.2 残存高1.2 全体の1/6	口縁～体部外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ヨコナデ、底部内面ナデ	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅳ期併行
1497	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 底径4.9 高台高0.2 器高3.9 全体の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.15cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰白色5Y7/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 硬質な須恵質焼成 和泉型Ⅳ－1期 13C 中葉
1498	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 底径4.2 高台高0.2 器高4.2 全体の3/5	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内：黄灰色2.5Y6/1 外：灰白色2.5Y8/1	一部反転復元 内外面炭素吸着やや不良 内外面剥離・磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1499	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.1 底径3.5 高台高0.3 器高4.1 全体の5/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、口縁～体部上位内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.2cm)、体部下位～底部内面ナデのち連結輪状ヘラミガキ暗文（幅0.1～0.5cm）、平行ヘラミガキ暗文(幅0.1cm)	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 紀伊型瓦器椀か、和泉型Ⅲ－3期併行か 13C 前葉
1500	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.9 残存高4.1 口縁～体部の1/9	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、口縁～体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、底部内面ナデのち螺旋状かヘラミガキ暗文（幅0.2cm）	良好、石・赤、0.1～3　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着やや不良、重焼痕 紀伊型瓦器椀か、和泉型Ⅲ－3期併行か 13C 前葉
1501	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.6 底径2.5 高台高0.1 器高3.7 全体の4/5	口縁外面ナデ・ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、口縁内面ヨコナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.15cm）	良好、石・長・チ、0.1～5　焼成やや不良 内：灰黄色2.5Y7/2 外：にぶい黄橙色10YR7/2	内外面炭素吸着不良 内外面剥離・磨耗により調整不明瞭 在地産とみられる 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ－1期併行か 13C 前葉～中葉
1502	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高3.3 口縁～体部の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰黄色2.5Y6/2	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1503	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	瓦器 椀	口径12.8 残存高2.6 口縁～体部の1/14	口縁外面ナデ・ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、口縁内面ヨコナデ、体部内面ナデのちミガキ（剥離不明）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：淡赤橙色2.5YR7/4	反転復元 内外面炭素吸着なし 酸化炎焼成、被熱によるカーボン消失か 内外面剥離により調整不明瞭 和泉型かⅣ－2期前後か 13C 後葉
1504	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高2.3 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.2～0.3cm)	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：(口縁)浅黄橙色10YR8/4 (体部)橙色5YR7/6	反転復元 内外面炭素吸着なし 酸化炎焼成 和泉型かⅣ－2期前後か 13C 後葉
1505	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	青磁 碗	口径16.2 残存高5.5 口縁～体部の1/4	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色5Y7/2	反転復元 釉透明度高く、貫入あり 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－1類か 12C 中頃～後半
1506	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	青磁 碗	底径5.6 高台高0.8 残存高2.5 底部～体部下位の1/2	ロクロナデのち高台削り出しのち施釉	精良　焼成良好 釉：くらい黄8Y6.5/5S 素地：灰白色2.5Y7/1	反転復元 釉色が若干異なるがNo1505と同一個体か 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－1類か、ただし底部の器壁は厚くない 釉は畳付におよぶが高台内側には達せず高台内側は露胎 13C 代の瓦器椀と共伴するので、中世後半期とは考えにくい
1507	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	青白磁 瓶か	体部最大径7.7 底径5.0 残存高4.0 底部～体部下位の1/4	上部型押し、下部ロクロナデ、のち接合	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色5YR8/1	反転復元 内外面釉に貫入あり

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1508	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.3 径1.4 孔径0.4 重量7.0g 全体の9/10	ユビオサエのちナデ	粗、石・長・赤・チ、0.1～3　焼成良好 にぶい橙色7.5YR7/4	
1510	Ⅱ－4	SK1137	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.4 器高1.3 底径5.6 全体の3/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面ナデ	良好、石・赤、0.1～2　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	胎土に細粒多く、表面ザラつく
1511	Ⅱ－4	SK1137	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 器高1.4 底径4.9 全体の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元 内外面剥離・磨耗により調整不明瞭
1512	Ⅱ－4	SK1139	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.1 底径3.3 高台高0.2 器高4.4 全体の2/3	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付、内面ナデか、ミガキは確認できず	粗、石・長・チ、0.1～4 焼成良好 内・外：灰白色 N7/0	一部反転復元 内外面炭素吸着不良、吸着は不安定 体部内外面接合痕あり 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ－2期併行か 13C 前葉～後葉
1513	Ⅱ－4	SK1139	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.0 径1.3 孔径0.4 重量5.3g ほぼ完存	ユビオサエ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 浅黄橙色7.5YR8/6	
1514	Ⅱ－4	SK1151	遺構埋土	土師質土器 高脚高台付 皿	口径14.2 高台高2.4 底径8.0 器高4.9 全体の2/3	内外面回転ナデ、高台貼り付け	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	一部反転復元 古代末か
1515	Ⅱ－5	SK1177	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.4 残存高3.2 口縁～体部の1/6	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/2 外：浅黄橙色7.5YR8/3	反転復元
1516	Ⅱ－5	SK1190	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.0 器高1.0 底径7.2 全体の1/10	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1517	Ⅱ－5	SK1190	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.9 器高1.3 底径7.0 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面切り離し技法不明	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1518	Ⅱ－5	SK1190	遺構埋土	土師質土器 杯	口径15.7 残存高4.0 口縁～体部の1/3	外面ヨコナデ、口縁内面ヨコナデ、体部内面ナデ	良好、石・長・結・赤、0.1～3　焼成やや不良 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1519	Ⅱ－5	SK1190	遺構埋土	土師器 羽釜	口径21.0 鍔径25.8 残存高3.1 全体の1/12	口縁外面ヨコナデ、鍔部貼付のちヨコナデ・ナデ、体部外面ユビオサエ、内面ヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・長・赤・金、0.1～1　焼成良好 内・外：にぶい褐色7.5YR6/3	反転復元 内外面わずかに煤付着 内外面磨耗により調整不明瞭 搬入品 摂津Ｃ型羽釜 10C～11C 代
1521	Ⅱ－7	SK1197	遺構埋土	瓦器 皿	口径8.8 器高1.9 底径7.2 完形	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ、底部内面ナデか	良好、石・長、0.1～4　焼成良好 内・外：灰白色10YR7/1	内外面炭素吸着やや不良 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ－1期併行
1522	Ⅱ－7	SK1197	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高4.2 口縁～体部の1/15	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、口縁～体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデのち螺旋状ヘラミガキ暗文か（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 紀伊型瓦器椀か、和泉型瓦器Ⅲ－3期併行か 13C 前葉
1523	Ⅱ－7	SK1197	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高2.3 口縁～体部の1/15	口縁外面ユビオサエのちヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1524	Ⅱ－7	SK1197	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.6 残存高3.7 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、口縁～体部内面ヨコハケ（7条/0.5cm）、底部内面タテハケ（7条/0.5cm）のち斜方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石、0.1～1　焼成良好 内・外：灰白色2.5Y8/1	反転復元 口縁内外面～体部下位内面炭素吸着（やや不良）、重焼痕 和泉型かⅢ－3期か 13C 前葉
1525	Ⅱ－7	SK1209	遺構埋土	須恵器 甕	残存高10.4 体部上位の一部	外面平行タタキ（3条以上/cm）のちカキメ、内面同心円状当具痕のちヨコナデ	精良、石・長・黒、0.1～4 焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰色7.5Y6/1	断面実測 胴部最大径30cm程度の甕
1527	Ⅱ－7	SK1211	遺構埋土	須恵器 杯	口径15.7 受部径18.0 残存高2.3 口縁の1/16	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～3　焼成良好 内：黄灰色2.5Y6/1 外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 古墳時代後期
1528	Ⅱ－7	SK1212	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.2 残存高4.2 口縁～体部の1/6	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、口縁～体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文(幅0.1cm)	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：黒色2.5Y2/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 炭化物が付着 和泉型Ⅲ－2期 12C 末～13C 初頭
1529	Ⅱ－7	SK1212	遺構埋土	瓦器 椀	底径5.1 高台高0.6 残存高3.4 底部～体部下位の2/5	体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのち斜格子状ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：暗灰色 N3/0 外：オリーブ黒5Y3/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ期 12C 後葉～13C 前葉
1530	Ⅱ－7	SK1213	遺構埋土	青磁 碗	底径5.7 高台高1.1 残存高4.3 底部1/3	ロクロナデのち体部外面回転ヘラケズリ、高台削り出しのち内面～高台外側まで施釉、釉の一部は畳付にまで達する	やや粗、石・長、0.1～1 焼成良好 釉：グレイみの緑12G6.5/3S 素地：灰白色 N7/0 微細な黒斑含む	反転復元 釉透明度高く、貫入あり 上田分類Ｄ－Ⅰ類 14C～15C 代
1532	Ⅱ－7	SK1216	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.7 残存高1.1 口縁の1/4	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1533	Ⅱ－7	SK1216	遺構埋土	土師質土器 杯	底径7.0 残存高2.0 底部～体部下位の1/7	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：淡橙色5YR8/4	反転復元
1534	Ⅱ－7	SK1216	遺構埋土	青磁 皿	口径11.4 残存高1.8 口縁の1/4	ロクロナデのち体部下位外面回転ヘラケズリ、内面ヘラ片彫施文のち内外面施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 6.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1	反転復元 釉に粗い貫入あり 龍泉窯系稜花皿 15C 初頭～16C 中葉か
1535	Ⅱ－7	SK1216	遺構埋土	青磁 碗	口径15.5 残存高4.0 口縁の1/10	ロクロナデのち体部外面ヘラ片彫蓮弁文（鎬省略）施釉、体部内面雲形または花文を施文	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 7.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1	反転復元 ごく粗い貫入あり、釉厚い 上田分類Ｂ－Ⅲ類 15C 代
1536	Ⅱ－7	SK1216	遺構埋土	青磁 碗	底径5.0 高台高1.3 残存高3.8 底部～体部下位の4/5	ロクロナデのち高台削り出し、体部外面ヘラ先による細蓮弁文、全面施釉のち底部外面の釉を輪状に掻き取り	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色10YR8/1	一部反転復元 釉は白濁し透明度なし、ごく粗い貫入 細蓮弁文は不明瞭 底部外面露胎部は赤褐色に発色 輪積痕の痕跡あり 上田分類Ｂ－Ⅳ－ｂ類 15C 後半～16C 代
1537	Ⅱ－7	SK1216	遺構埋土	青磁 碗	底径5.6 高台高0.9 残存高3.5 底部～体部下位の4/5	ロクロナデのち高台削り出し、底部内面印花文スタンプ・圏線１条のち内面～高台外面途中まで施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 6.5/3S 素地：灰色5Y6/1	一部反転復元 釉は高台外面途中まで 底部内面のスタンプは十字花文の崩れたものか 破面のエッジに鈍い部分あり、スクレイパー的な二次的使用によるもの 上田分類Ｅ類 15C 後半～16C 代
1538	Ⅱ－7	SK1216	遺構埋土	染付 碗	残存高3.2 体部下位の一部	ロクロナデのち外面呉須絵付け、牡丹唐草文、内面圏線２条、内外面施釉	精良　焼成良好 釉：青みの白16gb8.5/1S 素地：灰白色2.5Y8/1	断面実測 釉粗い貫入あり 小野分類染付碗Ｂ群Ⅶ類 14C 末～15C 中葉
1539	Ⅱ－7	SK1216	遺構埋土	陶器 擂鉢	口径23.8 残存高5.6 口縁～体部の1/8	内外面ヨコナデまたは回転ナデのち体部内面擂目（７条/2.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：赤褐色10R5/4 外：灰赤色10R5/2	反転復元 内面使用により磨耗気味 備前焼 重根編年Ⅳ Ｂ－２期 15C 末～16C 初頭
1540	Ⅱ－9	SK1256	遺構埋土	瓦器 皿	口径8.5 器高1.3 底径7.2 全体の1/9	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型瓦器Ⅲ－３～Ⅳ期併行か
1541	Ⅱ－9	SK1256	遺構埋土	瓦器 皿	口径8.5 残存高1.5 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 内：黄灰色2.5Y6/1 外：褐灰色10YR6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型瓦器Ⅲ－３～Ⅳ期併行か
1542	Ⅱ－9	SK1256	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.9 残存高2.2 口縁～体部の1/15	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－３期か 13C 前葉
1543	Ⅱ－9	SK1256	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径31.0 残存高7.1 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部上位外面ヨコハケ（５条/0.8cm）、体部下位外面ヨコ・斜板ナデ（幅0.5cm以上）、口縁内面ヨコハケ（９条/0.8cm）、体部内面ヨコ板ナデ（幅0.9cm）	良好、石・長・赤・金、0.1～1.5　焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 瀬戸内沿岸～大阪湾岸からの搬入 古代末か
1544	Ⅱ－9	SK1262	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.7 残存高2.5 口縁～体部の1/16	内外面ヨコナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR 7/4	反転復元 口縁内面凹線状
1545	Ⅱ－9	SK1262	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径29.8 残存高3.1 口縁の1/18	外面回転ナデ、内面回転ナデのちヨコ板ナデ（幅1.0cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第２段階～第Ⅲ期 第１段 階 12C 末～13C 後半
1546	Ⅱ－9	SK1262	遺構埋土	土師質土器 鍋	頸径31.0 残存高5.7 頸部～体部の1/14	頸部内外面ヨコナデ、体部上位外面タテハケ（５条/cm）、体部下位外面タテハケ（５条/cm）のちヨコハケ（４条/cm）、内面ヨコハケ（４条/cm）	良好、石・長・赤、0.1～1.5 焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 吉備系か
1547	Ⅱ－9	SK1267	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径28.4 残存高8.8 口縁～体部の1/5	外面回転ナデ、内面回転ナデのちナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰白色 N7/0 外：褐灰色10YR6/1	反転復元 体部下位内面使用により磨耗 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第２段階 12C 末～13C 初頭
1548	Ⅱ－9	SK1271	遺構埋土	土師質土器 皿	口径10.4 器高1.6 底径5.9 全体の9/10	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・結・赤・絹か、0.1～1　焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR7/4	
1549	Ⅱ－9	SK1277	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.6 器高1.2 底径5.4 全体の1/5	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明	良好、石・長・結か・赤、0.1～2　焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元
1550	Ⅱ－9	SK1277	遺構埋土	土師質土器 杯か皿	口径14.7 器高2.4 底径9.7 全体の1/12	内外面回転ナデ	精良、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内：橙色5YR7/6 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 胎土に細粒多く、ややザラつく
1551	Ⅱ－9	SK1290	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径28.8 残存高2.8 口縁の1/21	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成やや不良 内・外：にぶい黄橙色10YR 7/3	反転復元 酸化炎焼成気味 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第１段階 12C 中葉～後半
1552	Ⅱ－9	SK1315	遺構埋土	須恵器 杯	口径11.4 受部径14.0 底径8.3 器高2.7 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 古墳時代後期

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1553	Ⅱ－11	SK1335	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.8 底径4.9 高台高0.5 器高4.4 全体の1/12	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、体部内面ヨコ方向のヘラミガキ	良好、石・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：褐灰色10YR5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面磨耗により調整不明瞭 復元径過大の恐れあり 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1554	Ⅱ－11	SK1335	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.1 残存高4.5 口縁～体部の1/6	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、口縁内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.4cm）、体部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 体部外面に接合痕あり 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1555	Ⅱ－11	SK1335	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 残存高2.9 口縁～体部の1/10	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面磨耗により不明	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成不良 内・外：橙色7.5YR6/6	反転復元 内外面炭素吸着なし、酸化炎焼成、被熱によるカーボン消失か 胎土に細粒多く、表面ザラつく 内面のヘラミガキ確認できず 非和泉型か、和泉型瓦器Ⅳ－1期前後併行か 13C 中葉
1556	Ⅱ－11	SK1338	遺構埋土	土師器 皿	口径7.5 器高0.7 底径6.5 全体の1/8	内外面ヨコナデ、底部外面ナデ	良好、石・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元
1557	Ⅱ－11	SK1338	遺構埋土	土師器 高脚高台付皿	口径11.0 底径6.0 高台高1.6 器高2.7 全体の1/16	内外面ヨコナデ、底部内面ナデ	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～3　焼成やや不良 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
1558	Ⅱ－11	SK1338	遺構埋土	土師器か 皿か杯	口径10.7 残存高2.0 口縁～体部の1/10	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
1559	Ⅱ－11	SK1338	遺構埋土	土師器 高杯	脚端径14.0 残存高2.2 脚端部の1/5	内外面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内・外：橙色5YR6/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1560	Ⅱ－11	SK1338	遺構埋土	黒色土器 （A類） 椀	口径15.8 残存高3.6 口縁～体部の1/7	口縁内外面ヨコナデ、体部内外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：黒褐色10YR3/1 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内面炭素吸着やや不良 外面磨耗により調整不明瞭
1561	Ⅱ－11	SK1338	遺構埋土	黒色土器 （B類） 椀	口径14.8 残存高2.1 口縁～体部の1/13	口縁外面ヨコナデ、体部外面ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、内面タテ・ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.3cm）	良好、石、0.1～1　焼成良好 内・外：オリーブ黒5Y3/1	反転復元
1562	Ⅱ－4	SD1001	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.6 器高3.3 底径6.2 全体の5/12	内外面回転ナデ、底部外面切り離し技法不明	精良、赤、0.1～0.5　焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/3 外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元
1563	Ⅱ－4	SD1001	遺構埋土	土師質土器 杯	口径11.6 残存高2.8 口縁～体部の1/12	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元
1564	Ⅱ－2	SD1001	遺構埋土	陶器 皿	口径12.4 底径4.9 器高2.5 全体の1/2	ロクロナデのち底部外面回転糸切り	精良　焼成良好 釉：うすい黄8Y8.5/3S 露胎部：にぶい橙色2.5YR6/4 素地：灰色 N6/0	反転復元 肥前系
1565	Ⅱ－2	SD1001	遺構埋土	陶器 皿	底径4.6 高台高0.3 残存高1.9 底部～体部下位の1/3	ロクロナデのち高台削り出し、内面施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：にぶい橙色5YR6/3	反転復元 内面に胎土目痕１カ所残存 肥前系
1566	Ⅱ－2	SD1001	遺構埋土	陶器 皿	底径4.4 高台高0.5 残存高3.1 底部～体部下位の4/5	ロクロナデのち高台削り出し、内面絵付け（デザイン不明）のち内面～体部外面施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみのブラウン6yO5.5/3S 素地：にぶい橙色5YR7/3	一部反転復元 内面に胎土目痕４カ所あり 肥前系鉄絵皿Ⅰ－2期 1594～1616年頃
1567	Ⅱ－4	SD1001	遺構埋土	染付 皿	口径12.3 底径7.5 高台高0.5 復元高2.7 全体の1/9	ロクロナデ、呉須絵付のち施釉、畳付露胎 底部外面方形枠内「福」	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色7.5YR8/1	反転復元、合成復元 小野分類染付皿Ｂ群 15C 後半～16C 代
1568	Ⅱ－4	SD1001	遺構埋土	陶器 擂鉢	口径29.3 残存高4.2 口縁の1/12	外面回転ナデ、内面回転ナデのち擂目４条	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：赤灰色2.5YR5/1	反転復元 口縁外面～内面に自然釉付着 備前焼 重根編年Ⅳ A－2期 14C 後半～15C 初頭
1569	Ⅱ－2	SD1001	遺構埋土	陶器 擂鉢	口径28.4 残存高4.8 口縁の1/11	外面回転ナデ、内面回転ナデのち擂目（４条/1.6cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内：(自然釉)灰オリーブ色5Y6/2 外：灰赤色10R5/2	反転復元 内面自然釉付着 備前焼 重根編年Ⅳ B－3期 15C 末
1570	Ⅱ－4	SD1001	遺構埋土	須恵質土器 甕	口径26.8 残存高4.0 口縁の1/12	外面ユビオサエ・平行タタキ（４条/cm）のちヨコナデ、口縁内面ヨコナデ、頸部内面ヨコ板ナデ（幅1.5cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成やや不良 内・外：灰白色 N8/0	反転復元 東播系（神出窯甕Ｂ）か 11C 末～12C 代
1571	Ⅱ－4	SD1001	遺構埋土	陶器 甕	残存高9.6 体部の一部	外面ナデ・板ナデのち長格子押印文、内面板ナデ(幅不明)	良好、石・長、0.1～5　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：橙色2.5YR6/6	断面実測 常滑焼 12C～13C 代か
1572	Ⅱ－2	SD1001	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.7 径1.4 孔径0.5 重量6.4g 下端部欠損	ユビオサエ・ナデ	精良、長・赤、0.1～3　焼成やや不良 灰白色10Y8/2	
1577	Ⅱ－4	SD1002	遺構埋土	青磁 皿	口径9.7 残存高1.1 口縁～体部の1/6	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色5Y7/1 微細な黒斑あり	反転復元 釉透明度高く貫入あり 産地不明 12C 代か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	法量(cm) 残存率	技法	胎土、含有物、法量(mm) 焼成 色調	備考
1578	Ⅱ－4	SD1002	遺構埋土	白磁 碗	口径15.5 残存高2.7 口縁～体部の1/14	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色5Y8/1 微細な黒斑あり	反転復元 内外面釉とびあり 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C後半～12C前半
1579	Ⅱ－4	SD1002	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径27.2 残存高2.6 口縁の1/14	内外面回転ナデ	良好、石・長・黒、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 口縁内外面炭素付着、重焼痕 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1段階か 12C中葉～後半
1580	Ⅱ－4	SD1002	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径28.2 残存高3.2 口縁の1/24	外面回転ナデ、口縁内面回転ナデ・ユビオサエの痕跡か、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・長・黒、0.1～1　焼成やや不良 内・外：灰白色2.5Y8/1	反転復元 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅲ期第1段階 13C前半～後半
1581	Ⅱ－4	SX1002	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径7.8 器高1.4 底径6.2 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・赤、0.1～1　焼成良好 内：灰白色10YR8/2 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元
1582	Ⅱ－4	SX1002	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	底径6.0 残存高1.3 底部～体部下位の3/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 胎土に細粒多く、ややザラつく
1583	Ⅱ－4	SX1002	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	底径6.8 残存高1.5 底部～体部の1/6	体部外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、体部内面ヨコナデ・ナデ、底部内面ナデのちジグザグ状ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅲ期併行か
1584	Ⅱ－4	SX1002	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 底径3.7 高台高0.15 器高3.9 全体の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面磨耗・剥離のため不明	良好、石・長、0.1～3　焼成不良 内・外：灰色5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 内外面剥離・磨耗のため調整不明瞭 断面黒色 和泉型Ⅲ－3期か 13C前葉
1585	Ⅱ－4	SX1002	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.0 残存高3.2 口縁～体部の1/5	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.15cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C前葉～中葉
1586	Ⅱ－4	SX1002	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 残存高3.0 口縁～体部の1/16	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内：灰白色2.5Y8/1 外：黄灰色2.5Y4/1	反転復元 炭素吸着外面良好、内面不良 胎土に細粒多く、表面ザラつく 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C前葉～中葉
1587	Ⅱ－4	SX1002	遺構埋土	瓦器 椀	底径3.6 高台高0.2 残存高2.5 底部～体部の1/6	体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文か（幅0.2～0.3cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1588	Ⅱ－4	SX1002	遺構埋土	須恵質土器 椀	底径5.5 残存高1.3 底部～体部下位の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・黒、0.1～0.5 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 見込部に凹みあり 東播系か 森田編年第Ⅰ期 11C後半～12C前半
1589	Ⅱ－4	SX1002	遺構埋土	白磁 碗	口径15.4 残存高3.7 口縁～体部の1/16	ロクロナデのち内外面施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0 微細な黒斑あり	反転復元 外面わずかに釉とびあり 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C後半～12C前半
1590	Ⅱ－4	SX1002	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.0 径1.8 孔径0.5 重量8.6g ほぼ完存	ユビオサエ・ナデ	精良、石・長、0.1～2　焼成不良 橙色5YR6/8	
1591	Ⅱ－4	SX1002	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.5 径1.5 孔径0.5 重量7.4g ほぼ完存	ユビオサエ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 橙色5YR7/6	
1592	Ⅱ－4	SX1002	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長3.4 径0.8 孔径0.2 重量2.0g 完形	ユビオサエ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 浅黄橙色10YR8/3	
1593	Ⅱ－4	SX1002	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.9 径1.0 孔径0.3 重量3.9g ほぼ完存	ユビオサエ・ナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 浅黄橙色10YR8/3	
1594	Ⅱ－3	SD1004	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.0 残存高2.9 口縁～体部の1/10	内外面ヨコナデか	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面剥離・磨耗により調整不明瞭 胎土に細粒多く、ややザラつく
1595	Ⅱ－3	SD1004	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径8.9 底径7.5 器高2.0 ほぼ完形	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ヨコナデ・ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：暗灰色 N3/0	内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅲ－3期併行か
1596	Ⅱ－3	SD1004	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径8.8 底径7.3 器高1.5 全体の2/9	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：灰色 N4/0 外：暗青灰色5BG4/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面剥離・磨耗により調整不明瞭 和泉型瓦器Ⅲ－3期併行か
1597	Ⅱ－2	SD1004	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径8.6 底径7.0 器高1.6 全体の1/6	口縁～体部内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、底部内面ジグザグ状ヘラミガキ暗文（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：黄灰色2.5Y5/1 外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅲ－3期併行か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1598	Ⅱ－3	SD1004	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 底径4.2 高台高0.4 器高4.7 全体の1/2	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文	精良、石・赤、0.1～1　焼成良好 内：灰黄色2.5Y7/2 外：黄灰色2.5Y5/1	一部反転復元 内外面炭素吸着やや不良 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1599	Ⅱ－3	SD1004	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 底径4.5 高台高0.5 器高4.7 全体の1/3	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.3cm)	精良、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：灰色5Y4/1	一部反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1600	Ⅱ－3	SD1004	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.0 底径4.5 高台高0.4 器高5.0 ほぼ完形	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.25cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.15cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	内外面炭素吸着良好 内外面の一部炭素吸着不良、重焼痕 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1601	Ⅱ－3	SD1004	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.6 底径3.5 高台高0.2 器高3.6 全体の4/5	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.15cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 外面に重焼痕 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1602	Ⅱ－2	SD1004	遺構埋土	瓦器 椀	底径4.9 高台高0.5 残存高1.7 底部の1/4	体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ期か 12C 後葉～13C 前葉
1603	Ⅱ－3	SD1004	遺構埋土	白磁 碗	口径15.2 残存高3.4 口縁～体部の1/8	ロクロナデのち内面～体部上位外面まで施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/2	反転復元 内外面に貫入あり 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C 後半～12C 前半
1604	Ⅱ－3	SD1004	遺構埋土	白磁 碗	底径7.1 高台高0.8 残存高3.3 底部～体部下位ほぼ完存	ロクロナデのち体部外面回転ヘラケズリ、高台削り出し、内面施釉、外面残存部露胎	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄10YG8.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/1	一部反転復元 釉、貫入あり 大宰府分類白磁碗Ⅱ－2a類 11C 後半～12C 前半
1605	Ⅱ－2	SD1004	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	底径8.4 残存高2.7 底部～体部下位の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・黒、0.1～5 焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内面使用により磨耗 東播系須恵質土器捏鉢
1606	Ⅱ－3	SD1004	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	底径9.7 残存高2.5 底部～体部下位の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：灰白色10YR7/1	反転復元 内面使用により磨耗 東播系須恵質土器捏鉢
1607	Ⅱ－3	SD1004	遺構埋土	須恵質 平瓦	長さ4.5 幅7.3 厚さ2.0	凹面布目圧痕、凸面板ナデか	良好、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 凹：灰黄色2.5Y7/2 凸：灰白色2.5Y8/2	凹面のみ炭素吸着（やや不良） 胎土に細粒多く、ややザラつく
1608	Ⅱ－1	SD1005	遺構埋土	土師質土器 柱状高台付皿	底径4.1 残存高2.3 底部はほぼ完存	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：浅黄橙色10YR8/3	
1609	Ⅱ－1	SD1005	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.0 残存高4.3 口縁～体部の1/9	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.4cm）、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.4cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.4cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：灰色5Y6/1 外：灰色5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－1～2期 12C 後葉～13C 初頭
1610	Ⅱ－1	SD1005	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.2 底径4.2 高台高0.8 器高5.9 全体の4/5	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼り付けのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文(幅0.1cm)	良好、石・長、0.1～3　焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y4/1	内外面隔離・磨耗により調整不明瞭 炭素吸着体部外面～口縁内面良好、その他不良、内外面重焼痕 酸化炎焼成気味 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1611	Ⅱ－1	SD1005	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.8 残存高4.2 口縁～体部の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、口縁内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文(幅0.3cm)	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内：黄灰色2.5Y5/1 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1612	Ⅱ－1	SD1005	遺構埋土	瓦器 椀	口径16.2 残存高4.1 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.15cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内：灰黄褐色10YR6/2 外：黄灰色2.5Y4/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 酸化炎焼成気味 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1613	Ⅱ－1	SD1005	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 残存高3.0 口縁～体部の1/10	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C 前葉～中葉
1614	Ⅱ－1	SD1005	遺構埋土	白磁 碗	口径15.8 残存高3.9 口縁～体部の1/8	ロクロナデのち内面～体部下位外面まで施釉、以下露胎	精良　焼成良好 釉：うすい黄緑8Y8.5/3S 素地：灰白色5Y8/1	反転復元 外面釉とびあり 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C 後半～12C 前半
1615	Ⅱ－3	SD1005	遺構埋土	土師質土器 甕	口径30.3 頸径27.0 残存高14.6 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、頸部外面ユビオサエのちヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、口縁内面ヨコナデ・ナデ、体部内面ヨコ板ナデか（幅不明）	粗、石・長・赤・金、0.1～1　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：灰黄褐色10YR5/2	反転復元 外面煤付着 瀬戸内沿岸～大阪湾岸からの搬入 古代末か
1616	Ⅱ－1	SD1005	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径29.8 残存高3.5 口縁の1/11	内外面回転ナデ	良好、石・長・黒、0.1～0.5 焼成良好 内：青灰色5B6/1 外：灰色 N5/0	反転復元 口縁外面炭素付着、重焼痕 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅰ期第2段階 11C 末～12C 前半

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1617	Ⅱ－1	SD1006 SD1007	遺構埋土	土師質土器 高台付椀	底径6.0 高台高0.5 残存高1.7 底部の1/2	体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：明黄褐色10YR7/6	反転復元 瓦器の可能性あるが炭素吸着なし、酸化炎焼成 産地・時期不明
1618	Ⅱ－1	SD1006 SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.6 残存高3.8 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石、0.1～1　焼成良好 内：黄灰色2.5Y5/1 外：黄褐色2.5Y5/3	反転復元 炭素吸着内面良好、外面やや不良 和泉型Ⅲ－2期 12C末～13C初頭
1619	Ⅱ－1	SD1006 SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高3.9 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ヨコナデ	精良、長、0.1～0.5　焼成やや不良 内：黄灰色2.5Y4/1 外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 内外面磨耗により調整不明瞭 非和泉型か 和泉型瓦器Ⅲ－3期併行か
1620	Ⅱ－1	SD1006 SD1007	遺構埋土	白磁 碗	口径15.7 残存高2.6 口縁の1/15	ロクロナデのち内面～体部上位外面まで施釉、以下露胎	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/1 微細な黒斑を含む	反転復元 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C後半～12C前半
1621	Ⅱ－1	SD1006 SD1007	遺構埋土	白磁 碗	口径14.6 残存高1.8 口縁の1/12	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 口縁と体部境内面に沈線1条 大宰府分類白磁碗Ⅷ類 12C中葉～13C前半
1622	Ⅱ－1	SD1006 SD1007	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	底径8.4 残存高4.2 底部～体部下位の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰黄色2.5Y6/2 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内面使用により磨耗 剥離著しく調整不明瞭 東播系
1623	Ⅱ－1	SD1006 SD1007	遺構埋土	須恵質土器 甕	残存高10.3 体部上位の一部	外面格子タタキ、内面無文当具痕のちヨコ板ナデ（幅不明）・ナデ	良好、石・長、0.1～3　焼成不良 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：灰黄色2.5Y7/2	断面実測 瓦質焼成気味 産地・時期不明
1624	Ⅱ－1	SD1006 SD1007	遺構埋土	土師質土器 鍔付鍋	口径24.6 頸径22.5 残存高8.4 口縁～体部上位の2/5	口縁内外面ヨコナデ、頸部外面ユビオサエのちヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコナデのち鍔部貼付のちナデ、体部内面ヨコ・斜板ナデ（幅0.9cm）	粗、石・長・結・赤、0.1～1 焼成良好 内：橙色2.5YR6/6 外：橙色5YR6/6	反転復元 口縁内面～外面煤付着 紀伊型鍔付鍋 13C後半～14C前半か
1625	Ⅱ－1	SD1006 SD1007	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径28.0 頸径24.5 残存高7.5 口縁～体部の1/14	口縁外面ヨコナデ、頸部～体部外面タテハケ（6条/cm）のちユビオサエ・ナデ、口縁内面ヨコハケのちナデ、頸部内面ヨコ板ナデ（幅不明）、体部内面ヨコハケ（8条/cm）	良好、石・長・赤・金・角、0.1～3　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：灰褐色7.5YR4/2	反転復元 外面煤付着 吉備系か 13C代前後か
1626	Ⅱ－1	SD1006 SD1007	遺構埋土	須恵質 平瓦	長さ7.8 幅8.5 厚さ2.4	凹面布目圧痕、凸面剥離不明	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 凹面：灰黄色2.5Y6/2 凸面：黄灰色2.5Y6/1	
1630	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径9.6 底径8.1 器高2.2 全体の4/5	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデか	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：灰色7.5Y6/1 外：オリーブ灰色2.5GY5/1	内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着やや不良 和泉型瓦器Ⅲ－3期併行か
1631	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径9.0 底径7.8 器高2.0 全体の2/3	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、口縁内面ヨコナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内：灰白色5Y8/1 外：灰色7.5Y8/1	炭素吸着外面良好、内面不良 胎土に細粒多く、ややザラつく 和泉型瓦器Ⅲ－3期併行か
1632	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.5 底径5.0 高台高0.5 器高4.9 全体の1/3	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.15cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.15cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内：灰色 N4/0 外：暗灰色 N3/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－2期 12C末～13C初頭
1633	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.8 底径5.9 高台高0.6 器高5.2 全体の2/3	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、体部外面ユビオサエのちナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.15cm）、底部内面ナデのち斜格子状ヘラミガキ暗文（幅0.15cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：灰色 N5/0 外：灰色 N4/0	内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－1～2期 12C後葉～13C初頭
1634	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.5 底径4.8 高台高0.4 器高5.5 全体の3/4	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼り付けのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ	良好、石・長、0.1～2　焼成やや不良 内：褐灰色10YR5/1 外：にぶい黄橙色10YR7/2	炭素吸着内面やや不良、外面不良 内外面磨耗により調整不明瞭 わずかに瓦質焼成気味 和泉型Ⅲ－1～2期 12C後葉～13C初頭
1635	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.7 底径4.2 高台高0.4 器高4.8 全体の1/2	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコナデ・ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部外面高台貼り付けのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石・長、0.1～5　焼成良好 内・外：灰色5Y4/1	一部反転復元 炭素吸着内面良好、外面やや不良、重焼痕か 酸化炎焼成気味 和泉型Ⅲ－2期 12C末～13C初頭
1636	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.0 底径5.2 高台高0.5 器高4.8 全体の2/3	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部外面高台貼り付けのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長・赤、0.1～1.5 焼成やや不良 内：黒褐色2.5Y3/1 にぶい黄橙色10YR7/3 外：黒褐色10YR3/1	反転復元 炭素吸着内面不良、外面良好、重ね焼痕か 酸化炎焼成気味 和泉型Ⅲ－2期 12C末～13C初頭

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1637	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.4 残存高5.1 口縁～体部の3/5	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長・赤、0.1～0.5 焼成やや不良 内：黒褐色10YR3/2 外：黒色7.5Y2/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 酸化炎焼成 和泉型Ⅲ－1～2期 12C後葉～13C初頭
1638	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.7 底径4.7 高台高0.5 器高5.7 全体の3/5	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、底部外面高台貼り付けのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.3cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：灰黄色2.5Y7/2 外：黄灰色2.5Y5/1	炭素吸着内面やや不良、外面良好 内外面磨耗により調整不明瞭 酸化炎焼成気味 和泉型Ⅲ－1～2期 12C後葉～13C初頭
1639	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.7 底径4.7 高台高0.5 器高4.7 全体の1/2	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、体部外面ユビオサエのちナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、底部外面高台貼付のちナデ、口縁内面ナデ・ヨコナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文か	良好、石・長、0.1～5　焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y5/1	一部反転復元 内外面炭素吸着不良、重焼痕か 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－2期 12C末～13C初頭
1640	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.5 底径4.6 高台高0.4 器高4.9 全体の1/3	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデか	良好、石・長・赤、0.1～1.5 焼成やや不良 内：灰黄褐色10YR6/2 外：褐灰色10YR4/1	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着やや不良 酸化炎焼成気味 和泉型Ⅲ期 12C後葉～13C前葉
1641	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.4 底径5.0 高台高0.4 器高4.9 全体の1/3	口縁外面ナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデ、内外面ともヘラミガキは磨耗のため不明瞭	良好、石・赤、0.1～3　焼成やや不良 内：灰黄色2.5Y7/2 外：灰黄褐色10YR5/2	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着不良 和泉型Ⅲ期 12C後葉～13C前葉
1642	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.8 底径6.0 高台高0.4 器高5.0 全体の1/11	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼り付けのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.15cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	精良、石・長・赤、0.1～0.5 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR7/2 外：灰白色10YR8/2	反転復元 内外面炭素吸着不良 酸化炎焼成 和泉型Ⅲ－3期か 13C前葉
1643	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.3 残存高4.7 口縁～体部の3/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキか	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内：灰白色2.5Y8/1 外：灰白色2.5Y8/2	内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着不良 酸化炎焼成気味 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1644	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 残存高4.7 口縁～体部の1/4	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成やや不良 内・外：灰色5Y5/1	一部反転復元 内外面炭素吸着不良、重焼痕か 内外面磨耗により調整不明瞭 酸化炎焼成気味 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1645	Ⅱ－3	SD1007	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.8 残存高4.0 口縁～体部の1/6	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.15cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内：灰白色2.5Y8/1 外：灰色5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 酸化炎焼成 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1646	Ⅱ－1	SD1009	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.9 底径6.3 器高1.3 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	内外面磨耗により調整不明瞭
1647	Ⅱ－1	SD1009	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.0 底径6.5 器高3.1 全体の1/10	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長・赤・チ、0.1～3　焼成良好 内・外：灰白色10YR8/2	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1648	Ⅱ－1	SD1009	遺構埋土	青磁 碗	口径12.3 底径7.5 高台高0.5 復元高2.7 全体の1/9	ロクロナデのち高台削り出し、体部内面圏線・飛雲文施文、底部内面ヘラ片彫キノコ状文様施文か、内面～一部高台内施釉、畳付部の釉掻き取り	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色 N7/0	一部反転復元 釉の一部粗い貫入 釉透明度悪く、底部内面の文様不鮮明 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－4a類 12C中頃～後半
1649	Ⅱ－1	SD1009	遺構埋土	瓦質土器 羽釜	口径19.9 鍔径23.5 残存高3.8 口縁の1/8	口縁内外面～鍔部ヨコナデ、体部外面ユビオサエ・ナデ、脚部貼り付け、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	精良、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 畿内山城地域からの搬入 13C代
1650	Ⅱ－3	SD1012	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.9 器高1.0 底径7.0 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りか	良好、石・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1651	Ⅱ－3	SD1012	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.8 残存高3.1 口縁～体部の1/13	内外面回転ナデ	精良、石・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1652	Ⅱ－3	SD1012	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 底径4.5 高台高0.5 器高5.5 全体の1/4	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：灰黄色2.5Y7/2	反転復元 内外面炭素吸着なし 和泉型Ⅲ－1～2期か 12C後葉～13C初頭

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	法量(cm) 残存率	技法	胎土、含有物、法量(mm) 焼成 色調	備考
1653	Ⅱ－3	SD1012	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.9 底径4.6 高台高0.3 器高5.0 全体の1/8	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部外面高台貼り付けのちナデ、口縁内面ヨコナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石・長、0.1～5　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－2期か 12C末～13C初頭
1654	Ⅱ－3	SD1012	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.0 残存高4.5 口縁～体部の1/9	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、口縁内面ヨコナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y4/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－2期か 12C末～13C初頭
1655	Ⅱ－3	SD1012	遺構埋土	須恵質 平瓦	長さ14.3 幅15.6 厚さ2.6	凹面板ナデ、凸面離れ砂、端面板ナデ	精良、石・長・赤、0.1～4 焼成やや不良 凹・凸：灰黄色2.5Y6/2 離れ砂 石・長・泥・赤	炭素吸着やや不良 酸化炎焼成気味
1656	Ⅱ－3	SD1013	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.2 底径5.8 器高1.2 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	内外面磨耗により調整不明瞭
1657	Ⅱ－3	SD1014	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.0 残存高3.9 口縁～体部の1/10	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 酸化炎焼成気味 和泉型Ⅲ－2期 12C末～13C初頭
1658	Ⅱ－3	SD1014	遺構埋土	瓦器 椀	底径5.5 高台高0.4 残存高3.6 底部～体部の1/3	体部上位外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面磨耗のため調整不明	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内：橙色7.5YR7/6 外：褐灰色10YR5/1	反転復元 内外面剥離・磨耗により調整不明瞭 外面の一部のみ炭素吸着（やや不良） 酸化炎焼成 和泉型かⅢ－3期前後か 13C前葉
1659	Ⅱ－3	SD1014	遺構埋土	青磁 碗	底径5.2 高台高0.9 残存高2.8 底部～体部下位の1/2	ロクロナデ、高台削り出しのち体部内面ヘラ片彫草花文施文、内面・体部外面～高台外面まで施釉、一部は畳付をこえて高台内側に回る	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 6.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/1	一部反転復元 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－2類か 12C中頃～後半
1660	Ⅱ－3	SD1014	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径25.9 残存高4.9 口縁～体部の1/20	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第2段階 12C末～13C初頭
1662	Ⅱ－4	SD1021	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.4 器高1.1 底径7.5 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1663	Ⅱ－4	SD1024	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.4 器高2.0 底径6.2 全体の3/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・赤、0.1～1　焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元
1664	Ⅱ－4	SD1024	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径8.5 残存高1.5 底径7.0 全体の1/4	内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、底部内面ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：暗灰色 N3/0	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行か
1665	Ⅱ－4	SD1024	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 底径4.5 高台高0.3 器高4.0 全体の1/5	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのち斜方向のヘラミガキ（幅0.15cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C前葉～中葉
1666	Ⅱ－4	SD1024	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.0 底径3.7 高台高0.2 器高3.9 全体の1/6	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.2cm)、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	精良、長・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y4/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 やや酸化炎焼成気味 内面磨耗、外面剥離・磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C前葉～中葉
1667	Ⅱ－4	SD1024	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径21.4 残存高3.3 口縁の1/8	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 口縁外面炭素付着、重焼痕 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅰ期 11C後半～12C前半
1668	Ⅱ－4	SD1024	遺構埋土	土師器 羽釜	口径21.6 鍔径26.1 残存高5.0 口縁の1/12	口縁内外面ヨコナデ、鍔部貼付のちヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面斜板ナデ（幅不明）	良好、石・長・赤・金、0.1～3　焼成良好 内：にぶい褐色7.5YR5/3 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 内面～口縁外面わずかに煤付着 摂津C型羽釜 10C～11C代
1669	Ⅱ－4	SD1024	遺構埋土	瓦質土器 甕	口径36.8 頸径34.2 残存高9.2 口縁の1/3	口縁～頸部内外面ヨコナデ、体部外面格子タタキ、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、長・赤、0.1～3　焼成良好 内：灰白色2.5Y8/1 外：灰色 N6/0	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 内面磨耗、外面剥離・磨耗により調整不明瞭 亀山焼 草戸編年Ⅰ～Ⅱ期前半か 13C後半～14C前半
1670	Ⅱ－4	SD1024	遺構埋土	瓦質 有溝土錘	長さ4.7 幅4.0 厚さ3.6 重量61.7g 完形	ユビオサエのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y6/1	
1671	Ⅱ－4	SD1024	遺構埋土	瓦質 有溝土錘	長さ4.8 幅3.6 厚さ3.7 重量56.7g 完形	ユビオサエのちナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内・外：灰色5Y4/1	

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1672	Ⅱ－4	SD1024	遺構埋土	瓦質 有溝土錘	長さ4.7 幅4.0 厚さ3.5 重量62.98g 完形	ユビオサエのちナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰黄色2.5Y6/2	
1673	Ⅱ－4	SD1024	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長5.1 径1.0 孔径0.4 重量3.9g ほぼ完形	ユビオサエ・ナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 にぶい橙色2.5Y6/4	
1674	Ⅱ－4	SD1030	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.5 器高1.3 底径4.8 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・赤、0.1～2　焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 外面接合痕あり 胎土に細粒多く、わずかにザラつく
1675	Ⅱ－4	SD1031	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.8 器高2.8 底径12.6 全体の1/5	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、内面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長・赤・在地花・チ、0.1～3　焼成やや不良 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元 京都系土師器Ⅲ D タイプの模倣 13C 代
1676	Ⅱ－4	SD1031	遺構埋土	白磁 碗	底径4.4 高台高0.6 残存高17 底部～体部下位の1/3	ロクロナデのち高台削り出し、内面～体部下位外面まで施釉、底部内面蛇ノ目釉剥ぎ	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 底部内面釉剥ぎ周縁に離れ砂付着 大宰府分類白磁碗Ⅷ類 12C 中葉～13C 前半
1677	Ⅱ－4	SD1031	遺構埋土	土師質土器 鍔付鍋	口径27.6 頸径24.4 残存高5.5 口縁の1/10	外面ヨコナデ・ナデ、口縁～頸部内面ヨコナデ、体部内面斜板ナデ（幅不明）	良好、石・長・結・赤、0.1～5　焼成良好 内：灰褐色7.5YR5/2 外：にぶい橙色5YR6/4	反転復元 外面煤付着 胎土・形状から紀伊型鍔付鍋とみられる 13C 代 搬入品
1678	Ⅱ－5	SD1033 SD1034	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.6 残存高1.7 口縁～体部上位の1/10	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.3cm）、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.3cm）、口縁内面ヨコナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）	精良、長、0.1～1　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 小片のため復元径は過小 炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－2期 12C 末～13C 初頭
1679	Ⅱ－5	SD1033 SD1034	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径28.8 残存高3.3 口縁の1/16	内外面回転ナデ	良好、石・長・黒、0.1～4 焼成良好 内：灰色 N5/0 外：灰色 N6/0	反転復元 口縁内外面炭素付着、重焼痕 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1段階か 12C 中葉～後半
1681	Ⅱ－4	SD1033	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.3 器高1.4 底径5.1 全体の4/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	粗、石・長・赤・石灰か、0.1～5　焼成やや不良 内：黄橙色7.5YR7/8 外：橙色7.5YR7/6	内外面磨耗により調整不明瞭
1682	Ⅱ－5	SD1033	遺構埋土	土師質土器 柱状高台付 皿	底径4.0 高台高1.2 残存高2.7 底部の全部	内外面回転ナデ、高台外面ユビオサエ、底部外面回転糸切りか	精良、赤、0.1～1　焼成不良 内・外：橙色7.5YR7/6	内外面磨耗著しく調整不明瞭
1683	Ⅱ－4	SD1033	遺構埋土	瓦器 皿	口径10.5 底径9.4 器高1.8 全体の1/4	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.3cm）	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：黄灰色2.5Y6/1 外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅲ－3期併行か
1684	Ⅱ－5	SD1033	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.9 残存高4.2 口縁～体部の1/14	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：灰白色2.5Y8/1 外：にぶい黄橙色10YR7/2	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C 前葉～中葉
1685	Ⅱ－5	SD1033	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.8 残存高3.3 口縁～体部の1/13	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1686	Ⅱ－4	SD1033	遺構埋土	須恵質土器 壺	頸径9.2 残存高13.7 頸部の3/4	頸部外面ヨコナデ、体部外面格子タタキのちヨコナデ・ナデ、内面ヨコナデのちタテナデ	良好、石・長・黒、0.1～3 焼成良好 内・外：灰色 N6/0	一部反転復元、合成 十瓶山系須恵質土器壺 佐藤編年Ⅳ－2～3期 12C 代
1687	Ⅱ－4	SD1033	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径24.7 鍔径30.0 残存高7.9 口縁～体部の1/5	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコナデのち鍔部貼り付け、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内：橙色7.5YR7/6 外：褐灰色10YR5/1	反転復元 外面煤付着、鍔部下面以下に著しい 奥井分類河内型羽釜Ⅰ型 12C 後半か
1688	Ⅱ－4	SD1033	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径33.7 頸径33.0 残存高7.0 口縁の1/8	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、体部内面部分的にヨコハケ	粗、石・長・金・花、0.1～5　焼成良好 内：橙色5YR7/6 外：褐色7.5YR4/3	反転復元 外面煤付着 瀬戸内沿岸～大阪湾岸からの搬入 時期不明
1689	Ⅱ－4	SD1034	遺構埋土	須恵器 高台付杯	口径14.9 底径11.7 高台高0.6 器高3.4 全体の1/9	内外面回転ナデ、高台貼り付け	精良、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内・外：灰白色10YR7/1	反転復元 8C 後半～9C 前半
1690	Ⅱ－4	SD1034	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.7 器高1.7 底径6.5 全体の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長・黒、0.1～0.5 焼成やや不良 内：褐灰色10YR5/1 外：にぶい黄橙色10YR7/3	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1691	Ⅱ－5	SD1034	遺構埋土	瓦器 皿	口径8.8 器高2.0 底径7.4 全体の1/6	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ、底部内面ナデか	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行か
1692	Ⅱ－5	SD1034	遺構埋土	瓦器 皿	口径9.8 器高1.5 底径8.1 全体の1/6	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ヨコナデ、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1693	Ⅱ－4	SD1034	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 底径4.8 高台高0.4 器高4.7 全体の3/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.2～0.3cm)	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y6/1	内外面炭素吸着やや不良 内外面剥離・磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1694	Ⅱ－4	SD1034	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.7 底径4.3 高台高0.4 器高4.47 全体の9/10	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.4cm)、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：灰白色10YR8/2 外：灰白色10YR8/1	内外面炭素吸着不良 酸化炎焼成 胎土に細粒多く、ややザラつく 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1695	Ⅱ－4	SD1034	遺構埋土	白磁 碗	口径15.6 残存高5.7 口縁～体部の1/8	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0 微細な黒斑あり	反転復元 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C後半～12C前半
1696	Ⅱ－4	SD1034	遺構埋土	白磁 碗	底径6.8 高台高0.8 残存高3.2 底部～体部下位の1/2	ロクロナデのち外面回転ヘラケズリ、高台削り出しのち内面施釉、外面残存部は露胎	精良　焼成良好 釉：黄みのグレイ10YG7.5/1S 素地：灰白色2.5Y8/1	高台畳付部は二次使用により著しく磨耗 大宰府分類白磁碗Ⅳ類か 11C後半～12C前半
1697	Ⅱ－5	SD1034	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径29.7 残存高3.1 口縁の1/20	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 口縁外面炭素付着、重焼痕 口縁部を折り曲げることにより口縁内側に凹線をつくる 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1段階 12C中葉～後半
1698	Ⅱ－4	SD1034	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長8.0 径5.4 孔径2.3 重量168.2g ほぼ完存	ユビオサエ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 灰白色10YR8/2	
1700	Ⅱ－5	SD1035	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径10.6 器高2.0 底径6.6 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面切り離し技法不明のちナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元 中世末～近世初頭か
1701	Ⅱ－5	SD1035	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.8 残存高2.7 口縁～体部の1/10	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期か 13C前葉～中葉
1702	Ⅱ－5	SD1035	遺構埋土	白磁 碗	口径15.7 残存高2.0 口縁の1/8	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色5Y8/1 微細な黒斑わずかに含む	反転復元 外面の釉厚く、口縁から体部に垂下する 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C後半～12C前半
1703	Ⅱ－5	SD1035	遺構埋土	陶器 加工円盤	底径5.0 高台高1.0 残存高1.2 底部全部	瀬戸美濃系天目茶碗の底部を転用、破面を研削して円盤状に作る、内面鉄釉、高台は削り出し	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 釉：ブラウンみの黒6YO 2.4/1S 素地：灰白色2.5Y8/2	近世か
1704	Ⅱ－5	SD1036	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径8.9 器高2.1 底径7.7 全体の3/4	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm)、底部内面ナデか	精良、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰色 N6/0	内外面炭素吸着やや不良 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行か
1705	Ⅱ－5	SD1036	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径9.0 器高1.4 底径7.4 全体の1/4	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、口縁内面ヨコナデ、体部内面ナデのち斜方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行か
1706	Ⅱ－5	SD1036	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.8 底径3.9 高台高0.4 器高4.6 全体の2/3	口縁外面ナデ・ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm)、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm)、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	一部反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－2期 12C末～13C初頭
1707	Ⅱ－4	SD1036	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高4.1 口縁～体部の1/6	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm)、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文(幅0.1cm)	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1708	Ⅱ－4	SD1036	遺構埋土	瓦器 椀	底径5.0 高台高0.3 残存高2.4 底部～体部下位の1/3	体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.15cm)、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.15cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期か 13C前葉
1709	Ⅱ－4	SD1036	遺構埋土	瓦器 椀	底径4.7 高台高0.4 残存高1.9 底部～体部下位の2/3	体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期か 13C前葉
1710	Ⅱ－5	SD1036	遺構埋土	瓦質土器 片口鉢	口径20.0 底径7.1 高台高0.6 器高9.1 全体の1/10	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm)、体部外面ユビオサエのちナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm)、底部外面高台貼付のちナデ、口縁内面ヨコナデ、内面ナデのち細い斜方向のヘラミガキ（幅0.1cm)、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 体部外面重焼痕 和泉型瓦器Ⅲ－2期併行か 12C末～13C初頭
1711	Ⅱ－4	SD1036	遺構埋土	白磁 Ⅲ	口径9.7 残存高2.1 口縁～体部の1/8	ロクロナデのち内面～体部下位外面施釉、底部内面蛇ノ目釉剥ぎ	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色10YR8/2	反転復元 釉に粗い貫入あり 大宰府分類白磁Ⅲ類 12C中葉～13C前半

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1712	Ⅱ－4	SD1036	遺構埋土	白磁 碗	口径15.3 残存高3.2 口縁～体部の1/6	ロクロナデのち施釉	良好　焼成やや不良 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰黄色2.5Y6/2 微細な黒斑あり	反転復元 焼成甘く、胎土はやや黄色みを帯びる 内外面ごく粗い貫入あり 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C後半～12C前半
1713	Ⅱ－5	SD1036	遺構埋土	白磁 碗	底径6.4 高台高0.8 残存高2.7 底部～体部下位の1/2	ロクロナデのち高台削り出し、内面～高台内側まで化粧土塗布のち内面～体部下位外面まで施釉、高台露胎、底部内面蛇ノ目釉剥ぎ	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/1 微細な黒斑あり	反転復元 釉剥ぎ部に離れ砂付着 化粧土と露胎部の境は赤く発色 釉は緑黄色気味でわずかに白濁する 大宰府分類白磁碗Ⅷ－2類 12C中葉～13C前半
1714	Ⅱ－4	SD1036	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径25.7 残存高8.3 口縁～体部の1/10	外面回転ナデのちナデ、内面回転ナデ	良好、石・長、0.1～5　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 体部下位内面使用により磨耗 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1段階 12C中葉～後半
1715	Ⅱ－4	SD1036	遺構埋土	瓦質土器 羽釜	口径23.2 残存高3.7 口縁の1/16	口縁～体部外面ユビオサエのちナデ、鍔部貼付のちナデ、口縁内面ヨコナデ、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：暗灰黄色2.5Y5/2	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 酸化炎焼成 畿内山城地域からの搬入 13C代か
1716	Ⅱ－5	SD1036	遺構埋土	須恵質 丸瓦	長さ8.4 幅7.9 厚さ2.2	凹面布目圧痕、凸面板ナデ(幅不明)	良好、石・長・砂、0.1～1 焼成良好 凹・凸：灰色5Y5/1	
1717	Ⅱ－4	SD1036	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長7.7 径4.7 重量69.4g 約1/2	ユビオサエ・ナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 明黄褐色10YR7/6	
1718	Ⅱ－4	SD1036	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長3.6 径1.0 孔径0.3 重量3.1g ほぼ完形	ユビオサエ・ナデ	粗、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 にぶい橙色7.5YR6/4	
1719	Ⅱ－4	SD1036	遺構埋土	瓦製 球状加工品	長さ2.3 幅2.5 厚さ2.0 重量12.0g	瓦片を球状に研削整形	良好、石・長、0.1～2　焼成やや不良 黄灰色2.5Y6/1	
1720	Ⅱ－4	SD1041	遺構埋土	土師質土器 甕	口径30.4 頸径27.9 残存高7.8 口縁～体部上位の1/7	口縁～頸部外面ヨコナデ・ユビオサエ、体部内外面ナデのちハケ（15条/cm）、口縁内面ヨコナデ	精良、石・結か・赤・金・泥・チか、0.1～7　焼成良好 内・外：にぶい褐色7.5YR5/3	反転復元 胎土が微細でなめらか 含有物も泥岩とみられる黒色角礫を多く含み、異質である時期不明
1721	Ⅱ－4	SD1046	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.5 器高1.5 底径6.8 全体の4/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	良好、石・長・赤・砂・チ、0.1～15　焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/4 外：橙色5YR7/6	
1722	Ⅱ－4	SD1046	遺構埋土	青磁 碗	口径16.54 残存高4.0 口縁～体部の1/5	ロクロナデのち内面ヘラ描き飛雲文のち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみのオリーブグリーン10YG5.5/3S 素地：灰色5Y6/1	反転復元 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－4類 12C中頃～後半
1723	Ⅱ－7	SD1053	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 器高2.2 底径6.5 全体の3/5	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：淡橙色5YR8/4 外：浅黄橙色10YR8/4	
1724	Ⅱ－7	SD1053	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.7 器高1.6 底径6.3 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/3 外：にぶい橙色7.5YR7/3	反転復元 胎土に細粒多く、わずかにザラつく
1725	Ⅱ－7	SD1053	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.0 器高2.2 底径6.5 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ・部分的にユビオサエ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	器壁厚く粗雑な作り 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1726	Ⅱ－7	SD1053	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.6 器高1.3 底径7.1 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	粗、石・長・赤・チ、0.1～5　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元
1727	Ⅱ－7	SD1053	遺構埋土	土師質土器 杯	口径14.6 器高2.9 底径9.4 全体の1/3	内外面ヨコナデ、底部外面粘土紐痕のち板目痕、底部内面ヨコナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～5 焼成やや不良 内：褐灰色10YR6/1 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元
1728	Ⅱ－7	SD1053	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.7 底径5.3 高台高0.3 器高4.3 全体の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文(幅0.1cm)	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 体部外面に接合痕あり 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1729	Ⅱ－7	SD1053	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.5 残存高4.2 口縁～体部の1/5	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：淡橙色5YR8/4	反転復元 炭素吸着内面なし、外面ごくわずかに残存 酸化炎焼成、被熱によるカーボン消失か 和泉型Ⅲ－2期か 12C末～13C初頭
1730	Ⅱ－7	SD1053	遺構埋土	須恵質土器 山茶椀か	口径13.6 残存高3.8 口縁～体部の1/12	内外面回転ナデ	精良、石・長・黒、0.1～1 焼成良好 内：灰黄色2.5Y7/2 外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 灰釉陶器または無釉陶器の可能性もあるが、内外面に付着する釉は塗布した痕跡がみられないことから自然釉と考えられるため、ここでは山茶椀とした 12C代か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1731	Ⅱ－7	SD1053	遺構埋土	白磁 碗	口径15.0 残存高1.3 口縁の1/5	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色5YR8/1 微細な黒斑あり	反転復元 外面釉とびあり 大宰府分類白磁碗Ⅷ類 12C 中葉～13C 前半
1735	Ⅱ－8	SD1059	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径8.8 底径7.4 残存高1.5 全体の1/3	口縁外面～内面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ	粗、石・長、0.1～0.5　焼成不良 内・外：にぶい橙色7.5YR 7/4	反転復元 炭素付着なし、酸化炎焼成 含有物の割合が多いため、在地産か 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行か
1736	Ⅱ－8	SD1059	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径7.8 底径6.2 残存高1.5 全体の1/5	口縁外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、口縁内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、内面ナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：黄灰色2.5Y5/1 外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行か
1737	Ⅱ－8	SD1059	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.4 高台高0.4 底径4.2 器高5.4 全体の1/2	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼り付けのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長、0.1～4　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	一部反転復元 内外面炭素吸着良好 器形に歪みあり 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1738	Ⅱ－8	SD1059	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.3 残存高4.3 口縁～体部の1/13	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、口縁内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ、体部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成堅緻 内：灰白色5Y7/1 外：灰黄色2.5Y7/2	反転復元 炭素吸着なし 須恵質焼成 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1739	Ⅱ－9	SD1059	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.9 残存高3.1 口縁～体部の1/10	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内：褐灰色10YR4/1 外：橙色2.5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3期 13C 前葉
1740	Ⅱ－7	SD1059	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.0 残存高2.4 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	精良、石、0.1～1　焼成良好 内：暗灰黄色2.5Y5/2 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3期か 13C 前葉
1741	Ⅱ－9	SD1059	遺構埋土	瓦器 椀	底径5.4 高台高0.5 残存高1.6 底部の2/3	体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内：黒色10YR2/1 外：黒色7.5Y2/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 酸化炎焼成気味 和泉型Ⅲ－2～3期か 12C 末～13C 前葉
1742	Ⅱ－8	SD1059	遺構埋土	白磁 碗	口径15.6 残存高5.0 口縁～体部の1/15	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：うすい黄緑10YG8.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/1 微細な黒斑あり	反転復元 大宰府分類白磁碗Ⅴ類かⅧ類 12C 中葉～13C 前半
1743	Ⅱ－7	SD1059	遺構埋土	須恵質土器 壺	口径17.8 頸径7.6 残存高7.4 口縁の1/16	内外面回転ナデ	精良、石・長・黒、0.1～1 焼成やや不良 内：灰白色2.5Y8/1 外：灰黄色2.5Y7/2	反転復元 口縁内側の凹みがしっかりとしている 口縁端部の作りがシャープである 十瓶山系壺B－Ⅱ類、十瓶山産かは不明 佐藤編年Ⅳ－1期 11C 中葉
1744	Ⅱ－7	SD1059	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径27.8 器高9.3 底径10.7 全体の1/12	内外面回転ナデ	粗、石・長、0.1～10　焼成良好 内：灰色 N5/0 外：灰色 N6/0	反転復元 体部下位内面使用により磨耗 口縁外面～体部上位内面炭素付着、重焼痕 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1段階か 12C 中葉～後半
1745	Ⅱ－7	SD1062	遺構埋土	陶器 甕	残存高10.1 底部～体部下位の一部	体部外面タテ板ナデ（幅不明）、底部外面板ナデか、内面ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内：黄灰色2.5Y6/1 外：褐灰色7.5YR5/1	断面実測 備前焼
1746	Ⅱ－7	SD1063	遺構埋土	須恵器 蓋	口径14.9 残存高2.9 口縁の1/8	口縁内外面回転ナデ、天井部外面回転ヘラケズリ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 古墳時代後期
1747	Ⅱ－7	SD1063	遺構埋土	須恵器 杯	口径13.5 受部径16.2 残存高2.5 口縁の1/11	内外面回転ナデ	良好、長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 古墳時代後期
1748	Ⅱ－7	SD1063	遺構埋土	灰釉陶器か 碗	底径8.0 高台高1.0 残存高3.7 底部～体部の1/5	内外面回転ナデ、底部外面高台貼付のちヨコナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成堅緻 内・外：灰白色2.5Y8/1	反転復元 底部内面に重焼痕か 体部内面に沈線、ヘラ描き記号か 灰釉陶器碗であるが残存部は無釉 H72窯式後半期碗Bまたは深碗 11C 初頭か
1749	Ⅱ－7	SD1063	遺構埋土	土師質土器 脚付杯かⅢ	残存長3.0 幅3.6 厚さ1.9 脚部	ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：橙色7.5YR7/6 外：浅黄橙色7.5YR8/4	Ⅲか杯の底部に脚部貼り付け
1750	Ⅱ－7	SD1063	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.2 器高1.5 底径5.2 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面ナデか	精良、石・赤、0.1～0.5 焼成堅緻 内・外：浅黄橙色7.5YR8/3	反転復元
1751	Ⅱ－7	SD1063	遺構埋土	陶器 Ⅲ	口径9.7 器高2.3 底径5.5 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りか	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：暗赤褐色5YR3/3 外：にぶい赤褐色2.5YR4/4	反転復元 内面～口縁外面にかけて薄く釉がかかる 口縁の一部にわずかに炭化物が付着しており、灯明Ⅲか備前か、近世

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1752	Ⅱ－7	SD1063	遺構埋土	陶器 皿	底径4.5 高台高0.8 残存高2.0 底部の4/5	ロクロナデ、高台削り出しのち施釉、畳付部釉掻き取り	精良　焼成良好 釉：にぶい黄8Y7.5/5S 素地：灰白色2.5Y8/1	一部反転復元 破面のエッジに鈍い部分があり、スクレーパー的な二次的使用によるものか 釉貫入あり 見込み・高台部分に4カ所砂目痕あり 砂目の含有物は石・長・黒色粒、0.1～0.5 肥前系 16C末～17C初頭か
1753	Ⅱ－7	SD1063	遺構埋土	染付 皿	底径3.1 高台高0.4 残存高1.2 底部の2/5	ロクロナデのち高台削り出し、呉須絵付き、内面～体部下位外面・高台内側施釉	精良　焼成良好 釉：あかるいグレイみの緑12G7.5/3S 素地：灰白色5Y8/1 微細な黒斑わずかに含む	反転復元 外面芭蕉葉文、内面捻花文 畳付部露胎 小野分類染付皿C群Ⅰ類 15C後葉～16C前半
1754	Ⅱ－7	SD1063	遺構埋土	陶器 碗	口径14.2 残存高5.8 口縁～体部の1/6	ロクロナデのち体部下位外面回転ヘラケズリのち内面～体部下位外面施釉	精良、石・長・黒、0.1～1 焼成良好 釉：ブラウンみの黒6YO 2.4/1S 素地：灰白色2.5Y8/2	反転復元 瀬戸美濃系 天目茶碗
1755	Ⅱ－7	SD1063	遺構埋土	陶器 擂鉢	口径26.0 残存高3.9 口縁の1/20	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～4　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ A－2期 14C末～15C初頭
1756	Ⅱ－7	SD1063	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径23.5 鍔径26.2 残存高4.0 口縁の1/10	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ヨコ板ナデ（幅1.2cm）	粗、石・長・赤・金、0.1～2　焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：にぶい黄橙色10YR7/2	反転復元 外面わずかに煤付着 瀬戸内沿岸～大阪湾岸からの搬入
1757	Ⅱ－7	SD1063	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径26.0 鍔径28.2 残存高4.3 口縁の1/20	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、ヨコ・斜板ナデ（幅不明）、内面ヨコ板ナデ（幅1.2cm以上）	良好、石・長・赤・金、0.1～2　焼成良好 内・外：灰黄褐色10YR6/2	反転復元 外面わずかに煤付着 瀬戸内沿岸～大阪湾岸からの搬入
1758	Ⅱ－7	SD1063	遺構埋土	陶器 甕	口径36.0 頸径34.7 残存高9.8 口縁～頸部の一部	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～3.5 焼成良好 内：暗赤褐色2.5YR3/2 外：灰赤色2.5YR4/2	反転復元 口縁～頸部内面・体部外面に自然釉付着 備前焼 重根編年Ⅴ－B期 16C後半
1760	Ⅱ－7	SD1066	遺構埋土	土師質土器 皿	口径10.8 器高1.6 底径7.2 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面静止糸切りかのちナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色2.5YR7/6	反転復元
1761	Ⅱ－7	SD1066	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.9 底径4.7 高台高0.6 器高5.4 全体の2/5	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部外面高台貼り付けのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）・連結輪状ヘラミガキ、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	精良、石・長、0.1～3　焼成良好 内：灰色N5/0 外：灰白色2.5Y8/1	反転復元 体部外面に接合痕あり 炭素吸着内面～口縁外面良好、体部内面の一部・体部外面吸着なし、重焼痕 紀伊型瓦器椀か、和泉型瓦器Ⅲ－1～2期併行か 12C後葉～13C初頭
1762	Ⅱ－7	SD1066	遺構埋土	須恵器 壺	底径8.6 高台高1.0 残存高2.5 底部の5/12	内外面回転ナデ、底部外面高台貼付のち回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内・外：暗赤灰色10R4/1	反転復元 高台外面・底部内面自然釉付着 8C後半か
1763	Ⅱ－7	SD1066	遺構埋土	土製 紡錘車	長さ5.6 幅5.1 厚さ1.0 重量27.2g	側面打ち欠きおよび破面研磨	良好、石・長・赤・チ、0.1～4　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR6/3 外：橙色7.5YR7/6	土師器甕体部片の転用 外面のハケ後ナデ、内面のハケ（4条/cm以上）残る
1764	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.3 底径8.2 器高0.9 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・赤・チ、0.1～2　焼成良好 内・外：淡橙色5YR8/4	反転復元
1765	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.0 底径6.9 器高1.7 全体の3/5	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか	粗、石・長・赤・チ、0.1～2　焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	
1766	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.4 底径5.3 器高1.4 全体の1/12	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ、底部内面ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1767	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径10.8 底径6.0 器高1.6 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元
1768	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.7 残存高2.2 口縁～体部の1/15	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：淡橙色5YR8/4	反転復元 胎土に細粒多く、わずかにザラつく
1769	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.9 残存高1.3 口縁～体部の1/8	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元
1770	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.4 底径5.9 残存高1.2 全体の1/8	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内：にぶい橙色5YR6/4 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元
1771	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.8 底径7.4 器高1.7 全体の1/10	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元
1772	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 灯明皿	口径10.6 底径6.7 器高2.0 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板目痕	良好、石・赤・金、0.1～1 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR6/4 外：にぶい黄橙色10YR7/2	内側全面から口縁外面の一部にかけて炭化物付着
1773	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径11.9 残存高1.7 口縁～体部の1/14	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1774	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径12.9 底径9.0 器高1.9 全体の1/20	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/3 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元
1775	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径12.8 底径9.2 残存高1.9 全体の1/9	内外面回転ナデ、底部外面切り離し技法不明	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元
1776	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径13.4 残存高1.8 口縁～体部の1/11	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元
1777	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径14.4 残存高1.9 口縁の1/10	外面回転ナデ、内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成堅緻 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 口縁に歪みあり
1778	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径16.6 底径10.9 器高2.0 全体の1/15	内外面回転ナデ、底部外面切り離し技法不明・ナデか	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：浅黄橙色7.5YR8/3	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1779	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径17.6 器高2.4 底径11.6 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1780	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径11.6 底径7.7 器高2.4 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1.6 焼成良好 内：黄灰色2.5Y4/1 外：淡黄色2.5Y8/3	反転復元
1781	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.7 底径5.6 器高1.3 全体の1/7	内外面回転ナデ、底部外面ナデか	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元
1782	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.4 底径5.4 器高1.7 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/3	
1783	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径10.5 底径7.0 器高1.6 全体の1/7	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元 内面～口縁外面の一部わずかに煤付着 灯明皿として使用か 胎土に細粒多く、ややザラつく
1784	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径10.5 底径6.3 器高1.9 全体の3/5	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：灰白色7.5Y8/2	一部反転復元
1785	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径11.8 底径7.7 器高1.9 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りかのちナデ、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/2 外：浅黄橙色7.5YR8/3	反転復元
1786	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径11.8 残存高1.7 口縁～体部の1/14	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/4 外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元
1787	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.8 底径5.7 器高2.4 完形	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・赤・金、0.1～0.5　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/3	外面わずかに煤付着 底部外面回転ヘラ切り痕をナデ消し 微細な金雲母わずかに含む 中世末か
1788	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.7 底径7.4 器高3.2 全体の4/5	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ	精良、石・長・赤・金、0.1～1　焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/4 外：褐灰色10YR4/1	外面煤付着 ごく微細な金雲母含む 中世末か
1789	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 皿	口径10.0 残存高2.9 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	外面煤付着 底部外面剥離のため調整不明瞭 剥離面も煤付着 中世末か
1790	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.8 器高2.3 底径10.2 全体の1/6	内外面ヨコナデ、底部外面ナデ・ユビオサエ、底部内面ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元
1791	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 杯か椀	口径14.7 残存高3.6 口縁～体部の1/18	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：淡橙色5YR8/4 外：灰白色5Y8/2	反転復元
1792	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	土師質土器 杯か椀	口径13.8 残存高2.9 口縁～体部の1/10	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元
1793	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.9 高台高0.4 底径3.1 器高4.8 ほぼ完形	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼り付けのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文	精良、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y4/1	一部反転復元 内外面炭素吸着良好、外面一部やや不良、重焼痕 外面斑状に剥離 和泉型Ⅲ－2期 12C末～13C初頭
1794	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.1 残存高4.8 口縁～体部の1/15	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰色N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－1か 12C後葉
1795	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高3.8 口縁～体部の1/11	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～4　焼成良好 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 内面は炭素の剥離がみられる 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C前葉～中葉
1796	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.9 残存高2.7 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：灰色N5/0 外：灰色N6/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1期 13C前葉～中葉

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1797	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.7 残存高3.2 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内：灰白色10YR8/2 外：にぶい褐色7.5YR6/3	反転復元 内外面炭素吸着不良 酸化炎焼成 内面ミガキ確認できず 和泉型かⅢ－3～Ⅳ－1期か 13C 前葉～中葉
1798	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	白磁 碗	口径16.0 残存高3.0 口縁の1/12	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1 微細な黒斑あり	反転復元 内外面、釉とび・貫入あり 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C 後半～12C 前半
1799	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	白磁 碗	口径15.2 残存高2.6 口縁の1/23	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色10Y8/1 微細な黒斑あり	反転復元 わずかに釉とび、ごく粗い貫入 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C 後半～12C 前半
1800	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	白磁 碗	口径12.6 残存高3.0 口縁～体部の1/12	ロクロナデ・ケズリのち施釉	精良　焼成良好 釉：黄みのグレイ10YG7.5/1S 素地：灰白色 N8/0 微細な黒斑あり	反転復元 釉は透明度高くごく粗い貫入あり 15～16C 代か
1801	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	白磁 碗	底径6.8 高台高0.8 残存高2.6 底部の1/4	ロクロナデ、高台削り出しのち内面施釉、残存部外面露胎	精良　焼成良好 釉：うすい黄8Y8.5/3S 素地：灰白色10YR8/2	反転復元 釉に貫入あり 大宰府分類白磁碗Ⅱ－2類 11C 後半～12C 前半
1802	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	青磁 皿	口径12.7 底径7.6 高台高0.8 器高3.7 全体の1/4	ロクロナデのち高台削り出し、内面～高台畳付部施釉	良好　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG7.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1 微細な白色粒多い	反転復元 釉貫入あり 14～15C 代か
1803	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	青磁 碗	口径15.3 残存高2.9 口縁～体部の1/10	ロクロナデのち施釉	良好　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色 N7/0 褐色の細粒含む	反転復元 釉に細かい白斑あり、釉とびあり 上田分類Ｄ－Ⅱ類 14C 後半～15C 前半
1804	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	青磁 碗	底径6.2 高台高0.8 残存高2.0 底部全体	ロクロナデのち高台削り出し、底部内面ヘラ片彫草花文、内面～高台外側まで施釉、一部底部外面におよぶ	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG6.5/3S 素地：灰白色 N7/0	大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－2類 12C 中頃～後半
1805	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	青磁 碗	底径5.8 高台高0.7 残存高1.9 底部の4/5	ロクロナデのち高台削り出し、底部内面印花文、内面～高台外面施釉、畳付部釉掻き取り	良好　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG6.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1 微細な石英・黒含む	釉透明度高く、粗い貫入 上田分類Ｄ類か 14C 代
1806	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	青磁 碗	底径6.2 高台高1.0 残存高2.4 底部全体	ロクロナデ、高台削り出し、底部内面印花文「刈」字スタンプのち内面～高台外面まで施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG7.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1	一部反転復元 釉は一部畳付を越えて高台内面におよぶ 上田分類Ｃ－Ⅱ－2類か 14C 後半～15C 前葉
1807	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	青磁 碗	底径5.6 高台高0.8 残存高2.3 底部の4/5	ロクロナデのち高台削り出し、体部外面細蓮弁文施文、内面～高台内面途中施釉、底部内面円形釉剥ぎ	良好　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG6.5/3S 素地：灰白色 N8/0 微細な黒斑あり	一部反転復元・合成 きわめて粗い貫入 露胎部は赤く発色 底部内面・高台内側に鉄分付着 型式等不明であるが15～16C 代
1808	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径28.8 残存高3.3 口縁の1/13	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰色 N5/0	反転復元 口縁外面炭素付着、重焼痕 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1段階 12C 中葉～後半
1809	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 擂鉢	口径26.4 残存高4.0 口縁の1/17	外面回転ナデ、内面回転ナデのち擂目（5条/1.0cm以上）	良好、石・長、0.1～3.5 焼成良好 内：にぶい赤褐色2.5YR5/4 外：にぶい赤褐色5YR5/3	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ A－2期～Ⅳ B－1期 14C 末～15C 前葉
1810	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 擂鉢	口径27.5 残存高9.6 口縁～体部下位の1/12	外面回転ナデ、内面回転ナデのち擂目（5条/1.4cm以上）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰赤色2.5YR5/2	反転復元 口縁外面、体部内面自然釉わずかに付着 体部下位内面使用により磨耗 備前焼 重根編年Ⅳ B－1期 15C 前葉
1811	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	陶器 擂鉢	口径27.9 残存高5.6 口縁～体部の1/8	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～4　焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：灰褐色5YR5/2	反転復元 内面使用により磨耗気味 備前焼 重根編年Ⅳ B－2期 15C 中葉
1812	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 擂鉢	口径27.6 残存高6.2 口縁の1/18	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内：灰褐色7.5YR5/2 外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ B－2期 15C 中葉
1813	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 擂鉢	口径26.3 残存高4.9 口縁の1/20	外面回転ナデ、内面回転ナデのち擂目（6条/cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 須恵質焼成 備前焼 重根編年Ⅳ B－2～3期 15C 中葉～後葉
1814	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 擂鉢	口径25.4 残存高3.2 口縁の1/20	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～4　焼成良好 内：にぶい赤褐色2.5YR5/3 外：灰赤色10R5/2	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ B－3期 15C 後葉
1815	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 擂鉢	口径27.8 残存高3.9 口縁の1/19	外面回転ナデ、内面回転ナデのち擂目（単位不明）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰色 N5/0 外：灰褐色5YR5/2	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ B－3期 15C 後葉

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1816	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 擂鉢	口径32.0 残存高4.4 口縁の1/6	外面回転ナデ、内面回転ナデのち擂目	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：赤灰色2.5YR5/1	反転復元 口縁外面自然釉わずかに付着 備前焼 重根編年Ⅳ B－3期 15C 後葉
1817	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 擂鉢	残存高2.9 口縁の一部	内外面回転ナデ	粗、石・長、0.1～3.5　焼成良好 内：黒褐色5YR3/1 外：にぶい赤褐色2.5YR4/4	断面実測 備前焼 重根編年Ⅳ A－2期 14C 末～15C 初頭
1818	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 擂鉢	底径13.0 残存高3.6 底部～体部下位の1/4	外面回転ナデ、底部外面不調整、内面回転ナデのち擂目	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：にぶい赤褐色2.5YR5/4	反転復元 内面使用により磨耗 備前焼 重根編年Ⅳ～Ⅴ期 14～16C 代
1819	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 擂鉢	底径13.4 残存高4.8 底部～体部下位の1/5	外面回転ナデ、内面回転ナデのち擂目（7条/2cm）	良好、石・長、0.1～4　焼成良好 内：灰白色 N7/0 外：褐灰色5YR6/1	反転復元 内面使用により磨耗 備前焼 重根編年Ⅳ～Ⅴ期 14～16C 代
1820	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径22.0 鍔径24.3 体部最大径24.5 残存高5.5 口縁の1/16	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ板ナデ、体部内面ヨコ板ナデ（幅1.4cm）	良好、石・長・赤・金、0.1～4　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元 鍔部以下煤付着
1821	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径27.2 鍔径30.0 残存高4.4 口縁の1/20	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのち板ナデか、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長・金、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 鍔部以下煤付着
1822	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径22.4 鍔径24.7 残存高3.3 口縁の1/23	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ヨコ板ナデ（幅1.3cm）	良好、石・長・赤、0.1～4 焼成良好 内：(口縁)橙色2.5YR6/6 (底部)黒色7.5Y2/1 外：赤黒色2.5YR2/1	反転復元
1823	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径24.6 体部最大径27.4 残存高6.5 口縁～体部の1/21	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちタテ・ヨコ板ナデ（幅不明）、体部内面ヨコハケ（3条/cm）	粗、石・長・赤・金、0.1～2　焼成良好 内：橙色5YR7/6 外：橙色5YR6/8	反転復元 外面煤付着
1824	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径23.6 鍔径26.1 体部最大径26.7 残存高4.5 口縁の1/12	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：灰黄褐色10YR6/2 外：黒色 N1.5/0	反転復元 鍔部以下煤付着
1825	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径26.8 鍔径28.9 体部最大径29.1 残存高4.8 口縁～体部の1/13	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ板ナデ（幅不明）、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：にぶい黄褐色10YR5/3	反転復元 鍔部以下煤付着
1826	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径24.8 鍔径26.4 体部最大径26.4 残存高7.3 口縁～体部の1/10	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ・ヨコ板ナデ（幅不明）、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・長・赤・金、0.1～4　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：黒色10YR2/1	反転復元 鍔部以下煤付着
1827	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径27.6 鍔径29.3 体部最大径31.0 残存高7.0 口縁～体部の1/4	口縁内外面～鍔部ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ板ナデ（幅不明）、体部下位外面格子タタキのちヨコ板ナデ（幅不明）、体部内面ヨコ板ナデ	良好、石・長・赤・金、0.1～7　焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 鍔部以下煤付着、底部内面わずかに煤付着
1828	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径24.5 鍔径26.0 体部最大径26.7 残存高4.4 口縁の1/12	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのち斜板ナデ（幅不明）、体部内面ヨコ板ナデ（幅1.5cm以上）	良好、石・長・金、0.1～3 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：明黄褐色10YR7/6	反転復元 鍔部以下煤付着
1829	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径24.3 鍔径25.8 体部最大径26.4 残存高4.8 口縁～体部の1/20	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちタテ・ヨコ板ナデ（幅不明）、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元
1830	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径19.4 鍔径21.0 体部最大径21.6 残存高5.0 口縁の1/15	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちタテ・ヨコ板ナデ（幅不明）、体部内面ヨコ板ナデ（幅1.7cm以上）	良好、石・長・赤・金、0.1～4　焼成良好 内・外：橙色2.5YR6/6	反転復元 鍔部以下煤付着
1831	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径25.1 鍔径26.4 体部最大径27.0 残存高5.4 口縁～体部の1/8	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのち板ナデ、体部内面ヨコ板ナデ（幅1.2cm）	粗、石・長・赤、0.1～4 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元 鍔部以下煤付着
1832	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	残存高3.1 口縁～鍔部の一部	口縁～鍔部外面ヨコナデ、体部外面ナデのち平行タタキ（単位不明）、口縁内面ナデ、体部内面ヨコナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：にぶい橙色5YR7/4	断面実測 鍔部以下煤付着 播磨型土師質土器羽釜 長谷川編年Ⅳ期か 14C 後半
1833	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	残存高0.9 底部の一部	外面格子タタキ、内面ヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・長・赤、0.1～5 焼成良好 内：黒褐色2.5Y3/1 外：黒色2.5Y2/1	断面実測 外面煤付着 内面炭素付着
1834	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	土師質土器 羽釜	残存高1.8 底部の一部	外面格子タタキ、内面ヨコ板ナデ（幅1.4cm）	粗、石・長・金・花、0.1～4　焼成良好 内：オリーブ黒5Y3/1 外：暗灰色 N3/0	断面実測 外面煤・炭化物付着 内面炭素付着
1835	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径31.2 残存高2.4 口縁の1/31	口縁外面ヨコナデ、頸部外面ユビオサエ・ナデのちタテハケ（4条/cm）、体部外面ユビオサエのちタテハケ（4条/cm）、内面ヨコナデのちヨコハケ（8条/1.1cm）	良好、石・長・赤・角か、0.1～1　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 吉備系
1836	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	須恵器 甕か	残存高3.7 口縁の一部	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：黄灰色2.5Y6/1 外：(自然釉)グレイみのオリーブグリーン10YG5.5/3S	断面実測 外面自然釉付着 産地不明 平安京Ⅲ期新相 10C 中葉前後か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	法量(cm) 残存率	技法	胎土、含有物、法量(mm) 焼成 色調	備考
1837	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	白磁 壺	口径9.0 頸径8.1 残存高3.3 口縁の1/12	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 13C 代か
1838	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	陶器 壺	口径10.6 頸径11.4 残存高4.3 口縁の1/11	内外面回転ナデ	精良、石・赤、0.1～2　焼成良好 内：灰白色2.5Y8/1 外：灰褐色5YR5/2	反転復元 口縁内面に自然釉付着 備前焼 重根編年Ⅳ期か 14～15C 代
1839	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 壺	耳部のみ	回転ナデのち耳部貼り付け、内外面施釉	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 釉：グレイみの黄色8Y6.5/3S 素地：灰黄褐色10YR6/2	釉厚一定せず貫入あり、透明度低い 時期・産地不明
1840	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 甕	口径30.0 残存高3.9 口縁の1/18	内外面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内：灰褐色5YR5/2 外：赤褐色10R5/3	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ A 期 14C 後葉～15C 初頭
1841	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	陶器 甕	口径28.0 頸径25.5 残存高6.5 口縁の1/17	口縁内面～外面ヨコナデ、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長、0.1～6　焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ A 期 14C 後葉～15C 初頭
1842	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 甕	口径33.2 残存高4.5 口縁の1/10	内外面ヨコナデのちナデ	粗、石・長、0.1～4　焼成良好 内・外：にぶい赤褐色2.5YR5/3	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ B 期 15C 前葉～後葉
1843	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 甕	口径30.5 残存高6.6 口縁の1/12	口縁内面～外面ヨコナデ、体部内面ヨコ板ナデ(幅1.7cm)	粗、石・長・花、0.1～10 焼成良好 内：灰褐色5YR4/2 外：灰褐色7.5YR4/2	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ B 期 15C 前葉～後葉
1844	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 甕	口径32.1 残存高4.5 口縁の1/12	口縁内面～外面ヨコナデ、体部内面ヨコ板ナデ(幅1.5cm)	良好、石・長、0.1～6　焼成良好 内・外：にぶい赤褐色2.5YR4/4	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ B 期 15C 前葉～後葉
1845	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 甕	口径28.6 頸径29.7 残存高7.2 口縁の2/9	外面回転ナデ、口縁内面回転ナデ、体部内面ユビオサエ・ナデ	良好、石・長・花、0.1～5 焼成良好 内：赤褐色10R4/3 外：にぶい赤褐色5YR4/3	反転復元 外面わずかに自然釉付着 備前焼 重根編年Ⅳ B 期 15C 前葉～後葉
1846	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 甕	口径34.2 残存高5.5 口縁の1/14	内外面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰赤色2.5YR4/2	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ B～Ⅴ A 期 15C 前葉～16C 前半
1847	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 甕	口径35.0 残存高7.0 口縁の1/12	外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・ナデ	精良、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：灰赤色7.5R4/2	反転復元 備前焼 重根編年Ⅴ期 16C 代
1848	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 甕	口径38.0 残存高6.7 口縁の1/10	内外面ヨコナデのちナデ	精良、石・長、0.1～3　焼成良好 内：褐灰色7.5YR4/1 外：黒褐色7.5YR3/1	反転復元 内外面ハゼによる剥離あり 備前焼 重根編年Ⅴ B 期 16C 後半
1849	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	陶器 甕	底径30.0 残存高8.2 底部の1/6	体部外面ヨコナデ、下端ヨコヘラケズリ（幅1.3cm以上）、底部外面ナデか、体部内面ヨコナデ、下端ヨコヘラケズリ（幅1.0cm以上）、底部内面ナデ	精良、石・長・花、0.1～5 焼成良好 内・外：灰褐色5YR4/2	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ～Ⅴ期か 14～16C 代
1850	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.6 径2.0 孔径0.7 重量10.7g ほぼ完存	ユビオサエ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 橙色7.5YR7/8	
1851	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長3.5 径0.8 孔径0.3 重量1.80g 全体の9/10	ナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 灰白色2.5Y7/1	還元炎焼成気味
1852	Ⅱ－9	SD1067	遺構埋土	須恵器か 加工円盤	長さ3.6 幅3.6 厚さ1.1 重量15.7g	側面を円盤状に研削整形	粗、石・長・チ、0.1～2 焼成良好 内・外：灰白色2.5Y7/1	須恵器または須恵質土器を転用 瓦もしくは瓦質土器転用か 内外面のナデ残る 外面わずかに炭素付着
1866	Ⅱ－9	SD1068	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径10.0 器高2.1 底径8.7 全体の1/12	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y4/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅲ－1～2 期併行か
1867	Ⅱ－9	SD1068	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.9 残存高2.5 口縁～体部の1/12	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.2cm)	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 和泉型Ⅲ－3～Ⅳ－1 期 13C 前葉～中葉
1868	Ⅱ－9	SD1068	遺構埋土	瓦質土器 鉢か	口径19.0 残存高2.8 口縁～体部の1/10	口縁外面ヨコナデ、外面ナデか、内面ヨコナデ・ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）	良好、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：灰色 N5/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型瓦器Ⅲ－3 期前後併用
1869	Ⅱ－9	SD1068	遺構埋土	白磁 碗	残存高2.1 口縁の一部	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：うすい黄緑10YG8.5/3S 素地：灰白色 N8/0	断面実測 貫入なし 大宰府分類白磁碗Ⅲか Ⅳ類 11C 後半～12C 前半
1870	Ⅱ－9	SD1068	遺構埋土	須恵器 蓋	残存高2.1 口縁の一部	内外面ヨコナデ	精良、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	断面実測 復元径は30cmを越える、歪みのある小片のため断面実測とした

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1871	Ⅱ－9	SD1068	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径41.8 残存高5.1 口縁の1/25	口縁～頸部内外面ヨコナデ、体部外面ハケ（4条/cm）、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・長・金・花、0.1～5　焼成良好 内：橙色2.5YR6/8 外：灰褐色7.5YR4/2	反転復元 瀬戸内沿岸～大阪湾岸からの搬入 古代末か
1872	Ⅱ－9	SD1069	遺構埋土	土師器か 皿	口径8.3 器高1.1 底径5.8 全体の1/10	内外面ヨコナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：橙色5YR6/6 外：明赤褐色5YR5/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 10C～11C代か
1873	Ⅱ－9	SD1069	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.6 器高1.6 底径7.3 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 内：橙色5YR7/8 外：橙色7.5YR7/6	反転復元
1874	Ⅱ－9	SD1069	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.9 残存高1.7 口縁～体部の1/15	外面ヨコナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：灰色N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期か 13C前葉
1875	Ⅱ－9	SD1069	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長5.3 径1.3 孔径0.5 重量7.05g ほぼ完形	ナデ・ユビオサエ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 黄灰色2.5Y6/1	外面炭素付着 瓦質焼成気味
1876	Ⅱ－9	SD1069	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長5.0 径1.4 孔径0.4 重量7.7g 全体の2/3	ナデ・ユビオサエ	良好、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 橙色5YR6/8	
1877	Ⅱ－9	SD1069	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長3.5 径1.0 孔径0.3 重量2.8g ほぼ完形	ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 にぶい黄橙色10YR7/3	
1878	Ⅱ－9	SD1069	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長4.0 径1.3 孔径0.4 重量5.8g ほぼ完形	ナデ	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～4　焼成良好 橙色7.5YR6/6	
1879	Ⅱ－11	SD1075	遺構埋土	緑釉陶器 皿か	底径4.6 残存高1.5 底部の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち内面～高台外面施釉	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：(釉)うすい黄緑10YG 8.5/3S 外：黄橙色10YR8/6	反転復元 釉剥離著しい 酸化炎焼成 9C代
1880	Ⅱ－11	SD1077	遺構埋土	土師質土器 高脚高台付 杯か皿	脚端径8.9 高台高2.7 残存高4.1 高台部～杯底部の1/8	内外面回転ナデか	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：橙色7.5YR7/6 外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元・一部合成
1883	Ⅱ－5	SX1005	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.8 器高1.8 底径6.2 全体の1/8	内外面回転ナデ、外面下端に沈線2条、底部外面回転糸切り	良好、石・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR 7/4	反転復元 体部下端の沈線2条は底部糸切り時の失敗
1884	Ⅱ－5	SX1005	遺構埋土	瓦器 皿	口径8.8 器高1.6 底径6.5 全体の1/10	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデ	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅲ－3～Ⅳ期併行
1885	Ⅱ－5	SX1005	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高4.0 口縁～体部の1/6	口縁外面ユビオサエのちヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、口縁内面ヨコナデ、体部上位内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、体部下位内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 内外面重焼痕 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1886	Ⅱ－5	SX1005	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.2 残存高3.1 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内・外：灰白色2.5Y8/2	反転復元 内外面炭素吸着不良 和泉型Ⅲ－3期か 13C前葉
1887	Ⅱ－5	SX1005	遺構埋土	須恵質土器 椀	底径5.7 残存高2.7 底部～体部下位の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 東播系須恵質土器椀 森田編年第Ⅰ期第1段階 11C後半
1888	Ⅱ－10	SX1008	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.9 底径7.6 残存高1.1 全体の1/10	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1889	Ⅱ－10	SX1008	遺構埋土	土師質土器 皿	口径11.0 底径7.7 残存高1.6 全体の2/11	内外面回転ナデ、底部外面ナデか	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：明黄褐色10YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1890	Ⅱ－10	SX1008	遺構埋土	土師質土器 皿	口径10.3 底径7.9 残存高1.6 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 胎土に細粒多く、ややザラつく
1891	Ⅱ－10	SX1008	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径26.2 鍔径28.1 体部最大径28.0 残存高5.7 口縁～体部の1/11	口縁内外面～鍔部ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちタテ板ナデ（幅不明）、体部内面ヨコ板ナデのちユビオサエ	良好、石・長・赤・金、0.1～5　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元 鍔部以下煤・炭化物付着 15C後半～16C代か
1892	Ⅱ－10	SX1008	遺構埋土	土師質土器 羽釜	残存高4.3 口縁の一部	口縁内外面ヨコナデ、体部外面平行タタキ、体部内面ヨコハケ（5条/cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：黒褐色7.5YR3/2 外：灰黄褐色10YR4/2	断面実測 鍔部以下煤付着 播磨型土師質土器羽釜 長谷川編年Ⅵ期 15C後半
1894	Ⅱ－10	SX1010	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.9 残存高2.1 口縁～体部の1/24	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元
1895	Ⅱ－10	SX1010	遺構埋土	陶器 皿	口径10.8 底径6.2 高台高0.3 器高2.1 全体の1/9	内外面回転ナデ、高台削り出し、体部内面タテケズリ（内ソギ）、内外施釉、底部内面釉掻き取り	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 釉：にぶい黄色8Y7.5/5S 素地：灰白色2.5Y8/2	反転復元 釉に貫入あり 瀬戸美濃系折縁皿（内ソギ） 大窯後期 16C後半か
1896	Ⅱ－1	SP10027	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.3 残存高3.5 口縁～体部の5/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.1～0.3cm)、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：灰白色 N8/0	反転復元 内外面炭素吸着なし 和泉型Ⅳ－1期 13C中葉

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1897	Ⅱ－1	SP10033	遺構埋土	白磁 碗	口径14.0 残存高2.7 口縁～体部の1/19	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 7.5/3S 素地：灰黄色2.5Y7/2	反転復元 外面釉とびあり 大宰府分類白磁碗Ⅴ～Ⅷ類 12C 中葉～13C 前半
1898	Ⅱ－4	SP10192	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.7 残存高5.3 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－1～2期 12C後葉～13C 初頭
1899	Ⅱ－4	SP10193	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.2 底径6.3 器高1.5 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ・板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1900	Ⅱ－4	SP10199	遺構埋土	黒色土器 （B類） 椀	底径7.5 高台高0.5 残存高3.4 底部～体部の1/4	体部外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.4cm）、底部外面板ナデかのち高台貼付・ヨコナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3～0.4cm）	精良、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：黒色2.5Y2/1	反転復元 内外面炭素吸着良好
1901	Ⅱ－4	SP10202	遺構埋土	黒色土器 （A類） 椀	底径7.6 高台高1.1 残存高3.4 底部の5/6	外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ、高台貼付のちヨコナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.25cm）	良好、石・長・赤、0.1～5 焼成良好 内：黄灰色2.5Y4/1 外：橙色5YR7/6	一部反転復元 内面炭素吸着良好
1902	Ⅱ－4	SP10213	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 底径6.0 器高1.2 全体の1/12	内外面ヨコナデ、底部外面ナデか	良好、石・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR 7/4	反転復元
1903	Ⅱ－4	SP10213	遺構埋土	黒色土器 （A類） 椀	底径6.7 高台高1.0 残存高1.8 底部の1/7	外面ヨコナデ、高台貼付のちナデ、内面ヘラミガキ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：黒褐色10YR3/1 外：にぶい黄橙色10YR7/3	反転復元 内面炭素吸着良好、底部外面炭素付着（やや不良）
1904	Ⅱ－4	SP10215	遺構埋土	土師質土器 高台付杯	口径16.6 高台残存高1.1 残存高4.4 全体の2/3	内外面ヨコナデ	良好、石・長・赤・石灰石か、0.1～7　焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/6 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1905	Ⅱ－4	SP10229	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.7 残存高5.1 口縁～体部の1/6	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ユビオサエ・ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石・赤・金、0.1～1 焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y4/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 楠葉型瓦器椀Ⅰ期か 11C後半～12C 初頭
1906	Ⅱ－4	SP10251	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 器高0.9 底径6.2 全体の1/12	内外面回転ナデ、底部外面不明	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色5YR6/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1907	Ⅱ－4	SP10251	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 器高1.2 底径5.8 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR6/8	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1908	Ⅱ－4	SP10251	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.1 残存高2.3 口縁の1/10	内外面回転ナデ	良好、石・長・結・赤、0.1～0.5　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元 外面煤付着
1909	Ⅱ－4	SP10251	遺構埋土	土師質土器 杯	底径6.6 残存高1.7 底部の1/48	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか	良好、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1910	Ⅱ－4	SP10251	遺構埋土	黒色土器 （A類） 椀	口径13.8 残存高2.9 口縁～体部の1/8	外面ヨコナデ、内面ヨコナデのちタテ方向のヘラミガキ（幅0.25cm）	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：黒色2.5Y2/1 外：橙色2.5YR7/6	反転復元 炭素吸着内面良好
1911	Ⅱ－4	SP10259	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.3 底径6.5 高台高0.8 器高6.0 全体の9/10	口縁外面ナデ・ヨコナデ、体部外面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.4cm）、底部外面高台貼付のちヨコナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.4cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	内外面炭素吸着良好 外面に重焼痕 和泉型Ⅰ－2～Ⅱ－1期 11C後半～12C 初頭
1912	Ⅱ－4	SP10263	遺構埋土	須恵質土器 捏鉢	口径31.9 残存高4.2 口縁の1/12	外面回転ナデ、内面回転ナデのちヨコ板ナデ（幅0.8cm）	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内：灰色7.5Y6/1 外：灰色 N6/0	反転復元 口縁外面炭素付着、重焼痕 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1段階 12C 中葉～後半
1913	Ⅱ－4	SP10269	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.7 器高1.7 底径7.5 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1914	Ⅱ－4	SP10269	遺構埋土	黒色土器 （B類） 椀	口径15.3 底径6.2 高台高0.5 器高4.9 全体の1/2	外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部外面高台貼付のちヨコナデ、口縁内面沈線1条、体部内面ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面連結輪状ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：黒色7.5Y2/1	一部反転復元 畿内系Ⅴ類－Ⅸ期か 11C 後半
1915	Ⅱ－4	SP10292	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.1 器高1.3 底径6.3 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板目痕	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/3 外：にぶい黄橙色10YR7/4	反転復元
1916	Ⅱ－4	SP10292	遺構埋土	土師質土器 高台付椀	底径9.1 高台高0.9 残存高2.7 底部～体部下位の1/6	体部外面回転ナデ、底部外面高台貼り付けのちナデ、内面回転ナデのちヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：にぶい黄橙色10YR7/3	反転復元
1917	Ⅱ－4	SP10292	遺構埋土	黒色土器 （B類） 椀	口径13.7 残存高3.9 口縁～体部の1/12	内外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石、0.1～2　焼成良好 内・外：黒褐色2.5Y3/1	反転復元 内外面炭素吸着良好

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1918	Ⅱ－4	SP10292	遺構埋土	須恵質土器 椀	底径5.8 残存高3.2 底部～体部の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 東播系須恵質土器椀 森田編年第Ⅰ期 11C後半～12C前半
1919	Ⅱ－4	SP10292	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径31.4 頸径27.4 残存高11.8 ほぼ全体の1/3	口縁外面ヨコハケのちナデ・ヨコナデ、体部外面タテハケ（8条/1.7cm）、口縁内面ヨコハケのちナデ、体部内面ヨコハケ（8条/1.7cm）	良好、石・長・赤・金、0.1～4　焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：灰黄褐色10YR6/2	反転復元 吉備系 山本編年Ⅲ－1期 13C前葉
1920	Ⅱ－4	SP10306	遺構埋土	土師質土器 皿	口径10.2 器高1.5 底径7.1 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・赤、0.1～1.5 焼成やや不良 内：橙色5YR7/8 外：明黄褐色10YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1921	Ⅱ－4	SP10315	遺構埋土	黒色土器 (B類) 台付椀	口径15.7 底径7.3 高台高2.0 器高6.7 全体の2/3	外面ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部外面台部・高台部貼付のちヨコナデ、内面ナデのちタテ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：黒褐色7.5YR3/1 外：にぶい橙色7.5YR7/4	一部反転復元 炭素吸着内面良好、外面やや不良 外面下位酸化炎焼成
1922	Ⅱ－4	SP10321	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.0 器高1.8 底径4.7 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内・外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1923	Ⅱ－4	SP10348	遺構埋土	瓦器 椀	口径12.7 残存高3.4 口縁～体部の1/6	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3～0.4cm）	良好、長、0.1～3　焼成良好 内：灰黄色2.5Y7/2 外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 口縁内面～体部中位外面炭素吸着良好、体部内面・体部下位外面炭素吸着なし、重焼痕 和泉型Ⅳ－2期か 13C後葉
1924	Ⅱ－4	SP10351	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.8 器高0.8 底径7.2 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・赤、0.1～1.5 焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元
1925	Ⅱ－4	SP10351	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.6 底径9.0 器高2.9 全体の1/10	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元
1926	Ⅱ－4	SP10352	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.8 底径9.6 器高2.5 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1927	Ⅱ－4	SP10352	遺構埋土	黒色土器 (B類) 杯	口径13.8 底径7.4 器高3.1 全体の1/4	体部内外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.4cm）、底部内外面ナデのち平行ヘラミガキ（幅0.4cm）	精良、石・長・結・赤、0.1～0.5　焼成良好 内：褐灰色10YR4/1 外：黒褐色10YR3/1	反転復元 炭素吸着良好
1928	Ⅱ－4	SP10359	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.9 底径2.9 高台高0.3 器高4.9 全体の1/2	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：灰白色 N7/0 外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1929	Ⅱ－4	SP10376	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.8 器高1.2 底径6.0 全体の1/12	内外面ヨコナデ、底部外面切り離し技法不明	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1930	Ⅱ－4	SP10376	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 底径4.0 高台高0.3 器高4.7 全体の1/6	口縁外面ナデ・ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.25cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文	精良、石、0.1～1　焼成良好 内：灰色 N6/0 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 体部外面に接合痕あり 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1931	Ⅱ－4	SP10491	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.9 底径9.3 器高3.7 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・赤、0.1～1.5 焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
1932	Ⅱ－4	SP10520	遺構埋土	瓦器 椀	口径13.7 残存高4.1 口縁～体部の1/7	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）・平行ヘラミガキ暗文(幅0.1cm)	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 炭素吸着内面良好、外面やや不良 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
1933	Ⅱ－4	SP10530	遺構埋土	黒色土器 (A類) 椀	口径15.8 残存高4.2 口縁～体部の1/20	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	精良、石・長・赤・金、0.1～1　焼成良好 内：黒色2.5Y2/1 外：橙色5YR6/6	反転復元 内面炭素吸着良好
1934	Ⅱ－4	SP10530	遺構埋土	黒色土器 (B類) 椀	口径15.8 残存高3.8 口縁～体部の1/8	外面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.4cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.4cm）	精良、石・結、0.1～1　焼成良好 内：黒色2.5Y2/1 外：黒褐色2.5Y3/1	反転復元 炭素吸着内面良好、外面やや不良 在地産
1935	Ⅱ－4	SP10530	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.0 残存高3.6 口縁～体部の1/13	口縁外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ	良好、石・長・金、0.1～1.5 焼成良好 内・外：橙色5YR6/8	反転復元 内外面炭素吸着不良 酸化炎焼成 楠葉型瓦器椀かⅡ期か 12C中葉～後葉
1936	Ⅱ－4	SP10638	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径29.2 頸径25.8 残存高7.8 口縁～体部上位の1/10	口縁～頸部内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのち板ナデ（幅不明）、体部内面ナデのちヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・結・砂、0.1～5 焼成やや不良 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 胎土に多量の結晶片岩・砂岩・石英粒（0.3cm前後）を含む 古代末か
1938	Ⅱ－4	SP10682	遺構埋土	瓦器 皿	口径9.4 底径4.5 残存高1.8 全体の1/3	内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 ヘラミガキ確認できず 和泉型瓦器Ⅳ期併行
1939	Ⅱ－4	SP10684	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.9 器高1.5 底径7.1 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りかのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：橙色5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1940	Ⅱ－4	SP10684	遺構埋土	黒色土器 (A類) 椀	口径15.4 底径8.0 高台高1.2 器高6.5 全体の1/4	口縁～体部外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.2cm)、底部外面高台貼付のちヨコナデ、内面ナデのちタテ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）のちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内：黒色5Y2/1 外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 内面炭素吸着良好
1941	Ⅱ－4	SP10705	遺構埋土	土師質土器 杯	口径13.1 器高2.7 底径9.5 全体の1/10	内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、底部内面ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元 京都系土師器Ⅲ Dタイプの模倣 13C代
1942	Ⅱ－4	SP10736	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.3 器高4.0 底径5.2 完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/2 外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 一部剥離
1943	Ⅱ－4	SP10742	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.9 器高1.7 底径6.3 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成不良 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 内外面剥離著しい
1944	Ⅱ－4	SP10742	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.1 器高1.5 底径6.4 全体の3/4	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのちナデ、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤・金、0.1～1　焼成良好 内：灰白色10YR8/2 外：にぶい黄橙色10YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 わずかに金雲母含む
1945	Ⅱ－4	SP10773	遺構埋土	土師質土器 杯	口径10.9 器高2.6 底径8.1 全体の7/8	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ	粗、石・長・赤、0.1～3 焼成やや不良 内：橙色5YR6/6 外：橙色5YR7/8	内外面磨耗著しく調整不明瞭
1946	Ⅱ－4	SP10773	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長5.8 径3.8 孔径1.4 重量78.7g 全体の9/10	ユビオサエ・ナデ	粗、石・結・赤、0.1～5 焼成やや不良 灰黄褐色10YR5/2	
1947	Ⅱ－5	SP10832	遺構埋土	瓦器 椀	口径15.0 残存高1.7 口縁の1/8	内外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.3cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：暗灰色 N3/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅰ～Ⅲ－2期か 11C後葉～13C初頭
1948	Ⅱ－5	SP10832	遺構埋土	土師器 羽釜	口径23.4 鍔径27.2 残存高2.8 口縁の1/10	口縁内外面～鍔部ヨコナデ、体部外面ナデ、体部内面ヨコ板ナデ（幅1.2cm）	粗、石・赤、0.1～4　焼成良好 内：褐灰色10YR4/1 外：褐灰色10YR5/1	反転復元 内外面わずかに煤付着 摂津C型羽釜
1949	Ⅱ－5	SP10874	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.8 底径6.3 器高1.8 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りかのち板目痕	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
1950	Ⅱ－5	SP11023	遺構埋土	須恵質土器 壺	頸径10.2 体部最大径22.4 底径13.1 復元残存高33.6 全体の2/5	頸部外面工具痕のちヨコナデ、体部外面格子タタキのちナデ、底部外面不調整、頸部内面ヨコナデ、体部内面無文当具痕のちナデ・一部ヨコ板ナデ（幅1.5cm以上）、底部内面ナデ	良好、石・長・黒、0.1～0.2 焼成良好 内：灰色 N6/0 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元、合成復元 内面断面に粘土ヒモ接合痕顕著 十瓶山窯系須恵質土器壺、同地の産であるかは不明 佐藤編年Ⅳ－2期 12C初頭前後
1952	Ⅱ－5	SP11229	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.9 残存高4.3 口縁～体部の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内・外：暗灰色 N3/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 体部外面重焼痕 和泉型Ⅲ－2期 12C末～13C初頭
1953	Ⅱ－5	SP11240	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.1 底径6.8 器高1.0 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ	粗、石・赤・泥か、0.1～1 焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：橙色7.5YR7/6	反転復元
1954	Ⅱ－5	SP11240	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.4 底径7.4 器高1.4 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちユビオサエ	粗、石・長・赤・チ・泥、0.1～5　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	器形に歪みあり 成形後底部を押し出す、底部内面にユビオサエ
1955	Ⅱ－5	SP11240	遺構埋土	土師質土器 皿	口径8.7 底径6.8 器高1.6 完形	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内：橙色5YR7/8 外：橙色2.5YR6/8	器形に歪みあり 内外面磨耗により調整不明瞭 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1956	Ⅱ－5	SP11240	遺構埋土	土師質 管状土錘	全長7.5 径3.6 孔径1.4 重量71.77g ほぼ完形	ユビオサエのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 橙色5YR7/8	磨耗により調整不明瞭
1957	Ⅱ－7	SP11357	遺構埋土	土師質土器 皿	口径9.9 残存高1.5 口縁～体部の1/6	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰白色10Y8/2	反転復元 口縁端部に粘土の継足痕あり
1959	Ⅱ－7	SP11480	遺構埋土	土師質土器 皿	口径10.8 器高1.8 底径5.3 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・金、0.1～1 焼成良好 内・外：灰黄褐色10YR6/2	反転復元 内外面わずかに煤付着
1960	Ⅱ－7	SP11495	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径25.0 鍔径29.0 残存高4.1 口縁の1/11	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ヨコナデのちヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 鍔部以下煤付着 播磨型土師質土器羽釜 長谷川編年Ⅴ期前後か 15C前半
1961	Ⅱ－7	SP11547	遺構埋土	土師質土器 椀	口径15.0 残存高4.6 口縁～体部の1/4	外面～口縁内面ヨコナデか、体部内面ヨコナデ・ナデのちヘラミガキか	良好、石・長・赤・チ・石灰か泥か、0.1～4　焼成良好 内・外：灰白色10Y8/2	反転復元 内外面磨耗・剥離著しく調整不明瞭 内面なめらかな仕上がり、ヘラミガキによるものか 時期不明、共伴遺物なし
1962	Ⅱ－7	SP11620	遺構埋土	土師質土器 皿	口径10.6 器高2.1 底径6.3 全体の11/12	内外面回転ナデ、底部外面静止糸切り糸切りのちナデ、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・金、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	
1963	Ⅱ－7	SP11655	遺構埋土	土師質土器 皿	口径14.9 器高2.1 底径9.6 全体の1/7	内外面回転ナデ、底部外面ナデ消しにより切り離し技法不明、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：灰黄褐色10YR5/2	反転復元

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	法量(cm) 残存率	技法	胎土、含有物、法量(mm) 焼成 色調	備考
1964	Ⅱ－7	SP11677	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径9.0 器高1.5 底径7.5 全体の1/3	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、口縁～体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部内面ナデのちヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型瓦器Ⅳ期併行
1965	Ⅱ－7	SP11679	遺構埋土	青磁 Ⅲ	口径12.4 残存高2.1 口縁～体部の1/10	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1 微細な黒斑含む	反転復元 釉透明度高く、粗い貫入あり 15C 代か
1966	Ⅱ－7	SP11741	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径9.4 器高1.6 底径6.2 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰白色2.5Y8/2	反転復元
1967	Ⅱ－7	SP11741	遺構埋土	土師質土器 Ⅲか杯	底径7.0 残存高1.1 底部の1/2	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内：浅黄橙色10YR8/3 外：にぶい黄橙色10YR7/2	反転復元
1968	Ⅱ－7	SP11741	遺構埋土	陶器 擂鉢	口径26.4 残存高5.1 口縁の1/10	口縁外面回転ナデ、体部外面回転ナデのちナデ、内面ヨコナデのち擂目（4条/1.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～4 焼成良好 内：にぶい赤褐色2.5YR4/3 外：灰褐色7.5YR4/2	反転復元 備前焼 重根編年ⅣB－2期か 15C 後葉
1969	Ⅱ－7	SP11745	遺構埋土	瓦器 椀	口径11.7 残存高3.5 口縁～体部の1/9	内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、底部内面ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR7/2 外：灰黄褐色10YR6/2	反転復元 炭素吸着内面不良、外面やや不良 内面ヘラミガキ確認できず 胎土に細粒多く、表面ザラつく 和泉型かⅣ－3期か 13C 末～14C 初頭
1970	Ⅱ－7	SP11766	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径10.6 残存高15 口縁～体部の1/6	内外面回転ナデ、底部外面切り離し技法不明ナデか	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
1971	Ⅱ－7	SP11877	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径10.6 器高2.2 底径6.0 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ、底部内面回転ナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成堅緻 内・外：浅黄橙色7.5YR8/3	反転復元
1973	Ⅱ－7	SP11881	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径7.1 器高1.6 底径6.0 全体の3/5	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・チか、0.1～5　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：橙色7.5YR6/6	内外面剥離みられる
1974	Ⅱ－7	SP11881	遺構埋土	瓦質土器 鍋	口径29.6 残存高3.4 口縁の1/23	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ・ナデ、内面ヨコナデ・ナデ	粗、石・長・結・泥、0.1～6.5　焼成やや不良 内・外：灰色 N6/0	反転復元 内外面炭素吸着やや不良
1975	Ⅱ－7	SP11914	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	底径7.4 残存高1.7 底部～体部の1/7	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明	良好、石・長・黒、0.1～0.6 焼成良好 内：黒色 N2/0 外：にぶい橙色5YR6/4	反転復元 内面厚く煤・炭化物付着 灯明皿として使用か
1976	Ⅱ－7	SP11914	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径25.8 鍔径28.6 体部最大径28.5 残存高8.0 口縁～体部の1/20	口縁内面～鍔部ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちタテ板ナデ（幅不明）、底部外面ヨコ・斜板ナデ、体部内面ヨコ板ナデ（幅1.5cm）	良好、石・長・赤、0.1～5.5 焼成良好 内・外：灰黄褐色10YR6/2	反転復元 外面煤付着 底部を板ナデ調整しているのは県西部（三好郡）で多くみられる技法、吉野川下流域ではごくわずか 15C～16C 代
1977	Ⅱ－7	SP11934	遺構埋土	土師質土器 杯	口径10.5 器高2.3 底径6.0 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りかのちナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR 7/4	反転復元
1978	Ⅱ－7	SP11934	遺構埋土	白磁 Ⅲ	底径4.8 高台高0.4 残存高1.7 底部の1/2	ロクロナデのち高台削り出し、内面施釉、残存部外面は露胎、底部内面重焼による目痕2カ所あり（計4カ所か）	精良　焼成やや不良 釉：黄みの白8Y8.5/1S 素地：灰白色10YR8/1	反転復元 割高台 釉貫入あり 全体的に黄みを帯び焼成はよくない 森田分類白磁Ⅲ D 群 15C 前半
1980	Ⅱ－8	SP12096	遺構埋土	青磁 碗	口径14.4 残存高3.5 口縁～体部の1/10	ロクロナデのち施釉	精良、石・長、0.1～0.3 焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 6.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1 微細な黒斑わずかに含む	反転復元 釉透明度高く、粗い貫入あり 上田分類 D 類 14C 後半～15C 初頭
1981	Ⅱ－8	SP12126	遺構埋土	陶器 擂鉢	残存高6.2 口縁の一部	内外面回転ナデ	良好、石・長・花、0.1～5 焼成良好 内：灰褐色5YR4/2 外：灰褐色5YR5/2	断面実測 口縁外面自然釉付着 備前焼 重根編年ⅣA－2期 14C 末～15C 初頭
1983	Ⅱ－9	SP12274	遺構埋土	土師質土器 鍋	口径25.0 顎径24.0 残存高5.0 口縁の1/18	口縁内外面ヨコナデ、体部外面平行タタキ（5条/2cm）、体部内面ヨコハケ（8条/1.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内：黒褐色7.5YR3/1 外：橙色5YR7/8	反転復元 外面煤付着 播丹型土師質土器鍋 長谷川編年Ⅵ期 15C 後半～16C 初頭
1984	Ⅱ－9	SP12315	遺構埋土	土師質土器 釜か	口径32.2 残存高4.7 口縁の1/15	口縁外面ヨコナデ、体部外面ヨコヘラケズリ（幅0.5～0.9cm）・ユビオサエのちタテハケ（5条/cm）、内面ヨコ板ナデ（幅1.2cm以上）	粗、石・長・赤・金、0.1～4　焼成良好 内：橙色7.5YR6/6 外：明赤褐色2.5YR5/6	反転復元 搬入品
1985	Ⅱ－9	SP12356	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径19.9 鍔径21.6 残存高3.9 口縁の1/10	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長・赤・金、0.1～4　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：黒褐色10YR3/1	反転復元 鍔部以下煤付着 搬入品
1986	Ⅱ－9	SP12387	遺構埋土	土師質土器 杯	口径10.0 残存高2.3 口縁～体部の1/4	内外面ヨコナデ	良好、石・長・金、0.1～4 焼成堅緻 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1987	Ⅱ－9	SP12388	遺構埋土	土師質土器 杯か椀	口径11.8 残存高3.9 口縁～体部の1/6	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰黄褐色10YR6/2	反転復元
1989	Ⅱ－9	SP12515	遺構埋土	瓦質土器 円形火鉢	残存高7.6 脚底部4.3 脚部のみ	脚体部ヨコナデのち外面からの焼成前穿孔1カ所、脚底部ナデ、脚体部内面は中空・調整不明	良好、石・長・赤・金、0.1～1　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y4/1	内外面炭素吸着良好 わずかに酸化炎焼成気味 円形火鉢の脚部 金雲母多量 脚体部内は中空で穿孔は焼成時の破裂を防止する空気穴とみられる
1990	Ⅱ－9	SP12532	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.8 器高2.6 底径7.8 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面ナデのち板目痕・切り離し技法不明、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：褐灰色7.5YR5/1 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元
1991	Ⅱ－9	SP12538	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径11.0 器高1.8 底径5.8 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR7/3	反転復元
1992	Ⅱ－9	SP12559	包含層	土師質土器 羽釜	口径21.6 鍔径24.8 体部最大径25.3 残存高9.6 口縁～体部の1/8	口縁外面～鍔部ヨコナデ、体部外面ヨコナデ・平行タタキ、口縁内面ナデ、体部内面ヨコハケ（18条/cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：にぶい橙色5YR6/4	反転復元 鍔部以下煤付着 播磨型土師質土器羽釜 長谷川編年Ⅳ～Ⅴ期 14C後半～15C後半
1993	Ⅱ－9	SP12629	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径9.4 器高1.4 底径8.3 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元 内外面磨耗気味
1994	Ⅱ－9	SP12647	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径10.4 器高2.1 底径5.9 全体の5/12	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面ナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元
1995	Ⅱ－9	SP12668	遺構埋土	土師質土器 高脚高台付 Ⅲ	口径7.2 底径5.1 高台高2.0 器高2.7 全体の4/5	内外面ヨコナデ、高台部外面ユビオサエのちヨコナデ、高台部内面ヨコナデ	良好、石・長・赤、0.1～4 焼成良好 内：灰白色10Y8/2 外：浅黄橙色10YR8/4	
1996	Ⅱ－10	SP12892	遺構埋土	磁器 Ⅲ	口径14.6 残存高2.0 口縁～体部の1/7	ロクロナデのち内面～体部下位外面施釉	精良　焼成良好 釉：うすい黄緑10YG8.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/1 微細な黒斑あり	反転復元 体部外面下端は釉は薄くなり、一部素地が見える、以下露胎か わずかに釉とびあり 胎土の一部赤味をおびる 肥前系磁器 17C前半
1997	Ⅱ－11	SP13085	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径10.3 底径6.7 器高1.6 全体の1/10	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元 胎土に細粒多く、表面ザラつく
1998	Ⅱ－11	SP13108	遺構埋土	青磁 碗か皿	口径15.4 残存高1.9 口縁の1/13	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG7.5/3S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 釉厚い 口縁端部わずかに外反する 残存部は無文 型式不明 14C代以降か
1999	Ⅱ－11	SP13108	遺構埋土	土師質土器 羽釜	口径26.9 鍔径30.0 体部最大径29.8 残存高5.2 口縁～体部の1/13	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長・赤・金、0.1～3　焼成良好 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元 鍔部以下煤・炭化物付着 搬入品
2000	Ⅱ－11	SP13248	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高4.9 口縁～体部の1/8	口縁内外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ユビオサエ、体部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰黄色2.5Y6/2	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－2期 12C末～13C初頭
2001	Ⅱ－11	SP13268	遺構埋土	土師器 羽釜	口径20.1 頸径25.5 残存高2.7 口縁の1/12	口縁端部～外面ナデ・鍔部貼り付け、内面ヨコ板ナデか（幅不明）	粗、石・長・角か、0.1～2 焼成良好 内：橙色5YR7/6 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 摂津C型羽釜 大阪湾岸からの搬入品
2002	Ⅱ－11	SP13299	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径8.8 底径5.8 器高1.6 全体の1/9	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色5YR6/8	反転復元
2003	Ⅱ－11	SP13299	遺構埋土	土師質土器 杯	口径12.4 残存高2.9 口縁～体部の1/8	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～0.3 焼成良好 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元
2004	Ⅱ－11	SP13299	遺構埋土	土師質土器 高脚高台付 杯か皿	脚端径11.0 残存高台高4.2 脚部の1/3	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元
2005	Ⅱ－11	SP13318	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径9.0 残存高2.1 口縁～体部の1/5	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキか（幅0.1～0.2cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 内外面炭素吸着なし 和泉型瓦器Ⅲ－1～2期併行か 12C後葉～13C初頭
2006	Ⅱ－11	SP13318	遺構埋土	瓦器 Ⅲ	口径9.4 残存高2.1 口縁～体部の1/7	外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、底部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）	精良、長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：褐灰色10YR5/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型瓦器Ⅲ－1～2期併行か 12C後葉～13C初頭
2007	Ⅱ－11	SP13318	遺構埋土	瓦器か 椀	口径15.4 残存高3.0 口縁～体部の1/6	口縁外面ナデ、体部外面ユビオサエ、口縁内面ヨコナデ、体部内面ヨコナデのちヨコハケ（11条/cm）	精良、石・長・金、0.1～0.5 焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面炭素吸着なし、酸化炎焼成 内外面ヘラミガキ確認できず形状は和泉型瓦器椀に近似するが、瓦器ではない可能性あり

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
2008	Ⅱ－11	SP13318	遺構埋土	白磁 Ⅲ	口径12.5 底径4.6 高台高0.2 器高2.6 全体の1/3	ロクロナデのち高台削り出し、内面櫛描花文のち内面～体部外面施釉、高台露胎	精良　焼成良好 釉：うすい黄8Y8.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/1	反転復元 釉粗い貫入あり 内面に櫛描花文 大宰府分類白磁Ⅲ Ⅶ－１ｂ類 11C 後半～12C 前半
2009	Ⅱ－11	SP13323	遺構埋土	土師質土器 Ⅲ	口径10.5 底径6.7 器高2.3 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・チか、0.1～3　焼成やや不良 内・外：にぶい黄橙色10YR7/4	一部反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 全体的に粗雑な作り
2010	Ⅱ－11	SP13355	遺構埋土	土師器 高脚高台付 Ⅲ	口径12.1 底径7.4 高台高1.5 器高2.4 全体の2/3	内外面回転ナデか、底部外面高台貼付のちヨコナデ	精良、石・長・赤・黒色鉱物、0.1～3　焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	一部反転復元
2011	Ⅱ－11	SP13355	遺構埋土	黒色土器か 椀	口径14.6 残存高4.9 口縁～体部の1/8	外面ヨコナデ、内面ヨコナデのちヘラミガキか、底部内面ナデのちヘラミガキか	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：橙色5YR6/6	反転復元 内外面磨耗・剥離により調整不明瞭 酸化炎焼成であるが、内面わずかに炭素吸着
2012	Ⅱ－11	SP13387	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.6 残存高4.0 全体の1/8	口縁外面ナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、口縁内面ヨコナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ(幅0.1～0.2cm)	良好、石・長・赤・金・花、0.1～2　焼成良好 内：黒色 N1.5/0 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 炭素吸着内面良好・外面なし、酸化炎焼成 内外面磨耗・剥離により調整不明瞭 口縁端部やや尖る スタンダードな和泉型ではない 和泉型瓦器Ⅲ－１～２期併行 12C 後葉～13C 初頭
2013	Ⅱ－11	SP13387	遺構埋土	土師質 有溝土錘	長さ4.4 幅2.2 厚さ2.4 重量21.6g	ユビオサエのちナデ	精 良、石・長・赤・金、0.1～1　焼成良好 オリーブ褐色5Y3/1	外面炭素付着
2014	Ⅱ－11	SP13387	遺構埋土	土師質 有溝土錘	長さ5.1 幅2.3 厚さ2.1 重量23.3g	ナデ	良 好、石・長・赤・金、0.1～1　焼成良好 灰褐色7.5YR5/2	
2015	Ⅱ－5		第１包含層	須恵器 蓋	口径13.8 残存高2.3 口縁の1/8	内外面回転ナデ	良好、石・長・黒、0.1～1 焼成良好 内・外：灰白色 N7/0	反転復元 古墳時代後期
2016	Ⅱ－5		第１包含層	須恵器 杯	口径11.1 受部径13.6 底径10.1 残存高4.1 全体の1/12	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 古墳時代後期
2017	Ⅱ－3		北側溝	須恵器 高台付杯	口径10.8 底径6.9 高台高0.8 器高4.7 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面高台貼付のち回転ナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰白色 N7/0	反転復元 ８C 後半か
2018	Ⅱ－5		西側溝	土師質土器 Ⅲ	口径8.1 底径5.0 器高1.7 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	
2019	Ⅱ－5		西側溝	土師質土器 Ⅲ	口径8.0 底径5.5 器高1.7 完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	
2020	Ⅱ－5		南西側溝	土師質土器 Ⅲ	口径7.9 底径5.4 器高1.7 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	
2021	Ⅱ－4		第１包含層	土師質土器 Ⅲ	口径8.1 底径5.5 器高1.7 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元 底部切り離し技法は回転糸切りではあるが、回転力は弱い
2022	Ⅱ－5		西側溝	土師質土器 Ⅲ	口径8.3 底径5.9 器高1.7 ほぼ完形	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	胎土に細粒多く、ややザラつく
2023	Ⅱ－11		第１包含層	土師質土器 Ⅲ	口径8.3 残存高0.9 口縁の1/4	内外面ヨコナデ	精良、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元
2024	Ⅱ－3		第１包含層	土師質土器 柱状高台付 Ⅲ	口径7.4 底径3.8 高台高1.1 器高2.9 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りか	精良、石・赤、0.1～1.5 焼成不良 内：橙色5YR7/6 外：橙色5YR6/8	一部合成・反転復元
2025	Ⅱ－5		第１遺構面 直上	土師質土器 高脚高台付 Ⅲ	口径9.5 残存高1.7 Ⅲ部分の1/2	外面回転ナデ、内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内：浅黄橙色7.5YR8/3 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元
2026	Ⅱ－5		第１遺構面 直上	土師質土器 高脚高台付 杯	底径8.2 高台高3.3 残存高4.5 脚部から杯底部の2/3	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～6 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	一部反転復元
2027	Ⅱ－5		西側溝	土師質土器 杯	口径12.3 底径5.1 器高3.8 全体の4/5	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切りのち板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	内外面剥離・磨耗により調整不明瞭
2028	Ⅱ－4		西側溝	土師質土器 杯	口径12.4 器高2.7 底径8.7 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	粗、石・長・赤・チ か、0.1～1　焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：浅黄橙色7.5YR8/3	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
2029	Ⅱ－5		西側溝	土師質土器 杯	口径12.8 底径8.4 器高2.5 全体の1/2	内外面ヨコナデ、底部外面板目痕、底部内面ナデ	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 器形に歪みあり、非回転台成形によるものか
2030	Ⅱ－4		第１包含層	土師質土器 杯	口径14.4 器高3.7 底径8.4 全体の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りかのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
2031	Ⅱ－4		第1包含層	黒色土器 (A類) 椀	口径13.2 残存高3.6 口縁～体部の1/6	外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、内面ヨコナデのちヨコ・斜方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	精良、石・長・黒、0.1～1 焼成良好 内：黒褐色10YR3/1 外：黄橙色7.5YR7/8	反転復元 内面～口縁外面炭素吸着良好 外面磨耗により調整不明瞭
2032	Ⅱ－4		第1包含層	黒色土器 (B類) 椀	底径8.0 高台高1.2 残存高3.6 底部～体部の1/3	体部外面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部外面高台貼付のちヨコナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	精良、石・長・赤、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：褐灰色10YR4/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 ヘラミガキはやや粗略 胎土は暗褐色で黒化していない 瓦器椀の初期か
2033	Ⅱ－4		第1包含層	黒色土器 (B類) 椀	口径14.1 底径7.2 高台高1.1 器高6.1 底部は完形	口縁外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、底部内面摩滅	良好、石・長・結・絹、0.1～1.5　焼成良好 内：暗灰色N3/0 外：灰色N4/0	一部反転復元 内外面炭素吸着良好
2034	Ⅱ－4		第1遺構面	瓦器 Ⅲ	口径8.1 底径4.2 残存高1.5 全体の2/3	口縁～体部外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、内面ヨコナデのちナデ	粗、石・長、0.1～5　焼成やや不良 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 胎土粗い、器形の歪み大きい 口縁外面のヨコナデ弱い、内面にヘラミガキ確認できない 非和泉型か、和泉型瓦器Ⅳ期併行
2035	Ⅱ－3		北側溝	瓦器 Ⅲ	口径8.7 底径7.4 器高1.9 全体の1/2	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰色5Y4/1	内外面炭素吸着良好 重焼痕あり 和泉型瓦器Ⅲ－3期併行
2036	Ⅱ－4		第1包含層	瓦器 椀	底径6.6 高台高0.9 残存高3.3 底部～体部の1/3	体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部外面高台貼付のちナデ、内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石・長・黒、0.1～1.5 焼成良好 内：灰色N5/0 外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面とも緻密なヘラミガキを施す 和泉型かⅠ－3～Ⅱ－1期か 11C末～12C前葉
2037	Ⅱ－11	包含層	第1包含層	瓦器 椀か	口径13.8 残存高1.9 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、口縁内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、体部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：灰白色2.5Y7/1 外：灰色N4/0	反転復元 口縁内面～外面炭素吸着良好、内面重焼痕 内面の平行ヘラミガキ暗文が口縁付近まであがってきていることから、器高が低いⅢか 和泉型Ⅲ－2期か 12C末～13C初頭
2038	Ⅱ－5		包含層	瓦器 椀	口径15.4 底径5.6 高台高0.6 器高5.4 全体の3/4	口縁外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.4cm）、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.4cm）、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.4cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.2～0.3cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色N5/0	一部反転復元 内外面炭素吸着良好 外面重焼痕あり 和泉型Ⅱ－1期 12C初頭～前葉
2039	Ⅱ－1		包含層	瓦器 椀	口径14.8 底径5.1 高台高0.5 器高5.1 全体の1/6	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、底部外面高台貼り付けのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデのち格子状ヘラミガキ暗文（幅0.1～0.2cm）	良好、石・長、0.1～3　焼成やや不良 内・外：灰色N5/0	反転復元 炭素吸着内面やや不良、口縁外面良好、以下不良 内外面に重焼痕 和泉型Ⅲ－1期 12C後葉
2040	Ⅱ－1		包含層	瓦器 椀	口径14.0 残存高4.7 口縁～体部の1/8	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内：灰色N5/0 外：灰色N6/0	反転復元 炭素吸着内面良好、外面やや不良 外面に重焼痕 和泉型Ⅲ－2期か 12C末～13C初頭
2041	Ⅱ－1		第1遺構面 (埋土)	瓦器 椀	口径14.8 残存高4.3 口縁～体部の1/7	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：黄灰色2.5Y5/1 外：褐灰色10YR5/1	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着やや不良 胎土酸化炎焼成気味 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
2042	Ⅱ－4		第1包含層	瓦器 椀	口径13.9 底径3.8 高台高0.2 器高4.1 全体の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色N5/0	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 内外面剥離・磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
2043	Ⅱ－5		南側溝	瓦器 椀	口径14.9 底径4.2 高台高0.4 器高4.5 全体の1/3	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ・斜方向のヘラミガキ（幅0.1～0.3cm）	良好、石・長・赤・チか、0.1～6　焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 炭素吸着なし、酸化炎焼成 内面のミガキはやや密 プロポーションは和泉型だが、胎土にチャートを含み、焼成・ミガキが異なる 在地産か 和泉型瓦器Ⅲ－3期併行か
2044	Ⅱ－4		第1包含層	緑釉陶器 碗	底径7.0 高台高0.7 残存高1.6 底部の1/3	体部回転ナデ、底部外面回転糸切りのち高台貼り付け、内面～高台外面施釉、高台畳付・底部外面の一部に釉付着	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：にぶい黄緑10YG 5.5/5S	反転復元 全体的に釉の剥離著しい 近江産か 10C後半

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
2045	Ⅱ－5	不明	包含層	白磁 皿	口径8.1 残存高1.3 口縁～体部の1/8	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色2.5Y8/2	反転復元 釉に貫入あり 大宰府分類白磁皿Ⅴ～Ⅶ類か 11C後半～12C前半
2046	Ⅱ－5	不明	包含層	白磁 碗	底径5.0 高台高0.7 残存高1.8 底部の1/3	ロクロナデ、高台削り出しのち内面施釉、残存部外面露胎	精良　焼成良好 釉：黄みのグレイ10YG7.5/1S 素地：灰白色2.5Y8/1	反転復元 貫入あり 大宰府分類白磁碗Ⅱ類 11C後半～12C前半
2047	Ⅱ－5	不明	包含層	白磁 碗	口径16.2 残存高2.7 口縁～体部の1/10	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：黄みのグレイ10YG7.5/1S 素地：灰白色2.5Y8/1	反転復元 貫入なし 大宰府分類白磁碗Ⅱ類か 11C後半～12C前半
2048	Ⅱ－4		第1包含層	白磁 碗	口径17.0 残存高2.9 口縁～体部の1/10	ロクロナデのち内外面施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0 微細な黒斑あり	反転復元 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C後半～12C前半
2049	Ⅱ－4		第1包含層	白磁 碗	口径15.7 残存高2.7 口縁～体部の1/6	ロクロナデのち内面～体部中位外面施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色10YR8/1	反転復元 釉貫入あり、釉とびあり 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C後半～12C前半
2050	Ⅱ－1		第1遺構面 精査	白磁 碗	口径15.3 残存高2.7 口縁～体部の1/12	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C後半～12C前半
2051	Ⅱ－5		第1遺構面 直上 西側	白磁 碗	底径6.4 高台高0.8 残存高3.3 底部は完形	ロクロナデ、高台削り出しのち内面～体部下位外面施釉、体部下端外面以下露胎	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色5Y8/1	一部反転復元 高台内側削り出し途中で終える 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C後半～12C前半
2052	Ⅱ－1		第1遺構面 精査	白磁 碗	底径6.2 高台高0.8 残存高3.1 底部の1/4	ロクロナデのち体部下位外面回転ヘラケズリ、高台削り出しのち内面～体部下位外面まで施釉、以下露胎、底部内面蛇ノ目状に釉剥ぎ	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG7.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1 微細な黒斑含む	反転復元 大宰府分類白磁碗Ⅷ－2類 12C中葉～13C前半
2053	Ⅱ－4		第1遺構面 検出時	青磁 皿	口径9.4 底径4.9 高台高0.5 器高2.5 全体の1/2	ロクロナデ、高台削り出し、内面～体部下位外面施釉	良好　焼成良好 釉：グレイみのオリーブグリーン10YG5.5/3S 素地：灰白色5Y7/1 微細な黒斑含む	反転復元 釉ごく粗い貫入あり 14C～15C代か
2054	Ⅱ－4		第1包含層	青磁 碗	底径6.2 高台高0.9 残存高4.0 底部～体部の1/2	ロクロナデ、底部内面ヘラ片彫による草花文、体部内面ヘラ片彫櫛描施文、体部下位外面タテケズリ（幅2.0cm以上）、高台削り出し、内面～高台外面途中まで施釉、釉は一部畳付を越えて高台内面に達する、畳付部の釉は掻き取り	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG6.5/3S 素地：灰白色 N7/0	反転復元 釉透明度高く貫入あり 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－2類か 12C中頃～後半
2055	Ⅱ－3		西側溝	青磁 碗	口径15.9 残存高4.0 口縁～体部の1/11	ロクロナデのち体部外面ヘラ片彫鎬蓮弁文施文、内外面施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG6.5/3S 素地：灰白色 N7/0	反転復元 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－5b類 13C初頭～前半
2056	Ⅱ－4		第1包含層	青磁 碗	口径16.5 残存高2.3 口縁～体部上位の1/10	内外面ロクロナデのち内面ヘラ片彫施文、内外面施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみのオリーブ8Y5.5/3S 素地：灰 N7/0	反転復元 釉荒れ目立つが透明度は高い 上田分類D類の一種か 14C代か
2057	Ⅱ－4		機械掘削	青磁 盤か	底径10.6 高台高0.7 残存高2.4 底部の1/9	ロクロナデのち高台削り出し（碁笥底状）、内外面施釉、高台畳付の一部露胎	精良　焼成良好 釉：にぶい黄緑10YG5.5/5S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 釉厚めにかかる、貫入あり 一部酸化炎焼成気味 型式年代不明 中世後半期とみられる
2058	Ⅱ－4		第1遺構面 検出時	青白磁 碗か皿	残存高1.9 体部の一部	ロクロナデのち内面ヘラ先による蕨手状の陰刻のち内面～体部中位外面まで施釉、以下露胎	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 釉の荒れ著しく、文様不鮮明
2059	Ⅱ－1		第1遺構面 精査	青磁 合子蓋	口径7.0 残存高1.5 口縁の1/6	外面型押し、内面ヨコナデ、天井部～体部外面・天井部内面施釉、口縁外面～体部内面露胎	精良　焼成良好 釉：うすい黄緑10YG8.5/3S 素地：灰白色10YR8/1	反転復元
2060	Ⅱ－4		第1包含層 東端	青白磁 合子蓋	残存高0.6 天井部の一部	外面型押し、内面ナデか、のち内外面施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色5Y8/0	断面実測 内外面粗い貫入あり
2061	Ⅱ－4		第1包含層	染付 皿	底径2.8 高台高0.4 残存高1.7 底部の1/4	ロクロナデのち高台削り出し、外面呉須絵付芭蕉葉文、内面呉須絵付花文か、のち施釉、体部外面下端～高台畳付釉掻き取り露胎	精良　焼成良好 釉：青みの白4rO8.5/1S 素地：灰白色2.5GY8/1	反転復元 小野分類染付皿C群Ⅰ類 15C後葉～16C前半
2062	Ⅱ－5		廃土 第1包含層	染付 碗	残存高2.8 体部下位の一部	ロクロナデのち外面呉須絵付（アラベスク文）	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0 胎土に微細な黒斑含む	断面実測 小野分類染付碗D群Ⅳ類 15C後葉～16C前半
2063	Ⅱ－4		第1包含層	染付 碗	残存高2.5 体部の一部	ロクロナデのち外面呉須絵付（アラベスク文）	精良　焼成良好 釉：うすい緑みのスカイ16gB8.5/1S 素地：灰 N8/0	断面実測 小野分類染付碗D群Ⅳ類 15C後葉～16C前半
2064	Ⅱ－5		廃土 第1包含層	染付 皿	底径6.6 高台高0.5 残存高1.2 底部の1/8	ロクロナデのち内外面呉須十字花文絵付のち施釉、高台畳付釉掻き取り露胎	精良　焼成良好 釉：白18B8.5/0S 素地：白2R8.5/0	反転復元 小野分類染付皿B1群Ⅵ類か 15C後葉～16C前半
2065	Ⅱ－6		側溝	瓦質土器 擂鉢	残存高4.5 口縁の一部	外面ヨコナデ、内面ヨコナデかのち擂目（3条/0.5cm）	良好、石・長・結・砂、0.1～5　焼成やや不良 内：灰白色 N8/0 外：灰白色 N7/0	断面実測 内外面炭素吸着不良 内外面磨耗により調整不明瞭

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
2066	Ⅱ－4		第1包含層	須恵質土器 捏鉢	残存高5.1 口縁片口部の一部	内外面回転ナデのちナデ、片口部ユビオサエのちナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰黄色2.5Y6/2 外：灰白色2.5Y7/1	断面実測 胎土に細粒多く、ややザラつく 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1段階か 12C中葉～後半
2067	Ⅱ－1		第1遺構面 精査	須恵質土器 捏鉢	口径25.2 残存高2.9 口縁の1/16	内外面回転ナデ	良好、石・長・黒、0.1～1.5 焼成良好 内・外：灰色N6/0	反転復元 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第1段階 12C中葉～後半
2068	Ⅱ－6		側溝	陶器 擂鉢	口径22.4 残存高5.2 口縁の一部	口縁外面回転ナデ、体部外面ユビオサエのち回転ナデ、内面ヨコナデのち擂目（7条/2.0cm）	良好、石・長、0.1～5　焼成良好 内：赤灰色2.5YR4/1 外：にぶい赤褐色2.5YR5/4	反転復元 備前焼 重根編年ⅣB－1期 15C前葉
2069	Ⅱ	－	第1包含層	陶器 擂鉢	口径24.4 残存高7.3 口縁の1/4	外面回転ナデ、内面回転ナデのち擂目（10条/1.5cm）	良好、石・長、0.1～3.5 焼成良好 内：黄灰色2.5Y6/1 外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 備前焼 重根編年ⅣB－1期 15C前葉
2070	Ⅱ－4		第1包含層	陶器 擂鉢	口径31.5 残存高6.8 不明	外面回転ナデ、内面回転ナデのち擂目（4条/1.0cm）	良好、石・長・赤、0.1～4 焼成良好 内・外：灰褐色5YR6/2	反転復元 備前焼 重根編年ⅣB－2期 15C中葉
2071	Ⅱ－5		第1包含層	土師器 甕	口径15.4 頸径13.8 体部最大径16.8 残存高8.2 口縁～体部中位の1/12	口縁～頸部外面ナデ・ヨコナデ、体部外面タテハケ（6条/1.4cm）、口縁～頸部内面ナデ・ヨコナデのちヨコハケ（5条/1.3cm）、体部内面ナデのちタテ板ナデ（幅不明）	良好、石・長・結・赤、0.1～8　焼成良好 内：にぶい橙色5YR6/4 外：明赤褐色5YR5/6	反転復元
2072	Ⅱ－4		第1包含層	土師質土器 鍋	口径27.8 頸径26.0 残存高3.4 口縁の1/12	口縁～頸部外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（5条/cm）か、内面ヨコナデか	良好、石・長・結・赤、0.1～5　焼成やや不良 内・外：橙色7.5YR6/6	反転復元 口縁内外面煤付着 内外面磨耗により調整不明瞭
2073	Ⅱ－1		第1遺構面	土師質土器 鍋	口径24.3 頸径21.5 残存高10.5 口縁～体部下位の3/25	口縁～頸部外面ヨコナデ・斜ハケ（5条/0.5cm）のちヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ・斜ハケ（12条/1.5cm）、口縁～頸部内面ヨコナデのちヨコ板ナデか、体部内面ヨコハケ（12条/1.5cm）	精良、石・長・赤・金・角か、0.1～1　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：にぶい黄橙色10YR6/3	反転復元 外面煤付着 瀬戸内沿岸～大阪湾岸からの搬入
2074	Ⅱ－6		機械掘削	土師質土器 鍋	口径23.2 頸径22.6 残存高6.9 口縁の一部	口縁～頸部内外面ヨコナデ、体部外面平行タタキ、体部内面ヨコ板ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1.5 焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：にぶい橙色5YR6/4	反転復元 外面煤付着 播丹型 長谷川編年Ⅵ期 15C後半～16C前葉
2075	Ⅱ－4		第1包含層	土師器 羽釜	口径21.9 鍔径27.2 残存高4.1 口縁の1/12	口縁内面～鍔端部ヨコナデ、鍔部下位ユビオサエのちヨコナデ、体部外面ナデのちタテ板ナデ（幅1.3cm）、体部内面ナデのちヨコ板ナデ（幅1.8cm以上）	粗、石・長・赤・金、0.1～3　焼成良好 内：にぶい褐色7.5YR6/3 外：にぶい褐色7.5YR5/3	反転復元 摂津C型羽釜
2076	Ⅱ－5		第1包含層	土師質土器 羽釜	口径20.3 鍔径22.8 残存高5.3 口縁の1/8	口縁内外面～鍔部ヨコナデ、体部外面ユビオサエのち斜板ナデ（幅1.3cm）、体部内面ヨコ板ナデ（幅1.3cm）	粗、石・長・赤・金、0.1～4　焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/4 外：灰白色10YR8/2	反転復元 鍔部以下わずかに煤付着 搬入品 15C後半～16C代
2077	Ⅱ－4		第1包含層	土師質土器 羽釜	口径25.4 鍔径27.7 残存高3.7 口縁の1/13	口縁端部ヨコナデ、鍔部ユビオサエのちナデ、体部外面ヨコ板ナデ（幅0.7cm以上）、内面ヨコ板ナデ（幅1.4cm）	粗、石・長・赤・金、0.1～5　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：にぶい褐色7.5YR6/3	反転復元 鍔部以下外面煤付着 搬入品 15C後半～16C代
2078	Ⅱ－4		第1包含層	土師質土器 羽釜	口径24.5 鍔径27.2 残存高3.9 口縁の1/24	口縁外面～鍔部ヨコナデ、口縁内面沈線、体部外面ユビオサエ・ナデのちヨコ板ナデ、内面ヨコ板ナデ（幅2.0cm）	粗、石・長・赤、0.1～4 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 鍔部以下煤付着 搬入品 15C後半～16C代
2079	Ⅱ－5		廃土 第1包含層	瓦質土器 羽釜	残存高4.0 口縁の一部	口縁～鍔部外面ヨコナデ、体部外面ヨコ板ナデか、内面ヨコナデか	良好、石・長・金、0.1～2 焼成やや不良 内・外：灰色5Y6/1	断面実測 内外面炭素吸着不良 鍔部以下煤付着 河内型瓦質土器羽釜 河内Ⅲ～Ⅴ型のいずれか 15C代か
2080	Ⅱ－4		第1包含層	須恵質土器 甕	口径29.8 残存高5.2 口縁の1/13	口縁内外面ヨコナデ、頸部外面平行タタキ（4条/cm）のちヨコナデ、頸部内面ヨコ板ナデ（幅0.8cm以上）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰白色5Y7/1	反転復元 東播系須恵質土器甕 12C代か
2081	Ⅱ－4		第1包含層	陶器 甕	口径33.3 残存高6.2 口縁の1/10	外面ヨコナデ、内面ヨコナデのちヨコ板ナデ（幅2.0cm以上）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：青灰色5PB6/1	反転復元 外面剥離あり 備前焼 重根編年ⅣB期 15C代
2082	Ⅱ－4		第1遺構面 検出時	瓦質 有溝土錘	長さ4.9 幅3.7 厚さ3.7 重量58.4g 完形	ナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 黄灰色2.5Y5/1	外面炭素吸着やや不良
2083	Ⅱ－4		第1遺構面 検出時	瓦質 有溝土錘	長さ4.7 幅3.7 厚さ3.5 重量59.4g 完形	ユビオサエのちナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 灰色7.5Y5/1	炭素吸着やや不良
2084	Ⅱ－4		第1遺構面 検出時	瓦質 有溝土錘	長さ4.7 幅3.7 厚さ3.5 重量58.3g 完形	ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 暗灰黄色2.5Y5/2	炭素吸着やや不良
2085	Ⅱ－4		第1遺構面 検出時	瓦質 有溝土錘	長さ4.3 幅3.7 厚さ3.6 重量52.9g 完形	ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 灰黄色2.5Y6/2	炭素吸着やや不良

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
2086	Ⅱ－4		第1遺構面 検出時	土師質 管状土錘	全長5.0 径1.1 孔径0.3 重量4.01g ほぼ完存	ユビオサエ・ナデ	良好、石・長、0.1～0.6 焼成やや不良 暗灰黄色2.5Y4/2	磨耗により調整不明瞭
2087	Ⅱ－4		第1遺構面 検出時	土師質 管状土錘	全長5.1 径1.2 孔径0.3 重量4.78g ほぼ完存	ユビオサエ・ナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成やや不良 黄灰色2.5Y4/1	磨耗により調整不明瞭
2088	Ⅱ－3		第1遺構面 直上	瓦製 加工円盤	長さ2.7 幅2.8 厚さ1.6 重量16.5g	瓦片の側面を研削整形し、円盤状に作る	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰白色2.5Y8/1	瓦質平瓦片 凹面の布目圧痕、凸面の板ナデ痕残る 凹面炭素吸着あり
2089	Ⅱ－6		側溝	須恵質土器 加工円盤	長さ7.2 幅6.3 厚さ2.5	体部片を円盤状に打ち欠く	粗、石・長、0.1～5　焼成良好 内・外：青灰色5B5/1	甕体部の転用、陶器か 研削整形は積極的に行っていない
2099	Ⅱ－10		第1包含層	須恵器 杯	口径13.1 受部径15.4 残存高3.0 口縁～体部の1/6	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：青灰色5PB6/1	反転復元 古墳時代後期
2100	Ⅱ－10		第1包含層	須恵器 杯	口径12.0 受部径14.3 底径8.8 器高3.5 全体の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内・外：灰白色7.5YR8/2	一部合成、反転復元 古墳時代後期
2101	Ⅱ－11		第1包含層	須恵器 杯	口径13.6 受部径16.2 残存高4.3 口縁～体部の1/8	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内：灰色5Y6/1 外：灰黄色2.5Y6/2	反転復元 古墳時代後期
2102	Ⅱ－10		第1包含層	須恵器 杯	口径13.1 受部径15.4 残存高2.6 口縁～体部の1/8	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成やや不良 内・外：灰白色7.5Y7/1	反転復元 古墳時代後期
2103	Ⅱ－7		第1B 包含層	土師質土器 皿	口径8.5 器高1.4 底径6.3 完形	内外面回転ナデか、底部外面回転糸切り、底部内面回転ナデかのちナデ	粗、石・長、0.1～2　焼成やや不良 内・外：橙色2.5YR6/6	回転糸切りであるが、回転力が弱い
2104	Ⅱ－9		東側溝	土師質土器 皿	口径10.7 残存高2.1 口縁～体部の1/3	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元
2105	Ⅱ－9	欠番	包含層	土師質土器 皿	口径10.8 残存高1.8 口縁～体部の1/7	内外面回転ナデか	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成不良 内：橙色5YR7/6 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
2106	Ⅱ－9		第1B 包含層	土師質土器 皿	口径8.7 器高1.8 底径5.1 全体の5/12	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成堅緻 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元
2107	Ⅱ－9		第1包含層	土師質土器 皿	口径9.0 器高1.6 底径6.4 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面磨耗のため調整不明、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石、0.1～1　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
2108	Ⅱ－11		包含層	土師質土器 皿	口径9.8 底径6.0 器高1.7 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
2109	Ⅱ－10		第1包含層	土師質土器 皿	口径9.9 残存高1.6 口縁～体部の1/12	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：灰白色10Y7/2	反転復元
2110	Ⅱ－9		東側溝	土師質土器 皿	口径9.8 器高1.6 底径6.5 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元
2111	Ⅱ－9	欠番	包含層	土師質土器 皿	口径10.9 器高1.5 底径7.2 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明、底部内面ヨコナデのちナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：灰黄褐色10YR6/2 外：灰黄褐色10YR5/2	反転復元 外面わずかに炭素付着
2112	Ⅱ－10		第1包含層	土師質土器 皿	口径10.9 底径7.3 器高1.8 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元 胎土に細粒多く、ややザラつく
2113	Ⅱ－9		第1B 包含層	土師質土器 皿	口径10.7 器高2.2 底径7.0 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：灰白色10YR8/2 外：浅黄橙色10YR8/3	
2114	Ⅱ－7	欠番	包含層	土師質土器 皿	口径11.2 器高1.7 底径7.9 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ・板目痕、底部内面回転ナデのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/4 外：淡黄色2.5Y8/3	一部反転復元
2115	Ⅱ－9		第1B 包含層	土師質土器 皿	口径11.0 器高2.2 底径7.7 全体の1/6	内外面回転ナデ、体部下端外面回転ヘラケズリ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
2116	Ⅱ－9	欠番	包含層	土師質土器 杯	口径13.9 残存高2.2 口縁～体部の1/14	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
2117	Ⅱ－9		包含層	瓦器 皿	口径8.2 底径6.8 残存高0.9 口縁～体部の1/4	口縁～体部内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちナデ、底部内面ナデのちヘラミガキか	良好、石・赤、0.1～1　焼成良好 内：灰白色2.5Y8/2 外：灰白色2.5Y8/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 胎土に細粒多く、表面ザラつく 非和泉型か、和泉型瓦器Ⅳ期併行か
2118	Ⅱ－9		包含層	瓦器 皿	口径8.7 底径5.4 残存高1.5 口縁～体部の1/7	口縁～体部外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：黄灰色2.5Y5/1 外：黄灰色2.5Y4/1	反転復元 炭素吸着やや不良 和泉型瓦器Ⅳ期併行か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
2119	Ⅱ－7		1B包 南側溝	瓦器 皿	口径8.6 器高1.5 底径7.0 全体の1/3	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエ、内面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 内面磨耗により調整不明瞭、ヘラミガキ確認できず 内外面とも底部～体部の境に段を有する 和泉型瓦器Ⅳ期併行か
2120	Ⅱ－7		第1包含層	瓦器 椀	口径13.9 残存高4.2 口縁～体部の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ・斜方向のヘラミガキ（幅0.5cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1.5cm）	精良、石・長、0.1～1.5 焼成良好 内・外：暗灰色 N3/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－2期か 12C末～13C初頭
2121	Ⅱ－7		第1包含層	瓦器 椀	口径14.5 残存高4.3 全体の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：黄灰色2.5Y4/1 外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 炭素吸着内面良好、外面なし 内面磨耗により調整不明瞭 体部外面に接合痕あり 和泉型Ⅲ－2期か 12C末～13C初頭
2122	Ⅱ－7		第1B 包含層	瓦器 椀	口径14.4 残存高4.3 口縁～体部の1/4	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ・斜方向のヘラミガキ（幅0.1～0.3cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：黒色2.5Y2/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－2期か 12C末～13C初頭
2123	Ⅱ－8		側溝	瓦器 椀	口径14.2 高台高0.4 底径4.6 器高4.8 全体の1/2	口縁外面ヨコナデ、体部外面（上位）ユビオサエ（中～下位）ユビオサエ、底部外面高台貼り付けのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.3cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1～0.2cm）	良好、石・長、0.1～1.5 焼成やや不良 内：灰色 N5/0 外：褐灰色10YR6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 酸化炎焼成気味 体部外面に接合痕あり 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
2124	Ⅱ－9		包含層	瓦器 椀	口径14.8 残存高2.3 口縁～体部の1/15	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエナデ消し、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内・外：灰白色10YR8/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 内外面磨耗により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－3期 13C前葉
2125	Ⅱ－9	欠番	包含層	瓦器 椀	口径14.9 残存高2.6 口縁～体部の1/22	口縁外面ヨコナデ、外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：灰色5Y5/1 外：灰色5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着良好 和泉型Ⅲ－3期か 13C前葉
2126	Ⅱ－7		第1B 包含層	瓦器 椀	底径4.6 高台高0.3 残存高1.2 底部の9/10	外面高台貼付のちヨコナデ・ナデ、内面ナデのち斜格子状ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：黒色 N3/0	一部反転復元 底部内面のヘラミガキ暗文は彫り深く、沈線状を呈する 和泉型Ⅲ－2～3期か 12C末～13C前葉
2127	Ⅱ－7	欠番	包含層	瓦質土器か 杯	口径13.0 器高3.9 底径7.8 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面切り離し技法不明板目痕あり、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 炭素吸着やや不良 胎土色黒い、口縁内外面に重焼痕 器形に歪みあり 瓦質としたが、土師質か
2128	Ⅱ－9		包含層	須恵質土器 椀か	底径5.6 残存高1.4 底部の5/12	内外面回転ナデ、底部外面回転糸切り	精良、石・長、0.1～3　焼成やや不良 内・外：灰白色10YR8/1	反転復元 東播または備前か 12C後半～13C代か
2129	Ⅱ－9		包含層	灰釉陶器 碗	口径14.2 残存高1.7 口縁の1/14	内外面回転ナデのち施釉	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：灰黄色2.5Y7/2 外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 型式・時期不明
2130	Ⅱ－9		包含層	白磁 皿	口径13.4 残存高2.0 口縁～体部の1/30	ロクロナデのち施釉	良好　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色5Y8/1 黒斑あり	反転復元 内面に弱い段を有するため中世前半期とみらえる 且つ端反りで口禿でないもの 大宰府分類白磁Ⅲ類 12C中葉～13C前半または大宰府分類白磁Ⅳ－1類か 11C後半～12C前半
2131	Ⅱ－7		第1包含層	白磁 碗	底径5.2 高台高0.9 残存高1.7 底部の3/4	ロクロナデ、高台削り出し、底部内面ヘラ先毛彫り文、内面施釉、外面残存部は露胎	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 内面釉の荒れが著しい部分は文様見えない 大宰府分類白磁碗Ⅴ類またはⅥ類 11C後半～12C前半
2132	Ⅱ－10		第1包含層	青磁 皿	口径10.8 底径8.2 器高1.9 全体の1/8	ロクロナデのち施釉、体部外面下端以下露胎か	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 7.5/3S 素地：灰白色7.5Y7/1	反転復元 化粧土なし、施文なし 大宰府分類同安窯系青磁Ⅲ1類か 12C中頃～後半
2133	Ⅱ－7		第1B 包含層	青磁 皿	底径4.2 高台高0.0.2 残存高1.0 底部の2/5	ロクロナデのち底部外面ヘラケズリか、のち内面～体部上位外面施釉、体部下位外面～底部外面露胎	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色 N7/0 わずかに黒を含む	反転復元 底部外面のケズリ残しがわずかに高台状の段となる 大宰府分類龍泉窯系青磁Ⅲ1類 12C中頃～後半
2134	Ⅱ－9		第1包含層	青磁 碗	残存高2.0 体部下位の一部	ロクロナデのち外面ヘラ片彫蓮弁文およびタテ櫛描文施文、内面ヘラ片彫及び櫛描文により施文、内外面施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 7.5/3S 素地：灰白色 N7/0	反転復元 釉は透明度高く、貫入はみられない 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－6類 12C中頃～後半
2135	Ⅱ－7		第1包含層	青磁 碗	口径14.4 残存高3.3 口縁の1/12	ロクロナデのち体部外面ヘラ片彫蓮弁文施文、内外面施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみのオリーブグリーン10YG4.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/1	反転復元 上田分類Ａ－Ⅰ類 13C後葉～14C前葉
2136	Ⅱ－8		第1包含層	染付 碗	底径4.8 高台高0.8 残存高2.0 底部の1/2	ロクロナデのち高台削り出し、内外面呉須施文、体部外面蓮弁帯（連結輪状）、底部内面花卉文、畳部を除き内外面施釉	精良　焼成良好 釉：緑みの白2R8.5/1S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 釉表面に黒褐色の小斑わずかにみられる 小野分類染付碗Ｃ群Ⅴ類 15C後半～16C前半

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
2137	Ⅱ－7		第1包含層	須恵質土器 捏鉢	口径26.3 残存高2.8 口縁の1/13	内外面回転ナデ	良好、石・長・泥か、0.1～3　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 口縁外面炭素付着、重焼痕 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期 12C中葉～13C初頭
2138	Ⅱ－9		包含層	須恵質土器 捏鉢	口径30.0 残存高4.2 口縁の1/18	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色5Y6/1	反転復元 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期 12C中葉～13C初頭
2139	Ⅱ－7		第1包含層	陶器 擂鉢	口径26.0 残存高6.9 口縁～体部の1/10	外面回転ナデ、内面回転ナデのち擂目（8条/2cm）	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内：灰黄褐色10YR5/2 外：灰褐色7.5YR5/2	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ A－2期 14C末～15C初頭
2140	Ⅱ－8		第1包含層	陶器 擂鉢	口径30.0 残存高4.7 口縁の1/12	口縁端部凹線2条、外面回転ナデ、内面回転ナデのち擂目（10条/2.3cm）	精良、石・長・花か、0.1～5　焼成良好 内：黄灰色2.5Y5/1 外：褐灰色5YR5/1	反転復元 口縁外面自然釉付着 近世備前焼か 乗岡編年近世Ⅰ－C期か 17C初頭
2141	Ⅱ－9	欠番	包含層	陶器 甕	口径36.0 残存高5.0 口縁の1/12	内外面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～4　焼成良好 内：灰褐色5YR5/2 外：灰褐色5YR4/2	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ B期 15C代
2142	Ⅱ－8		側溝	陶器 甕	口径33.4 残存高6.4 口縁の1/7	外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長、0.1～7　焼成良好 内・外：灰褐色5YR5/2	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ B～Ⅴ A期 15C～16C前半
2143	Ⅱ－11		第1遺構面	土師器 甕	口径19.6 頸径18.4 残存高5.9 口縁の1/8	口縁～頸部外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（6条/cm）、内面ヨコハケ（6条/cm）	良好、石・長・結、0.1～3 焼成良好 内・外：橙色2.5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
2144	Ⅱ－7		第1B 包含層	土師質土器 鍋	口径32.1 頸径24.8 残存高5.5 口縁の1/8	口縁端部ヨコナデ、口縁外面ヨコハケ（5条/cm）、頸部～体部外面タテハケ（5条/1.7cm）・ユビオサエ、頸部～体部内面ヨコ板ナデ（幅1.5～3cm）	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：灰白色10Y8/2 外：にぶい黄橙色10YR7/2	反転復元 外面煤付着 古代末から中世初頭か
2145	Ⅱ－9		第1包含層	土師質土器 鍋	口径33.2 頸径30.1 残存高3.5 口縁の1/9	内外面ヨコナデ	粗、石・長・金・花、0.1～4　焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：橙色5YR6/8	反転復元
2146	Ⅱ－9		第1包含層	土師器 羽釜	口径27.8 鍔径33.1 復元残存高25.0 全体の1/4	口縁内面～鍔部ヨコナデ・ナデ、体部外面ユビオサエのちタテハケ（5条/cm）、底部外面ユビオサエのちタテハケのちヨコ板ナデ（幅不明）、体部上位内面ヨコ板ナデ（幅不明）、体部下位内面タテ板ナデ（幅不明）	粗、石・長・花、0.1～2 焼成やや不良 内・外：灰黄褐色10YR6/2	反転復元 内外面磨耗・剥離により調整不明瞭 雲母は確認できない 摂津C型羽釜 10C～11C代か
2147	Ⅱ－7		第1包含層	土師器 羽釜	口径26.2 鍔径31.6 残存高4.0 口縁の1/8	口縁外面ヨコナデのち鍔部貼り付けのちヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコナデ・ナデ、内面ヨコ板ナデ(幅1.8cm)	粗、石・長・赤・金、0.1～2　焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR6/3	反転復元 摂津C型羽釜 10C～11C代か
2148	Ⅱ－9	欠番	包含層	土師質土器 羽釜	口径26.7 鍔径29.3 残存高4.1 口縁の1/15	口縁内外面～鍔部ヨコナデ、体部外面ユビオサエのち板ナデ（幅不明）、体部内面ヨコ板ナデ（幅1.3cm以上）	良好、石・長・赤・金、0.1～4　焼成良好 内：橙色7.5YR7/6 外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 鍔部以下外面わずかに煤付着 搬入品
2149	Ⅱ－7		機械掘削	土師質土器 羽釜	口径22.6 鍔径24.0 残存高5.0 口縁の1/10	口縁内面～鍔部ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長・赤・金・花、0.1～4　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：黒褐色10YR3/1	反転復元 鍔部以下煤付着 搬入品
2150	Ⅱ－10		第1包含層	土師質土器 羽釜	残存高5.5 口縁～体部上位の一部	口縁内面～鍔部ヨコナデ、体部外面板ナデ、体部内面ユビオサエのち板ナデ	精良、石・長・赤・金、0.1～2　焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/3 外：黒褐色10YR3/1	断面実測 鍔部以下煤付着 搬入品
2151	Ⅱ－7		機械掘削	土師質土器 円形火鉢	脚部残存長7.2	脚部ナデ・刺突文、鉢部ヨコナデ・ナデ	良好、石・長・赤・金、0.1～2　焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR7/4	獣足を意識したデザインか 搬入品
2152	Ⅱ－9		第1包含層	瓦質土器 蓋	口径14.6 最大径14.6 かえり部径11.0 残存高1.5 全体の1/6	口縁外面強いヨコナデ、天井部外面ナデか、内面ハケ（14条/cm）、かえり部貼付のちヨコナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：暗灰黄色2.5Y5/2 外：黄灰色2.5Y4/1	反転復元 炭素吸着良好 経筒の蓋または経筒外容器の蓋か（大和春日大社遺跡に類例あり）
2153	Ⅱ－9		包含層	土師質 管状土錘	全長4.1 径1.7 孔径0.3 重量8.5g ほぼ完存	ユビオサエのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 橙色5YR7/6	胎土に細粒多く、表面ザラつく
2154	Ⅱ－8		第1包含層	瓦製 加工円盤	長さ3.6 幅3.6 厚さ1.8 重量29.07g	瓦片の側面を研削整形し、円盤状に作る	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	瓦質瓦片を転用 凹凸面炭素吸着良好 凹凸面磨耗により調整不明瞭
2162	Ⅲ	SK1006	遺構埋土	土師質土器 皿	口径7.8 器高1.2 底径6.7 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面ナデにより切り離し技法不明	良好、石・長・赤・チか、0.1～1　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
2163	Ⅲ	SK1006	遺構埋土	瓦器 椀	口径14.8 残存高1.6 口縁の1/13	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ	良好、石・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色5Y6/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 和泉型Ⅲ－3期か 13C前葉
2164	Ⅲ	SD1001	遺構埋土	青磁 碗	口径14.6 残存高3.7 口縁～体部の1/7	ロクロナデのち外面ヘラ片彫蓮弁文施文、のち内外面施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 7.5/3S 素地：灰白色5Y8/1	反転復元 上田分類B－Ⅱ類 14C後葉～15C前葉

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
2165	Ⅲ	SP1020	遺構埋土	須恵器 蓋	口径11.8 残存高1.9 口縁の1/15	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰白色 N7/0	反転復元
2166	Ⅲ	SP1020	遺構埋土	須恵器 蓋	残存最大径15.0 残存高1.4 天井部の1/10	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内：灰白色10YR8/1 外：グレイみの黄緑10YG 7.5/3S	反転復元 外面自然釉厚く付着 細かい貫入あり
2167	Ⅲ	SP1020	遺構埋土	陶器 皿	口径12.8 残存高2.0 口縁～体部の1/8	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰白色10YR8/1	反転復元 器表面白色化、化粧土塗布か 肥前系陶器Ⅲ Ⅰ～Ⅱ期か 16C末～17C前半

第33表　宮ノ本遺跡Ⅰ～Ⅱ地区出土遺物観察表　金属製品

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	材質	法　量　(cm)					備考
						長さ	幅	厚み	重量(g)		
628	Ⅰ－3	SK1181	遺構埋土	鉄刀	鉄	24.2	2.8	0.4	194.0		茎先の一部を欠損
752	Ⅰ－9	SK1435	遺構埋土	鏨か	鉄	9.4	2.0	1.5	25.3		両端部欠損
755	Ⅰ－9	SK1475	遺構埋土	紡錘車	鉄	15.9	4.8	5.0	39.7		
761	Ⅰ－9	SK1497	遺構埋土	銅銭 (熙寧元寶)		2.4	－	0.2	2.2	真書体 北宋 1068年初鋳	錆化により銭文不鮮明 輪の一部欠損
762	Ⅰ－9	SK1497	遺構埋土	銅銭 (元豊通寶)		2.5	－	0.2	1.4	篆書体 北宋 1078年初鋳	背、闕縁 左下部を欠く 劣化著しく銭文不鮮明
763	Ⅰ－9	SK1497	遺構埋土	銅銭 (政和通寶)		2.4	－	0.2	2.7	篆書体 北宋 1111年初鋳	緑青多い 背面密着痕あり 輪の一部欠損
766	Ⅰ－9	SK1508	遺構埋土	銅銭 (大観通寶)		2.4	－	0.2	1.6	北宋 1107年初鋳	錆化著しくもろい 縁端部を欠損
767	Ⅰ－9	SK1508	遺構埋土	銅銭 (銭文不明、四文字)		2.2	－	0.1	1.5		彫り浅く劣化著しいため銭文不明、四文字郭が広い、輪の欠損著しい 鋳写しを繰り返した私鋳銭の可能性あり
785	Ⅰ－9	SK1533	遺構埋土	鉄釘	鉄	5.4	3.5	2.0	13.4		頭部欠損
806	Ⅰ－1	SD1002 SD1003 の間	遺構埋土	鉄刀	鉄	27.9	2.3	0.3	380.3		茎に目釘穴1あり
810	Ⅰ－1	SD1005	遺構埋土	鉈か	鉄	4.0	0.9	0.4	6.7		一部欠損
961	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	鉄釘	鉄	5.1	0.7	0.5	3.3		両端部を欠く
988	Ⅰ－7	SD1049	遺構埋土	鉄釘	鉄	6.5	2.8	0.7	14.5		
1124	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	鉄釘	鉄	7.4	1.3	0.9	17.2		
1185	Ⅰ－8	SX1008	遺構埋土	鉄釘	鉄	4.6	1.3	1.3	4.2		
1216	Ⅰ－2	SP10655	遺構埋土	鏨か	鉄	11.2	1.8	1.5	29.0		先端部欠損
1253	Ⅰ－7	SP11705	遺構埋土	犬釘状鉄製品	鉄	5.0	2.3	2.4	43.2		先端部欠損
1326	Ⅰ－8		第1包含層	鉄刀	鉄	33.0	2.7	0.6	287.9		茎に目釘穴を2カ所穿孔
1343	Ⅱ－3	SA1002 EP2 SP10137	遺構埋土	銅銭 (寛永通寶) (古寛永)		2.5	－	0.1	1.6	鋳造地未確定 1636年～1656年 初鋳	縁端の一部欠損
1367	Ⅱ－4	SA1009 EP23 SP10228	遺構埋土	用途不明 板状鉄製品	鉄	9.6	6.9	0.3	153.5		
1393	Ⅱ－5	SA1046 EP2 SP11206	遺構埋土	銅銭 (寛永通寶) (新寛永)		2.4	－	0.2	3.0	1668年初鋳	背文（正字文） 緑青みられるが良好
1423	Ⅱ－9	SA1056 EP1 SP12402	遺構埋土	銅銭 (開元通寶)		2.4	－	0.1	1.8	唐 621年初鋳	錆化のため欠損部多い
1424	Ⅱ－9	SA1056 EP1 SP12402	遺構埋土	銅銭 (聖宋元寶)		2.3	－	0.1	1.4	篆書体 北宋 1101年初鋳	背鋳ズレ 劣化著しく鋳文不鮮明 上部欠損
1425	Ⅱ－9	SA1057 EP6 SP12539	遺構埋土	用途不明 鉄製品	鉄	3.6	1.9	0.2	8.8		
1431	Ⅱ－11	SA1036 EP1 SP13300	遺構埋土	犬釘か鏨	鉄	9.8	1.9	1.1	93.3		
1463	Ⅱ－4	SK1075	遺構埋土	鎖か	鉄	4.7	1.9	1.6	6.9		3点を連結する
1573	Ⅱ－2	SD1001	遺構埋土	煙管	青銅	2.8	6.4	－	6.5		雁首 皿部に炭化物付着
1574	Ⅱ－4	SD1001	遺構埋土	銅銭 (天聖元寶)		2.4	－	0.1	2.4	真書体 北宋 1023年初鋳	緑青著しく銭文不鮮明
1575	Ⅱ－4	SD1001	遺構埋土	銅銭 (寛永通寶) (古寛永)		2.4	－	0.2	3.7	岡山銭か 1637年初鋳	
1576	Ⅱ－4	SD1001	遺構埋土	銅銭 (寛永通寶) (古寛永)		2.4	－	0.2	3.8	鋳造地不明 1636年～1656年 初鋳	
1699	Ⅱ－4	SD1034	遺構埋土	鏨か	鉄	7.4	1.3	0.9	41.9		
1732	Ⅱ－7	SD1053	遺構埋土	鍋か	鉄	6.0	7.2	0.7	146.4		鋳造品
1759	Ⅱ－7	SD1063	遺構埋土	銅銭 (大観通寶)		2.5	－	0.1	2.1	北宋 1107年初鋳	錆による劣化著しく、銭文や輪・郭の一部剥離

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	材質	法量 (cm) 長さ	幅	厚み	重量(g)		備考
1853	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	小柄	青銅	9.1	1.7	0.4	13.7		内部に鉄製の茎部分を残す 表面に漆皮膜状の黒化部がみられたが、分析の結果金属の錆と判明
1854	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	銅銭 (元豊通寶)		2.3	－	0.1	2.2	真書体 北宋 1078年初鋳	背鋳ズレ
1855	Ⅱ－10	SD1067	遺構埋土	銅銭 (大観通寶)		2.3	－	0.1	2.0	北宋 1107年初鋳	内外磨耗により薄く、鋳文不鮮明
1856	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	銅銭 (嘉泰通寶)		2.4	－	0.1	1.8	南宋 1201年初鋳	背「二」 やや劣化
1857	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	銅銭 (寛永通寶) (新寛永)		2.3	－	0.2	2.3	鋳造地不明 1668年～初鋳	表面に錆固着しており、鋳造地不明 背不明 細字
1858	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	銅銭 (寛永通寶) (新寛永)		2.3	－	0.1	2.0	鋳造地不明 1700年～初鋳	表面に錆固着しており、鋳造地不明 無背 細字
1859	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	鉄釘	鉄	4.0	2.4	0.8	8.7		ほぼ完形
1860	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	鉄釘	鉄	5.3	1.3	0.9	9.9		先端部欠損
1882	Ⅱ－5	SX1004	遺構埋土	煙管雁首	銅	1.9	3.2	－	2.7		皿部に炭化物残る
1893	Ⅱ－10	SX1008	遺構埋土	銅銭 (熙寧元寶)		2.4	－	0.2	1.2	篆書体 北宋 1068年初鋳	彫り浅い、錆化のため銭文不鮮明 背穴ズレあり 左半部欠損
1958	Ⅱ－7	SP11471	遺構埋土	鉄釘	鉄	8.4	0.8	0.5	14.7		先端部欠損
1972	Ⅱ－7	SP11877	遺構埋土	銅銭 (皇宋通寶)		2.6	－	0.1	1.6	真書体 北宋 1039年初鋳	錆固着により鋳文不鮮明 彫りは深い 左上半部を欠損
1982	Ⅱ－9	SP12240	遺構埋土	雁又鏃	鉄	11.3	5.1	0.8	45.8		先端部欠損
1988	Ⅱ－9	SP12510	遺構埋土	用途不明 鉄製品	鉄	3.4	4.6	1.2	50.5		
2090	Ⅱ－4		第1包含層	銅銭 (熙寧元寶)		2.4	－	0.2	2.2	真書体 北宋 神宗 1068年初鋳	穴ズレあり 縁部剥離・欠損あり
2091	Ⅱ－4		第1包含層	銅銭 (洪武通寶)		2.3		0.2	2.5	明朝 1368年初鋳	錆化著しく、緑劣化により剥離・欠損
2155	Ⅱ－11		第1包含層	銅銭 (寛永通寶) (古寛永)		2.5	－	0.2	1.7	建仁寺銭 1653年初鋳	寛字の足が窮屈、通字右側が輪に沿って湾曲気味、寶字の貝が横に広がることから、建仁寺銭とみられる 劣化によりもろい 右下の一部に割れ・欠損あり
2156	Ⅱ－11		第1包含層	銅銭 (寛永通寶) (古寛永)		2.5	－	0.2	1.7	鋳造地不明 1636年～1656年 初鋳	緑青著しく鋳文不鮮明、内部も劣化 輪に欠損あり
2157	Ⅱ－9		第1包含層	銅銭 (寛永通寶) (古寛永)		2.4	－	0.1	2.7	1639年初鋳か	岡山銭に近似する
2158	Ⅱ－8		第1包含層	鉄銭・銅銭		2.9	3.3	0.6	9.5		銭貨3点融着 上は鉄銭、中・下は銅銭 錆によって固着しており、銭種不明 上位の鉄銭上にさらに1点の銭密着痕あり
2159	Ⅱ－10		第1包含層	鑿か	鉄	4.6	1.7	1.2	10.2		先端部欠損
2160	Ⅱ－10		第1包含層	鎌	鉄	1.1	8.1	0.3	22.8		ほぼ完形、刃の一部欠損

第34表　宮ノ本遺跡Ⅰ～Ⅱ地区出土遺物観察表　石器・石製品

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	石材	法量 (cm) 長さ	幅	厚	重量(g)	備考
2	Ⅱ－5	SX4001	遺構埋土	スクレイパー	サヌカイト	9.3	2.8	1.2	27.1	収穫用石器の可能性あり
3	Ⅱ－5	SX4002	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	(1.5)	1.5	(0.3)	(0.6)	浅い凹基、五角形鏃 先端部欠損
10	Ⅱ－5	SX4003	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	(1.9)	1.5	0.3	(0.9)	浅い凹基 先端部欠損
11	Ⅱ－5	SX4003	遺構埋土	スクレイパー	サヌカイト	(4.4)	6.5	(0.7)	(24.1)	収穫用石器の可能性あり
28	Ⅱ－4	SB3001	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	(1.1)	1.2	0.3	(0.4)	凹基 先端部欠損
29	Ⅱ－4	SB3001	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	(1.0)	1.2	0.2	(0.3)	平基 先端部欠損
35	Ⅱ－4	SB3002	EH1 遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	1.7	0.6	0.3	0.3	凹基、五角形鏃
36	Ⅱ－4	SB3002	床面遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	1.8	1.3	0.3	0.5	平基
37	Ⅱ－4	SB3002	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	(1.1)	1.3	0.3	(0.3)	平基 先端部欠損
38	Ⅱ－4	SB3002	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	(1.4)	(1.4)	(0.3)	(0.4)	五角形鏃 基部欠損
39	Ⅱ－4	SB3002	遺構埋土	打製石鏃 (未製品)	サヌカイト	2.5	2.2	0.5	3.0	
40	Ⅱ－4	SB3002	遺構埋土	打製石鏃 (未製品)	サヌカイト	1.6	1.5	0.3	0.4	
41	Ⅱ－5	SB3002	遺構埋土	スクレイパー	サヌカイト	4.9	3.9	0.7	13.2	
42	Ⅱ－4	SB3002	遺構埋土	剥片	サヌカイト	1.5	1.1	0.3	0.6	
43	Ⅱ－4	SB3002	EH1 遺構埋土	剥片	サヌカイト	3.0	1.2	0.3	0.7	
44	Ⅱ－4	SB3002	遺構埋土	凹石	砂岩	9.1	10.4	6.8	730.0	
47	Ⅱ－5	SB3004	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	(1.1)	1.0	0.2	(0.2)	平基 先端部欠損
48	Ⅱ－5	SB3004	遺構埋土	剥片	サヌカイト	1.7	1.5	0.3	1.1	
49	Ⅱ－5	SB3005	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	1.0	1.0	0.3	0.2	平基

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	石材	法量 (cm)				備考
						長さ	幅	厚	重量(g)	
50	Ⅱ－5	SB3005	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	(1.1)	1.3	0.3	(0.3)	平基 先端部欠損
52	Ⅱ－5	SB3006	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	1.7	1.4	0.3	0.4	平基
53	Ⅱ－5	SB3006	EH1 遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	1.4	1.1	0.3	0.2	平基
54	Ⅱ－5	SB3006	遺構埋土	石錐	サヌカイト	1.9	0.8	0.3	0.4	先端部やや磨耗
55	Ⅱ－5	SB3006	遺構埋土	剥片	サヌカイト	2.8	2.8	0.7	4.7	
56	Ⅱ－5	SB3008	遺構埋土	磨石･叩石	砂岩	13.9	8.5	5.7	1,090.0	硬質で比重高い
57	Ⅱ－5	SB3008	遺構埋土	磨石･叩石	砂岩	7.9	9.6	2.9	280.0	
58	Ⅱ－5	SB3008	遺構埋土	磨石･叩石	砂岩	12.3	5.6	5.3	510.0	硬質で比重高い
66	Ⅱ－5	SX3004	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	(1.7)	(1.0)	(0.3)	(0.3)	基部欠損
67	Ⅱ－5	SX3004	遺構埋土	石錐	サヌカイト	2.5	0.7	0.5	0.6	先端一部欠損
71	Ⅱ－5	SK3013	遺構埋土	スクレイパー	サヌカイト	4.3	6.1	1.1	21.1	
73	Ⅱ－5	SK3018	遺構埋土	スクレイパー	サヌカイト	(1.6)	(1.9)	(0.6)	(1.8)	欠損
75	Ⅱ－5	SK3021	遺構埋土	打製石鏃 (未製品)	サヌカイト	1.1	2.1	0.3	0.8	
87	Ⅱ－5		第３包含層	打製石鏃 (未製品)	サヌカイト	2.0	2.0	0.7	1.9	先端部欠損
88	Ⅱ－4		第３包含層	打製石鏃	サヌカイト	(1.4)	(1.2)	0.3	(0.4)	平基か 先端部・基部欠損
89	Ⅱ－5		第３包含層	楔形石器か	サヌカイト	1.9	1.3	0.4	1.2	
90	Ⅱ－5		第３包含層	楔形石器	サヌカイト	2.3	1.4	0.5	2.2	
91	Ⅱ－5		第３包含層	剥片	サヌカイト	2.0	1.8	0.5	2.4	
92	Ⅱ－4		第３包含層	剥片	サヌカイト	2.5	2.3	0.4	1.9	
96	Ⅱ－4	SB2003	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	(1.6)	1.3	0.3	(0.4)	凹基 先端部欠損
105	Ⅱ－4	SB2005	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	4.3	1.3	0.6	3.5	凸基
106	Ⅱ－4	SB2005	遺構埋土	叩石	砂岩	16.4	5.7	5.3	690.0	
107	Ⅱ－4	SB2005	遺構埋土	叩石	砂岩	(9.8)	6.2	3.6	(260.0)	
108	Ⅱ－4	SB2005	遺構埋土	叩石	砂岩	6.6	7.6	2.1	150.0	
109	Ⅱ－4	SB2005	遺構埋土	磨石･叩石	砂岩	(7.2)	8.2	3.2	(280.0)	
115	Ⅱ－4	SB2006	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	1.8	1.4	0.4	0.7	凹基
124	Ⅱ－4	SB2007	遺構埋土	用途不明 石製品	泥岩か	2.2	1.9	0.6	3.1	
125	Ⅱ－4	SB2007	遺構埋土	石錘	砂岩	4.9	3.8	2.1	52.9	完形
126	Ⅱ－4	SB2007	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	(2.4)	1.1	0.5	(1.3)	凸基
127	Ⅱ－4	SB2007	遺構埋土	叩石	砂岩	7.5	4.1	1.9	80.0	
128	Ⅱ－4	SB2007	遺構埋土	石包丁	サヌカイト	19.0	9.8	1.5	310.0	完形
141	Ⅱ－5	SB2010	遺構埋土	石錐	サヌカイト	3.6	3.0	0.5	2.9	一部欠損あり
142	Ⅱ－5	SB2010	遺構埋土	石斧	緑色片岩	10.7	6.6	3.4	420.0	
143	Ⅱ－5	SB2010	遺構埋土	叩石	砂岩	8.4	6.9	2.7	230.0	
144	Ⅱ－5	SB2010	遺構埋土	砥石	砂岩	28.8	13.7	12.0	6,790.0	
145	Ⅱ－5	SB2010	遺構埋土	砥石	砂岩	27.0	(27.0)	14.5	(1,193.0)	
152	Ⅱ－7	SB2011	遺構埋土	石斧	結晶片岩	(12.2)	6.8	4.5	(540.0)	
153	Ⅱ－7	SB2011	遺構埋土	砥石	砂岩	12.1	7.1	5.1	450.0	被熱部分あり
154	Ⅱ－7	SB2011	遺構埋土	叩石	砂岩	11.4	3.4	3.9	170.0	粒子細かく、泥岩に近い
155	Ⅱ－7	SB2011	遺構埋土	叩石	砂岩	13.0	5.1	4.4	440.0	被熱部分あり
156	Ⅱ－7	SB2011	遺構埋土	台石	砂岩	31.2	13.8	11.5	9,000.0	
157	Ⅱ－7	SB2011	遺構埋土	台石	砂岩	31.4	37.0	11.7	19.2	
164	Ⅱ－4	SX2003	遺構埋土	叩石	砂岩	10.7	5.1	4.3	330.0	
174	Ⅱ－5	SX2010	遺構埋土	石錐	サヌカイト	3.7	18.0	0.8	3.8	
180	Ⅱ－5	SX2012	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	1.8	1.5	0.3	0.7	平基
181	Ⅱ－5	SX2012	遺構埋土	石斧	結晶片岩	17.4	7.3	4.9	1,030.0	
183	Ⅱ－7	SX2016	遺構埋土	楔形削器か	サヌカイト	2.0	2.1	0.3	1.4	
186	Ⅱ-7.9	SX2018	遺構埋土	叩石	砂岩	9.1	5.6	4.7	380.0	
187	Ⅱ-7.9	SX2018	遺構埋土	凹石	砂岩	12.7	9.7	5.2	790.0	
188	Ⅱ-7.9	SX2018	遺構埋土	砥石	砂岩	(5.7)	(4.9)	4.1	(120.0)	
211	Ⅱ－5	SX2020	遺構埋土	叩石	砂岩	12.4	9.8	5.3	900.0	
212	Ⅱ－5	SX2020	遺構埋土	叩石	砂岩	(11.3)	7.4	5.2	(480.0)	
213	Ⅱ－5	SX2020	遺構埋土	砥石	砂岩	(6.8)	(5.0)	(2.4)	(70.0)	使用痕乏しい
219	Ⅱ－4	SK2018	遺構埋土	楔形石器	サヌカイト	2.4	3.2	1.4	9.6	
222	Ⅱ－4	SK2019	遺構埋土	凹石	砂岩	11.3	10.0	7.7	950.0	
223	Ⅱ－4	SK2020	遺構埋土	用途不明 石製品	砂岩	(7.5)	5.6	1.9	(98.7)	スクレイパーの可能性あり
231	Ⅱ－5	SK2043	遺構埋土	叩石	砂岩	12.9	5.3	3.5	320.0	
235	Ⅱ－5	SK2055	遺構埋土	叩石	砂岩	(6.5)	(9.5)	3.2	(290.0)	
240	Ⅱ－7	SK2089	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	3.1	1.3	0.7	2.1	未製品の可能性あり 凸基
241	Ⅱ－8	SK2091	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	(2.6)	1.4	0.7	(2.5)	未製品の可能性あり 凸基
251	Ⅱ－8	SK2092	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	(2.6)	1.9	0.5	(2.0)	凹基
257	Ⅱ－9	SK2097	遺構埋土	叩石	砂岩	12.9	5.8	5.9	600.0	
258	Ⅱ－9	SK2097	遺構埋土	叩石	砂岩	23.4	19.4	13.1	9,000.0	
260	Ⅱ－9	SK2103	遺構埋土	楔形石器	サヌカイト	2.1	1.9	0.5	1.6	
267	Ⅱ－10	SK2104	遺構埋土	叩石	砂岩	13.3	6.6	5.8	670.0	
272	Ⅱ－10	SK2105	遺構埋土	叩石	砂岩	(9.3)	5.3	3.9	(200.0)	

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	石材	法量 (cm)				備考
						長さ	幅	厚	重量(g)	
274	Ⅱ－8	SK2106	遺構埋土	砥石	砂岩	20.5	19.8	11.0	4,920.0	
275	Ⅱ－10	SK2106	遺構埋土	砥石	砂岩	16.0	13.7	2.9	720.0	板状、ところによりごく浅い筋状の凹みあり
280	Ⅱ－5	SP2174	遺構埋土	叩石	石英質片岩	9.3	6.5	5.0	450.0	完形
283	Ⅱ－8	SP2230	遺構埋土	打製石鏃	サヌカイト	(2.3)	1.3	0.3	(0.9)	凸基 下部欠損
287	Ⅱ－5	SP2261	遺構埋土	叩石	砂岩	13.5	9.2	4.9	780.0	
297	Ⅰ－9		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	2.6	1.8	0.4	1.4	凹基
298	Ⅰ－8		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	(5.3)	1.8	0.9	(6.0)	凸基有茎
299	Ⅰ－1		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	3.9	1.9	0.8	2.9	凸基有茎 先端部欠損
300	Ⅰ－9		第2包含層	叩石	砂岩	(8.1)	5.6	4.1	(237.3)	A～D面の中央部に敲打痕集中 上半欠損 A・C面に擦痕あり、砥石として使用
301	Ⅰ－7		第2包含層	叩石	砂岩	17.0	6.0	5.8	1,100.0	一部わずかに赤変部・黒変部あり、被熱によるものか 端部及び側面の一部に敲打痕
337	Ⅱ－5		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	(1.4)	0.8	0.4	(0.3)	凹基
338	Ⅱ－5		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	(1.2)	1.2	0.3	(0.5)	平基
339	Ⅱ－5		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	2.0	1.3	0.3	0.6	凹基
340	Ⅱ－5		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	2.3	1.7	0.4	1.5	平基
341	Ⅱ－5		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	(2.3)	1.7	0.4	(1.6)	平基
342	Ⅱ－5		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	2.6	1.9	0.3	1.5	平基
343	Ⅱ－5		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	(1.1)	0.9	0.2	(0.2)	平基
344	Ⅱ－5		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	(1.4)	1.3	0.3	(0.6)	凹基か 下半部欠損
345	Ⅱ－5		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	(2.0)	2.0	0.5	(1.2)	凹基 先端部欠損
346	Ⅱ－5		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	1.5	1.1	0.4	0.5	凸基
347	Ⅱ		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	2.9	1.7	0.5	1.8	凸基
348	Ⅱ		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	1.8	1.4	0.4	0.8	凸基有茎
349	Ⅱ－5		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	(0.9)	0.9	0.3	(0.5)	凸基
350	Ⅱ－5		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	4.9	1.4	0.6	3.4	凸基
351	Ⅱ－5		第2包含層	石錐か	サヌカイト	2.0	0.8	0.5	0.6	
352	Ⅱ－5		第2包含層	石包丁か	サヌカイト	(3.7)	(3.5)	1.0	(11.4)	
353	Ⅱ－5		第2包含層	スクレイパー	サヌカイト	5.3	3.0	0.6	9.3	エグリ2カ所あり
354	Ⅱ－4		第2包含層	石斧	緑色岩	(13.8)	7.3	5.5	(980.0)	
355	Ⅱ－6		第2包含層	石斧	緑色岩	12.0	6.4	3.9	490.0	
356	Ⅱ－5		第2包含層	台石	砂岩	(12.6)	(7.4)	10.2	(1,370.0)	
357	Ⅱ－5		第2包含層	叩石	砂岩	10.5	4.7	2.2	180.0	
358	Ⅱ－5		第2包含層	凹石	砂岩	11.6	7.3	3.6	420.0	
359	Ⅱ－5		第2包含層	凹石	砂岩	11.2	10.4	6.0	1,000.0	
360	Ⅱ－4		第2包含層	凹石	砂岩	11.6	8.1	5.5	800.0	
418	Ⅱ－11		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	(2.1)	1.2	0.4	(0.8)	平基
419	Ⅱ－11		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	2.4	1.4	0.4	1.1	平基
420	Ⅱ－11		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	1.7	1.0	0.3	0.3	凸基
421	Ⅱ－9		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	(2.5)	1.5	0.6	(1.5)	凸基有茎 先端部欠損
422	Ⅱ－9		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	3.4	2.1	0.3	1.9	凸基有茎
423	Ⅱ－9		第2包含層	打製石鏃	サヌカイト	(2.9)	1.9	0.6	(3.3)	凸基有茎 先端部、基部欠損
424	Ⅱ－7		第2包含層	打製石鏃 (未製品)	サヌカイト	2.9	1.9	0.6	2.6	
425	Ⅱ－10		第2包含層	小型扁平 片刃石斧	結晶片岩	(3.0)	1.6	0.6	(10.0)	
426	Ⅱ－9		第2包含層	石包丁か	結晶片眼	7.4	4.9	1.5	102.5	抉り、刃部等の加工不明瞭
427	Ⅱ－9		第2包含層	凹石	砂岩	7.7	7.5	2.7	240.0	
428	Ⅱ－7		第2包含層	叩石	砂岩	8.7	5.6	2.7	210.0	
429	Ⅱ－9		第2包含層	叩石	砂岩	10.8	6.2	2.9	290.0	
430	Ⅱ－11		第2包含層	叩石	砂岩	10.5	5.7	3.5	320.0	
452	Ⅰ－7	SB1001	遺構埋土	台石	砂岩	30.0	18.0	17.0	13,400.0	
490	Ⅰ－4	SA1020 EP4	遺構埋土	石鍋	滑石	－	－	－	104.8	鍔径28.0 残存長2.5 残存率 1/9 口縁外面タテケズリ、鍔部外面ヨコケズリ、体部外面タテケズリ、内面ヨコケズリ 色調 内・外：黒褐色7.5YR3/1 外面煤付着あり 鍔部下面以下炭化物固着する 木戸分類Ⅲ－a－2類 12C後半
594	Ⅰ－1	SK1002	遺構埋土	砥石	砂岩	14.6	14.4	8.0	3,100.0	肌理細かい 4面使用 破面とも境も若干磨耗 破面の一部に敲打痕あり
603	Ⅰ－1	SK1025	遺構埋土	石鍋	滑石	－	－	－	19.8	残存高4.2cm 外面タテケズリ(幅1.2cm)、内面ケズリ 色調 外：黒褐色2.5Y3/1 内：黒色2.5Y2/1 残存部に鍔部削除痕なし 木戸分類Ⅲ－a－1～2類か 12C代
604	Ⅰ－2	SK1040	遺構埋土	台石	砂岩	17.1	16.3	11.3	3,550.0	4面使用 各面中央部にわずかな敲打痕・擦痕あり
641	Ⅰ－6	SK1257	遺構埋土	黒碁石	泥岩	2.0	2.1	1.0	5.6	

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	石材	法量 (cm)				備考
						長さ	幅	厚	重量(g)	
655	Ⅰ－7	SK1287	遺構埋土	砥石か	軽石	6.5	5.4	2.6	25.8	石材は多孔質の軽石、色調は褐灰色、石英・角閃石・金雲母を含む 側面を研削加工している 表面削痕あり
717	Ⅰ－7	SK1310	遺構埋土	叩石	砂岩	9.1	6.1	6.6	482.4	A面中央・B面上端の一部に敲打痕あり 欠損部のエッジはやや緩い
718	Ⅰ－7	SK1310	遺構埋土	砥石	凝灰岩	13.1	12.2	10.1	2,936.0	エッジはゆるめで破損後も使用の痕跡あり 砥面はつやが出るほど使い込まれている 石英・長石・角閃石・金雲母を含む
764	Ⅰ－9	SK1497	遺構埋土	砥石	凝灰岩	6.3	3.2	1.3	38.0	B・D面を砥面として使用 A・C面、上端面に切断痕 下方欠損
786	Ⅰ－9	SK1533	遺構埋土	砥石	砂岩	22.0	11.7	12.2	4,250.0	A・C面を砥面として使用 B面に敲打痕
811	Ⅰ－1	SD1005	遺構埋土	砥石	砂岩	21.2	7.7	6.7	1,750.0	1面を破面として使用 節理はみられるが肌理は細かい 被熱のためか、煤付着
962	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	温石か	滑石	5.0	5.2	1.6	68.5	石鍋転用 径1～2㎜深さ0.5～1㎜の穿孔が凹面に12カ所、凸面に8カ所あるが用途不明、貫通する穿孔1カ所あり 凸面に石鍋整形時のミガキ痕、擦過による浅い溝状の凹みあり
963	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	砥石	砂岩	14.7	13.5	11.7	3,700.0	2綿使用 きめ細かい砂岩を使用 わずかに敲打痕あり
964	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	砥石	砂岩	8.6	6.2	2.9	250.6	きめ細かい砂岩礫を使用 2面使用
965	Ⅰ－3	SD1028	遺構埋土	砥石	砂岩	8.2	4.3	2.7	100.0	破片 破面のエッジがやや緩いことから欠損後も使用
966	Ⅰ－6	SD1028	遺構埋土	叩石	砂岩	11.4	4.3	2.7	179.2	下端面に敲打痕あり 側面を砥面として使用、使用頻度低い
977	Ⅰ－6	SD1045	遺構埋土	石鍋	滑石	－	－	－	98.7	口径18.4 鍔径20.0 残存長4.2 残存率 1/8 口縁外面タテケズリ、鍔部～体部外面ヨコケズリ、内面ヨコケズリ 色調 内：黄灰色2.5Y5/1 外:黒色 N2/0 外面煤付着あり 鍔部下面以下炭化物固着する 木戸分類Ⅲ－a類 12C代
1125	Ⅰ－10	SD1056	遺構埋土	砥	粘板岩	10.9	5.0	2.0	128.7	下面に二次加工としての鑿痕あり 海と陸の間に顕著な高低差はみられない 周縁部の欠損著しい
1126	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	砥石	砂岩	16.0	2.7	2.1	213.5	A～D面の4面を砥面として使用 各面端部は細かな凹凸あり、一部叩石として使用か
1127	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	砥石	砂岩	10.8	7.8	2.1	275.2	A～C面の3面を砥面として使用 上面欠損部も使用によりわずかに磨耗
1128	Ⅰ－9	SD1056	遺構埋土	砥石	砂岩	19.9	5.2	4.4	2,000.0	A～D面を砥面として使用
1159	Ⅰ－9	SD1057	遺構埋土	砥石	砂岩	11.3	8.6	7.0	658.9	2面を砥面として使用
1327	Ⅰ－1		第1包含層	石鍋	滑石	4.0	5.6	2.9	68.1	木戸分類Ⅲ－a類か 12C代
1328	Ⅰ－1		第1包含層	用途不明石製品	滑石	3.0	2.9	1.6	15.5	①面 丁寧なケズリ、研磨による面整形 ②面 切断痕 ③面 円弧外縁に沿って沈線、ケズリ、研磨による面整形 ④面 切断痕 ⑤面 円弧外縁に沿って沈線、端部に溝状の切れ込み、面には擦痕
1329	Ⅰ－7		第1包含層	砥石	粘板岩	5.4	3.6	1.1	36.8	両端欠損面も含め、6面を砥面として使用 回転による円錐状の凹みあり
1330	Ⅰ－1		第1包含層	叩石	砂岩	9.4	8.5	7.3	819.5	扁球形の砂岩礫を敲石として使用 中央部に敲打痕あり
1331	Ⅰ－1		第1包含層	叩石	砂岩	10.8	5.5	2.5	226.2	1/2遺存 扁平な砂岩礫を使用 A・B面に敲打痕
1353	Ⅱ－4	SA1009 EP10 SP10231	遺構埋土	砥石	砂岩	9.2	5.0	2.0	119.6	4面を使用する
1380	Ⅱ－4	SA1011 EP15 SP10384	遺構埋土	砥石	凝灰岩	2.3	3.1	1.5	8.1	A～Dの4面を砥面として使用
1381	Ⅱ－4	SA1012 EP3 SP10396	遺構埋土	台石	安山岩	18.0	14.9	6.1	2,240.0	柱穴の根石に転用か
1395	Ⅱ－4	SA1049 EP3+EP2 SP10320 ＋ SP10356	遺構埋土	台石	砂岩	18.5	16.2	10.7	4,400.0	破砕後に柱穴の根石に転用 3片に破砕
1419	Ⅱ－7	SA1054 EP3 SP11702	遺構埋土	黒碁石	泥岩	2.2	1.7	0.7	3.3	完形
1430	Ⅱ－11	SA1036 EP1 SP13300	遺構埋土	石錘か	滑石	5.7	4.0	2.7	93.8	
1462	Ⅱ－1	SK1058	遺構埋土	砥石	砂岩	22.5	8.5	7.6	2,234.4	A・B・B裏・Cの4面を砥面として使用 B裏面は使用弱く、自然面を多く残す
1509	Ⅱ－4	SK1125	遺構埋土	砥石か磨石	砂岩	8.2	7.7	6.1	560.0	被熱により欠損
1520	Ⅱ－5	SK1190	遺構埋土	砥石	砂岩	6.7	8.3	2.5	150.0	A～Cの3面を砥面として使用

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	石材	法量 (cm)				備考
						長さ	幅	厚	重量(g)	
1526	Ⅱ－7	SK1209	遺構埋土	叩石	砂岩	10.7	6.3	4.4	490.6	一部砥面として使用 部分的に敲打痕あり
1531	Ⅱ－7	SK1215	遺構埋土	砥石	砂岩	7.8	8.8	4.6	470.0	A・B面を砥面として使用 B面は使用による磨耗少ない
1627	Ⅱ－1	SD1006 SD1007	遺構埋土	用途不明 石製品	結晶片岩	5.2	1.0	0.8	5.6	周囲研削調整後縄掛け状の溝、上端1カ所、下端2カ所巡る 石錘か
1628	Ⅱ－1	SD1006 SD1007	遺構埋土	砥石	砂岩	6.1	4.6	2.8	135.1	A面・A面裏・B面の3面を砥面として使用
1629	Ⅱ－1	SD1006 SD1007	遺構埋土	砥石	砂岩	8.9	5.7	5.2	300.0	A～Cの3面を砥面として使用 D面は敲打痕著しい
1661	Ⅱ－3	SD1014	遺構埋土	叩石	砂岩	10.4	7.1	6.8	710.5	完形
1680	Ⅱ－5	SD1033 SD1034	遺構埋土	用途不明 石製品	粘板岩	5.1	4.5	1.1	28.5	上面丁寧な研磨の後、中心部回転により凹みを穿つ 側面・下面の一部にわずかな研磨整形 用途不明
1733	Ⅱ－7	SD1053	遺構埋土	砥石	砂岩	12.2	7.2	2.9	370.0	A～Dの4面を砥面として使用 A・C面中央に敲打痕
1734	Ⅱ－7	SD1053	遺構埋土	砥石	砂岩	9.3	7.7	3.4	338.4	A～Cの3面を砥面として使用 敲打痕あり 部分的に赤色化、被熱によるものか
1864	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	叩石	砂岩	8.0	10.6	1.5	210.0	完形
1865	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	叩石	砂岩	11.0	9.4	6.3	900.0	完形
1881	Ⅱ－1	SX1001	遺構埋土	紡錘車	滑石	3.3	3.4	1.3	21.4	
1937	Ⅱ－4	SP10654	遺構埋土	砥石	凝灰岩	3.2	4.1	1.4	24.5	2面使用
1951	Ⅱ－5	SP11028	遺構埋土	叩石	砂岩	12.4	9.9	6.6	1,250.0	
1979	Ⅱ－8	SP11978	遺構埋土	砥石	粘板岩	4.7	2.5	1.3	20.3	3面使用 硯などの転用品の可能性あり
2092	Ⅱ－4		第1包含層	白碁石か	石英	1.3	1.8	0.8	2.7	
2093	Ⅱ－4		第1包含層	黒碁石	泥岩	1.5	2.1	0.5	2.2	
2094	Ⅱ－4		第1包含層	黒碁石	砂岩	2.0	2.2	0.8	4.7	粒子の細かい砂岩製
2095	Ⅱ－3		第1包含層	石鍋	滑石	－	－	－	113.1	厚さ1.3 残存長8.0 体部下位の一部 外面煤付着・炭化物厚く付着 外面下位に2条のくぼみあり、二次使用による擦痕か
2096	Ⅱ－5		第1包含層	用途不明 石製品	滑石	7.3	11.0	2.1	261.1	石鍋を転用 図の右側面が本来の口縁、木戸分類Ⅲ－a類12C代か 鍔部は削り取る
2161	Ⅱ－10		第1包含層	黒碁石	砂岩	1.6	1.9	0.4	1.8	粒子の細かい砂岩製

第35表　宮ノ本遺跡Ⅱ地区出土遺物観察表　木製品

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	樹種	法量(cm) 残存率	備考
1861	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	木製 用途不明品	スギ	長さ27.1 幅6.3 厚さ0.6	平らな板を上部を楕円形、下部を細かく削って成形。 下端を三角にケズリ尖らせてある。 表面はケズリによって成形しているが、ヨコ方向に刃の痕が無数についている。
1862	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	木製 椀	ケヤキ	口径18.2 底径9.2 高台高1.3 器高8.3	反転復元 内外面黒漆塗
1863	Ⅱ－8	SD1067	遺構埋土	木製 椀	クリ	口径15.7 底径6.2 高台高0.8 復元高7.0	反転復元 器形著しく歪むため、法量の数値は全て推定復元値となる 内面黒漆後赤漆塗 外面黒漆後菱形十字文を丸囲みした文様を赤漆で描く 横木取り
2097	Ⅱ－6		確認トレンチ	木製 椀	トチ	口径12.2 底径5.7 高台高1.0 器高7.4	反転復元 外面黒漆塗、内面赤漆塗 時期不明
2098	Ⅱ－6		確認トレンチ西	木製 椀	トチ	残存高5.4	反転復元 内外面赤漆塗

大原遺跡

遺構一覧表　遺物観察表

第36表　大原遺跡1区掘立柱建物一覧表

※〈　〉内の数値は廂を含めた規模

調査区	遺構番号	グリッド		構造(間) 東西×南北	※規模(m)		※面積 (㎡)	主軸方向	柱穴数	備　　考
		中	小		東西	南北				
1区	SA1001	δ－Ⅰ	m～o 2·3	2×3	3.4	5.8	19.7	N22°W	12	総柱建物
1区	SA1002	δ－Ⅰ	o～q 2·3	2×3	4.3	5.8	24.9	N29°W	11	掘立柱建物
1区	SA1003	δ－Ⅰ	p·q 1·2	2×2以上	3.8	2.9以上	11.0以上	N77°E	5	側柱建物 北側は調査区外に延びる
1区	SA1004	δ－Ⅰ	o·p 4·5	2×2	3.8	4.3 〈5.2〉	16.3 〈19.8〉	N38°W	9	北側に庇を持つ側柱建物
1区	SA1005	δ－Ⅰ	p·q 3·4	2×3	4.2	5.4	22.7	N27°W	12	掘立柱建物
1区	SA1006	δ－Ⅰ	l·m 5·6	1×2	2.5	4.5	11.3	N18°W	6	側柱建物

第37表　大原遺跡1区検出遺構一覧表　掘立柱建物　柱穴

調査区	遺構番号		旧遺構番号	グリッド		規模(cm)		出　土　遺　物	備　　考
				中	小	径	深度		
1区	SA1001	EP01	SP1196	δ－Ⅰ	m 2	42	44	土質羽か鍋か	
		EP02	SP1066	δ－Ⅰ	n 2	40	44	－	根石あり
		EP03	SP1086	δ－Ⅰ	n 2	40	48	弥生、近世陶磁・瓦	
		EP04	SP1085	δ－Ⅰ	n 2	42	48	近世瓦	
		EP05	SP1195	δ－Ⅰ	m 2	30	30	土質	根石あり
		EP06	SP1088	δ－Ⅰ	n 2	42	50	弥生	
		EP07	SP1089	δ－Ⅰ	n 2	30	24	弥生	
		EP08	SP1090	δ－Ⅰ	n 2	38	20	－	根石あり
		EP09	SP1193	δ－Ⅰ	m.n 3	64	80	弥生、土質羽	
		EP10	SP1093	δ－Ⅰ	n 3	60	64	弥生、土質羽	
		EP11	SP1092	δ－Ⅰ	n 2	48	52	土質羽、染付	根石あり
		EP12	SP1091	δ－Ⅰ	o 2	46	56	弥生、近世瓦	
1区	SA1002	EP01	SP1179	δ－Ⅰ	o 3	66	62	弥生、土質供・羽、木片	
			SP3010	δ－Ⅰ		－	－	弥生	
		EP02	SP1177	δ－Ⅰ	p 2	58	58	弥生、土質供	
		EP03	SP1174	δ－Ⅰ	p 2	62	52	弥生、土質供	
		EP04	SP1157	δ－Ⅰ	p 2	56	40	近世陶磁（肥前系）	
		EP05	SP2069	δ－Ⅰ	o 3	28	22	－	
		EP06	SP1180	δ－Ⅰ	p 3	44	26	弥生、白皿	
		EP07	SP1173	δ－Ⅰ	p 2.3	52	20	弥生	
		EP08	SP1293	δ－Ⅰ	p 3	50	58	土質羽	
		EP09	SP1350	δ－Ⅰ	p 3	60	68	－	
		EP10	SP1353	δ－Ⅰ	p 3	64	58	土質供・羽、焼土塊	
		EP11	SP1354	δ－Ⅰ	q 3	56	36	－	根石あり
1区	SA1003	EP01	SP1139	δ－Ⅰ	q 1	30	12	弥生	
		EP02	SP1164	δ－Ⅰ	q 2	36	30	－	
		EP03	SP1147	δ－Ⅰ	p.q 1	36	50	－	
		EP04	SP1159	δ－Ⅰ	q 2	38	52	－	
		EP05	SP1167	δ－Ⅰ	q 2	38	62	近世瓦	
1区	SA1004	EP01	SP1269	δ－Ⅰ	o 4	28	14	－	
			SP2021		δ－Ⅰ	－	－	－	
		EP02	SP1274	δ－Ⅰ	o 4	50	8	弥生	
		EP03	SP1287	δ－Ⅰ	o 4	44	60	染付	
		EP04	SP1289	δ－Ⅰ	o.p 3.4	40	28	弥生、土質供、焼土塊	
		EP05	SP1286	δ－Ⅰ	p 4	34	22	弥生、土質供、焼土塊	
		EP06	SP1295	δ－Ⅰ	p 4	28	24	－	
		EP07	SP1284	δ－Ⅰ	o 5	44	24	土質供・羽	SP1274が切る
		EP08	SP1299	δ－Ⅰ	p 4	40	6	－	
		EP09	SP1300	δ－Ⅰ	p 4	30	26	弥生	
1区	SA1005	EP01	SP1319	δ－Ⅰ	p 3	34	10	－	SP1312・SP1313が切る
		EP02	SP2056	δ－Ⅰ	p 3	40	20	土質供、焼土塊	
		EP03	SK1009	δ－Ⅰ	q 3	90	50	土質供、木片（柱材か）	
		EP04	SP3003	δ－Ⅰ	q 3	38	48 (20)	－	SP1331が切る
		EP05	SP1314	δ－Ⅰ	p 4	46	60	土質杯、木片（柱材か）	
		EP06	SP2061	δ－Ⅰ	q 4	36	46	土質供、瓦椀、瓦質羽か鍋、焼土塊	
		EP07	SP1324	δ－Ⅰ	q 3	64	58	弥生	
		EP08	SP1345	δ－Ⅰ	q 3	52	40	土質供	
		EP09	SP1308	δ－Ⅰ	p 4	38	24	弥生、土質供	
		EP10	SP1326	δ－Ⅰ	q 4	38	14	弥生、土質供・羽	
		EP11	SP3004	δ－Ⅰ	q 4	38	30 (12)	－	SP1351が切る
		EP12	SP1343	δ－Ⅰ	q 4	49	35	弥生、木片	北側側溝が切る
1区	SA1006	EP01	SP1213	δ－Ⅰ	l 5	64	48	－	
			SP2210	δ－Ⅰ		－	－	土質供	
		EP02	SP1223	δ－Ⅰ	l 5	44	16	土質供	
		EP03	SP1228	δ－Ⅰ	m 5	30	42	－	
		EP04	SP1216	δ－Ⅰ	l 5.6	46	48	－	東側側溝が切る
			SP2208	δ－Ⅰ		－	－	－	
		EP05	SP1221	δ－Ⅰ	m 5	56	50	－	
		EP06	SP1253	δ－Ⅰ	m 5	48	38	弥生	
			SP2198	δ－Ⅰ		－	－	弥生	

第38表　大原遺跡１区検出遺構一覧表　土坑

調査区	遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)			出土遺物	備考
			中	小	長軸	短軸	深度		
1区	SK1001	SK1002	δ－Ⅰ	j 1	84	78	74	土質羽、板状木製品	
1区	SK1002	SK2020	δ－Ⅰ	j·k 3	177	152	65	近世瓦、木（箸・付木）	
1区	SK1003	SK1004	δ－Ⅰ	l 3	140	62	16	弥生、中世陶	
1区	SK1004	SK1005	δ－Ⅰ	l 2·3	98	54	17	－	
1区	SK1005	SK1016	δ－Ⅰ	l·m 3·4	220	120	10	弥生	
1区	SK1006	SK1015	δ－Ⅰ	l·m 3·4	130	102	13	青磁	
1区	SK1007	SK1014	δ－Ⅰ	m 5	126	66	18	弥生、土質供	
1区	SK1008	SK2014	δ－Ⅰ	m 2	(88)	76	42	弥生	SA1001EP 1が切る
1区	SK1009	SK1006	δ－Ⅰ	n 2	130	128	18	青磁、近世瓦	
1区	SK1010	SK2009	δ－Ⅰ	n 2	70	54	10	－	SD1009が切る
1区	SK1011	SD1001	δ－Ⅴ	o 20	168	36	5	備灯明皿（回糸）	
1区	SK1012	SK2015	δ－Ⅴ	o 20	(100)	54	9	－	SK1011が切る
1区	SK1013	SK2012	δ－Ⅴ·Ⅰ	o 20·1	142	88	10	弥生	SP1096が切る
1区	SK1014	SP2120	δ－Ⅰ	o 1	114	30	2	弥生	
1区	SK1015	SK1007	δ－Ⅴ	p·q 20	162	138	33	土質供、近世瓦	
1区	SK1016	SK1013	δ－Ⅰ	m·n 5	86	54	48	弥生、土質供・羽、近世陶磁	SP1215が切る
1区	SK1017	SK1012	δ－Ⅰ	n 5	162	106	15	弥生	
1区	SK1018	SK2002	δ－Ⅰ	n 3·4	(104)	88	3	弥生	SX1003が切る
1区	SK1019	SK2003	δ－Ⅰ	n 3·4	92	78	7	弥生	
1区	SK1020	SK2004	δ－Ⅰ	n 3·4	158	(92)	6	弥生	SD1006・SP1148・SP1149が切る
1区		SK2005	δ－Ⅰ	n 3·4	－	－	－	弥生	
1区	SK1021	SK2006	δ－Ⅰ	o 3	104	62	13	弥生	
1区	SK1022	SK2007	δ－Ⅰ	o 3	76	76	6	弥生鉢	
1区	SK1023	SP2084	δ－Ⅰ	o·p 2	88	64	7	弥生	
1区	SK1024	SK1008	δ－Ⅰ	q 1	130	68	7	弥生	
1区	SK1025	SP1261	δ－Ⅰ	o 5	80	56	37	弥生、土質供・羽	
1区	SK1026	SD1007	δ－Ⅰ	p 4	(94)	26	11	弥生、土質羽	撹乱が切る
1区	SK1027	SK1010	δ－Ⅰ	q 4	92	(42)	19	弥生	北側側溝が切る

第39表　大原遺跡１区検出遺構一覧表　溝

調査区	遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)			主軸	出土遺物	備考
			中	小	長さ	軸	深度			
1区	SD1001	SD1008	δ－Ⅰ	i～k 1～6	(2,598)	(326)	104	N69°E	弥生、土質供、近世陶磁肥前皿・瓦	東・西・南側側溝が切る
		SD2013							弥生壺・高杯、土質供・羽、備前甕、近世陶磁、木片	
		SD2014							弥生高杯	
		SR1001							須恵壺、土質羽、備前擂、青磁、近世陶磁、木片	
		SR3001							備前貯、木（箸・板材）	
1区	SD1002	SD2012	δ－Ⅰ	j～l 1～6	(2,581)	88	56	N69°E	弥生、瓦椀	西・東側側溝が切る
1区	SD1003	SD1004	δ－Ⅰ	p 1·2	522	19	9	N75°E	土師、近世瓦	
1区	SD1004	SD1005	δ－Ⅰ	p·q 3	(898)	112	14	N27°W	弥生、土質供・羽	北側側溝が切る
1区	SD1005	SD1006	δ－Ⅰ	q 4·5	(472)	90	14	N70°E	土質、近世唐津	東側側溝が切る 西側中途で途切れる
1区	SD1006	SD2001	δ－Ⅴ·Ⅰ	l～q 20～5	(3,334)	46	28	N42°W	弥生	北側側溝・SX1002が切る
1区	SD1007	SD2008	δ－Ⅰ	k～n 1～5	(2,846)	46	6	N51°E	弥生、土質供	西・東側側溝が切る
1区	SD1008	SD2009	δ－Ⅰ	k～m 1～4	(2,094)	40	11	N61°E	弥生	西側側溝が切る
1区	SD1009	SD2011	δ－Ⅴ·Ⅰ	k～q 20～4	(3,598)	170	14	N44°W	弥生壺・高杯	途中で南方向に傾く 北側側溝・SD1002が切る
		SR2001					9		弥生甕	
1区	SD1010	SD1002	δ－Ⅴ·Ⅰ	o·p 20·1	(510)	58	7	N22°W	弥生	SD1009・SK1015が切る
1区	SD1011	SD2005	δ－Ⅰ	l～q 1～6	(3,426)	66	10	N51°W	弥生、土質供	途中で南方向に傾く 北・東側側溝が切る
		SD2006							弥生甕、須恵甕、土質羽	
1区	SD1012	SD2002	δ－Ⅰ	q 1	(174)	34	4	N43°E	弥生甕	SD1011・SP1183が切る

第40表　大原遺跡１区検出遺構一覧表　不明遺構

調査区	遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)			出土遺物	備考
			中	小	長軸	短軸	深度		
1区	SX1001	SX1001	δ－Ⅰ	k·l 4·5	334	218	84	弥生、土質供・羽、備前擂、近世瓦、木（木桶・板状木製品・棒状木製品・下駄）	
1区	SX1002	SX1003	δ－Ⅰ	n·o 3·4	322	270	104	近世瓦	
		SX1002						土質羽、染付皿、近世陶磁（初期伊万里か）、近世瓦	
1区	SX1003	SX1004	δ－Ⅰ	o 3·4	498	340	19	弥生、土質供・羽、備前、近世陶磁（瀬戸）	SP1279が切る
1区	SX1004	SK1011	δ－Ⅰ	o 3·4	370	162	7	弥生、土質茶釜、備前、近世陶磁（瀬戸）	

第41表　大原遺跡１区検出遺構一覧表　柱穴

調査区	遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)		出土遺物	備考
			中	小	径	深度		
1区	SP1001	SP2216	δ－Ⅰ	j 1	40	9	－	
1区	SP1002	SP2218	δ－Ⅰ	j 1	46	12	－	
1区	SP1003	SP2217	δ－Ⅰ	j 1	42	12	－	

調査区	遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)		出土遺物	備考
			中	小	径	深度		
1区	SP1004	SP1001	δ－Ⅰ	j 1	34	7	－	
1区	SP1005	SP1003	δ－Ⅰ	j·k 1	24	7	－	
1区	SP1006	SP1006	δ－Ⅰ	k 1	22	3	－	
1区	SP1007	SP2163	δ－Ⅰ	k 1	30	8	－	SP1006が切る
1区	SP1008	SK1003	δ－Ⅰ	k 1	68	8	－	
1区	SP1009	SP1013	δ－Ⅰ	k 1·2	42	25	－	
1区	SP1010	SP2164	δ－Ⅰ	k 1	32	4	－	
1区	SP1011	SP2162	δ－Ⅰ	k 1	42	2	－	
1区	SP1012	SP1011	δ－Ⅰ	k 1	48	41	－	
1区	SP1013	SP2167	δ－Ⅰ	k 1	32	5	－	
1区	SP1014	SP2165	δ－Ⅰ	k 1	44	6	－	
1区	SP1015	SP2166	δ－Ⅰ	k 1	66	19	－	
1区	SP1016	SP2168	δ－Ⅰ	k 1	40	5	－	
1区	SP1017	SP2221	δ－Ⅰ	k 1	40	39	－	
1区	SP1018	SP1009	δ－Ⅰ	k 1	60	4	－	南側検出できず
1区	SP1019	SP1029	δ－Ⅰ	k 1	26	5	－	
1区	SP1020	SP2220	δ－Ⅰ	k 2	32	15	－	
1区	SP1021	SP1019	δ－Ⅰ	k 2	34	12	－	
1区	SP1022	SP1017	δ－Ⅰ	k 2	30	22	土質羽	
1区	SP1023	SP1015	δ－Ⅰ	k 2	34	21	－	
1区	SP1024	SP1016	δ－Ⅰ	k 2	34	12	－	
1区	SP1025	SP2169	δ－Ⅰ	k 2	32	36	－	
1区	SP1026	SK1001	δ－Ⅰ	k 2	72	97	－	
1区	SP1027	SP1022	δ－Ⅰ	k 2	28	16	－	
1区	SP1028	SP2170	δ－Ⅰ	k 2	38	6	－	
1区	SP1029	SP1023	δ－Ⅰ	j 3	54	38	－	
1区	SP1030	SP1024	δ－Ⅰ	k 3	24	12	－	
1区	SP1031	SP1211	δ－Ⅰ	k 3	24	15	－	
1区	SP1032	SP1032	δ－Ⅰ	k·l 1	32	22	－	
1区	SP1033	SP2161	δ－Ⅰ	l 1	38	7	－	
1区	SP1034	SP2160	δ－Ⅴ	l 20	46	30	－	西側側溝が切る
1区	SP1035	SP1035	δ－Ⅴ	l 20	28	13	－	
1区	SP1036	SP2158	δ－Ⅰ	l 1	38	7	－	
1区	SP1037	SP1039	δ－Ⅰ	l 1	28	4	弥生	
1区	SP1038	SP1041	δ－Ⅴ	l 20	24	5	－	
1区	SP1039	SP2150	δ－Ⅴ	l 20	54	12	－	
1区	SP1040	SP2171	δ－Ⅴ	l 20	42	8	－	
1区	SP1041	SP1027	δ－Ⅰ	l 3	36	22	－	
1区	SP1042	SP2224	δ－Ⅰ	l 3	30	17	－	SD1008が切る
1区	SP1043	SP2223	δ－Ⅰ	l 3	46	19	弥生	SD1008が切る
1区	SP1044	SP1063	δ－Ⅰ	l·m 2	34	11	－	
1区	SP1045	SP1064	δ－Ⅰ	l·m 2	34	9	－	
1区	SP1046	SP2173	δ－Ⅰ	l·m 3	46	20	－	
1区	SP1047	SP2175	δ－Ⅰ	l 3·4	46	8	弥生	
1区	SP1048	SP1208	δ－Ⅰ	l 4	24	16	－	
1区	SP1049	SP1050	δ－Ⅴ	m 20	28	5	弥生	
1区	SP1050	SP1072	δ－Ⅴ	m 20	34	12	－	
1区	SP1051	SP1052	δ－Ⅰ	m 1	18	2	弥生	
1区	SP1052	SP1054	δ－Ⅰ	m 1	46	7	土質供	
1区	SP1053	SP1056	δ－Ⅰ	m 1	32	19	－	
1区	SP1054	SP1057	δ－Ⅰ	m 1·2	36	9	－	
1区	SP1055	SP1060	δ－Ⅴ	m 20	24	3	弥生	
1区	SP1056	SP2146	δ－Ⅰ	m 2	46	15	－	
1区	SP1057	SP2147	δ－Ⅰ	m 2	52	12	－	
1区	SP1058	SP1061	δ－Ⅴ	m 20	28	16	－	
1区	SP1059	SP1062	δ－Ⅴ	m 20	40	12	－	
1区	SP1060	SP1198	δ－Ⅰ	m 2·3	34	8	－	
1区	SP1061	SP1192	δ－Ⅰ	m 3	24	10	－	
1区	SP1062	SP1191	δ－Ⅰ	m·n 3	36	41	弥生	
1区	SP1063	SP2142	δ－Ⅰ	m·n 1	38	25	弥生	
1区	SP1064	SP1070	δ－Ⅰ	m 1	26	7	－	
1区	SP1065	SP1069	δ－Ⅰ	m 1	21	3	－	
1区	SP1066	SP1065	δ－Ⅰ	n 2	34	16	弥生	SA1001EP 2 が切る
1区	SP1067	SP2141	δ－Ⅴ	n 20	28	10	－	
1区	SP1068	SP2139	δ－Ⅴ	n 20	32	10	－	
1区	SP1069	SP2138	δ－Ⅴ	n 20	42	4	弥生	
1区	SP1070	SP2125	δ－Ⅴ	n 20	62	21	－	
1区	SP1071	SP2137	δ－Ⅴ	n 20	24	5	－	
1区	SP1072	SP2129	δ－Ⅰ	n 1	50	14	－	
1区	SP1073	SP2126	δ－Ⅴ·Ⅰ	n 20·1	32	11	－	
1区	SP1074	SP1079	δ－Ⅰ	n 1	19	2	－	
1区	SP1075	SP1080	δ－Ⅰ	n 1	28	5	－	
1区	SP1076	SP1081	δ－Ⅰ	n 1	28	3	弥生	

調査区	遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)		出土遺物	備考
			中	小	径	深度		
1区	SP1077	SP2143	δ－Ⅰ	n 1·2	56	5	弥生高杯	SP1076が切る
1区	SP1078	SP2227	δ－Ⅰ	n 2	18	34	弥生	
1区	SP1079	SP2228	δ－Ⅰ	n 2	22	34	－	
1区	SP1080	SP1087	δ－Ⅰ	n 2	38	21	弥生、土質土錘	
1区	SP1081	SP2226	δ－Ⅰ	n 2	42	26	－	
1区	SP1082	SP1084	δ－Ⅰ	n 1	32	10	－	
1区	SP1083	SP2229	δ－Ⅰ	n·o 1	24	10	弥生	SP1082が切る
1区	SP1084	SP2111	δ－Ⅴ	o 20	52	24	－	西側側溝が切る
1区	SP1085	SP1108	δ－Ⅴ	o 20	26	25	－	
1区	SP1086	SP1114	δ－Ⅴ	o 20	16	7	－	
1区	SP1087	SP2110	δ－Ⅴ	o 20	48	7	－	
1区	SP1088	SP2108	δ－Ⅴ	o 20	(26)	7	－	SP1087が切る
1区	SP1089	SP1116	δ－Ⅴ	o 20	30	15	－	
1区	SP1090	SP2107	δ－Ⅴ	o 20	42	27	－	
1区	SP1091	SP2106	δ－Ⅴ	o 20	42	28	－	
1区	SP1092	SP2105	δ－Ⅴ	o 20	24	13	－	
1区	SP1093	SP2104	δ－Ⅴ	o 20	34	14	－	
1区	SP1094	SP2101	δ－Ⅴ	o 20	30	8	－	
1区	SP1095	SP2122	δ－Ⅴ	o 20	34	87	－	
1区	SP1096	SP1120	δ－Ⅴ	o 20	40	4	－	
1区	SP1097	SP2115	δ－Ⅴ	o 20	24	12	－	
1区	SP1098	SP2113	δ－Ⅴ	o 20	28	3	－	
1区	SP1099	SP1102	δ－Ⅰ	o 1	26	8	－	
1区	SP1100	SP2121	δ－Ⅰ	o 1	38	9	－	
1区	SP1101	SP2131	δ－Ⅰ	o 1	34	13	－	
1区	SP1102	SP2130	δ－Ⅰ	o 1	48	22	－	SP1363が切る
1区	SP1103	SP2133	δ－Ⅰ	o 1·2	68	4	弥生	
1区	SP1104	SP2231	δ－Ⅰ	o 2	58	7	弥生	
1区	SP1105	SP2134	δ－Ⅰ	o 2	52	8	－	
1区	SP1106	SP2119	δ－Ⅰ	p 1	28	8	弥生	
1区	SP1107	SP2118	δ－Ⅰ	p 1	32	9	－	
1区	SP1108	SP1121	δ－Ⅴ	p 20	28	2	－	SD1010が切る
1区	SP1109	SP2099	δ－Ⅴ	q 20	26	37	－	
1区	SP1110	SP1122	δ－Ⅴ	p 20	24	15	近世瓦	
1区	SP1111	SP2100	δ－Ⅴ	q 20	42	5	－	
1区	SP1112	SP2098	δ－Ⅴ	q 20	34	10	－	
1区	SP1113	SP2097	δ－Ⅴ	q 20	24	35	－	
1区	SP1114	SP2096	δ－Ⅴ	p 20	36	28	弥生	
1区	SP1115	SP2094	δ－Ⅴ	q 20	38	28	－	
1区	SP1116	SP2093	δ－Ⅴ	q 20	26	25	－	
1区	SP1117	SP1212	δ－Ⅰ	l 5	50	5	－	
1区	SP1118	SP2209	δ－Ⅰ	l 5	34	46	－	SP1117が切る
1区	SP1119	SP1217	δ－Ⅰ	l 5	32	18	弥生、土質供	SA1006EP 4 が切る
1区	SP1120	SP2206	δ－Ⅰ	l 5	32	12	－	
1区	SP1121	SP2207	δ－Ⅰ	l 5	26	36	土質羽か鍋か	SP1120が切る
1区	SP1122	SP1214	δ－Ⅰ	l 5	30	9	－	
1区		SP2204		l 5	－	－	－	
1区	SP1123	SP1215	δ－Ⅰ	l 5	40	26	焼石	
1区	SP1124	SP2203	δ－Ⅰ	l 5	28	8	－	
1区	SP1125	SP1226	δ－Ⅰ	l 4	36	18	－	
1区	SP1126	SP1225	δ－Ⅰ	l 4	(18)	15	－	SP1125が切る
1区	SP1127	SP1219	δ－Ⅰ	l 5	32	16	土質羽	
1区	SP1128	SP1218	δ－Ⅰ	l 5	40	14	－	
1区	SP1129	SP1220	δ－Ⅰ	l·m 5	44	72	土質羽、白磁皿	
1区	SP1130	SP1222	δ－Ⅰ	m 5	34	18	弥生、土質供	
1区	SP1131	SP1227	δ－Ⅰ	m 4	46	18	弥生	
1区	SP1132	SP2176	δ－Ⅰ	m 4	34	13	－	
1区	SP1133	SP1201	δ－Ⅰ	m 3	28	12	－	
1区	SP1134	SP1199	δ－Ⅰ	m 3	30	6	－	
1区	SP1135	SP1204	δ－Ⅰ	m 3	36	11	－	
1区	SP1136	SP1203	δ－Ⅰ	m 3	34	16	－	
1区	SP1137	SP2202	δ－Ⅰ	m 3	30	14	－	SP1136が切る
1区	SP1138	SP1207	δ－Ⅰ	m 4	34	38	－	
1区	SP1139	SP1205	δ－Ⅰ	m 3	26	15	－	
1区	SP1140	SP1202	δ－Ⅰ	m 3	48	11	－	
1区	SP1141	SP2074	δ－Ⅰ	m·n 3	28	15	－	
1区	SP1142	SP1190	δ－Ⅰ	n 3	28	27	－	
1区	SP1143	SP1206	δ－Ⅰ	n 3	44	50	弥生、備前甕	
1区	SP1144	SP1189	δ－Ⅰ	n 3	38	35	－	
1区	SP1145	SP1188	δ－Ⅰ	n 3	30	15	－	
1区	SP1146	SP1187	δ－Ⅰ	n 3	32	38	弥生	
1区	SP1147	SP2077	δ－Ⅰ	n 3	34	10	弥生	SD1009が切る
1区	SP1148	SP1186	δ－Ⅰ	n 3	28	14	土質供	

調査区	遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)		出土遺物	備考
			中	小	径	深度		
1区	SP1149	SP1185	δ－Ⅰ	n 3	26	17	－	SP1148が切る
1区	SP1150	SP2072	δ－Ⅰ	n 3	34	10	－	根石あり
1区	SP1151	SP2071	δ－Ⅰ	n·o 3	64	5	弥生	
1区	SP1152	SP2080	δ－Ⅰ	o 2	54	8	弥生	SA1001EP12が切る
1区	SP1153	SP2070	δ－Ⅰ	o 3	38	12	弥生	
1区	SP1154	SP1178	δ－Ⅰ	o 3	28	37	－	
1区	SP1155	SP2086	δ－Ⅰ	p 2	30	9	弥生	
1区	SP1156	SP1154	δ－Ⅰ	p 1	42	12	－	
1区	SP1157	SP1124	δ－Ⅰ	p 1	22	2	須恵	
1区	SP1158	SP1125	δ－Ⅰ	p 1	22	5	弥生	
1区	SP1159	SP1127	δ－Ⅰ	p 1	18	8	－	
1区	SP1160	SP1153	δ－Ⅴ	p 2	50	58	土質供	
1区	SP1161	SP1150	δ－Ⅰ	p 1	40	51	－	
1区	SP1162	SP1151	δ－Ⅰ	p 1	66	39	－	
1区	SP1163	SP1133	δ－Ⅰ	q 1	20	6	－	
1区	SP1164	SP2087	δ－Ⅰ	p·q 1	28	19	－	SP1163が切る
1区	SP1165	SP1130	δ－Ⅰ	q 1	44	18	－	
1区	SP1166	SP2090	δ－Ⅴ	q 20	40	14	－	SD1009が切る
1区	SP1167	SP2089	δ－Ⅰ	p 1	44	21	弥生、木片	
1区	SP1168	SP2091	δ－Ⅴ	q 20	42	40	－	
1区	SP1169	SP1132	δ－Ⅰ	q 1	26	14	－	
1区	SP1170	SP1131	δ－Ⅰ	q 1	44	50	土質羽	
1区	SP1171	SP1176	δ－Ⅴ	p 2	22	42	－	
1区	SP1172	SP1156	δ－Ⅴ	p 2	42	53	－	
1区	SP1174	SP1171	δ－Ⅴ	p 2	36	39	土質杯	
1区	SP1175	SP1170	δ－Ⅴ	p 2	26	8	弥生、土質供	
1区	SP1176	SP1158	δ－Ⅴ	p 2	24	40	－	SD1011が切る
1区	SP1177	SP1149	δ－Ⅰ	p 1	28	32	－	
1区	SP1178	SP1144	δ－Ⅰ	q 2	34	39	弥生、土質羽	
1区	SP1179	SP1148	δ－Ⅰ	p·q 1	50	7	弥生、土質供・羽・鍋	SA1003EP３が切る
1区	SP1180	SP1145	δ－Ⅰ	q 1	24	20	－	
1区	SP1181	SP1146	δ－Ⅰ	q 1	22	14	－	
1区	SP1182	SP1143	δ－Ⅰ	q 1	38	51	弥生、土質供・羽	
1区	SP1183	SP1136	δ－Ⅰ	q 1	76	56	弥生	
1区	SP1184	SP1137	δ－Ⅰ	q 1	22	30	－	
1区	SP1185	SP1135	δ－Ⅰ	q 1	30	36	－	
1区	SP1186	SP1134	δ－Ⅰ	q 1	24	10	－	SP1185が切る
1区	SP1188	SP1138	δ－Ⅰ	q 1	46	59	弥生、土質供	北側側溝が切る
1区	SP1189	SP1250	δ－Ⅰ	q 1	16	9	土質羽	
1区	SP1190	SP1140	δ－Ⅰ	q 1	36	62	－	
1区	SP1191	SP1141	δ－Ⅰ	q 1	22	8	土質羽	
1区	SP1192	SP1160	δ－Ⅰ	q 2	28	26	－	
1区	SP1193	SP1161	δ－Ⅰ	q 2	24	19	－	
1区	SP1194	SP1162	δ－Ⅰ	q 2	38	27	土質羽	
1区	SP1195	SP1163	δ－Ⅰ	q 2	38	20	－	北側側溝が切る
1区	SP1196	SP2066	δ－Ⅰ	q 2·3	26	18	－	
1区	SP1197	SP1165	δ－Ⅰ	q 2	44	50	近世瓦	
1区	SP1198	SP1166	δ－Ⅰ	q 2	44	25	－	
1区	SP1199	SP2065	δ－Ⅰ	q 2·3	40	27	－	北側側溝が切る
1区	SP1200	SP2181	δ－Ⅰ	m 4	28	10	－	
1区	SP1201	SP2201	δ－Ⅰ	m 4	34	6	－	
1区	SP1202	SP2195	δ－Ⅰ	n 5	36	63	－	
1区	SP1203	SP2179	δ－Ⅰ	m 4	22	7	－	
1区	SP1204	SP2180	δ－Ⅰ	m 4	32	31	弥生	
1区	SP1205	SP1239	δ－Ⅰ	m 5	28	26	弥生	
1区	SP1206	SP1238	δ－Ⅰ	m 5	50	46	弥生、染付、鉄	
1区	SP1207	SP2219	δ－Ⅰ	m 5	48	23	－	SP1206が切る
1区	SP1208	SP1229	δ－Ⅰ	m 5	30	10	弥生、備前擂	
1区	SP1209	SP2200	δ－Ⅰ	m 5	48	53	土質供	
1区	SP1210	SP2199	δ－Ⅰ	m 5	38	23	－	
1区	SP1211	SP1231	δ－Ⅰ	m 5	36	53	－	
1区	SP1212	SP2197	δ－Ⅰ	m 5	38	26	土質供、焼土塊	東側側溝が切る
1区	SP1213	SP1237	δ－Ⅰ	m 5	32	14	弥生、焼土塊	
1区	SP1214	SP2182	δ－Ⅰ	m 5	26	45	土質皿	SP1213が切る
1区	SP1215	SP2183	δ－Ⅰ	m·n 5	38	28	土質供・羽か鍋か	根石あり
1区	SP1216	SP2189	δ－Ⅰ	m·n 5	68	40	土質供、焼土塊、木片	
1区	SP1217	SP1233	δ－Ⅰ	m·n 5	26	42	土質供	
1区	SP1218	SP1232	δ－Ⅰ	m·n 5	(38)	31	焼土塊	
1区	SP1219	SP2196	δ－Ⅰ	n 5	44	29	弥生、土質供・羽か鍋か	東側側溝が切る
1区	SP1220	SP1235	δ－Ⅰ	n 5	40	70	弥生、土質供、焼土塊	
1区	SP1221	SP1234	δ－Ⅰ	n 5	54	43	弥生、土質供・羽	SP1220が切る
1区	SP1222	SP2188	δ－Ⅰ	n 5	52	37	弥生	
1区	SP1223	SP2184	δ－Ⅰ	n 5	38	6	－	SD1011が切る

調査区	遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)		出土遺物	備考
			中	小	径	深度		
1区	SP1224	SP2185	δ－Ⅰ	n 5	42	18	弥生	SD1011が切る
1区	SP1225	SP2186	δ－Ⅰ	n 5	26	12	－	
1区	SP1226	SP1236	δ－Ⅰ	n 5	32	4	弥生	
1区	SP1227	SP2194	δ－Ⅰ	n 5	28	16	中世陶皿（志野）	SK1017・SP1226が切る
1区	SP1228	SP2192	δ－Ⅰ	n 5	42	72	土質供・羽	SK1017が切る
1区	SP1229	SP2193	δ－Ⅰ	n 5	34	7	弥生甕	SP1228が切る
1区	SP1230	SP2191	δ－Ⅰ	n 5	24	21	－	SK1017が切る
1区	SP1231	SP2190	δ－Ⅰ	n 5	34	23	土質供・羽か鍋か、白磁皿	SK1017が切る
1区	SP1232	SP2187	δ－Ⅰ	n 5	42	36	弥生、土質羽か鍋か	SK1017が切る
1区	SP1233	SP1242	δ－Ⅰ	n 5	52	13	弥生、土質供、焼土塊	
1区	SP1234	SP1241	δ－Ⅰ	n 5	50	12	弥生、焼土塊、鉄	SP1233が切る
1区	SP1235	SP2037	δ－Ⅰ	n 5	28	8	土質供・鍋か、焼土塊	
1区	SP1236	SP2034	δ－Ⅰ	n 5	44	35	土質供、木片	
1区	SP1237	SP2035	δ－Ⅰ	n 5	26	32	－	SP1236が切る
1区	SP1238	SP1244	δ－Ⅰ	n 5	58	54	弥生、土質供・皿・羽、焼土塊	
1区	SP1239	SP1243	δ－Ⅰ	n 5	40	12	弥生、土質供	
1区	SP1240	SP2155	δ－Ⅰ	n 5	26	11	土質供・皿	
1区	SP1241	SP2044	δ－Ⅰ	n 4	32	17	弥生	
1区	SP1242	SP1240	δ－Ⅰ	n 4	30	20	弥生	
1区	SP1243	SP1352	δ－Ⅰ	n 4	28	39	木片	
1区	SP1244	SP2043	δ－Ⅰ	n 4	34	30	弥生	SX1003が切る
1区	SP1245	SP2041	δ－Ⅰ	n 4	54	7	弥生、土質供	
1区	SP1246	SP2042	δ－Ⅰ	n 4	34	6	弥生	SP1245が切る
1区	SP1247	SP2039	δ－Ⅰ	n 4	72	35	弥生、土質供・羽か鍋か	
1区	SP1248	SP2030	δ－Ⅰ	n 4	38	62	土質供	
1区	SP1249	SP2031	δ－Ⅰ	n 4	78	57	弥生、土質供	
1区		SP2032	δ－Ⅰ	n 4		76	弥生、土質供・羽か鍋か	
1区	SP1250	SP1245	δ－Ⅰ	n 5	50	7	土質供・皿・羽、焼土塊	
1区	SP1251	SP1246	δ－Ⅰ	n 5	32	28	弥生、土質供・羽・鍋、焼土塊	
1区	SP1252	SP1247	δ－Ⅰ	n 5	30	4	土質	
1区	SP1253	SP1248	δ－Ⅰ	n·o 5	50	44	土質供・羽、焼土塊	
1区	SP1254	SP1249	δ－Ⅰ	n·o 5	34	44	弥生、土質供・羽・鍋	
1区	SP1255	SP2027	δ－Ⅰ	o 5	30	21	土質供	東側側溝が切る
1区	SP1256	SP2026	δ－Ⅰ	o 5	38	58	土質羽か鍋か	
1区	SP1257	SP1252	δ－Ⅰ	o 5	38	17	弥生、土質供	
1区	SP1258	SP1256	δ－Ⅰ	o 5	26	26	弥生	
1区	SP1259	SP2028	δ－Ⅰ	n·o 4·5	32	58	－	
1区	SP1260	SP2153	δ－Ⅰ	o 4	34	15	－	
1区	SP1261	SP2154	δ－Ⅰ	o 4	30	15	弥生、土質供・羽か鍋か、焼土塊	
1区	SP1262	SP2029	δ－Ⅰ	n·o 4	30	30	弥生	
1区	SP1263	SP2156	δ－Ⅰ	n 4	(26)	64	－	SP1262が切る
1区	SP1264	SP1258	δ－Ⅰ	o 4·5	38	29	－	
1区	SP1265	SP1257	δ－Ⅰ	o 5	24	6	土質供	
1区	SP1266	SP1259	δ－Ⅰ	o 5	24	15	弥生	
1区	SP1267	SP1254	δ－Ⅰ	o 5	28	24	土質供、備前擂	
1区	SP1268	SP1255	δ－Ⅰ	o 5	38	28	－	
1区	SP1269	SP2025	δ－Ⅰ	o 5	26	44	－	
1区	SP1270	SP1262	δ－Ⅰ	o 5	36	19	弥生、土質供・羽・煮	
1区	SP1271	SP1264	δ－Ⅰ	o 5	32	35	土質供・羽、焼土塊	
1区	SP1272	SP1263	δ－Ⅰ	o 5	34	66	弥生	SP1271が切る
1区	SP1273	SP1285	δ－Ⅰ	o 5	40	17	－	東側側溝が切る
1区	SP1274	SP1283	δ－Ⅰ	o 5	46	20	弥生、土質供	
1区	SP1275	SP1267	δ－Ⅰ	o 5	32	15	－	
1区	SP1276	SP2022	δ－Ⅰ	o 4	32	33	－	
1区	SP1277	SP1268	δ－Ⅰ	o 4	58	78	弥生、土質供、焼土塊、木片	
1区	SP1278	SP1270	δ－Ⅰ	o 4	44	72	－	
1区	SP1279	SP1272	δ－Ⅰ	o 4	26	58	－	
1区	SP1280	SP2020	δ－Ⅰ	o 4	30	58	－	
1区		－	δ－Ⅰ		－	－	－	
1区	SP1282	SP1278	δ－Ⅰ	o 4	42	37	土質供、焼土塊	
1区	SP1283	SP2019	δ－Ⅰ	o 4	62	6	－	SP1282が切る
1区	SP1284	SP1277	δ－Ⅰ	o 4	62	53	土質皿・羽か鍋か、近世擂、木片	
1区	SP1285	SP2016	δ－Ⅰ	o 4	40	14	弥生、土質供、焼土塊	
1区	SP1286	SP2017	δ－Ⅰ	o 4	58	33	弥生甕	SP1284・SP1285が切る
1区	SP1287	SP2018	δ－Ⅰ	o 4	26	11	弥生	
1区	SP1288	SP1279	δ－Ⅰ	o 4	46	68	－	
1区	SP1289	SP1281	δ－Ⅰ	o 4	60	6	焼石	
1区	SP1290	SP1280	δ－Ⅰ	o 4	24	24	－	
1区	SP1291	SP2023	δ－Ⅰ	o 4	30	43	弥生	
1区	SP1292	SP1349	δ－Ⅰ	o 4·5	64	82	弥生、土質供、焼土塊	撹乱が切る
1区	SP1293	SP1351	δ－Ⅰ	o 5	26	20	－	
1区	SP1294	SP1275	δ－Ⅰ	o 4	36	31	弥生、土質供、青磁	SX1004が切る
1区	SP1295	SP1290	δ－Ⅰ	o·p 3	24	9	－	

調査区	遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)		出土遺物	備考
			中	小	径	深度		
1区	SP1296	SP1291	δ－Ⅰ	p 3	32	4	土質供	
1区	SP1297	SP1182	δ－Ⅰ	p 3	34	15	－	
1区	SP1298	SP1292	δ－Ⅰ	p 3	26	27	弥生、土質供	
1区	SP1299	SP1317	δ－Ⅰ	p 3	46	52	－	
1区	SP1300	SP1316	δ－Ⅰ	p 3	28	28	－	
1区	SP1301	SP1297	δ－Ⅰ	p 4	28	24	－	
1区	SP1302	SP1321	δ－Ⅰ	p 4	38	7	弥生、土質供、砥石	
1区	SP1303	SP1298	δ－Ⅰ	p 4	42	7	－	
1区	SP1304	SP1296	δ－Ⅰ	p 4	36	28	弥生	
1区	SP1305	SP2051	δ－Ⅰ	p 4	34	16	－	
1区	SP1306	SP1313	δ－Ⅰ	p 4	30	28	－	
1区	SP1307	SP2012	δ－Ⅰ	q 4	40	39	土質供・羽か鍋か	
1区	SP1308	SP2014	δ－Ⅰ	p 4	28	16	弥生高杯・鉢、土質供	
1区	SP1309	SP3009	δ－Ⅰ	p 4·5	38	16	－	
1区	SP1310	SP1302	δ－Ⅰ	p 5	46	29	弥生	
1区	SP1311	SP1322	δ－Ⅰ	p 3	24	12	－	
1区	SP1312	SP1323	δ－Ⅰ	p 3	44	15	土質供、焼土塊	SP1311が切る
1区	SP1313	SP1320	δ－Ⅰ	p 3	34	61	焼土塊	SP1312が切る
1区	SP1314	SP2054	δ－Ⅰ	p 3	36	27	－	
1区	SP1315	SP2055	δ－Ⅰ	p 3	22	28	－	
1区	SP1316	SP2151	δ－Ⅰ	p 3	22	23	土質羽か鍋か、焼土塊	SP1315が切る
1区	SP1317	SP1181	δ－Ⅰ	p 3	32	19	弥生	
1区	SP1318	SP1315	δ－Ⅰ	p 4	36	18	土質供・羽	
1区	SP1319	SP2059	δ－Ⅰ	p 4	26	24	－	
1区	SP1320	SP1311	δ－Ⅰ	p 4	36	25	－	
1区	SP1321	SP1309	δ－Ⅰ	p 4	36	40	弥生	
1区	SP1322	SP1310	δ－Ⅰ	p 4	34	43	－	
1区	SP1323	SP1312	δ－Ⅰ	p 4	30	44	土質供・擂	
1区	SP1324	SP2011	δ－Ⅰ	p·q 4·5	42	14	－	SP1323が切る
1区	SP1325	SP2013	δ－Ⅰ	p 5	26	8	弥生高杯・壺・甕	
1区	SP1326	SP1305	δ－Ⅰ	p·q 4·5	30	21	弥生	
1区	SP1327	SP2057	δ－Ⅰ	p 3	46	33	土質供・羽か鍋か、焼土塊	
1区	SP1328	SP2058	δ－Ⅰ	q 3	44	48	焼土塊	SA1005EP 3 が切る
1区	SP1329	SP1169	δ－Ⅰ	q 3	58	10	土質羽か鍋か	
1区	SP1330	SP1168	δ－Ⅰ	q 3	34	52	木材（柱材）	
1区	SP1331	SP3002	δ－Ⅰ	q 2	30	30	－	SD1004が切る
1区	SP1332	SP1347	δ－Ⅰ	q 3	40	51	木片	
1区	SP1333	SP1346	δ－Ⅰ	q 3	32	40	－	
1区	SP1334	SP3001	δ－Ⅰ	q 3	34	15	－	
1区	SP1335	SP1344	δ－Ⅰ	q 3	38	56	－	北側側溝が切る
1区	SP1336	SP2007	δ－Ⅰ	q 4	28	19	－	
1区	SP1337	SP2008	δ－Ⅰ	q 4	58	14	－	
1区	SP1338	SP2062	δ－Ⅰ	q 3·4	44	53	土質供	
1区	SP1339	SP1325	δ－Ⅰ	q 4	34	35	－	
1区	SP1340	SP1328	δ－Ⅰ	q 4	36	49	－	SD1005が切る
1区		SP2009	δ－Ⅰ		－	－	土質供、木片	
1区	SP1341	SP1327	δ－Ⅰ	q 4	44	36	弥生、土質供・皿	
1区	SP1342	SP2010	δ－Ⅰ	q 4	36	22	－	
1区	SP1343	SP3008	δ－Ⅰ	q 4	30	28	－	
1区	SP1344	SP1307	δ－Ⅰ	q 4	38	57	－	
1区	SP1345	SP1333	δ－Ⅰ	q 4	36	51	土質供	
1区	SP1346	SP1332	δ－Ⅰ	q 4	36	44	－	SP1345が切る
1区	SP1347	SP1330	δ－Ⅰ	q 4	28	41	土質供	
1区	SP1348	SP1331	δ－Ⅰ	q 4	38	16	弥生、土質土錘、灰陶皿	SD1005が切る
1区	SP1349	SP1334	δ－Ⅰ	q 4	28	23	－	
1区	SP1350	SP2002	δ－Ⅰ	q 4	38	11	－	SD1005が切る
1区		SP3007	δ－Ⅰ		－	－	－	
1区	SP1351	SP1340	δ－Ⅰ	q 4	34	5	－	
1区	SP1352	SP1342	δ－Ⅰ	q 4	56	34	－	
1区	SP1353	SP2003	δ－Ⅰ	q 4	38	19	土質供	
1区	SP1354	SP2152	δ－Ⅰ	q 4	34	21	－	SP1353が切る
1区	SP1355	SP1339	δ－Ⅰ	q 4	26	39	－	
1区	SP1356	SP1338	δ－Ⅰ	q 4	40	27	－	
1区	SP1357	SP1336	δ－Ⅰ	q 4	32	30	－	
1区	SP1358	SP1335	δ－Ⅰ	q 4	34	61	－	
1区	SP1359	SP2015	δ－Ⅰ	p 4	34	27	－	
1区	SP1360	SP2205	δ－Ⅰ	l 5	36	9	弥生	SP1127が切る
1区	SP1361	SP2048	δ－Ⅰ	n 4	42	8	弥生甕	SX1003の下で検出
1区	SP1362	SP1012	δ－Ⅰ	k 1·2	32	5	弥生	SP1009が切る
1区	SP1363	SP1099	δ－Ⅰ	o 1	70	7	弥生	
1区	SP1364	SP2040	δ－Ⅰ	n 4	16	8	弥生	SP1245・SX1003が切る
1区	SP1365	SP2036	δ－Ⅰ	n 5	50	62	弥生、土質供、焼土塊	SK1017の下で検出
1区	SP1366	SP2045	δ－Ⅰ	n 4	48	4	弥生	SX1003の下で検出

調査区	遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)		出土遺物	備考
			中	小	径	深度		
1区	SP1367	SP2046	δ－Ⅰ	n 4	34	11	弥生	SP1366が切る SX1003の下で検出
1区	SP1368	SP2050	δ－Ⅰ	n･o 4	34	32	弥生	SX1003の下で検出
1区	SP1369	SP2052	δ－Ⅰ	o 3	28	9	弥生	SK1004の下で検出
1区	SP1370	SP2053	δ－Ⅰ	o 3	28	4	弥生	SK1004の下で検出
1区	SP1371	SP1184	δ－Ⅰ	o 3	40	4	弥生	SX1004が切る

第42表　大原遺跡2区検出遺構一覧表　溝

調査区	遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)			主軸	出土遺物	備考
			中	小	長さ	幅	深度			
2区	SD1001	SD1001	δ－Ⅰ	i･j 13	(592)	68	18	N6°E	備前皿	南・北側、調査区外へ延びる

第43表　大原遺跡2区検出遺構一覧表　水田面

調査区	遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模（cm）		出土遺物	備考
			中	小	東西	南北		
2区	SI1001	第1水田面	δ－Ⅰ	i･j 12･13	(620)	(850)	土質、近世陶磁器	南北方向の鋤溝6条検出
2区	SI1002	第1水田面	δ－Ⅰ	i～l 13～15	(920)	(1,270)		南北方向の鋤溝7条検出

第44表　大原遺跡1・2区出土遺物観察表　土器・陶磁器

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	法量(cm) 残存率	技法	胎土、含有物、法量(mm) 焼成 色調	備考
1	1区	SA1002 EP6		白磁 皿	口径8.8 残存高2.1 口縁～体部下位の1/10	内外面ロクロナデのち内面～体部下位外面施釉、体部下位下端以下露胎	精良　焼成良好 釉：灰白色5Y8/1 素地：灰白色10YR8/2 微細な黒斑あり	反転復元 微細な貫入あり 口禿 胎土わずかに黄色味を帯びる 森田分類白磁皿D群 15C代
2	1区	SA1005 EP5		土師質土器 杯	口径10.4 残存高3.2 口縁～体部下位の1/8	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：灰白色2.5Y8/1 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元
5	1区	SK1022		弥生土器 鉢	口径22.6 残存高4.9 口縁～体部の1/20	外面平行タタキ（2条/0.7cm）、口縁内面ヨコハケ、体部内面斜ハケ（8条/cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR6/4 外：橙色7.5YR6/6	反転復元 外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭
6	1区	SD1001		弥生土器 壺か鉢	底径3.3 残存高1.4 底部は完存	外面タテヘラケズリ（幅不明）、内面不明	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～8　焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：橙色7.5YR6/6	一部反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半か
7	1区	SD1001		弥生土器 高杯	残存高3.4 脚部上位の9/10	内外面不明	良好、石・長・結、0.1～1 焼成良好 内：橙色7.5YR7/6 外：橙色7.5YR6/6	一部合成 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
8	1区	SD1001		弥生土器 高杯	残存高5.3 脚部上位の4/5	内外面不明	良好、石・長・赤・チか、0.1～2　焼成良好 内：明赤褐色2.5YR5/8 外：橙色2.5YR6/8	一部反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
9	1区	SD1001		弥生土器 高杯	残存高2.3 脚部上位の9/10	内外面不明	良好、石・長・結・赤、0.1～3　焼成やや不良 内・外：橙色5YR6/6	一部反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 焼成前穿孔1カ所あり 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
10	1区	SD1001		陶器 皿	口径13.6 底径4.7 高台高0.6 器高3.2 全体の3/5	ロクロナデのち高台削り出し、内面～体部中位外面施釉以下露胎、釉の一部は畳付を越えて高台内側に達する	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰白色2.5Y7/1 外：灰黄色2.5Y7/2	一部反転復元 底部内面砂目跡4カ所あり 高台畳付の砂目跡は3カ所 肥前系陶器皿Ⅱ期 17C前半か
11	1区	SD1001		青磁 碗	口径11.8 底径4.1 高台高0.8 器高6.0 全体の1/4	ロクロナデのち内外面施釉、畳付部釉掻き取り	精良　焼成良好 釉：あかるいグレイみの緑12G7.5/3S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 肥前系磁器碗 17C代か
12	1区	SD1001		土師質土器 羽釜	残存高5.1 口縁の一部	口縁内面～鍔部外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ板ナデ（幅不明）、内面ヨコ板ナデか（幅不明）	粗、石・長・赤・金、0.1～2　焼成やや不良 内：橙色5YR7/6 外：橙色5YR7/8	断面実測 体部外面わずかに煤付着
13	1区	SD1001		須恵器 壺	底径8.6 高台高1.0 残存高1.8 底部の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリのち高台貼付	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 内面磨耗気味 高台端部を欠損 器形に歪みあり
14	1区	SD1001		陶器 擂鉢	口径34.0 残存高5.5 口縁～体部上位の1/12	外面回転ナデ、内面回転ナデのち擂目（6条）	良好、石・長、0.1～4　焼成良好 内：紫灰色5P6/1 外：オリーブ灰色2.5GY6/1	反転復元 口縁外面自然釉付着 外面重焼痕 備前焼 重根編年Ⅳ A－2期 14C後葉～15C初頭
15	1区	SD1001		陶器 擂鉢	口径26.8 残存高5.0 口縁の1/9	内外面回転ナデ、体部内面回転ナデのち擂目（2条/0.5cm）	良好、石・長・赤・黒、0.1～4　焼成やや不良 内：灰色 N5/0 外：灰色 N6/0	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ B－2期 15C中葉
17	1区	SD1009		弥生土器 壺	口径17.6 頸径11.4 残存高3.8 口縁の1/8	内外面ヨコナデ	良好、石・長・結・赤、0.1～7　焼成やや不良 内：にぶい褐色7.5YR5/4 外：にぶい黄橙色10YR6/3	反転復元 広口壺 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
18	1区	SD1009		弥生土器 甕か壺	底径4.0 残存高2.6 底部の1/2	外面タテ方向のヘラミガキ（幅0.4～0.5cm）、底部外面ナデ、内面不明	良好、石・長・結・赤、0.1～3　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：橙色7.5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
19	1区	SD1009		弥生土器 高杯	残存高4.1 脚部上位の9/10	外面タテ方向のヘラミガキか、内面ナデ・絞り痕あり	良好、石・赤、0.1～4　焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR6/4	一部反転復元、一部合成 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
20	1区	SD1011		弥生土器 甕か壺	底径4.9 残存高2.2 底部は完存	外面タテハケ（6条/cm）、下端ユビオサエ、底部外面ユビオサエ・ナデ、内面不明	良好、石・長・結・赤、0.1～6　焼成良好 内：橙色7.5YR6/6 外：にぶい橙色7.5YR6/4	一部合成 内外面磨耗により調整不明瞭
21	1区	SD1012		弥生土器 甕	口径13.2 頸径11.2 残存高3.1 口縁～体部上位の1/8	口縁～頸部内外面ヨコナデ、体部内外面不明	良好、石・長・結・赤、0.1～2　焼成良好 内・外：橙色7.5YR6/6	反転復元、一部合成 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半か
23	1区	SX1002		染付 皿	底径4.2 高台高0.5 残存高1.9 底部の1/3	内外面ロクロナデのち高台削り出し、内面呉須絵付けのち内外施釉、高台畳付釉掻き取り	精良　焼成良好 釉：青みの白16gB8.5/1S 素地：灰白色7.5Y8/1	反転復元 高台畳付～内側にかけて離れ砂付着 肥前系磁器Ⅲ Ⅱ－1～2期か 17C代
24	1区	SX1002		土師質土器 羽釜	残存高4.5 口縁の一部	口縁内面～鍔部外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ板ナデ（幅不明）、内面ヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・長・赤・金、0.1～4　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：黒褐色10YR3/2	断面実測 鍔部以下煤付着
25	1区	SP1077		弥生土器 高杯	脚端径19.8 残存高3.4 脚部の1/10	外面ヨコナデか、内面不明	粗、石・長・結、0.1～4 焼成不良 内・外：明赤褐色2.5YR5/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
26	1区	SP1129		白磁 皿	口径12.0 残存高2.1 口縁～体部下位の1/6	内外面ロクロナデのち内面～体部下位外面施釉、体部下位下端以下露胎	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 森田分類白磁Ⅲ E群（E－2－a類）か 16C代
27	1区	SP1129		土師質土器 羽釜	口径19.0 鍔径21.1 体部最大径21.1 残存高4.9 口縁～体部の1/10	口縁端部～鍔部ヨコナデ、体部外面平行タタキ（4条/cm）、内面ヨコハケ（6条/cm）、鍔部貼り付け位置内面ヨコナデ	良好、石・長・赤・角か・泥、0.1～2　焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 外面煤付着 播磨型羽釜の搬入品 長谷川編年Ⅵ期 15C後半～16C初頭
28	1区	SP1143		陶器 甕	残存高5.0 口縁の一部	内外面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～3　焼成良好 内・外：灰褐色5YR4/2	断面実測 備前焼 重根編年ⅣB期か 15C前葉～16C初頭
29	1区	SP1174		土師質土器 杯	口径10.6 残存高2.5 口縁～体部下位の1/13	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元
30	1区	SP1182		土師質土器 羽釜	口径22.9 鍔径25.2 体部最大径25.2 残存高8.3 口縁～体部の1/5	口縁端部～鍔部ヨコナデ、体部外面平行タタキ（4条/cm）、口縁内面ヨコハケ（3条/0.5cm）、鍔部貼り付け位置内面ヨコナデ、体部内面ヨコハケ（5条/1.3cm）	良好、石・長・金・角、0.1～1　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR6/4 外：にぶい黄橙色10YR6/3	反転復元 外面煤付着 体部内外面剥離あり 播磨型羽釜の搬入品 長谷川編年Ⅵ期 15C後半～16C初頭
31	1区	SP1214		土師質土器 皿	口径10.0 残存高1.3 口縁の1/10	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元
32	1区	SP1229		弥生土器 甕	底径4.6 残存高1.5 底部の1/4	外面ナデ、内面不明	良好、石・長、0.1～3　焼成やや不良 内：褐色7.5YR4/6 外：黒色7.5Y2/1	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 外面に煤付着
33	1区	SP1231		白磁 皿	底径4.0 高台高0.5 残存高1.4 底部はほぼ完存	内外面ロクロナデのち高台削り出し、内面施釉、外面残存部は露胎	精良　焼成良好 釉：灰白色5Y8/1 素地：灰白色10YR8/2 微細な黒斑あり	一部反転復元 釉は薄く細かい貫入あり 胎土はやや黄みがかる 森田分類白磁Ⅲ E群（E－2類）か 16C代
34	1区	SP1238		土師質土器 皿	口径11.7 残存高2.4 口縁～体部下位の1/5	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
35	1区	SP1238		土師質土器 皿	口径11.8 底径6.7 器高2.2 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	精良、石・長・金、0.1～1 焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元
36	1区	SP1240		土師質土器 皿	口径11.2 底径6.0 器高1.8 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・金か、0.1～1　焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元
37	1区	SP1250		土師質土器 皿	口径10.3 残存高1.5 口縁～体部下位の1/7	内外面回転ナデ	良好、石・長・結か、0.1～1 焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/4 外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元
38	1区	SP1250		土師質土器 皿	口径10.6 残存高2.3 口縁～体部下位の1/7	内外面回転ナデ	良好、石・長・結か・絹、0.1～1　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：橙色5YR7/6	反転復元
39	1区	SP1250		土師質土器 皿か	口径12.1 残存高2.6 口縁～体部下位の1/9	内外面回転ナデ	良好、石・長・結か・絹か・金か、0.1～0.5　焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元
40	1区	SP1253		土師質土器 杯か皿	底径4.8 残存高1.5 底部の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/3 外：にぶい黄橙色10YR7/2	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 胎土に細粒多く、ややザラつく

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	法量(cm) 残存率	技法	胎土、含有物、法量(mm) 焼成 色調	備考
41	1区	SP1253		土師質土器 羽釜	残存高4.4 口縁の一部	口縁～鍔部外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのち斜板ナデ（幅1.2cm）、内面ヨコ板ナデ（幅0.6～1.5cm）	粗、石・長・赤・金、0.1～6　焼成良好 内：橙色7.5YR7/6 外：褐色7.5YR4/3	断面実測 鍔部以下煤付着
42	1区	SP1270		土師質土器 羽釜	残存高5.0 口縁の一部	口縁内面～鍔部外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのち斜板ナデ（幅1.2cm）、内面ヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・長、0.1～4　焼成良好 内：橙色2.5YR6/8 外：黒色N1.5/0	断面実測 鍔部以下煤付着
43	1区	SP1270		土師質土器 煮炊具	残存高5.6 底部の一部	体部外面ユビオサエのちナデ、底部外面格子タタキ、内面ヨコ板ナデ（幅1.0cm以上）	良好、石・長・赤・金・花、0.1～3　焼成やや不良 内・外：にぶい褐色7.5YR5/3	断面実測 外面煤付着 搬入品か
44	1区	SP1284		土師質土器 皿	底径6.1 残存高1.3 底部の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・赤・チ、0.1～1　焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/3 外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元
45	1区	SP1286		弥生土器 甕	底径4.2 残存高2.9 底部の1/2	外面ユビオサエ・ナデ、底部外面ナデ、内面タテヘラケズリ（幅不明）	良好、石・長・結・絹、0.1～3　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：にぶい黄橙色10YR6/3	反転復元
46	1区	SP1308		弥生土器 鉢	口径26.8 残存高4.6 口縁～体部の1/10	口縁内外面ヨコナデ、体部外面平行タタキ（3条/1.8cm）、体部内面不明	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～4　焼成やや不良 内：橙色7.5YR6/6 外：橙色5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭
47	1区	SP1308		弥生土器 高杯	脚端径21.0 残存高3.3 脚部の1/11	外面不明、内面ヘラミガキか	良好、石・長・砂・泥・チ、0.1～5　焼成やや不良 内：橙色5YR6/8 外：明赤褐色5YR5/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
48	1区	SP1325		弥生土器 甕	口径12.8 残存高1.5 口縁の1/11	内外面ヨコナデ	良好、石・長・結・赤、0.1～2　焼成良好 内：灰黄褐色10YR6/2 外：橙色5YR6/6	反転復元 弥生時代後期後半か
49	1区	SP1325		弥生土器 壺	口径19.4 残存高3.8 口縁の1/20	内外面ヨコナデか、体部不明	良好、石・長・結、0.1～5 焼成やや不良 内・外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 二重口縁壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
50	1区	SP1341		土師質土器 皿	口径7.8 底径5.5 器高1.0 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ	良好、石・長・赤、0.1～0.5 焼成やや不良 内：浅黄橙色7.5YR8/4 外：にぶい黄橙色10YR7/3	反転復元
51	1区	SP1348		土師質 管状土錘	全長5.2 径1.6 孔径0.5 重量10.0g ほぼ完形	ユビオサエのちナデ	良好、石・長、0.1～0.5 焼成良好 にぶい橙色7.5YR6/4	
52	1区	SP1361		弥生土器 甕	底径4.3 残存高4.0 底部の1/3	外面タテ方向のヘラミガキ（幅0.5cm）、底部外面ナデ、内面斜ヘラケズリ（幅0.7cm以上）	良好、石・長・結・赤、0.1～2　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元
53	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径20.4 頸径10.2 残存高6.7 口縁～頸部の3/4	口縁端部ヨコナデのち凹線3条、頸部外面タテハケ（9条/cm）のちヨコハケ（8条/cm）、内面ヨコナデ	良好、石・長・赤・角か、0.1～3　焼成やや不良 内：明赤褐色5YR5/6 外：赤褐色5YR4/6	一部合成、反転復元 広口壺 弥生時代後期
54	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径22.0 頸径11.4 残存高6.9 口縁～頸部の1/3	口縁端部ヨコナデのち凹線2条、頸部外面平行タタキ（2～3条/cm）・ヨコナデ・凹線、内面ヨコナデ	粗、石・長・結・赤、0.1～9 焼成やや不良 内・外：にぶい黄橙色10YR7/4	反転復元 広口壺 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
55	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径19.4 残存高4.9 口縁の1/3	口縁外面ヨコナデのち凹線文2条か、口縁内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、頸部内面ナデか	良好、石・結・赤、0.1～6 焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：にぶい橙色7.5YR6/3	反転復元 広口壺 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
56	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径19.2 残存高4.7 口縁の1/5	口縁外面ヨコナデのち凹線文2条、口縁内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキか、頸部内外面ヨコナデか	良好、石・結・赤、0.1～6 焼成やや不良 内：にぶい橙色5YR6/4 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 広口壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
57	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径19.4 残存高4.5 口縁の1/12	口縁端部凹線2条、頸部外面ヨコナデ、内面不明	良好、石・長・結・赤、0.1～2　焼成やや不良 内・外：橙色7.5YR6/6	反転復元 広口壺 内外面磨耗・剥離により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
58	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径16.5 頸径10.1 残存高5.4 口縁～頸径1/11	頸部外面ヨコナデ、口縁外面～内面不明	良好、石・長・結・赤、0.1～2　焼成やや不良 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 広口壺 内外面磨耗・剥離により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
59	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径18.2 残存高5.7 口縁の1/5	外面ヨコナデか、口縁内面ヨコナデ、体部内面不明	良好、石・長・結・赤・金、0.1～7　焼成やや不良 内：橙色5YR6/6 外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元 広口壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
60	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径22.6 残存高6.2 口縁の1/5	内外面不明	良好、石・長・結、0.1～8 焼成やや不良 内：橙色7.5YR6/6 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 広口壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
61	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径20.0 残存高4.6 口縁の1/7	口縁外面ヨコナデのち凹線文1条、頸部外面～内面不明	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 広口壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期～古墳時代前期初頭か
62	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径23.0 残存高3.1 口縁の1/6	口縁端部ヨコナデ、頸部外面タテハケ（3条/0.6cm）、内面不明	良好、石・長・結、0.1～5 焼成やや不良 内：橙色5YR6/6 外：にぶい黄橙色10YR7/3	反転復元 広口壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
63	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径19.0 頸径11.2 残存高4.2 口縁の1/6	口縁端部ヨコナデのち凹線2条、頸部～体部外面不明・凹線2条あり、内面不明	良好、石・長・結・赤、0.1～2　焼成良好 内：浅黄橙色7.5YR8/3 外：にぶい橙色7.5YR7/3	反転復元 広口壺 内外面磨耗・内面剥離により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
64	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径22.8 残存高3.1 口縁の1/9	口縁端部ヨコナデ・凹線2条、外面ナデか、内面ヨコナデか・ヨコハケ（11条/cm）	良好、石・長・結・赤、0.1～3　焼成やや不良 内・外：橙色5YR7/6	反転復元 広口壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期～古墳時代前期初頭か
65	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径18.0 残存高1.8 口縁の1/8	口縁端部ヨコナデのち凹線2条、頸部外面ユビオサエのちヨコナデ、内面不明	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 広口壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期～古墳時代前期初頭か
66	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径21.0 残存高2.5 口縁の1/5	口縁端部ヨコナデ・凹線2条、内外面不明	良好、石・長・結・赤、0.1～3　焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：橙色7.5YR6/6	反転復元 広口壺 内外面磨耗により調整不明瞭 口縁端部の凹線も不明瞭 弥生時代後期～古墳時代前期初頭か
67	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径21.5 残存高3.5 口縁の1/9	口縁端部ヨコナデ、内外面ナデか	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～4　焼成やや不良 内：明褐色7.5YR5/6 外：にぶい黄橙色10YR6/4	反転復元 広口壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期～古墳時代前期初頭か
68	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径21.4 残存高3.3 口縁の1/5	口縁端部凹線1条、口縁外面ヨコ板ナデ（幅不明）、外面ナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 内：橙色7.5YR6/6 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 広口壺 内外面磨耗により調整不明瞭 外面のヨコ板ナデは細かいハケ 弥生時代後期～古墳時代前期初頭か
69	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径18.6 残存高3.4 口縁の1/7	口縁端部・内面ヨコナデ、外面不明	粗、石・長・在地花、0.1～3　焼成やや不良 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 広口壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期～古墳時代前期初頭か
70	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径24.8 残存高2.5 口縁の1/4	口縁外面竹管を用いた円形刺突文（径0.4cm）2列、内面不明	精良、石・長・結・赤、0.1～1　焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 広口壺 弥生時代後期か
71	1区		第1包含層	弥生土器 壺	頸径12.0 残存高3.8 頸部の1/4	外面ヨコナデ・タテハケ（9条/cm）、内面ヨコナデ	良好、石・長・結・赤、0.1～6　焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 広口壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期～古墳時代前期初頭か
72	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径11.8 頸径9.4 残存高5.1 口縁～体部上位の1/5	外面不明、口縁内面ヨコナデ、頸部内面ヨコナデのちタテヘラケズリ（幅1.0cm）・部分的に絞り痕か、体部内面タテヘラケズリ（幅1.2cm以上）	良好、石・長・結・赤、0.1～3　焼成やや不良 内・外：橙色7.5YR7/6	広口壺 VI様式か
73	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径19.6 残存高3.8 口縁の1/8	内外面不明	良好、石・長・赤・在地花か、0.1～3　焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 二重口縁壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
74	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径17.6 残存高3.1 杯部口縁～体部の1/9	内外面ヨコナデ	良好、石・長・結か・赤・絹か、0.1～2　焼成良好 内：にぶい橙色5YR6/4 外：明赤褐色5YR5/6	反転復元 二重口縁壺 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
75	1区		第1包含層	弥生土器 壺	頸径11.8 残存高5.0 頸部の1/6	内外面ヨコナデ	粗、石・長・結・赤、0.1～2 焼成やや不良 内・外：橙色5YR6/8	反転復元 二重口縁壺 内外面磨耗・剥離により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
76	1区		第1包含層	弥生土器 壺	残存部最大径20.2 残存高3.0 口縁の1/8	外面ヨコナデ・ナデ、内面ヨコナデ・口縁に沈線1条	良好、石・長・結、0.1～5 焼成やや不良 内・外：橙色7.5YR6/6	反転復元 二重口縁壺 内面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
77	1区		第1包含層	弥生土器 壺	残存部最大径17.9 残存高3.3 口縁～頸部の1/7	内外面不明	良好、石・長・結・赤、0.1～4　焼成やや不良 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 二重口縁壺 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
78	1区		第1包含層	弥生土器 壺	頸径10.0 残存高3.9 頸部の1/6	内外面ヨコナデ	良好、石・結・赤・絹、0.1～5　焼成やや不良 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 二重口縁壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	法量(cm) 残存率	技法	胎土、含有物、法量(mm) 焼成 色調	備考
79	1区		第1包含層	弥生土器 壺	頸径16.0 残存部最大径27.6 残存高6.0 頸部の1/7	外面ヨコナデ、内面ヨコナデか	良好、石・長、0.1～3　焼成やや不良 内：橙色7.5YR6/6 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 二重口縁壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
80	1区		第1包含層	弥生土器 壺	頸径10.0 残存部最大径18.4 残存高5.4 頸部の1/6	内外面不明、頸部外面ヘラ先による刺突文	良好、石・長・赤、0.1～4 焼成やや不良 内：橙色5YR6/6 外：橙色5YR7/6	反転復元 二重口縁壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
81	1区		第1包含層	弥生土器 壺	頸径10.0 残存高3.6 口縁～頸部の1/5	内外面ヨコナデか	良好、石・長・赤・在地花、0.1～3　焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 二重口縁壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
82	1区		第1包含層	弥生土器 壺	頸径10.9 残存高4.9 口縁～頸部の1/10	口縁外面平行タタキ（3条/cm）のちヨコナデ・ナデ、口縁内面ヨコナデ、体部内面タテユビナデ	良好、石・長・結・赤、0.1～5　焼成やや不良 内・外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元 二重口縁壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
83	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径26.2 頸径20.1 残存高7.0 口縁～体部上位の1/4	内外面不明、頸部外面ヨコナデか	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成やや不良 内：明赤褐色5YR5/6 外：橙色5YR6/6	反転復元 二重口縁壺 内外面磨耗により調整不明瞭 古墳時代前期初頭か
84	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径14.4 頸径15.5 残存高6.0 口縁～頸部の1/6	外面部分的にタテハケ（5条/0.5cm）が残る、内面斜・ヨコハケ（6条/0.5cm）	良好、石・長・赤・金、0.1～1　焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：にぶい褐色7.5YR6/3	反転復元 直口壺の一種 内外面磨耗により調整不明瞭 矢野遺跡 SB2058・石井城ノ内遺跡 SK2023に類例あり 古墳時代前期初頭か
85	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径10.7 残存高7.9 口縁～頸部の1/3	内外面不明	良好、石・長・結・赤、0.1～3　焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 直口壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
86	1区		第1包含層	弥生土器 壺	口径19.0 残存高8.0 口縁～頸部の1/4	外面不明、内面ヨコナデか	粗、石・長・結・赤、0.1～7 焼成やや不良 内：橙色5YR6/6 外：橙色5YR6/8	反転復元 直口壺 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
87	1区		第1包含層	弥生土器 壺	頸径9.0 体部最大径16.5 底径5.2 残存高18.0 全体の1/2	口縁外面タテハケ（4条/0.5cm）、頸部外面ユビオサエのちヨコナデ、体部外面タテハケ（7条/cm）、底部外面ナデか、口縁内面ヨコ・斜ハケ（10条/cm）、体部～底部内面ユビオサエのち（上位）ヨコハケ（8条/cm）（下位）タテハケ（8条/cm）	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～4　焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR6/4 外：にぶい黄橙色10YR6/3	反転復元 広口壺か 体部中位に内面からの打撃による穿孔あり Ⅵ様式期
88	1区		第1包含層	弥生土器 甕	口径17.2 頸径15.0 残存高4.2 口縁～体部上位の1/6	口縁内外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（9条/cm）、体部内面ユビオサエのちナデ	良好、石・長・絹、0.1～2 焼成良好 内：にぶい褐色7.5YR5/4 外：にぶい黄橙色10YR6/4	反転復元 内外面磨耗・剥離により調整不明瞭 弥生時代後期後半か
89	1区		第1包含層	弥生土器 甕	口径20.2 頸径17.8 残存高4.2 口縁～体部上位の1/10	外面～口縁内面不明、体部内面ユビオサエか	良好、石・結・赤、0.1～2 焼成やや不良 内・外：明赤褐色5YR5/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半か
90	1区		第1包含層	弥生土器 甕	口径19.5 頸径17.6 残存高3.2 口縁の1/14	口縁外面～内面不明、体部外面タテハケ（7条/cm）	精良、石・長・結、0.1～1 焼成やや不良 内：橙色5YR6/6 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 弥生時代後期後半か
91	1区		第1包含層	弥生土器 甕	口径19.0 頸径15.6 残存高1.5 口縁の1/10	内外面ヨコナデか	良好、石・長・結か・赤、0.1～1　焼成やや不良 内：橙色5YR6/6 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半か
92	1区		第1包含層	弥生土器 甕	口径17.8 頸径16.3 残存高6.8 口縁～体部上位の1/6	口縁～頸部内外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（4条/0.5cm）、頸部内面ヨコヘラケズリ（幅1.0cm）、体部斜ヘラケズリ（幅0.8cm以上）	良好、石・長・結、0.1～2 焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR6/4	反転復元 口縁外面煤付着 弥生時代後期後半か
93	1区		第1包含層	弥生土器 甕	口径17.0 頸径15.4 残存高8.7 口縁～体部の1/6	口縁～頸部内外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（5条/cm）、体部内面タテヘラケズリ（幅1.1cm）	粗、石・長・結・赤、0.1～5 焼成良好 内・外：橙色7.5YR6/6	反転復元 弥生時代後期後半か
94	1区		第1包含層	弥生土器 甕	口径16.0 頸径14.4 残存高5.4 口縁～体部上位の1/6	口縁～頸部内外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（7条/cm）、体部内面タテヘラケズリ（幅0.8cm以上）	良好、石・長・結・赤、0.1～1　焼成良好 内：明赤褐色5YR5/6 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗・剥離により調整不明瞭 弥生時代後期後半か
95	1区		第1包含層	弥生土器 甕	口径14.4 頸径13.0 残存高3.7 口縁～体部上位の1/9	口縁内外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（6条/0.8cm）、体部内面ヨコヘラケズリ	良好、石・長、0.1～3　焼成やや不良 内：にぶい赤褐色5YR4/4 外：赤褐色5YR4/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半か
96	1区		第1包含層	弥生土器 甕	口径12.4 頸径10.6 残存高4.5 口縁～体部上位の1/9	口縁～頸部内外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（6条/cm）、体部内面斜ヘラケズリ（幅1.0cm以上）	良好、石・長・結・赤、0.1～3　焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：灰黄色2.5Y6/2	反転復元、一部合成 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
97	1区		第1包含層	弥生土器 甕	口径14.9 頸径12.2 残存高5.4 口縁～体部上位の1/6	口縁～頸部内外面ヨコナデ、体部外面タテハケか、体部内面ヨコハケ（5条/0.5cm）・ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長・結・赤、0.1～2　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR6/4 外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
98	1区		第1包含層	弥生土器 甕	口径7.2 頸径6.4 体部最大径8.1 底径3.1 器高7.1 ほぼ完存	口縁端部～口縁内面ヨコナデ、口縁～頸部外面タテハケ（5条/cm）、体部外面ヘラケズリか、底部外面不明、内面ナデか	良好、石・長・結・赤、0.1～6　焼成やや不良 内：灰黄色2.5Y6/2 外：橙色5YR6/6	内外面磨耗・剥離により調整不明瞭 内面炭素付着 弥生時代後期末～古墳時代前期初頭
99	1区		第1包含層	弥生土器 甕	口径13.6 頸径11.9 残存高3.2 口縁の1/12	外面ヨコナデ、内面不明	粗、石・長・角・花、0.1～1　焼成不良 内・外：褐色7.5YR4/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 瀬戸内沿岸（吉備地方か）からの搬入品か 古墳時代前期初頭か
100	1区		第1包含層	弥生土器 鉢	口径28.2 底径5.7 器高8.9 全体の1/9	口縁内外面ヨコナデ、体部外面斜ハケ（8条/cm）のちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部外面ヘラミガキ（幅0.2cm）、体部内面タテハケ（8条/cm）・タテヘラケズリのちヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・結・赤、0.1～4　焼成良好 内：にぶい褐色7.5YR6/3 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 外面一部炭素付着 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭
101	1区		第1包含層	弥生土器 鉢	口径20.8 残存高2.8 口縁の1/8	口縁外面ヨコナデ、体部外面ヨコハケ（4条/0.5cm）、内面ヨコナデのちヨコ板ナデ（幅0.5cm以上）	良好、石・長・結、0.1～1 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR6/4 外：にぶい黄橙色10YR6/3	反転復元 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭
102	1区		第1包含層	弥生土器 鉢	口径25.0 残存高5.5 口縁～体部の1/14	口縁外面ヨコナデ、体部外面斜・ヨコハケ（8条/cm）、口縁内面ヨコハケ（3条/0.5cm）、体部内面ヨコハケ（4条/0.5cm）のち斜・ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）	粗、石・長・結・赤、0.1～5 焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR6/4	反転復元 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭
103	1区		第1包含層	弥生土器 鉢	口径28.8 残存高2.8 口縁の1/9	口縁外面ヨコナデ、体部外面～内面ヨコハケ（4条/0.5cm）	良好、石・長・結、0.1～5 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：にぶい黄橙色10YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭
104	1区		第1包含層	弥生土器 鉢	口径35.2 残存高7.8 口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコナデ、体部外面斜ハケ（5条/0.5cm）、内面不明	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～7　焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR6/3 外：橙色7.5YR6/6	反転復元 内外面磨耗・剥離により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭
105	1区		第1包含層	弥生土器 鉢	口径37.8 残存高4.5 口縁～体部の1/14	口縁～頸部内外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（5条/0.5cm）、体部内面ヨコナデ・ナデ	粗、石・長・結、0.1～7 焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR6/3	反転復元 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭
106	1区		第1包含層	弥生土器 鉢	口径14.5 体部最大径15.0 残存高6.9 口縁～体部下位の1/5	外面タテハケ（8条/cm）、内面不明	良好、石・長・結、0.1～3 焼成やや不良 内：橙色7.5YR6/6 外：橙色5YR6/6	反転復元 外面部分的に炭素付着 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭
107	1区		第1包含層	弥生土器 鉢	口径13.0 体部最大径13.3 残存高6.6 口縁～体部下位の1/9	口縁外面ヨコナデか、外面タテハケ（6条/cm）、内面ヨコのちタテハケ（8条/cm）	良好、石・長・結・赤、0.1～2　焼成やや不良 内：橙色7.5YR6/6 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 外面煤付着 内外面磨耗・剥離により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭
108	1区		第1包含層	弥生土器 鉢	口径13.4 体部最大径14.2 底径4.3 器高10.5 全体の1/2	外面タテハケ（7条/cm）、底部外面ナデ、内面ナデのちハケ（7条/cm）	良好、石・長・結・赤、0.1～4　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：にぶい黄橙色10YR6/4	一部反転復元 体部内外面炭素付着 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭
109	1区		第1包含層	弥生土器 鉢	口径12.5 底径3.9 器高6.4 全体の1/5	内外面ヨコナデ、体部下位外面ヨコナデのちナデ、底部外面ナデ	良好、石・長・結、0.1～5 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR6/3 外：にぶい黄橙色10YR6/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭
110	1区		第1包含層	弥生土器 壺か鉢	底径4.1 残存高3.3 底部の1/4	外面タテハケ（6条/0.5cm）、内面タテハケ（3条/0.3cm）	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：にぶい褐色7.5YR5/4 外：にぶい黄橙色10YR6/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
111	1区		第1包含層	弥生土器 壺か鉢	底径3.5 残存高2.5 底部の1/2	外面タテハケ（5条/0.5cm）、内面タテヘラケズリ	良好、石・長・結、0.1～1 焼成やや不良 内：橙色7.5YR6/6 外：にぶい黄橙色10YR6/4	反転復元
112	1区		第1包含層	弥生土器 壺か鉢	底径5.6 残存高4.1 底部の2/3	体部外面タテハケ（7条/cm）、底部外面ナデ、体部内面タテ方向のヘラミガキ（幅0.4cm）、底部外面ハケ（6条/cm）のちナデ	良好、石・長・結・赤、0.1～2　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：灰黄色2.5Y6/2	反転復元
113	1区		第1包含層	弥生土器 壺か鉢	底径3.4　残存高3.3 底部は完存	外面タテハケ（6条/cm）、底部外面ナデ、内面タテ・ヨコハケ（8条/cm）	良好、石・長・結・赤、0.1～5　焼成良好 内：黒褐色2.5Y3/1 外：にぶい黄橙色10YR7/4	一部反転復元 内外面一部炭素付着
114	1区		第1包含層	弥生土器 壺か鉢	底径5.2　残存高2.0 底部の1/3	外面ナデ・ユビオサエ、底部外面ナデか、内面ナデ	良好、石・長・結・赤、0.1～3　焼成やや不良 内：にぶい黄褐色10YR5/3 外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
115	1区		第1包含層	弥生土器 壺か鉢	底径5.1　残存高2.1 底部の2/3	内外面調整不明	良好、石・長・結、0.1～5 焼成やや不良 内・外：明赤褐色2.5YR5/6	内外面磨耗により調整不明瞭
116	1区		第1包含層	弥生土器 壺か	底径7.9　残存高3.3 底部の1/2	外面タテハケ（7条/0.5cm）、底部外面ナデ・ハケ（5条/0.3cm）、内面タテヘラケズリ（幅0.6cm以上）	良好、石・長、0.1～3　焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR6/3 外：にぶい橙色7.5YR6/4	一部合成
117	1区		第1包含層	弥生土器 甕か壺	底径5.4　残存高4.2 底部の1/3	外面タテハケ（7条/cm）、下端外面ユビオサエ、底部外面ユビオサエ・ナデ、内面タテヘラケズリ（幅不明）、底部内面ナデか	良好、石・長・結、0.1～2 焼成やや不良 内：にぶい黄褐色10YR5/3 外：にぶい褐色7.5YR5/3	反転復元

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	法量(cm) 残存率	技法	胎土、含有物、法量(mm) 焼成 色調	備考
118	1区		第1包含層	弥生土器 甕か	底径3.6 残存高2.4 底部の1/2	外面タテハケ（4条/0.5cm）のちタテ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、底部外面ヘラミガキ、内面ナデ	良好、石・長、0.1～2 焼成良好 内：にぶい褐色7.5YR5/4 外：オリーブ黒色5Y3/1	反転復元 外面煤付着
119	1区		第1包含層	弥生土器 甕か	底径3.8 残存高2.8 底部の1/2	外面タテハケ（8条/cm）、底部外面ハケ（4条/0.5cm）、内面タテヘラケズリ（幅不明）	良好、石・長・赤、0.1～5 焼成良好 内：にぶい黄褐色10YR5/3 外：橙色2.5YR6/6	反転復元 外面煤付着
120	1区		第1包含層	弥生土器 甕か壺	底径4.2 残存高2.7 底部は完存	外面タテハケ（10条/cm）、底部外面ハケ（15条/cm）、内面ナデ・タテヘラケズリ（幅0.9cm）	粗、石・長・結・赤、0.1～4 焼成良好 内：黄灰色2.5Y4/1 外：にぶい橙色7.5YR6/4	一部反転復元 外面一部炭素付着
121	1区		第1包含層	弥生土器 甕か壺	底径5.0 残存高2.9 底部の1/2	外面ナデのちタテハケ（7条/cm）、底部外面ナデ、内面ナデか	良好、石・長・結、0.1～4 焼成良好 内：暗灰黄色2.5Y5/2 外：にぶい黄橙色10YR6/3	反転復元 外面一部炭素付着 内面磨耗により調整不明瞭
122	1区		第1包含層	弥生土器 甕か壺	底径4.0 残存高4.5 底部の1/4	外面タテハケ（6条/cm）、底部外面不明、内面タテヘラケズリか	良好、石・長・結、0.1～6 焼成良好 内：にぶい赤褐色5YR4/3 外：黒色2.5Y2/1	反転復元 外面煤付着
123	1区		第1包含層	弥生土器 甕か壺	底径6.2 残存高2.6 底部の2/3	体部外面タテ方向のヘラミガキ（幅0.8cm）、底部内外面ユビオサエ、内面不明	良好、石・長・結、0.1～3 焼成やや不良 内：橙色5YR6/8 外：にぶい赤褐色5YR4/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
124	1区		第1包含層	弥生土器 甕か	底径4.1 残存高3.5 底部の1/3	外面タテハケ（5条/0.5cm）、底部内外面ユビオサエのちハケ（5条/0.5cm）、内面タテヘラケズリ（幅0.8cm以上）	良好、石・長・結、0.1～2 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR6/4 外：褐灰色10YR4/1	反転復元 外面煤付着
125	1区		第1包含層	弥生土器 甕か壺	底径5.2 残存高1.3 底部の1/2	外面不明、底部外面ハケ（4条/0.5cm）、内面ナデのちタテヘラケズリ（幅1.1cm以上）	良好、石・長・結・赤、0.1～2 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：にぶい黄褐色10YR5/3	外面一部炭素付着 内外面磨耗により調整不明瞭
126	1区		第1包含層	弥生土器 甕か壺	底径5.0 残存高2.1 底部の1/2	外面タテハケか、底部外面ナデ、内面ナデのちタテヘラケズリか	良好、石・長・結・赤、0.1～7 焼成やや不良 内：にぶい黄褐色10YR5/3 外：にぶい赤褐色5YR5/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
127	1区		第1包含層	弥生土器 甕か壺	底径4.8 残存高3.3 底部の3/4	外面タテ方向のヘラミガキ（幅0.5cm）、底部外面ナデ、内面ナデのちタテヘラケズリか（幅不明）	良好、石・長・結・赤、0.1～4 焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	外面一部炭素付着
128	1区		第1包含層	弥生土器 甕か壺	底径5.5 残存高4.2 底部の1/3	体部外面ユビオサエのちヨコハケ（6条/cm）、底部外面ナデか、体部内面タテヘラケズリ、底部内面不明	良好、石・長・結、0.1～3 焼成良好 内：にぶい橙色5YR7/4 外：明赤褐色5YR5/6	反転復元 内外面磨耗・剥離により調整不明瞭
129	1区		第1包含層	弥生土器 甕か壺	底径5.6 残存高3.2 底部は完存	外面タテハケ（6条/cm）、底部外面ハケ、内面ナデ・タテヘラケズリか	粗、石・長・結・赤、0.1～4 焼成やや不良 内：にぶい黄色2.5Y6/3 外：にぶい褐色7.5YR5/4	外面一部炭素付着 内外面磨耗により調整不明瞭
130	1区		第1包含層	弥生土器 甕か壺	底径5.5 残存高2.6 底部は完存	外面ナデのちタテハケ（5条/cm）、底部外面ナデのちハケ（7条/cm）、内面ナデのちタテヘラケズリ（幅不明）	良好、石・長・結、0.1～10 焼成やや不良 内：暗灰黄色2.5Y5/2 外：明赤褐色5YR5/6	底部外面付近炭素付着 内外面磨耗により調整不明瞭
131	1区		第1包含層	弥生土器 甕か	底径5.0 残存高1.5 底部の1/2	外面ヨコナデのちタテ方向のヘラミガキか、底部外面ハケ（4条/0.5cm）、内面タテヘラケズリ	良好、石・長、0.1～1 焼成やや不良 内：灰黄色2.5Y6/2 外：にぶい黄橙色10YR6/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 外面煤付着
132	1区		第1包含層	弥生土器 甕か壺	底径4.7 残存高1.9 底部の1/2	外面ナデ・ユビオサエ、底部外面ハケ（5条/0.5cm）、内面タテヘラケズリ（幅不明）	良好、石・長・結・赤、0.1～2 焼成不良 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：にぶい黄橙色10YR6/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
133	1区		第1包含層	弥生土器 甑	底径5.6 残存高5.1 底部の1/4	外面ユビオサエ・ナデ、内面タテヘラケズリ（幅0.8cm以上）、底部に焼成前穿孔	良好、石・長・結、0.1～2 焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：黒褐色2.5Y3/1	反転復元 外面煤付着
134	1区		第1包含層	弥生土器 甑か鉢	底径2.0 残存高1.3 底部は完存	外面不明、内面ナデか	粗、石・結・赤、0.1～5 焼成やや不良 内・外：橙色5YR7/6	焼成後内外面からの穿孔か
135	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	口径25.4 残存高3.3 杯部口縁～体部の1/11	内外面不明、体部内面ヨコナデか	良好、石・長・結・赤、0.1～5 焼成やや不良 内：明赤褐色2.5YR5/6 外：橙色7.5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
136	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	口径23.8 残存高4.1 杯部口縁～体部の1/12	口縁外面ヨコ・斜ヘラミガキ、体部外面ナデのちヘラミガキか、口縁内面ヨコナデのちヘラミガキか、体部外面タテハケか、体部内面放射状ヘラミガキ	良好、石・長・結、0.1～1 焼成良好 内：灰黄褐色10YR4/2 外：橙色7.5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
137	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	口径25.7 残存高3.5 杯部口縁～体部の1/13	口縁外面ヨコナデのちタテハケ（8条/cm）、体部外面不明、口縁内面ヨコ方向のヘラミガキ、体部内面ヨコハケ（8条/0.7cm）のち放射状ヘラミガキ（幅0.2cm）のち部分的にヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）	良好、石・長・結、0.1～5 焼成良好 内：にぶい黄褐色10YR5/3 外：にぶい黄橙色10YR6/3	反転復元 杯部内面部分的に炭素付着 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
138	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	口径30.6 残存高3.5 杯部口縁～体部の1/13	内外面ヨコナデか	良好、石・長・結・赤、0.1～3 焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
139	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	口径28.0 残存高4.5 杯部の1/17	外面ヨコナデ・ナデのちタテ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.4cm）、口縁～体部内面タテ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、底部内面ヨコ・斜方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）	良好、石・長・結・絹、0.1～3　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：にぶい黄橙色10YR6/4	反転復元 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
140	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	口径31.4 残存高3.8 口縁の1/14	外面ヨコナデ、内面不明	良好、石・長・結、0.1～3 焼成やや不良 内：明赤褐色2.5YR5/8 外：明赤褐色2.5YR5/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
141	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	口径29.6 残存高4.3 杯部口縁～体部の1/8	内外面不明	良好、石・長・結、0.1～3 焼成やや不良 内：明赤褐色2.5YR5/6 外：明褐色7.5YR5/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
142	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	口径28.6 残存高3.6 口縁の1/6	外面ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.3cm）、内面不明	良好、石・長・結、0.1～4 焼成やや不良 内：明赤褐色2.5YR5/8 外：黒色5Y2/1	反転復元 内外面磨耗・剥離により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
143	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	口径31.4 残存高3.1 杯部口縁～体部の1/8	外面ヨコナデのちタテハケ（6条/0.9cm）、内面ヨコハケ（5条/0.4cm）のちタテ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）・ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・結・赤、0.1～1　焼成やや不良 内・外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
144	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	口径26.9 残存高3.3 杯部口縁～体部の1/13	外面ヨコナデのちタテハケ（9条/cm）、内面ヨコハケ（6条/0.5cm）	良好、石・長・結・絹、0.1～2　焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
145	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	口径27.8 残存高4.0 杯部口縁～体部の1/15	内外面不明	良好、石・長・結・赤、0.1～5　焼成やや不良 内：橙色5YR6/6 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
146	1区			弥生土器 高杯	口径34.8 残存高3.8 口縁～体部の1/9	内外面ヨコナデ	良好、石・長・結、0.1～6 焼成やや不良 内：明褐色7.5YR5/8 外：明褐色7.5YR5/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
147	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	残存高9.8 杯底部～脚部中位の1/3	杯底部内外面ナデ、脚部外面タテ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、脚部内面絞り痕	良好、石・長・結、0.1～8 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR6/4 外：にぶい黄橙色10YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
148	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	残存高4.5 杯底部～脚部上位の3/5	杯部外面ナデか、脚部外面ヨコナデ・ナデのちタテ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）、杯部内面ヨコナデ・ナデのちヘラミガキか、脚部内面ナデ	良好、石・長・結、0.1～3 焼成不良 内：明赤褐色5YR5/6 外：明褐色7.5YR5/6	一部反転復元、一部合成 内外面磨耗・剥離により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
149	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	残存高4.9 杯底部～脚部上位の4/5	杯底部～脚部上位外面タテ方向のヘラミガキ（幅0.4cm）、脚部下位外面タテハケ（4条/0.5cm）、脚部内面ナデ・絞り痕あり	良好、石・長・結・赤、0.1～2　焼成やや不良 内：灰黄色2.5Y6/2 外：にぶい橙色7.5YR6/4	一部反転復元、一部合成 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
150	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	残存高7.6 杯底部～脚部中位の4/5	内外面不明、内面絞り痕あり	良好、石・長・結・赤、0.1～8　焼成やや不良 内：明赤褐色2.5YR5/8 外：明赤褐色2.5YR5/6	内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
151	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	残存高6.8 杯底部～脚部上位の9/10	脚部外面タテ方向のヘラミガキ、杯底部内面不明、脚部内面ナデか	良好、石・長・結、0.1～5 焼成やや不良 内・外：明赤褐色5YR5/6	一部反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
152	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	残存高5.9 脚部上位はほぼ完存	外面ヘラミガキか・ヘラケズリか、内面不明	良好、石・長・結、0.1～2 焼成やや不良 内：橙色7.5YR6/6 外：灰色5Y6/1	内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
153	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	残存高3.3 脚部上位の4/5	外面タテ方向のヘラミガキ（幅0.4cm）、内面ナデか	良好、石・結・赤・絹、0.1～2　焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
154	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	残存高4.7 脚部上位の1/2	外面ヨコナデのちタテ方向のヘラミガキ（幅0.4cm）、内面絞り痕あり	良好、石・長・結・赤、0.1～4　焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元、一部合成 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
155	1区		第1包含層 Q－20、1	弥生土器 高杯	残存高4.3 杯底部～脚部中位の4/5	外面不明、内面ヨコヘラケズリ（幅不明）	良好、石・長・結、0.1～5 焼成やや不良 内：橙色7.5YR6/6 外：橙色7.5YR7/6	内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
156	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	残存高5.5 脚部上位の2/3	外面不明、内面ナデか・タテヘラケズリ（幅不明）	良好、石・長・在地花、0.1～5　焼成やや不良 内・外：明赤褐色5YR5/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
157	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	残存高3.8 脚部上位の4/5	内外面不明	良好、石・長・結・赤、0.1～5　焼成不良 内：明褐色7.5YR5/6 外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
158	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	残存高4.4 脚部上位の9/10	内外面不明、内面絞り痕あり	粗、石・結・赤・絹、0.1～4　焼成やや不良 内・外：明赤褐色2.5YR5/8	内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
159	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	残存高5.0 脚部上位の1/4	外面不明、内面タテユビナデ	良好、石・長・結、0.1～7 焼成不良 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：にぶい黄橙色10YR6/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
160	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	脚端径19.8 残存高6.9 脚部の1/4	外面タテハケ（12条/cm）、内面ナデ・ヘラミガキか	良好、石・長・結・赤、0.1～4　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
161	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	脚端径19.8 残存高3.0 脚部の1/10	外面タテハケ（5条/0.5cm）・下端部凹線2条、内面不明	粗、石・長・結・赤 絹、0.1～4　焼成やや不良 内：橙色5YR6/6 外：褐色7.5YR4/4	反転復元 穿孔復元径約2cm 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
162	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	脚端径20.6 残存高3.0 脚部の1/3	内外面不明	良好、石・長・在地花、0.1～6　焼成やや不良 内：橙色5YR6/8 外：橙色5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
163	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	脚端径16.0 残存高2.3 脚部の1/5	内外面ヨコナデ・ナデか	良好、石・長・結・赤、0.1～2　焼成やや不良 内：明褐色7.5YR5/6 外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面ともハケの可能性あるが確認できない 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
164	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	脚端径20.8 残存高3.7 脚部の1/6	内外面不明	粗、石・長・赤、0.1～6 焼成やや不良 内・外：橙色5YR6/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
165	1区		第1包含層	弥生土器 高杯	脚端径19.0 残存高3.4 脚部の1/7	内外面不明	良好、石・長・結・赤、0.1～4　焼成やや不良 内：灰黄褐色10YR6/2 外：明褐色7.5YR5/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 焼成前穿孔1カ所あり 弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭か
166	1区		第1包含層	弥生土器 器台	口径9.0 残存高5.0 口縁～脚部上位はほぼ完存	内外面不明	良好、石・長・赤、0.1～3 焼成やや不良 内：橙色7.5YR6/6 外：橙色7.5YR7/6	内外面磨耗により調整不明瞭 脚部穿孔1カ所あり 古墳時代前期初頭
167	1区		第1包含層	弥生土器 器台	残存高5.0 杯底部～脚部上位の1/4	外面不明、内面ユビオサエか	良好、石・長・結・赤、0.1～4　焼成やや不良 内・外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 古墳時代前期初頭
168	1区		第1包含層	弥生土器 器台	残存高2.5 杯底部～脚部上位の2/3	内外面不明	良好、石・長・結か、0.1～1 焼成やや不良 内：明赤褐色5YR5/6 外：橙色5YR6/6	一部反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 古墳時代前期初頭
169	1区		第1包含層	須恵器 杯か	底径10.8 高台高0.6 残存高1.3 底部の1/6	底部外面切り離し技法不明・高台貼付のちヨコナデ、底部内面回転ナデか	良好、石・長・結・赤、0.1～2　焼成やや不良 内・外：浅黄色2.5Y7/3	反転復元
170	1区		第1包含層	土師器 皿	口径11.5 底径9.8 器高1.6 全体の1/5	内外面ヨコナデ、底部外面ナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：にぶい黄橙色10YR7/2	反転復元 還元炎焼成気味
171	1区		第1包含層	土師器 皿	口径14.6 底径11.8 器高1.8 全体の1/6	内外面ヨコナデ	良好、石・結・赤、0.1～5 焼成良好 内・外：明赤褐色2.5YR5/6	反転復元 内外面赤彩あり
172	1区		第1包含層	土師質土器 杯	口径9.4 残存高2.4 口縁～体部上位の1/4	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：橙色5YR7/6	反転復元
173	1区		第1包含層	土師質土器 杯	底径8.9 残存高1.5 底部の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元
174	1区		第1包含層	青磁 皿	底径4.4 残存高1.8 底部～体部下位の1/2	内外面ロクロナデのち体部下位外面～底部外面回転ヘラケズリ、底部内面ヘラ描き・櫛描による施文、内面～体部下位外面施釉、体部下端外面～底部外面露胎	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG 6.5/3S 素地：灰白色7.5Y7/1	反転復元 大宰府分類同安窯系青磁皿Ⅰ－1類 12C中頃～後半
175	1区	第1包含層 O－2		白磁 皿	底径5.0 高台高1.0 残存高2.1 底部の1/12	ロクロナデのち高台削り出しのち施釉、畳付部釉掻き取り	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色7.5Y8/1 微細な黒斑わずかにあり	反転復元 畳付部露胎、離れ砂付着 森田分類白磁皿E群 16C代
176	1区		第1包含層	白磁 多角坏	底径4.4 高台高0.5 残存高1.7 底部の1/4	ロクロナデのち高台削り出し、体部外面ヘラによるケズリ、内面～体部外面施釉、体部外面下端以下露胎	精良　焼成良好 釉：うすい黄8Y8.5/3S 素地：灰白色10YR8/1	反転復元 高台は抉りがある、割高台（抉りは4カ所） 釉に細かい貫入あり、釉とびあり 釉・胎土とも黄味をおびる 森田分類白磁D群 15C代
177	1区		第1包含層	染付 皿	底径3.8 高台高0.5 残存高1.8 底部の1/4	ロクロナデのち高台削り出し、呉須絵付け、体部外面芭蕉葉文・底部内面花文、のち施釉、畳付～高台（碁笥底）内面は露胎	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色10YR8/2	反転復元 胎土は黄みを帯びる 釉に細かい貫入あり 小野分類染付皿C群Ⅰ類 15C後葉～16C前葉
178	1区		第1包含層	陶器 碗	体部最大径12.4 残存高5.6 体部下半の1/6	ロクロナデ、体部下位外面回転ヘラケズリ、高台削り出しのち内面～体部下位外面施釉	精良、石、0.1～1.0　焼成良好 鉄釉：(内)黒色2R1.0/0 (外)くらい赤2R2.4/5S 素地：灰白色2.5Y8/1	反転復元 瀬戸美濃系、天目茶碗

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
179	1区		第1包含層	土師器 甕	口径39.8 残存高7.6 口縁～体部の1/10	外面タテハケ（3条/cm）、口縁内面斜・ヨコハケ（2～3条/cm）、体部内面ヨコのち斜ハケ（2～3条/cm）	良好、石・長・結・赤、0.1～4　焼成良好 内：にぶい赤褐色5YR5/4 外：橙色5YR6/6	反転復元 ハケ1条の幅1～3cmあり、太い 口縁は内面ハケ後端部を貼付にて継ぎ足してさらにヨコハケ 体部内外面わずかに煤付着
180	1区		第1包含層	土師質土器 羽釜	口径37.4 鍔径39.2 残存高4.9 口縁～体部上位の1/14	鍔部～口縁内面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちヨコ板ナデ（幅1.3cm以上）、体部内面ヨコ板ナデ（幅1.5cm以上）	粗、石・長・赤・花か、0.1～5　焼成良好 内・外：橙色7.5YR6/6	反転復元 小片のため口径・傾きは不正確
181	1区		第1包含層	土師質土器 羽釜	残存高4.4 口縁の一部	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのちナデ・ヨコ板ナデ（幅不明）、体部内面ヨコ板ナデ（幅1.5cm）	粗、石・長・金、0.1～3 焼成やや不良 内：黒褐色7.5YR3/1 外：橙色7.5YR6/6	断面実測 鍔部以下煤付着
182	1区		第1包含層 N－2	土師質土器 羽釜	残存高4.3 口縁の一部	外面ユビオサエのちナデ、内面ヨコ板ナデ（幅1.2cm）	良好、石・長・赤・金・花、0.1～5　焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR7/4	断面実測
183	1区		第1包含層	土師質土器 羽釜	残存高3.7 口縁の一部	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエのち斜・ヨコ板ナデ（幅1.3cm）、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長・金、0.1～2 焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/3 外：にぶい黄橙色10YR7/2	断面実測 外面煤付着
184	1区		第1包含層	須恵質土器 捏鉢	口径25.0 残存高2.9 口縁の1/15	内面～口縁外面回転ナデ、体部外面ユビオサエのち回転ナデ	粗、石・長・赤、0.1～2 焼成不良 内：にぶい黄橙色10YR7/2 外：灰白色10YR8/2	反転復元 酸化炎焼成気味 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第2段階 12C末～13C初頭
185	1区		第1包含層	陶器 擂鉢	口径32.6 残存高6.4 口縁の1/15	内外面回転ナデ、体部内面回転ナデのち擂目（8条/2.3cm）	良好、石・長・花、0.1～6 焼成良好 内：灰色 N4/0 外：灰色 N5/0	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ B－2期 15C中葉
186	1区		第1包含層 P－1	陶器 擂鉢	口径26.6 残存高5.1 口縁の1/6	内外面回転ナデ、体部内面回転ナデのち擂目（6条/2cm）	良好、長・赤、0.1～3　焼成不良 内・外：橙色5YR7/6	反転復元 備前焼か、酸化炎焼成 備前なら、重根編年Ⅳ B－2期 15C中葉
187	1区		第1包含層	陶器 擂鉢	残存高3.7 体部の一部	内外面回転ナデ、体部内面回転ナデのち擂目（8条/3.3cm）	精良、石・長、0.1～2　焼成良好 内：橙色2.5YR6/6 外：にぶい赤褐色2.5YR5/4	断面実測 備前焼
188	1区		第1包含層	陶器 甕	底径31.6 残存高5.5 底部の1/6	体部外面タテ板ナデ（幅1.7cm以上）、下端ヨコナデ、底部外面ナデ、体部内面ナデ・ヨコ板ナデ（幅不明）、底部内面ナデ	良好、石・長、0.1～5　焼成良好 内：褐灰色5YR5/1 外：にぶい赤褐色5YR5/4	反転復元 備前焼
189	1区		第1包含層	土師質土器 坩堝	口径5.2 器高2.4 ほぼ完存	外面ユビオサエ・ナデ、内面銅滓付着のため不明	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内：オリーブ黒色5Y3/1 極暗赤褐色2.5YR2/3 外：灰白色10YR8/2	口縁外面褐色付着物、自然釉か 内面銅滓付着 小さな片口あり
190	1区		第1包含層	瓦質 軒丸瓦	長さ8.5 幅8.4 厚さ2.1	巴文	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～2　焼成良好 内：灰色5Y6/1 外：暗灰色 N3/0	絹雲母目立つ 内外面炭素吸着良好
191	1区		第1包含層	土師質 管状土錘	全長5.7 径1.3 孔径0.4 重量6.88g	ユビオサエ・ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 橙色5YR6/6	
192	1区		第1包含層	土師質 管状土錘	全長4.5 径1.1 孔径0.4 重量5.61g	ユビオサエのちナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 灰黄褐色10YR6/2	
193	1区		第1包含層	土師質 管状土錘	全長4.2 径1.2 孔径0.3 重量4.68g	ユビオサエ・ナデ	精良、石・長・結か・絹か、0.1～1　焼成良好 浅黄橙色10YR8/4	
194	1区		第1包含層	土師質 管状土錘	全長4.2 径1.0 孔径0.3 重量3.86g	ユビオサエのちナデ	良好、石・長・泥、0.1～0.5 焼成良好 橙色2.5YR7/6	
195	1区		第1包含層 K－3	土師質 管状土錘	全長4.2 径1.0 孔径0.3 重量3.96g	ユビオサエ・ナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 橙色5YR6/6	胎土に細粒多く、ややザラつく
196	1区		第1包含層	土師質 管状土錘	全長3.5 径1.1 孔径0.3 重量4.4g	ユビオサエ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 にぶい橙色5YR6/4	外面剥離・磨耗のため調整不明瞭
197	1区		第1包含層	土師質 管状土錘	全長3.6 径1.1 孔径0.4 重量3.58g	ユビオサエのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～0.8 焼成良好 橙色2.5YR7/6	
198	1区		第1包含層 O－2	土師質 管状土錘	残存長2.2 径0.9 孔径0.2 重量1.45g	ユビオサエ・ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 橙色2.5YR6/6	
199	1区		第1包含層 Q－20、1	土師質 管状土錘	残存長2.9 径1.5 孔径0.5 重量5.13g	ナデ	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成やや不良 橙色5YR6/6	磨耗気味
200	2区	SD1001		陶器 皿	底径5.3 残存高0.8 底部の1/4	内外面回転ナデ、下端外面回転ヘラケズリ、底部外面回転糸切り	良好、石・長、0.1～6　焼成良好 内：灰褐色5YR4/2 外：黄灰色2.5Y4/1	反転復元 近世備前焼 Ⅲ
201	2区	SI1001 SI1002	水田面	陶器 碗	残存高3.0 口縁の一部	ロクロナデのち外面呉須絵付けのち内外面施釉	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：黄緑10YG7.5	断面実測 内外面釉に貫入あり 近世肥前系

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
202	2区	SI1001 SI1002	水田面	染付 皿か碗	残存高1.6 口縁の一部	内外面ロクロナデのち外面呉須絵付けのち内外面施釉	精良　焼成良好 釉：緑みの白14BG8.5/1S 素地：灰白色 N7/0	断面実測 内面釉に貫入あり 近世肥前系

第45表　大原遺跡1区出土遺物観察表　木製品

掲載番号	調査区	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	樹　種	法量(cm) 残存率	備　　考
3	1区	SK1002		木製食事具 箸	－	22.2×0.7×0.7	完形 全面を多角形に削り、棒状に形成 下部を細く円錐状に削る
4	1区	SK1002		木製食事具か 箸か	－	22.3×0.7×0.7	ほぼ完形か 全面を多角形に削り、棒状に形成
16	1区	SD1001		木製食事具か 箸か	－	26.7×0.8×0.7	ほぼ完形か（下端少し欠損） 全面を多角形に削り、棒状に形成 上部は円形、中部は楕円形
22	1区	SX1001		木製服飾具 下駄	－	22.1×11.2×5.7	ほぼ完形だが全体的に磨滅している 長方形の下駄、左足用か

庄境遺跡

遺構一覧表　遺物観察表

第46表　庄境遺跡掘立柱建物一覧表

遺構番号	グリッド		構造(間) 東西×南北	※規模(m)		※面積 (㎡)	主軸方向	柱穴数	備　　考
	中	小		東西	南北				
SA1001	ε－Ⅱ	f･g 15	2×2	3.2	4.2	13.4	N0°WE	6	側柱建物

第47表　庄境遺跡検出遺構一覧表　掘立柱建物　柱穴

遺構番号		旧遺構番号	グリッド		規模(cm)		出　土　遺　物	備　　考
			中	小	径	深度		
SA1001	EP01	SP1047	ε－Ⅱ	f 15	36	30	土師供・甕、須恵、瓦椀	
	EP02	SP1052	ε－Ⅱ	g 15	31	8	土師供・煮、瓦皿	
	EP03	SP1050	ε－Ⅱ	g 15	28	24	土師供	
	EP04	SP1067	ε－Ⅱ	f 15	66	20	－	
	EP05	SP1048	ε－Ⅱ	f 15	50	18	土師供・煮	
	EP06	SP1049	ε－Ⅱ	g 15	43	22	土師供、須恵杯・壺	

第48表　庄境遺跡検出遺構一覧表　土坑

遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)			出　土　遺　物	備　　考
		中	小	長軸	短軸	深度		
SK1001	SP1072	ε－Ⅱ	e 14	89	71	31	土師供・甕	
SK1002	SP1075	ε－Ⅱ	f 14	91	65	24	弥生甕か、土師供	
SK1003	SP1077	ε－Ⅱ	f 14	75	65	11	－	
SK1004	SK1013	ε－Ⅱ	g 13	194	124	8	土師杯・皿・甕、須恵杯・壺・甕、瓦椀、須質捏か	
SK1005	SK1001	ε－Ⅱ	f 14	130	95	20	土師杯、須恵、瓦椀	
SK1006	SK1002	ε－Ⅱ	f 14･15	(159)	(105)	21	土師杯、須恵	SX1001･SK1005･SA1001 EP1が切る
SK1007	SK1003	ε－Ⅱ	e･f 15	90	82	17	土師、須恵	
SK1008	SK1004	ε－Ⅱ	f 15	393	311	34	土師、須恵杯、備前擂	
SK1009	SK1005	ε－Ⅱ	f 14･15	183	98	12	土師、須恵杯・蓋・甕	
SK1010	SK1006	ε－Ⅱ	f･g 14･15	148	85	24	土師杯・甕、須恵杯・瓶か（把手）、瓦椀、須質捏・甕、灰釉皿、青碗	
SK1011	SK1022	ε－Ⅱ	g 14	132	76	14	－	
SK1012	SK1007	ε－Ⅱ	g 15	114	103	22	土師、須恵、瓦椀	
SK1013	SK1012	ε－Ⅱ	e 16	190	59	11	土師杯・皿・甕、須恵甕、瓦椀	
SK1014	SK1011	ε－Ⅱ	e･f 16	167	98	18	土師杯、須恵杯	
SK1015	SK1010	ε－Ⅱ	f 16	114	75	18	土師、須恵	
SK1016	SK1008	ε－Ⅱ	f 15･16	156	110	22	土師蓋	
SK1017	SK1023	ε－Ⅱ	g 15･16	181	80	10	土師甕、須恵貯	
SK1018	SK1016	ε－Ⅱ	g 17	175	95	12	土師杯・皿・甕	
SK1019	SK1009	ε－Ⅱ	h 17	(105)	(34)	18	－	東側溝が切る
SK1020	SK1014	ε－Ⅱ	i 12･13	108	91	43	土師供・杯・皿（赤）・甕・壺、鉄製刀子	
SK1021	SK1015	ε－Ⅱ	i 13	110	72	6	土師杯・皿・煮	
SK1022	SK1020	ε－Ⅱ	j 12	116	97	15	土師杯・皿（赤）・甕、製塩、須恵供	
SK1023	SK1021	ε－Ⅱ	j 12･13	95	92	27	土師杯・煮・甕、黒椀（A）	
SK1024	SK1017	ε－Ⅱ	j 14	163	118	14	土師杯・皿・甕、製塩、須恵供	
SK1025	SK1018	ε－Ⅱ	j 15	133	96	16	土師杯・皿・甕、須恵供	

第49表　庄境遺跡検出遺構一覧表　溝

遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)			主軸	出　土　遺　物	備　　考
		中	小	長さ	幅	深度			
SD1001	SD1013	ε－Ⅱ	f～h 16	(923)	130	17	N10°W	土師供（赤ほか）・杯・皿・煮・甕、須恵杯・貯・甕・蓋、土質羽・加工円盤、黒椀・瓦椀、近世陶磁瀬戸供	中途で途切れる
SD1002	SD1014	ε－Ⅱ	f･g 15～17	(970)	146	14	N90°WE	土師供・杯・皿・煮、須恵供・貯・蓋・瓶	SP1081を含む 中途で途切れる
SD1003	SD1015	ε－Ⅱ	f 14	(197)	55	37	N25°W	土師供・煮、鉄釘か	

第50表　庄境遺跡検出遺構一覧表　不明遺構

遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)			出　土　遺　物	備　　考
		中	小	長軸	短軸	深度		
SX1001	SX1001	ε－Ⅱ	f 14･15	360	243	22	土師杯・皿・甕、須恵杯・甕、瓦椀、灰釉、白磁皿	SK1009・SP1019が切る
SX1002	SX1002	ε－Ⅱ	d 13･14	(600)	(240)	25	土師甕、須恵杯・蓋・甕、土質土錘、近世陶磁無釉焼締	南西を側溝で切られている

第51表　庄境遺跡検出遺構一覧表　柱穴

遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)		出　土　遺　物	備　　考
		中	小	径	深度		
SP1001	SP1035	ε－Ⅱ	e 13	32	15	土師供	
SP1002	SP1038	ε－Ⅱ	d 14	29	17	－	
SP1003	SP1037	ε－Ⅱ	d･e 14	34	20	土師供、須恵甕	
SP1004	SP1036	ε－Ⅱ	e 14	39	21	青碗	
SP1005	SP1039	ε－Ⅱ	e 14	28	19	土師供	
SP1006	SP1069	ε－Ⅱ	d 15	62	22	土師杯・皿（いずれも赤ほか）・甕、須恵供・甕	
SP1007	SP1070	ε－Ⅱ	d･e 15	54	14	土師甕、須恵杯、土質杯・皿（いずれも回糸）、瓦椀	
SP1008	SP1071	ε－Ⅱ	e 16	44	19	土師供・甕、須恵供、瓦椀か	
SP1009	SP1033	ε－Ⅱ	e 13	36	40	土師供・甕、須恵甕	
SP1010	SP1034	ε－Ⅱ	e 13	41	52	土師供・煮、須恵甕	
SP1011	SP1073	ε－Ⅱ	e 14	34	17	土師供・甕	

遺構番号	旧遺構番号	グリッド		規模(cm)		出土遺物	備考
		中	小	径	深度		
SP1012	SP1040	ε－Ⅱ	e 14	30	19	土師供・煮	
SP1013	SP1045	ε－Ⅱ	f 14	40	11	黒か	
SP1014	SP1044	ε－Ⅱ	f 14	49	19	土師供・煮、瓦椀	
SP1015	SP1042	ε－Ⅱ	f 14	30	14	須恵壺	
SP1016	SP1041	ε－Ⅱ	e·f 14	28	11	土師供	SP1017が切る
SP1017	SP1074	ε－Ⅱ	e 14	28	11	土師、瓦椀か	
SP1018	SP1043	ε－Ⅱ	f 14	39	14	－	
SP1019	SP1076	ε－Ⅱ	f 14	59	11	土師供、土製羽（播磨）、瓦質三脚釜	
SP1020	SP1031	ε－Ⅱ	f 13	30	12	土師供、瓦椀	
SP1021	SP1032	ε－Ⅱ	f 13	27	29	土師供	
SP1022	SP1046	ε－Ⅱ	f 14	27	23	土師供	
SP1023	SP1099	ε－Ⅱ	f 14	42	13	－	
SP1024	SP1078	ε－Ⅱ	f 14	56	32	土師供・杯・煮、製塩	
SP1025	SP1080	ε－Ⅱ	g 14	44	32	土師供・甕、白碗	
SP1026	SP1060	ε－Ⅱ	g 14	54	13	土師供・甕	
SP1027	SP1059	ε－Ⅱ	g 14	37	7	土師供、瓦椀か	
SP1028	SP1058	ε－Ⅱ	g 14	25	11	土師供、須恵蓋、瓦椀か	
SP1029	SP1057	ε－Ⅱ	g 14	35	7	須恵供、瓦椀か	
SP1030	SP1056	ε－Ⅱ	g 14	43	5	土師か、瓦椀	
SP1031	SP1054	ε－Ⅱ	g 15	34	16	土師供、瓦椀	
SP1032	SP1053	ε－Ⅱ	g 15	47	22	土師杯・煮、須恵貯	
SP1033	SP1051	ε－Ⅱ	f·g 15	36	22	土師供・煮	SK1012が切る
SP1034	SP1068	ε－Ⅱ	f 16	45	26	－	東側は検出できず
SP1035	SP1082	ε－Ⅱ	f 16	82	16	－	SD1001が切る
SP1036	SP1096	ε－Ⅱ	g 16	73	9	土師杯・皿・甕	SK1017が切る
SP1037	SP1084	ε－Ⅱ	f 17	63	16	－	
SP1038	SP1065	ε－Ⅱ	g 17	39	15	土師	
SP1039	SP1064	ε－Ⅱ	g 16·17	34	22	土師供・甕、須恵甕	
SP1040	SP1097	ε－Ⅱ	g 17	76	23	－	
SP1041	SP1063	ε－Ⅱ	g 16	45	18	近世陶磁、瓦	
SP1042	SP1061	ε－Ⅱ	g 16	38	24	土師供・甕	
SP1043	SP1062	ε－Ⅱ	h 16	30	22	－	
SP1044	SP1066	ε－Ⅱ	h 17	33	25	瓦椀か	
SP1045	SP1030	ε－Ⅱ	g 13	35	11	土師煮	
SP1046	SP1029	ε－Ⅱ	g 13	69	11	土師供・甕	
SP1047	SP1028	ε－Ⅱ	g 12	49	22	土師甕、瓦椀	
SP1048	SP1087	ε－Ⅱ	h 12	32	10	土師供（赤）	
SP1049	SP1007	ε－Ⅱ	h 12·13	53	14	土師、須恵円面硯、須質捏	
SP1050	SP1086	ε－Ⅱ	h·i 12	35	23	土師供・甕、須恵	
SP1051	SP1021	ε－Ⅱ	i 12	32	16	土師甕	
SP1052	SP1022	ε－Ⅱ	i 12	43	13	土師	SP1021が切る
SP1053	SP1088	ε－Ⅱ	i 12	31	16	土師供	
SP1054	SP1089	ε－Ⅱ	i 12	32	21	土師供・杯（回ヘラ）・煮、須恵供・貯	
SP1055	SP1019	ε－Ⅱ	i 12	35	18	土師	
SP1056	SP1024	ε－Ⅱ	i 13	34	41	土師杯・皿（いずれも赤ほか）・甕	
SP1057	SP1091	ε－Ⅱ	i·j 13	60	39	土師杯・皿・椀（いずれも赤）・甕、製塩、須恵貯、黒椀A	
SP1058	SP1005	ε－Ⅱ	i·j 11	30	11	土師	
SP1059	SP1004	ε－Ⅱ	j 12	52	5	土師	
SP1060	SP1017	ε－Ⅱ	i 12	40	8	－	
SP1061	SP1018	ε－Ⅱ	i 12	39	13	土師供、製塩	
SP1062	SP1094	ε－Ⅱ	j 11·12	60	30	土師供・煮、製塩	
SP1063	SP1003	ε－Ⅱ	j·k 11	41	18	土師杯・皿（いずれも赤ほか）・甕、黒椀（A）	
SP1064	SP1001	ε－Ⅱ	k 11	55	13	製塩	
SP1065	SP1009	ε－Ⅱ	j 13	51	7	土師鍋	
SP1066	SP1027	ε－Ⅱ	j·k 14	54	29	土師杯・皿（いずれも赤ほか）・甕、製塩、須恵杯	北半分を撹乱が切る
SP1067	SP1010	ε－Ⅱ	k·l 13	47	14	土師甕	
SP1068	SP1012	ε－Ⅱ	l 13	59	18	土師杯・皿（いずれも赤ほか）、製塩、須恵蓋、黒椀（A）	
SP1069	SP1090	ε－Ⅱ	j 15	66	58	土師杯・皿・甕、製塩、須恵杯・甕、瓦椀	
SP1070	SP1026	ε－Ⅱ	k 15	29	13	土師供	
SP1071	SP1025	ε－Ⅱ	k 15	29	10	土師供	
SP1072	SP1016	ε－Ⅱ	l 15	48	13	－	
SP1073	SP1015	ε－Ⅱ	l 15	42	18	須恵甕	
SP1074	SP1013	ε－Ⅱ	l 14	62	9	土質土錘	
SP1075	SP1079	ε－Ⅱ	f·g 13	47	8	土師供・甕	

第52表　庄境遺跡出土遺物観察表　土器・陶磁器

掲載番号	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
1	SA1001 EP2		瓦器 Ⅲ	口径9.0 底径7.9 器高2.0 全体の2/3	外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、底部外面ユビオサエのちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR6/3 外：黒褐色10YR3/1	一部反転復元 内外面炭素吸着やや不良 酸化炎焼成 和泉型瓦器かⅢ－1～2期併行か 12C後葉～13C初頭
2	SA1001 EP2		瓦器 Ⅲ	口径8.9 残存高1.4 口縁～体部下位の1/7	外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成不良 内：褐灰色10YR4/1 外：黒褐色10YR3/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 酸化炎焼成 和泉型瓦器かⅢ－1～2期併行か 12C後葉～13C初頭
3	SA1001 EP6		須恵器 杯	口径12.8 残存高3.6 口縁～体部下位の1/10	内外面回転ナデ、口縁・体部境に沈線2条	良好、長・黒、0.1～1　焼成良好 内：青灰色5PB5/1 外：青灰色5B5/1	反転復元 7C前葉～中葉
4	SK1008		須恵器 杯	口径12.0 底径8.1 器高4.0 ほぼ完形 口縁の一部を欠く	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・花か、0.1～5　焼成良好 内・外：灰色N6/0	
5	SK1008		須恵器 杯か	口径14.4 残存高2.5 口縁の1/11	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成やや不良 内：灰白色7.5Y8/1 外：灰白色7.5Y7/1	反転復元 内外面磨耗気味
6	SK1009		須恵器 蓋	口径18.2 残存高1.6 口縁の1/14	内外面回転ナデ	良好、石・長・チ、0.1～5.5 焼成やや不良 内：灰白色7.5Y7/1 外：灰色7.5Y5/1	反転復元 内外面磨耗気味
7	SK1009		須恵器 杯	口径14.6 残存高2.6 口縁の1/15	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成やや不良 内：灰色N4/0 外：青灰色5B5/1	反転復元
8	SK1009		須恵器 甕	残存高12.0 体部下位の一部	外面格子タタキ（3条/cm）のち部分的にカキメ、内面同心円状当具痕	良好、石・長、0.1～2.2　焼成良好 内・外：灰色N6/0	断面実測
9	SK1010		灰釉陶器 Ⅲ	底径7.8 高台高0.8 残存高1.4 底部の1/5	内外面回転ナデ、底部外面高台貼付のち回転ナデ	精良、石・長、0.1～0.6　焼成良好 内・外：灰白色N7/0	反転復元 底部内面滑らか、使用によるものか 釉の塗布、付着はみられない 9C前半か
10	SK1010		須恵器 瓶か	残存高1.9 把手部の一部	把手部ナデ、体部内面回転ナデ	精良、石、0.1～0.6　焼成良好 内：青灰色5B5/1 外：暗青灰色5B4/1	断面実測 体部の厚みから中型の瓶類に付く
11	SK1010		青磁 碗	残存高2.0 口縁の一部	ロクロナデのち体部外面ヘラ片彫蓮弁文施文のち内外面施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG7.5/3S 素地：灰白色7.5Y8/1	断面実測 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－5類 13C初頭～前半
12	SK1014		土師器 杯	口径11.5 底径6.5 器高2.9 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
13	SK1014		須恵器 杯	口径9.0 受部径11.0 残存高1.6 口縁の1/7	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色N6/0	反転復元 7C前葉～中葉
14	SK1014		須恵器 杯	口径17.0 残存高2.9 口縁の1/9	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～0.8　焼成良好 内：灰白色5Y7/1 外：灰色5Y6/1	反転復元 内面ごくわずかに自然釉付着
15	SK1016		土師器 蓋	口径19.2 残存高2.0 口縁の1/13	内外面ヨコナデ	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色2.5YR6/8	反転復元 8C後半か
16	SK1020		土師器 Ⅲ	口径17.8 残存高1.8 口縁の1/14	内外面ヨコナデ	良好、石・長・結・赤、0.1～2 焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：赤橙色10R6/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9C～10C初頭か
18	SK1023		土師器 杯	口径15.7 残存高2.3 口縁～体部の1/20	内外面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：橙色5YR6/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 小片のため口径・傾きは不正確
19	SK1023		黒色土器 （A類） 椀	口径13.0 残存高1.9 口縁～体部の1/13	外面ヨコナデ、口縁内面ヨコナデ、体部内面ヨコナデのち斜方向のヘラミガキ（幅0.15cm以上）	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～4.5　焼成良好 内：黒色5Y2/1 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内面炭素吸着良好 9～10C代か
20	SD1001		須恵器 杯	口径10.9 残存高3.4 口縁～体部の1/5	内外面回転ナデ	良好、石・長・黒、0.1～2 焼成良好 内：黄灰色2.5Y6/1 外：灰オリーブ色5Y5/2	反転復元 内外面自然釉付着 胎土は粒子が粗くザラつく
21	SD1001		須恵器 甕	口径17.0 頸径15.1 残存高6.6 口縁～頸部の1/6	口縁～頸部内外面回転ナデ、体部外面格子タタキ、体部内面同心円状当具痕	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：灰色5Y6/1 外：灰白色5Y7/1	反転復元
22	SD1001		土師質土器 加工円盤	長さ3.0 幅3.0 厚さ1.0 重量7.81g	側面を研削整形し、円盤状に作る	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：橙色5YR7/8 外：橙色7.5YR7/6	土師質土器片（杯か）の転用 内外面磨耗により調整不明瞭
23	SD1002		土師器 Ⅲ	口径12.6 底径9.4 器高1.5 全体の1/3	内外面ヨコナデ、底部外面ナデ	良好、石・長・結、0.1～13 焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR7/3 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内外面赤彩あり 内外面磨耗により調整不明瞭
24	SD1002		須恵器 瓶か	口径8.8 残存高3.9 口縁の1/8	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～2　焼成良好 内：灰色7.5Y6/1 外：灰白色5Y7/1	反転復元 口縁内面に自然釉付着

掲載番号	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
25	SX1001		土師器 甕	口径22.4 頸径19.1 残存高5.8 口縁～頸部の1/6	口縁内外面・頸部外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（4条/cm）・ヨコナデ、頸部内面ヨコハケのちヨコナデ、体部内面ヨコハケ（5条/cm）のちタテハケ（5条/cm）	粗、石・長・赤・花、0.1～4　焼成不良 内・外：にぶい黄橙色10YR6/4	反転復元 外面に煤付着 8C後半～9C代
26	SX1001		須恵器 甕	残存高10.2 体部中位の一部	外面格子タタキのちカキメ、内面無文当具痕のちヨコ板ナデ（幅不明）	良好、石・長、0.1～3　焼成不良 内：橙色7.5YR6/6 外：橙色7.5YR7/6	断面実測 復元体部最大径27.6cm
27	SX1001		須恵器 甕	残存高6.3 体部中位の一部	外面擬格子タタキ（3条/cm）のち回転ナデ、内面無文当具痕のち回転ナデ	精良、石・長・黒、0.1～2　焼成良好 内：灰色N5/0 外：灰色5Y5/1	断面実測 平安時代
28	SX1002		須恵器 蓋	口径12.0 残存高3.4 口縁～天井部の1/4	外面回転ナデ・ナデ、内面回転ナデ	精良、石・長・泥か、0.1～3　焼成やや不良 内・外：灰白色N7/0	反転復元 7C中葉か
29	SX1002		須恵器 杯	口径14.0 残存高4.6 口縁～体部下位の1/15	内外面回転ナデ	粗、石・長、0.1～2　焼成やや不良 内：灰黄色2.5Y6/2 外：灰黄色2.5Y7/2	反転復元 小片のため口径・傾きは不正確 8C末～9C代か
30	SX1002		須恵器 高台付杯か 皿	底径11.3 高台高0.5 残存高1.5 底部の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち高台貼付のちナデ	良好、石・長・黒、0.1～2　焼成良好 内：灰白色N7/0 外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 9C前半か
31	SX1002		土師器 甕	口径15.6 頸径12.8 残存高5.5 口縁～体部上位の1/2	口縁～頸部外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（4条/cm）、内面ヨコハケ（4条/cm）	粗、石・長・赤、0.1～3　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR6/3 外：にぶい赤褐色5YR5/4	反転復元、一部合成 8C後半～9C代
32	SX1002		須恵器 甕	残存高9.5 体部中位の一部	外面格子タタキのちナデか、内面同心円状当具痕のちナデか	精良、石・長、0.1～5　焼成良好 内：灰色N6/0 外：灰色N5/0	断面実測 タタキ・当具痕ともに不明瞭、ナデ消しによるものか 平安時代（9C）頃か
33	SP1007		須恵器 高台付杯か 皿	底径10.8 高台高0.5 残存高1.3 底部の1/5	内外面回転ナデ、底部外面高台貼付のちナデ	精良、石・長、0.1～0.6　焼成良好 内：オリーブ灰色2.5GY6/1 外：暗オリーブ灰色2.5GY4/1	反転復元 内外面磨耗気味 8C後葉～9C前葉か
34	SP1024		土師器 杯	口径16.4 残存高4.2 口縁～体部下位の1/6	内外面回転ナデか	良好、石・長・赤・金、0.1～3　焼成やや不良 内・外：橙色2.5YR6/8	反転復元 微細な石英粒目立つ 小片のため口径・傾きは不正確
35	SP1025		白磁 碗	口径16.4 残存高4.2 口縁～体部下位の1/6	ロクロナデのち体部下位外面タテヘラケズリ、のち内外面施釉	精良　焼成良好 釉：灰白色7.5Y7/1 素地：灰白色5Y7/1 胎土に微細な黒斑あり	反転復元 外面釉とびあり 大宰府白磁碗Ⅳ類 11C後半～12C前半
36	SP1032		土師器 杯	口径16.7 残存高3.2 口縁～体部下位の1/8	外面ヨコナデ、口縁内面ヨコナデ、体部内面ヨコナデのち放射状ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長・結・赤、0.1～0.5　焼成やや不良 内：明赤褐色2.5YR5/6 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 平城Ⅳ期か
37	SP1049		須恵器 円面硯	口径13.0 鍔径14.1 脚端径18.7 器高10.0 全体の2/3	内外面回転ナデ、陸部ナデ、脚部に透かし孔8カ所	精良、石・長、0.1～2　焼成良好 内・外：灰色N5/0	一部反転復元 陸部は使用による磨耗著しい 脚部に方形の透かし孔は8カ所、幅・高さ・間隔は不規則 透かし孔穿孔時の粘土はみ出しは削り取る 9C前後
38	SP1056		土師器 皿	口径14.6 底径12.0 器高1.4 全体の1/6	内外面ヨコナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～1.5　焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9C後半か
39	SP1056		土師器 皿か	口径16.0 残存高2.0 口縁～体部の1/16	内外面ヨコナデ	良好、石・長・結か・赤、0.1～1.5　焼成良好 内：灰黄褐色10YR6/2 外：にぶい黄橙色10YR6/3	反転復元 9C後半か
40	SP1056		土師器 杯	口径14.1 残存高1.5 口縁の1/16	内外面回転ナデ	良好、石・長・赤、0.1～1.5 焼成やや不良 内：明赤褐色5YR5/6 外：橙色5YR6/6	反転復元 内外面磨耗気味 内外面とも赤彩あり
41	SP1056		土師器 杯	口径11.8 残存高2.3 口縁～体部下位の1/12	内外面ヨコナデのちナデ	良好、石・結・赤、0.1～2.5 焼成良好 内・外：橙色7.5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面とも赤彩あり
42	SP1057		土師器 杯	口径13.4 残存高2.3 口縁～体部下位の1/10	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～0.6　焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：橙色5R7/6	反転復元 微細な石英粒目立つ 小片のため口径・傾きは不正確
43	SP1057		土師器 杯	口径13.4 残存高1.8 口縁～体部の1/15	内外面ヨコナデか	良　好、石・結、0.1～4　焼成良好 内：明赤褐色2.5YR5/6 外：にぶい赤褐色2.5YR5/4	反転復元 内外面とも赤彩あり 小片のため口径・傾きは不正確
44	SP1057		土師器 杯か	口径13.4 残存高1.4 口縁の1/13	外面ヨコナデ、内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長・結、0.1～1.2 焼成良好 内・外：明赤褐色2.5YR5/6	反転復元 内外面とも赤彩あり
45	SP1057		土師器 杯か	口径13.6 残存高1.6 口縁～体部の1/10	内外面ヨコナデ	精良、石・長・赤・絹、0.1～1　焼成良好 内：明赤褐色2.5YR5/6 外：淡橙色5YR8/4	反転復元 内面赤彩あり、外面確認できず
46	SP1063		土師器 皿	口径15.6 底径12.0 器高1.4 全体の1/8	内外面ヨコナデ、底部内外面ナデか	良好、石・長・結、0.1～2 焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：橙色7.5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面赤彩わずかに残る

掲載番号	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
47	SP1063		土師器 杯	口径14.4 残存高2.4 口縁～体部の1/8	内外面ヨコナデ	良好、石・長・結・赤、0.1～2 焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9C～10C代か
48	SP1063		土師器か 杯	口径14.4 残存高2.6 口縁～体部の1/7	内外面ヨコナデ	良好、石・長・結・赤、0.1～4 焼成良好 内：橙色7.5YR7/6 外：橙色5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9C～10C代か
49	SP1063		土師器 杯	口径11.7 残存高2.4 口縁～体部の1/8	内外面ヨコナデ	良好、石・結・赤、0.1～1 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9C～10C代か
50	SP1063		黒色土器か (A類) 椀	口径12.8 残存高3.3 口縁～体部下位の1/10	内外面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～1.4　焼成良好 内：黄灰色2.5Y4/1 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内面炭素吸着の痕跡あり 9～10C代か
51	SP1066		須恵器 高台付杯か 皿	底径11.0 高台高0.6 残存高1.5 底部の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち高台貼付	良好、石・長・結、0.1～4 焼成やや不良 内：灰白色5Y7/1 外：灰色5Y6/1	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 8C末～9C前半か
52	SP1068		須恵器 蓋	口径14.3 残存高1.4 口縁～天井部の1/16 つまみ部を欠く	内外面回転ナデ、天井部外面回転ヘラケズリ	粗、石・長、0.1～1　焼成不良 内・外：灰黄色2.5Y7/2	反転復元 9C前半か
53	SP1068		黒色土器 (A類) 椀	口径16.1 残存高3.0 口縁～体部下位の1/8	外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・ナデのちヨコ方向のヘラミガキ (幅0.15cm)	精良、石・長・結、0.1～1 焼成良好 内：オリーブ黒5Y3/1 外：橙色7.5YR6/6	反転復元 内面炭素吸着やや不良 内外面磨耗により調整不明瞭 9～10C代か
54	SP1069		須恵器 杯	口径14.0 残存高2.7 口縁～体部下位の1/16	内外面回転ナデ	精良、石・長・黒、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：灰白色5Y7/1	反転復元 口縁内外面わずかに炭素付着、重焼痕か 小片のため口径・傾きは不正確 8C末～9C前葉か
55	SP1073		須恵器 甕	残存高13.5 体部中位の一部	外面格子タタキ、内面同心円状当具痕	粗、石・長・赤・花、0.1～2　焼成不良 内：浅黄橙色7.5YR8/3 外：浅黄橙色10YR8/3	断面実測 酸化炎焼成 外面わずかに炭素付着
56		第1包含層	弥生土器 壺	口径15.0 頸径11.1 残存高5.3 口縁～頸部の1/9	口縁内外面～体部外面ヨコナデ、体部内面ユビオサエのちナデ	精良、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元 広口壺
57		第1包含層	土師器 皿	口径24.7 底径20.2 器高2.1 全体の1/7	内外面ヨコナデのちナデ、底部外面回転ヘラケズリ	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～7　焼成やや不良 内・外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内外面赤彩あり 平城Ⅳ～Ⅴ　8C後半
58		第1包含層	土師器 皿	口径13.9 底径10.4 器高1.4 全体の1/10	内外面ヨコナデ、底部外面ナデか	精良、石・長・結・絹、0.1～2　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR6/3 外：にぶい黄橙色10YR6/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9～10C前半
59		第1包含層	土師器 皿	口径13.4 底径10.0 器高2.1 全体の1/7	内外面ヨコナデか、底部外面回転ヘラケズリか	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～2　焼成やや不良 内・外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 9～10C前半
60		第1包含層	土師器 皿	口径14.0 底径10.6 器高1.8 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・結・絹、0.1～10　焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 9～10C前半
61		第1包含層	土師器 皿	口径23.0 底径20.0 器高1.9 全体の1/7	内外面ヨコナデ、底部外面ナデ	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～2　焼成やや不良 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9～10C前半
62		第1包含層	土師器 皿	口径16.8 底径13.6 器高1.9 全体の1/5	内外面ヨコナデ、底部外面磨滅不明	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～6　焼成やや不良 内・外：明赤褐色5YR5/6	反転復元 内面赤彩あり 内外面磨耗により調整不明瞭 9～10C前半
63		第1包含層	土師器 皿	口径13.8 底径9.6 器高1.7 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・花か、0.1～5 焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 9～10C前半
64		第1包含層	土師器 皿	口径15.2 底径11.5 器高1.4 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・結・絹、0.1～0.8　焼成良好 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：灰黄褐色10YR6/2	反転復元 外面に赤彩あり 9～10C前半
65		第1包含層	土師器 皿	口径13.0 底径9.0 器高1.7 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長・結・赤・絹、0.1～3　焼成良好 内：明赤褐色2.5YR5/6 外：橙色2.5YR6/8	反転復元 底部外面に刻書あり 内外面赤彩あり 9～10C前半
66		第1包含層	土師器 皿	口径13.0 底径9.0 器高1.6 全体の1/2	外面ヨコナデ、底部外面回転ヘラ切り、内面磨滅不明	良好、石・長・結・赤、0.1～4 焼成やや不良 内：浅黄橙色7.5YR8/4 外：浅黄橙色10YR8/3	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9～10C前半
67		第1包含層	土師器 皿	口径13.6 底径10.2 器高1.3 全体の1/17	内外面ヨコナデ、底部外面ナデか	良好、石・長・結、0.1～4 焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：橙色7.5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9～10C前半
68		第1包含層	土師器 皿	口径13.2 底径9.2 器高1.4 全体の1/6	内外面ヨコナデか	良好、石・長・赤、0.1～2 焼成良好 内：にぶい赤褐色2.5YR5/4 外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 内外面赤彩あり 9～10C前半
69		第1包含層	土師器 皿	口径14.0 底径8.2 器高1.7 全体の1/5	内外面ヨコナデ	良好、石・長・結・絹、0.1～5　焼成良好 内・外：浅黄橙色10YR8/4	反転復元 9～10C前半
70		第1包含層	土師器 皿	口径14.2 底径8.5 器高2.0 全体の1/4	外面磨滅不明、内面ナデか	精良、石・長・結・赤、0.1～1 焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9～10C前半

掲載番号	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
71		第1包含層	土師器 皿	口径14.5 底径12.0 器高1.5 全体の1/8	内外面回転ナデか、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・結、0.1～3 焼成やや不良 内・外：にぶい黄橙色10YR 6/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9～10C前半
72		第1包含層	土師器 皿	口径13.8 残存高1.1 口縁の1/8	内外面ヨコナデ	良好、石・結・絹、0.1～0.5 焼成やや不良 内・外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内面赤彩あり、外面はみられない、磨耗によるものか 9～10C前半
73		第1包含層	土師器 皿か	底径8.8 残存高1.3 底部の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか	良好、石・長、0.1～4　焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：橙色7.5YR7/6	反転復元 9～10C前半
74		第1包含層	土師器 皿	口径9.0 底径7.3 器高1.3 全体の1/4	内外面ヨコナデか、底部外面ナデか	良好、石・長・結・絹、0.1～4　焼成やや不良 内・外：橙色7.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 底部外面に刻書あり「＃」か 内外面赤彩あり 9～10C前半
75		第1包含層	土師器 高台付皿	口径18.0 底径9.2 高台高0.9 器高3.9 全体の1/3	内外面ヨコナデ、底部外面高台貼付のちナデ	良好、石・結・赤、0.1～5 焼成やや不良 内・外：橙色5YR6/8	反転復元 9～10C前半
76		第1包含層	土師器 杯	口径12.4 残存高2.6 口縁～体部の1/5	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）、体部内面ヨコナデのち部分的にヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）のち放射状ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長・金、0.1～1　焼成良好 内・外：明赤褐色2.5YR5/8	反転復元 7C代 TK217型式併行期か
77		第1包含層	土師器 杯	口径15.4 残存高2.8 口縁～体部の1/16	口縁外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデのちヘラケズリ（幅不明）、内面ヨコナデのち放射状ヘラミガキ暗文（幅0.5～1.0cm）	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成良好 内：橙色5YR6/6 外：橙色2.5YR6/6	反転復元 小片のため口径・傾きは不正確 8C中葉～末
78		第1包含層	土師器 杯	口径18.5 残存高3.9 口縁～体部の1/16	外面ヨコナデ、口縁内面ヨコナデ、体部内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）か	良好、石・長・金、0.1～0.5 焼成やや不良 内：赤褐色5YR4/6 外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元 小片のため口径・傾きは不正確 内外面磨耗により調整不明瞭 8C中葉～末
79		第1包含層	土師器 杯	口径20.2 残存高4.3 口縁～体部の1/10	内外面ヨコナデ、体部下位外面ヘラケズリ、体部内面放射状ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良好、石・長・結・赤、0.1～0.5　焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 8C中葉～末
80		第1包含層	土師器 杯	口径22.0 残存高3.4 口縁～体部の1/17	口縁外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、内面不明	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：橙色2.5YR6/6 外：明赤褐色2.5YR5/8	反転復元 小片のため口径・傾きは不正確 内外面剥離・磨耗により調整不明瞭 8C中葉～末
81		第1包含層	土師器 杯	底径13.2 残存高3.1 底部の1/7	体部外面ヨコナデ・ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、底部外面ヘラケズリのちヘラミガキ（幅0.5～0.8cm）、内面ヨコナデのち放射状ヘラミガキ暗文（幅0.05～0.1cm）	良　好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：明赤褐色5YR5/6	反転復元 8C中葉～末
82		第1包含層	土師器 杯	底径12.1 残存高1.1 底部の1/4	外面ヨコ方向のヘラミガキ、内面ナデのち放射状ヘラミガキ暗文	良　好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：明赤褐色5YR5/6	反転復元 小片のため径は不正確 8C中葉～末
83		第1包含層	土師器 杯	口径11.8 底径7.1 器高3.3 全体の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長・泥か・チか、0.1～3　焼成良好 内・外：にぶい黄橙色10YR 7/3	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9～10C前半
84		第1包含層	土師器 杯	口径11.8 底径7.8 器高2.7 口縁～体部下位の1/6	内外面ヨコナデか、底部外面回転ヘラ切りか	良好、石・長・結、0.1～5 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR6/4 外：橙色5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9～10C前半
85		第1包含層	土師器 杯	口径12.6 底径8.0 器高2.9 全体の1/5	内外面回転ナデ	良好、石・長・結、0.1～3 焼成良好 内：橙色7.5YR6/6 外：橙色5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9～10C前半
86		第1包含層	土師器 杯	口径14.2 底径10.0 器高2.8 全体の1/6	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良　好、石・結、0.1～7　焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 9～10C前半
87		第1包含層	土師器 杯	口径14.6 底径10.5 器高2.6 口縁～体部下位の1/10	内外面ヨコナデか	良好、石・長・結、0.1～3 焼成良好 内：にぶい橙色5YR6/4 外：橙色5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9～10C前半
88		第1包含層	土師器 杯	口径12.2 残存高2.3 口縁～体部の1/3	内外面ヨコナデ	良好、石・長・結・泥、0.1～2　焼成やや不良 内・外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内外面に赤彩あり 内外面磨耗により調整不明瞭 9～10C前半
89		第1包含層	土師器 杯	口径12.4 残存高2.0 口縁～体部の1/11	内外面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～0.6　焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR7/4 外：橙色2.5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 9～10C前半
90		第1包含層	土師器 杯	口径13.4 残存高2.1 口縁～体部の1/8	内外面ヨコナデか	良好、石・長・赤、0.1～1 焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 9～10C前半
91		第1包含層	土師器 杯	口径13.0 残存高2.8 口縁～体部の1/10	内外面ヨコナデ	精良、石・長・結、0.1～2 焼成やや不良 内・外：にぶい橙色5YR6/4	反転復元 内外面赤彩あり 9～10C前半
92		第1包含層	土師器 杯	口径16.4 残存高3.6 口縁～体部の1/6	内外面回転ナデ	良好、石・長・花、0.1～3　焼成良好 内：橙色2.5YR7/6 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 9～10C前半

掲載番号	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
93		第１包含層	土師器 椀	口径17.4 残存高4.1 口縁～体部の1/6	内外面ヨコナデか	精良、石・長・結・赤・絹、0.1～２　焼成やや不良 内：橙色5YR6/6 外：橙色5YR7/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内面赤彩あり ９～10C 前半
94		第１包含層	土師器 椀	口径14.4 残存高3.4 口縁～体部の1/7	内外面ヨコナデ	良好、石・長・結・赤、0.1～２ 焼成良好 内・外：橙色2.5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 ９～10C 前半
95		第１包含層	土師器 高台付椀	底径7.0 高台高0.8 残存高2.6 底部の1/8	体部外面ヨコナデのち一部ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1～0.2cm）、底部外面高台貼付のちナデ、内面ヨコナデのちナデ	精良、石・結、0.1～0.5　焼成やや不良 内・外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内面見込みもヘラミガキの可能性あり ９～10C 前半
96		第１包含層	土師器 鉢か椀	口径20.0 残存高4.4 口縁～体部の1/10	内外面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.1cm）	精良、石・長、0.1～１　焼成良好 内：橙色5YR7/8 外：橙色5YR6/8	反転復元 内外面剥離・磨耗により調整不明瞭
97		第１包含層	土師器 甕	口径13.6 頸径11.0 残存高4.3 口縁～頸部の1/10	内外面ヨコナデか	粗、石・長・赤、0.1～３　焼成やや不良 内：橙色5YR6/8 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 外面煤付着付着 ７C代
98		第１包含層	土師器 甕か	口径18.8 残存高2.7 口縁の1/13	口縁外面～内面ヨコナデ、頸部外面ヨコナデのち斜ハケ（６条/cm）	精良、石・長・金、0.1～0.5 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR6/4 外：にぶい黄橙色10YR7/4	反転復元 ７C代
99		第１包含層	土師器 甕	口径16.8 頸径15.4 残存高6.2 口縁～体部上位の1/8	口縁内外面ヨコナデ、頸部外面ヨコハケ（３条/cm）、体部外面タテハケ（５条/cm）、頸部～体部内面ヨコハケ（６条/cm）	粗、石・長・結・赤、0.1～３ 焼成やや不良 内：にぶい赤褐色5YR5/4 外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元 ８～10C代か
100		第１包含層	土師器 甕	口径18.8 頸径15.8 残存高6.2 口縁～頸部の1/5	外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・ハケ（５条/cm）	粗、石・長・結か・砂・泥、0.1～５　焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：にぶい橙色5YR7/4	反転復元、一部合成 ８～10C代か
101		第１包含層	土師器 甕	口径16.0 頸径14.0 体部最大径14.2 残存高6.8 口縁～体部中位の1/10	口縁～頸部外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（３条/cm）、内面磨滅不明	粗、石・長・赤、0.1～６　焼成不良 内：浅黄色2.5Y7/4 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 内面磨耗により調整不明瞭 ８～10C代か
102		第１包含層	土師器 甕	口径16.6 頸径14.7 残存高4.4 口縁～体部上位の1/10	口縁端部～頸部外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（７条/cm）、内面ヨコハケ（６条/cm）	良好、石・長・赤・砂、0.1～４　焼成良好 内：橙色5YR7/6 外：橙色2.5YR6/6	反転復元 ８～10C代か
103		第１包含層	土師器 甕	口径19.7 頸径17.8 体部最大径19.4 残存高10.2 口縁～体部中位の1/6	口縁～頸部外面ヨコナデ・ユビナデ、体部外面タテハケ（５～６条/cm）、口縁～頸部内面ヨコナデのちヨコハケ（５条/cm）、体部内面ヨコ板ナデ	粗、石・長・金・角、0.1～２ 焼成良好 内：褐色7.5YR4/4 外：褐色7.5YR4/6	反転復元、一部合成 ８～10C代か
104		第１包含層	土師器 甕	口径26.0 頸径23.0 残存高3.1 口縁～頸部の1/23	外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・ハケ（４条/cm）	粗、石・長・赤・泥、0.1～４ 焼成不良 内：にぶい黄褐色10YR5/3 外：にぶい橙色7.5YR6/4	反転復元 小片のため径は不正確 ８～10C代か
105		第１包含層	土師器 甕	口径32.0 残存高2.7 口縁の1/8	外面ヨコナデか、内面ヨコハケ（５条/cm）	粗、石・長・結・赤、0.1～11 焼成やや不良 内：橙色2.5YR6/6 外：明赤褐色2.5YR5/8	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 小片のため口径・傾きは不正確 ８～10C代か
106		第１包含層	土師器 甕	口径26.8 残存高3.3 口縁の1/21	内外面ヨコナデ	良好、石・長、0.1～２　焼成良好 内：明褐色7.5YR5/6 外：明赤褐色2.5YR5/6	反転復元 ８～10C代か
107		第１包含層	土師器 甕	口径27.1 残存高2.8 口縁～頸部の1/17	外面ヨコナデ、内面ヨコナデのちハケ（４条/cm）	良好、石・長・結、0.1～３ 焼成良好 内：明赤褐色5YR5/6 外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元 ８～10C代か
108		第１包含層	土師器 甕	口径20.7 頸径16.6 残存高4.1 口縁～体部上位の1/14	口縁端部～頸部外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（５条/cm）、口縁～頸部内面ヨコハケ（５条/cm）、体部内面タテハケ（５条/cm）	粗、石・長・赤、0.1～２　焼成不良 内：暗灰黄色2.5Y5/2 外：にぶい黄褐色10YR5/3	反転復元 小片のため口径・傾きは不正確 ８～10C代か
109		第１包含層	土師器 甕	口径24.6 頸径20.9 残存高9.3 口縁～体部上位の1/7	口縁～頸部内外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（４条/cm）、体部内面ヨコ板ナデ（幅1.2cm）	良好、石・長・金・花、0.1～４　焼成良好 内：橙色5YR7/6 外：にぶい橙色5YR6/4	反転復元 ８～10C代か
110		第１包含層	土師器 甕	口径27.0 頸径23.0 残存高5.4 口縁～体部上位の1/15	口縁端部～頸部外面ヨコナデ、体部外面タテハケ（３条/0.5cm）、口縁～頸部内面ヨコハケ（５条/cm）、体部内面ヨコハケ（７条/cm）	粗、石・長・結、0.1～６　焼成良好 内：橙色2.5YR6/8 外：明赤褐色2.5YR5/6	反転復元、一部合成 ８～10C代か
111		第１包含層	土師器 甕	口径22.9 頸径20.3 残存高4.7 口縁～体部上位の1/16	内外面ヨコナデか	粗、石・長・結、0.1～5.5 焼成不良 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：にぶい橙色7.5YR7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 ８～10C代か

掲載番号	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	法量(cm) 残存率	技法	胎土、含有物、法量(mm) 焼成 色調	備考
112		第1包含層	土師器 甕	口径30.0 頸径26.7 残存高4.3 口縁～体部上位の1/11	口縁外面～内面ヨコナデ、体部外面ヨコナデのちユビオサエか	粗、石・長・赤・チ、0.1～2 焼成良好 内：にぶい黄橙色10YR7/2 外：橙色2.5YR6/6	反転復元 8～10C代か
113		第1包含層	土師器 甕	口径29.0 頸径24.2 残存高4.0 口縁～頸部の1/10	口縁外面ヨコナデ、頸部外面タテハケ（5条/cm）、口縁～頸部内面ヨコナデのちヨコ板ナデ（幅1.5cm）、体部内面ヨコ板ナデ（幅不明）	粗、石・長・赤・金・花、0.1～4　焼成良好 内：にぶい褐色7.5YR5/3 外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元 体部外面煤付着付着 8～10C代か
114		第1包含層	土師器 鍋	口径39.2 頸径33.0 残存高7.8 口縁～体部上位の1/13	口縁端部ヨコナデのち沈線2条、内外面ヨコナデ	良好、石・結・赤・絹・砂、0.1～5　焼成やや不良 内：浅黄橙色7.5YR8/4 外：橙色7.5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 8～10C代か
115		第1包含層	土師器 甑	口径24.6 残存高12.5 口縁～体部の1/30	外面タテハケ（5条/cm）、把手部貼付・ユビオサエ、内面ヨコハケ（5条/cm）	良好、石・長・赤・花、0.1～3　焼成良好 内：浅黄橙色10YR8/4 外：にぶい赤褐色5YR5/3	反転復元
116		第1包含層	土師器 壺	口径13.6 頸径12.9 残存高5.9 口縁～体部上位の1/8	内外面ヨコナデか	粗、石・長・赤、0.1～4　焼成やや不良 内：浅黄橙色10YR8/4 外：淡橙色5YR8/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 小片のため傾きは不正確
117		第1包含層	土師器 竈	残存高8.9 廂部分の一部	ヨコナデ・ナデ	粗、石・長・結・赤、0.1～4 焼成良好 内・外：にぶい橙色7.5YR6/4	
118		第1包含層	黒色土器 （A類） 椀	口径13.4 残存高2.3 口縁～体部の1/12	外面ヨコナデ、内面ヨコナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：黒褐色2.5Y3/1 外：橙色7.5YR6/6	反転復元 内面～口縁外面炭素吸着良好 9～10C代か
119		第1包含層	黒色土器 （A類） 椀	底径6.9 高台高0.6 残存高2.2 底部の1/5	体部外面ヨコナデ、底部外面高台貼付のちヨコナデ・ナデ、内面ナデのちヘラミガキ（幅0.1～0.3cm）	精良、石・長・結、0.1～0.5 焼成良好 内：オリーブ黒5Y3/1 外：にぶい褐色7.5YR5/4	反転復元 内面炭素吸着良好 9～10C代か
120		第1包含層	黒色土器 （A類） 椀	底径7.8 高台高0.9 残存高2.0 底部の1/4	体部外面ヨコナデ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ヘラミガキ（幅0.3cm）	精良、石・長・結、0.1～2 焼成良好 内：黒褐色10YR3/1 外：にぶい黄橙色10YR7/4	反転復元 内面炭素吸着良好 高台内側一部炭素付着 底部外面に刻書あり 9～10C代か
121		第1包含層	須恵器 蓋	口径11.8 器高4.5 全体の1/3	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 TK217 飛鳥Ⅱ　7C第2四半期
122		第1包含層	須恵器 蓋	口径10.4 残存高3.8 口縁～天井部の1/3	内外面回転ナデ、天井部外面回転ヘラケズリ	精良、石・長、0.1～0.8　焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰色 N5/0	反転復元 飛鳥Ⅲ　7C中頃か
123		第1包含層	須恵器 蓋	口径13.0 残存高3.2 口縁～体部の1/10	内外面回転ナデ、天井部外面回転ヘラケズリ	良好、石・長、0.1～2　焼成良好 内：灰色 N5/0 外：灰色 N4/0	反転復元 7C前葉～中葉
124		第1包含層	須恵器 蓋	口径13.0 残存高2.5 口縁～体部の1/10	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～3　焼成やや不良 内・外：灰色 N6/0	反転復元 飛鳥Ⅲ　7C中頃か
125		第1包含層	須恵器 蓋	口径10.8 残存高2.8 口縁～体部の1/13	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰白色 N7/0 外：灰色 N6/0	反転復元 飛鳥Ⅲ　7C中頃か
126		第1包含層	須恵器 蓋	口径11.2 かえり部径9.0 残存高1.9 口縁～体部の1/12	内外面回転ナデ	良好、石・長・角か、0.1～2 焼成やや不良 内：灰白色7.5Y7/1 外：灰色7.5Y6/1	反転復元 飛鳥Ⅲ～平城Ⅰ　7C中頃～8C初頭
127		第1包含層	須恵器 蓋	口径16.8 つまみ部径3.3 器高3.4 全体の1/4	口縁～体部外面・内面回転ナデ、天井部外面回転ヘラケズリ、つまみ部貼付のち回転ナデ	良好、石・長、0.1～1　焼成不良 内：灰白色 N7/0 外：灰白色7.5Y7/1	一部反転復元 8～9C代
128		第1包含層	須恵器 蓋	残存高1.7 体部～天井部の1/8	天井部外面回転ヘラケズリ、体部内外面回転ナデ、天井部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長、0.1～0.6　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 天井部外面につまみ部剥離痕あり 8～9C代
129		第1包含層	須恵器 蓋	口径15.2 残存高1.9 口縁～体部の1/8	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～0.4　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y4/1	反転復元 8C末～9C中頃か
130		第1包含層	須恵器 蓋	口径15.0 残存高1.4 口縁～体部の1/9	内外面回転ナデ	良好、石・長・泥か、0.1～1 焼成良好 内：灰色5Y4/1 外：暗黄灰色2.5Y5/2	反転復元 8～9C代
131		第1包含層	須恵器 蓋	口径18.4 かえり部径17.9 残存高1.5 口縁～天井部の1/8	口縁～体部外面・内面回転ナデ、天井部外面回転ヘラケズリ	精良、石・長、0.1～1　焼成良好 内：灰白色 N7/0 外：灰色 N6/0	反転復元 8～9C代
132		第1包含層	須恵器 蓋	口径15.8 残存高1.7 口縁～天井部の1/8	内外面回転ナデ、天井部内面回転ナデのちナデ	粗、石・長・結、0.1～5　焼成良好 内・外：灰白色 N7/0	反転復元 8C末～9C前半か
133		第1包含層	須恵器 蓋	口径16.8 残存高1.2 口縁の1/10	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～0.5　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 9C前半か

掲載番号	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	法量(cm) 残存率	技法	胎土、含有物、法量(mm) 焼成 色調	備考
134		第1包含層	須恵器 蓋	口径16.0 残存高1.4 口縁～体部の1/10	内外面回転ナデ	良好、石・長・砂か、0.1～1 焼成良好 内・外：灰白色2.5Y8/2	反転復元 8～9C代
135		第1包含層	須恵器 蓋	口径14.0 残存高1.8 口縁～体部の1/13	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1 焼成やや不良 内：灰白色5Y7/1 外：灰色5Y6/1	反転復元 8～9C代
136		第1包含層	須恵器 蓋	つまみ部径2.1 残存高2.1 つまみ部のみ完存	天井部内外面回転ナデ、つまみ部貼付のち回転ナデ	良好、長、0.1～2 焼成良好 内：灰色5Y6/1 外：灰黄色2.5Y6/2	8～9C代
137		第1包含層	須恵器 蓋	つまみ部径2.4 残存高1.4 つまみ部のみ完存	天井部外面回転ナデかのちつまみ部貼付、天井部内面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1 焼成良好 内：灰褐色7.5YR5/2 外：灰色5Y4/1	8～9C代
138		第1包含層	須恵器 蓋	つまみ部径2.4 残存高1.6 つまみ部の9/10	天井部外面回転ナデのちつまみ部貼付、内面回転ナデ	精良、石・長、0.1～0.5 焼成良好 内・外：灰色N6/0	一部反転復元 低位上部内面に同心円状当具痕がナデ消されずに残っている 8～9C代
139		第1包含層	須恵器 杯	口径10.6 受部径13.0 底径6.0 残存高3.6 口縁～体部下位の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリ	良好、石・長・泥か、0.1～1.5 焼成良好 内：灰白色N7/0 外：灰色N5/0	反転復元 7C代 TK217型式併行期か
140		第1包含層	須恵器 杯	口径11.0 受部径13.0 残存高2.1 口縁～体部下位の1/10	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1.5 焼成やや不良 内：灰白色2.5Y7/1 外：灰白色2.5Y8/2	反転復元 7C前葉～中葉
141		第1包含層	須恵器 杯	口径14.8 底径9.3 器高5.6 全体の1/8	口縁～体部外面回転ナデ、体部下位外面回転ヘラケズリ、底部外面回転ヘラ切り、内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ	良好、石・長、0.1～1 焼成良好 内・外：灰色N4/0	反転復元 平城Ⅰまたはそれ以前、8C初頭頃
142		第1包含層	須恵器 杯	口径11.8 残存高3.5 口縁～体部の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリのち回転ナデ	精良、石・長、0.1～1 焼成良好 内：灰色N6/0 外：灰色5Y5/1	反転復元 外面自然釉わずかに付着 9C頃か
143		第1包含層	須恵器 杯	口径13.2 残存高3.4 口縁～体部の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか	良好、石・長、0.1～2 焼成やや不良 内：灰色5Y6/1 外：灰白色5Y7/1	反転復元 外面磨耗により調整不明瞭 8C末～9C前半か
144		第1包含層	須恵器 杯	口径13.8 底径9.4 器高3.0 全体の1/7	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りか	良好、石・長・泥、0.1～3 焼成不良 内：淡黄色2.5Y8/3 外：浅黄色2.5Y7/4	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 酸化炎焼成気味 9C中頃か
145		第1包含層	須恵器 杯	口径13.6 底径8.6 器高4.8 ほぼ完存 口縁の一部欠損	内外面回転ナデ、底部外面ナデ・ユビオサエ、底部内面ユビオサエのち回転ナデ	精良、石・長、0.1～1.5 焼成やや不良 内：灰色N6/0 外：灰色N5/0	8C末～9C前半か
146		第1包含層	須恵器 杯	口径14.3 残存高3.8 口縁～体部の1/9	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリか	精良、石・長・黒、0.1～1.5 焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 9C前半～中頃か
147		第1包含層	須恵器 杯	口径12.5 底径9.0 器高3.3 全体の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長、0.1～2 焼成やや不良 内：灰黄褐色10YR5/2 外：黒褐色10YR3/2	反転復元 8～9C代
148		第1包含層	須恵器 高台付杯	口径14.4 底径10.0 高台高0.8 器高4.7 全体の1/8	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち高台貼付	精良、石・長、0.1～1 焼成やや不良 内：灰色5Y6/1 外：灰色5Y5/1	反転復元
149		第1包含層	須恵器 高台付杯	口径11.6 底径6.3 高台高0.8 器高4.8 全体の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち高台貼付	精良、石・長、0.1～2 焼成良好 内・外：灰色7.5Y6/1	反転復元 平安Ⅰ期以降 9C中頃
150		第1包含層	須恵器 杯	口径11.9 残存高3.9 口縁～体部下位の1/8	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～1 焼成良好 内・外：灰色5Y6/1	反転復元 8C末～9C前半か
151		第1包含層	須恵器 杯	口径15.0 残存高2.9 口縁～体部の1/11	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～2 焼成良好 内・外：灰色N5/0	反転復元 8C末～9C中頃か
152		第1包含層	須恵器 杯	底径9.7 残存高2.8 底部の1/5	内外面回転ナデ、底部外面ナデか	精良、石・長、0.1～1 焼成良好 内：青灰色5B5/1 外：青灰色5B6/1	反転復元
153		第1包含層	須恵器 杯	底径10.5 底部の1/4 残存高2.7	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り	良好、石・長、0.1～1 焼成やや不良 内・外：灰白色N7/0	反転復元 8C末～9C前半か
154		第1包含層	須恵器 高台付杯か 皿	底径10.2 高台高0.7 残存高3.1 底部～体部下位の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち高台貼付・回転ナデ	良好、石・長・泥、0.1～1 焼成やや不良 内：灰黄色2.5Y6/2 外：灰白色5Y7/1	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭
155		第1包含層	須恵器 高台付杯か 皿	底径13.2 高台高0.6 残存高1.9 底部の1/7	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち高台貼付・ヨコナデ	良好、石・長、0.1～1 焼成良好 内：灰白色5Y7/1 外：灰白色N7/0	反転復元
156		第1包含層	須恵器 高台付杯か 皿	底径11.6 高台高0.5 残存高1.3 底部の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち高台貼付	良好、石・長、0.1～5 焼成良好 内・外：灰色5Y6/1	反転復元 8C末～9C前半のいずれか
157		第1包含層	須恵器 高台付杯か 皿	底径13.3 高台高0.5 残存高1.5 底部の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち高台貼付のちナデ	良好、石・長、0.1～3 焼成不良 内：橙色7.5YR7/6 外：灰白色7.5Y7/1	反転復元 内面酸化炎焼成

掲載番号	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
158		第１包含層	須恵器 高台付杯か 皿	底径10.0 高台高0.6 残存高1.5 底部～体部下位の1/5	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち高台貼付のちナデ	良好、石・長・赤、0.1～２ 焼成やや不良 内：にぶい黄橙色10YR6/4 外：灰黄色2.5Y7/2	反転復元 内面酸化炎焼成
159		第１包含層	須恵器 高台付杯か 皿	底径11.2 高台高0.5 残存高1.1 底部の1/9	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち高台貼付・ナデ	良　好、石・長、0.1～２　焼成良好 内：灰色 N5/0 外：灰色5Y5/1	反転復元 体部外面わずかに自然釉付着
160		第１包含層	須恵器 高台付杯か 皿	底径9.5 高台高0.6 残存高1.8 底部の1/7	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち高台貼付	良　好、石・長、0.1～２　焼成良好 内・外：灰色7.5Y6/1	反転復元
161		第１包含層	須恵器 高台付杯か 皿	底径9.3 高台高0.6 残存高1.5 底部の1/7	底部外面回転ヘラ切りのち高台貼付のちヨコナデ、内面回転ナデ	良　好、石・長、0.1～２　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 内外面やや磨耗気味
162		第１包含層	須恵器 高台付杯か 皿	底径10.3 高台高0.7 残存高2.7 底部の1/4	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち高台貼付	良　好、石・長、0.1～２　焼成良好 内：明オリーブ灰色2.5GY7/1 外：灰色 N6/0	反転復元
163		第１包含層	須恵器 高台付杯か 皿	底径11.1 高台高0.9 残存高2.3 底部の1/2	内外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち高台貼付のちヨコナデ	良好、石・長・角、0.1～１ 焼成良好 内：灰白色 N7/0 外：灰色 N6/0	反転復元
164		第１包含層	須恵器 高杯	残存高3.8 杯底部～脚上部の1/2	調整不明	良好、石・長・赤、0.1～３ 焼成不良 内・外：オリーブ黒7.5Y3/1	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素付着 瓦質焼成気味 ７Ｃ前半
165		第１包含層	須恵器 壺	口径10.4 頸径8.8 残存高3.5 口縁～頸部の1/8	内外面回転ナデ	良　好、石・長、0.1～１　焼成良好 内・外：黄灰色2.5Y6/1	反転復元 外面わずかに自然釉付着
166		第１包含層	須恵器 壺	口径11.7 残存高1.8 口縁の1/10	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～0.5　焼成良好 内：灰黄色2.5Y6/2 外：灰色7.5Y4/1	反転復元
167		第１包含層	須恵器 瓶	口径12.6 残存高6.1 口縁の1/20	内外面回転ナデ	精良、石・長・黒、0.1～２　焼成堅緻 内：灰黄色2.5Y7/2 外：にぶい黄2.5Y6/3	反転復元 平瓶か 内面に自然釉付着 ９Ｃか
168		第１包含層	須恵器 壺か瓶	口径12.8 頸径10.2 残存高4.6 口縁～頸部の1/7	内外面ヨコナデ・ナデ	精良、石・長・黒、0.1～３　焼成良好 内：灰黄色2.5Y7/2 外：灰白色 N7/0	反転復元 口径の大きい平瓶か ９Ｃ頃か
169		第１包含層	須恵器 壺	頸径7.2 残存高10.2 頸部の1/5	内外面回転ナデ	精良、石・長、0.1～1.2　焼成良好 内・外：灰色10Y5/1	反転復元 長頸壺 外面の一部に自然釉付着
170		第１包含層	須恵器 壺	体部最大径22.2 残存高6.4 体部中位の1/5	内外面回転ナデ、体部下位外面回転ヘラケズリ	精　良、石・長、0.1～３　焼成良好 内：灰色 N5/0 外：灰色 N4/0	反転復元 肩部外面に自然釉付着 ８Ｃ後半以降
171		第１包含層	須恵器 壺	底径6.4 高台高0.7 残存高2.6 底部の1/2	内外面ヨコナデ、底部外面回転ナデのち高台貼付・ヨコナデ	良　好、石・長、0.1～２　焼成良好 内：灰色 N6/0 外：灰色 N5/0	反転復元 内外面のヨコナデは指頭による強いヨコナデ ８Ｃ前半か
172		第１包含層	須恵器 壺	底径12.0 高台高0.9 残存高2.3 底部の1/9	体部外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリのち高台貼付のち回転ナデ、体部内面回転ナデ・ナデ、底部内面板ナデ（幅1.0cm）	良　好、石・長、0.1～１　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 ８Ｃ前半か
173		第１包含層	須恵器 壺	体部最大径18.3 底径10.1 高台高0.8 残存高18.5 頸部～底部の2/3	体部内外面回転ナデ、底部外面高台貼付のちナデ、底部内面ユビオサエ・ナデ	精　良、石・長、0.1～１　焼成良好 内：灰色 N6/0 外：オリーブ灰色2.5GY6/0	一部合成、一部反転復元 長頸壺 底部内面径約4.8cmの円形に自然釉付着 体部上位外面自然釉付着 ８Ｃ前半か
174		第１包含層	須恵器 甕	残存高4.4 口縁の一部	外面回転ナデのち櫛描波状文（10条/1.5cm）２単位、内面回転ナデ	精良、石・長・角か・黒、0.1～３　焼成良好 内：灰白色5Y7/1 外：灰黄色2.5Y6/2	断面実測 内外面わずかに自然釉付着 ８Ｃ代か
175		第１包含層	須恵器 甕	口径25.0 頸径20.2 残存高6.7 口縁～頸部の1/6	内外面回転ナデ	良好、石・長、0.1～4.5　焼成良好 内：灰色 N5/0 外：灰色 N4/0	反転復元 ８Ｃ代か
176		第１包含層	須恵器 甕	口径25.8 残存高4.5 口縁～頸部の1/9	外面回転ナデのちヨコヘラケズリ、内面回転ナデ	精良、石・長、0.1～0.6　焼成良好 内：オリーブ灰色2.5GY6/1 外：灰色 N6/0	反転復元 内面に自然釉付着 ８Ｃ代か
177		第１包含層	須恵器 甕	口径33.8 残存高3.7 口縁～頸部の1/20	内外面回転ナデ	精　良、石・長、0.1～３　焼成良好 内：灰白色5Y7/1 外：灰色5Y6/1	反転復元 小片のため口径・傾きは不正確 ８Ｃ代か
178		第１包含層	須恵器 甕	口径37.4 残存高4.9 口縁の1/15	外面回転ナデのち沈線２条、内面回転ナデ	良　好、石・長、0.1～１　焼成良好 内：灰色7.5Y6/1 外：灰色 N4/0	反転復元 内面わずかに自然釉付着 ８Ｃ代か
179		第１包含層	須恵器 甕	残存高14.5 体部下位の一部	外面擬格子タタキのち部分的に板ナデ（幅不明）、内面同心円状当具痕	良　好、石・長、0.1～２　焼成やや不良 内：灰白色7.5Y7/1 外：灰白色5Y7/1	断面実測 格子タタキであるが、タテ・ヨコの幅が異なるため、一見平行タタキに見える（擬格子）
180		第１包含層	須恵器 鉢	口径16.0 体部最大径17.2 残存高6.7 口縁～体部の1/12	内外面回転ナデ	良　好、石・長、0.1～２　焼成良好 内・外：灰色 N6/0	反転復元 金属器写しの器形 ８Ｃ前半か

掲載番号	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
181		第１包含層	緑釉陶器 Ⅲ	口径13.6 底径6.4 高台高0.6 器高2.0 全体の2/3	内外面回転ナデ、底部外面削り出し円盤状高台	良好、石、0.1～5　焼成不良 内：浅黄色2.5Y7/3 外：灰白色2.5Y8/2	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 釉は確認できない 口縁内外面わずかに炭素付着 土師質焼成 含有物法量大きい ９Ｃ前半か
182		第１包含層	灰釉陶器 Ⅲ	口径13.6 残存高1.6 口縁の1/12	内外面回転ナデのち施釉	精 良、石・長、0.1～１　焼成良好 内・外：灰黄色2.5Y6/2	反転復元 釉に細かい貫入あり
183		第１包含層	灰釉陶器 碗	口径10.8 残存高3.0 口縁～体部の1/11	内外面回転ナデのち施釉	精 良、石・長、0.1～２　焼成良好 釉：うすい黄8Y8.5/3S 素地：にぶい黄橙色10YR7/2	反転復元 釉きわめて薄く、ヨコ方向の細い筋状に残るが、剥離によるものかは不明
184		第１包含層	灰釉陶器 碗か皿	底径8.3 高台高1.1 残存高1.8 底部の1/8	内外面回転ナデ、底部外面高台貼付のちヨコナデ、内面施釉のち底部内面蛇ノ目釉ハギか	精良、石、0.1～１　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y6.5/3S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 O53窯式～H72窯式か、10C前半～11C初頭
185		第１包含層	灰釉陶器 碗か皿	底径10.0 高台高1.3 残存高1.9 底部の1/12	内外面回転ナデ、底部外面高台貼付、底部内面施釉のち蛇ノ目釉ハギ、底部外面露胎	精 良、石・長、0.1～１　焼成やや不良 内・外：灰白色2.5Y7/1	反転復元
186		第１包含層	灰釉陶器 碗か皿	底径5.9 高台高1.0 残存高1.4 底部の1/2	外面回転ナデのち高台貼付、内面回転ナデのち施釉	良 好、石・長、0.1～２　焼成良好 釉：にぶい黄緑10YG6.5/5S 素地：灰白色 N7/0	反転復元 釉に細かい貫入あり 斑状のムラがある
187		第１包含層	灰釉陶器 碗か皿	底径7.5 高台高0.8 残存高1.8 底部の1/5	内外面回転ナデのち施釉、底部外面高台貼付のちナデ、底部内面蛇ノ目釉ハギ	精良、石・長、0.1～0.6　焼成良好 釉：あさい黄みのブラウン6yo5.5/5S 素地：灰色5Y6/1	反転復元
188		第１包含層	灰釉陶器 碗か皿	底径9.0 高台高0.7 残存高1.3 底部の1/13	外面回転ナデのち高台貼付、内面回転ナデのち施釉、底部中央は露胎	精良、石・長・微細な黒、0.1～１　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1	反転復元 底部外面は露胎、底部内面は施釉、中央は露胎であるがごく薄く釉が残存しており、掻き取りによるものか
189		第１包含層	灰釉陶器 碗か皿	底径5.6 高台高0.8 残存高2.0 底部の1/3	内外面回転ナデ、底部外面回転ナデのち高台貼付、内面～高台外面まで施釉	良好、長、0.1～１　焼成良好 釉：グレイみの黄8Y7.5/3S 素地：灰白色5Y7/1	反転復元 釉に細かい貫入あり 高台と体部外面境に焼成時の割れあり
190		第１包含層	土師質土器 杯	口径13.8 底径8.0 器高2.5 全体の1/20	内～口縁外面ヨコナデ、体部～底部外面ユビオサエのちナデ	良好、石・長・赤・金・角、0.1～１　焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 金雲母やや多く含む 京都系土師器Ⅲ Ｄタイプの搬入または模倣
191		第１包含層	土師質土器 羽釜	口径21.4 鍔径23.1 残存高3.2 口縁～鍔部の1/9	口縁～鍔部内外面ヨコナデ、体部内外面ヨコナデ・ナデ	良好、石・長・赤、0.1～１ 焼成良好 内・外：浅黄橙色7.5YR8/6	反転復元 長谷川編年播磨型Ⅳ期 15C後半～16C初頭
192		第１包含層	須恵質土器 甕	口径22.6 頸径20.0 残存高3.9 口縁～頸部の1/10	口縁外面～内面ヨコナデ、体部外面平行タタキ（４条/cm）のちナデ	良 好、石・長、0.1～２　焼成不良 内：にぶい黄橙色10YR7/3 外：にぶい黄橙色10YR6/3	反転復元 酸化炎焼成気味 東播系須恵質土器甕 森田編年第Ⅰ期第２段階か 11C後半～12C前半
193		第１包含層	須恵質土器 捏鉢	口径28.8 残存高6.2 口縁～体部の1/10	口縁内外面回転ナデのちナデ、体部外面回転ナデ・ユビオサエ・ナデ、体部内面回転ナデのちヨコ板ナデ（幅1.5cm以上）	良好、石・長、0.1～2.5　焼成やや不良 内・外：灰黄色2.5Y7/2	反転復元 東播系須恵質土器捏鉢 森田編年第Ⅱ期第２段階～第Ⅲ期第１段階 12C末～13C後半
194		第１包含層	瓦器 椀	口径15.4 残存高3.7 口縁～体部下位の1/8	口縁外面ユビオサエのちヨコナデ・ヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、体部外面ユビオサエのちナデ、口縁内面ヨコナデ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良 好、石・長、0.1～１　焼成やや不良 内：灰白色2.5Y7/1 外：黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 和泉型Ⅲ－２期 12C末～13C初頭
195		第１包含層	瓦器 椀	口径14.6 底径4.2 高台高0.1 器高3.8 全体の2/3	口縁外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、底部外面高台貼付のちナデ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）、底部内面ナデのち平行ヘラミガキ暗文（幅0.1cm）	良 好、石・長、0.1～３　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	内外面炭素吸着良好 磨耗・剥離により調整不明瞭 和泉型Ⅲ－３期 13C前葉
196		第１包含層	瓦器 椀	口径15.6 残存高3.2 口縁～体部下位の1/8	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良 好、石・長、0.1～２　焼成やや不良 内：灰白色5Y7/1 外：灰黄褐色10YR6/2	反転復元 内外面磨耗により調整不明瞭 内外面炭素吸着不良 和泉型Ⅲ－３期 13C前葉
197		第１包含層	瓦器 椀	口径15.2 残存高2.8 口縁～体部の1/13	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2cm）	良 好、石・長、0.1～１　焼成良好 内・外：オリーブ黒5Y3/1	反転復元 内外面炭素吸着やや不良 酸化炎焼成気味 和泉型Ⅲ－３期前後か 13C前葉
198		第１包含層	瓦器 椀	口径14.6 残存高2.6 口縁～体部下位の1/6	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ナデ	良好、石・長・黒、0.1～２　焼成やや不良 内：灰白色2.5Y8/1 外：灰白色2.5Y7/1	反転復元 内外面炭素吸着なし 酸化炎焼成気味 内外面磨耗により調整不明瞭 ヘラミガキ確認できない 和泉型Ⅲ－３期前後か 13C前葉
199		第１包含層	瓦器 椀	口径14.8 残存高3.9 口縁～体部下位の1/10	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ナデのちヨコ方向のヘラミガキ（幅0.2～0.3cm）	良 好、石・長、0.1～１　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 内外面磨耗により調整不明瞭
200		第１包含層	瓦器 椀	底径4.4 高台高0.4 残存高0.7 底部の1/4	底部外面高台貼付のちナデ、底部内面ナデのちヘラミガキ（幅0.2cm）連結輪状か	良 好、石・長、0.1～１　焼成良好 内・外：灰色 N4/0	反転復元 内外面炭素吸着良好 紀伊型の可能性あり 和泉型Ⅲ－３期前後 13C前葉

掲載番号	遺構番号	出土地点 出土層位	器　種	法量(cm) 残存率	技　　法	胎土、含有物、法量(mm) 焼　成 色　調	備　　考
201		第１包含層	瓦質 擂鉢	口径25.8 残存高7.1 口縁～体部中位の1/8	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ユビオサエ、体部内面ヨコナデ・ナデのち擂目（３条/1.2cm）	粗、石・長・赤・泥か・チ、0.1～２　焼成不良 内･外:黄灰色2.5Y5/1	反転復元 内外面炭素吸着不良 在地産か
202		第１包含層	陶器 擂鉢	口径26.8 残存高4.3 口縁の1/10	口縁内外面～体部内面回転ナデ、体部外面回転ナデのちタテ板ナデ（幅1.0cm以上）	良 好、石・長、0.1～６　焼成良好 内・外：黒褐色2.5Y3/2	反転復元 備前焼 重根編年Ⅳ Ａ－１期 14C 中葉
203		第１包含層	陶器 甕	口径40.0 残存高7.5 口縁～頸部の1/10	内外面ヨコナデのちナデ	良 好、石・長、0.1～３　焼成良好 内・外：灰色 N5/0	反転復元 口縁外面にハケ状の擦痕あり 口縁端部・体部外面に自然釉付着 備前焼 重根編年Ⅳ Ｂ期か 15C 代
204		第１包含層	陶器 甕	残存高16.5 体部中位の一部	外面ナデのちタテ板ナデ（幅不明）のち押印文、内面ヨコナデのち斜板ナデ（幅不明）	良 好、石・長、0.1～６　焼成良好 内：にぶい褐色7.5YR5/3 外：赤褐色10R4/4	断面実測 常滑焼か 型式不明 12C 後半～14C 代か
205		第１包含層	白磁 碗	口径15.4 残存高2.6 口縁～体部上位の1/16	ロクロナデのち施釉	精良　焼成良好 釉：黄みの白10YG8.5/1S 素地：灰白色 N8/0	反転復元 大宰府分類白磁碗Ⅳ類 11C 後半～12C 前半
206		第１包含層	青磁 皿	口径9.8 残存高1.5 口縁～体部下位の1/8	ロクロナデのち内面見込み部分櫛描き文施文、のち内外面施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG6.5/3S 素地：灰白色2.5Y7/1	反転復元 口縁部磨耗により釉が削れ素地が見える、二次使用によるものか 体部外面の凸部も磨耗気味 大宰府分類龍泉窯系青磁皿Ⅰ－２類か 12C 中頃～後半
207		第１包含層	青磁 碗	底径4.9 高台高0.8 残存高3.6 底部～体部下位の1/3	ロクロナデのち高台削り出し、体部外面ヘラ片彫による鎬蓮弁文施文、底部内面草花文か、内面～高台外面まで施釉、一部畳付におよぶ釉は掻き取り	精良　焼成良好 釉：グレイみのオリーブグリーン8Y5.5/3S 素地：灰白色5Y6/1	反転復元 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－５ｃ類 13C 中葉～14C 初頭
208		第１包含層	青磁 碗	底径5.6 高台高0.7 残存高2.2 底部の1/2	内外面ロクロナデのち高台削り出し、内面～底部外面途中まで施釉	精良　焼成良好 釉：グレイみの黄緑10YG7.5/3S 素地：灰白色10YR8/1	反転復元 畳付部の釉薄い、掻き取りのためか 釉に貫入あり 破面の一部磨耗、二次使用によるものか 大宰府分類龍泉窯系青磁碗Ⅰ－１類 12C 中頃～後半
209		第１包含層	青白磁 合子	口径6.0 受け部径4.8 底径3.6 器高2.0 ほぼ完存	体部外面型押し、口縁端部～内面ロクロナデ、底部外面回転ヘラケズリのちナデ、のち内面・体部上位外面施釉	精良　焼成良好 釉：うすい青みの緑14BG8.5/3S 素地：灰白色2.5Y8/2	釉に細かい貫入あり
210		第１包含層	鞴 羽口	復元径約7.0		粗､石・長・赤・石灰､0.1～６ 焼成やや不良 内：橙色7.5YR7/6 外：灰色10Y6/1	外面被熱により硬化
211		第１包含層	土師質 有孔土錘	残存長5.2 径2.3 孔径0.5 重量26.03g 全体の1/2	ユビオサエ・ナデ、焼成前穿孔１カ所	良好､石・長・赤・泥か､0.1～２　焼成やや不良 浅黄橙色10YR8/3	
212		第１包含層	製塩土器	残存高4.5 口縁の一部	外面ユビオサエ・ナデ、内面布目圧痕	粗､石・長・砂・泥・石灰か､0.1～５　焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR7/4 外：にぶい黄橙色10YR7/4	断面実測 内外面磨耗により調整不明瞭
213		第１包含層	製塩土器	残存高4.2 口縁の一部	外面ユビオサエのちナデ、内面不明	良好、石・長・砂・石灰か、0.1～４　焼成やや不良 内：にぶい橙色7.5YR6/4 外：橙色5YR7/6	断面実測 内面布目圧痕みられず、磨耗によるものか 製塩土器にしては胎土良好、含有物少ない
214		第１包含層	製塩土器	残存高2.7 体部の一部	外面ユビオサエのちナデ、内面布目圧痕	粗、石・長・赤・砂・泥・石灰か、0.1～５　焼成良好 内・外：橙色7.5YR6/6	断面実測
215		第１包含層	製塩土器	残存高2.2 口縁の一部	外面ユビオサエのちナデ、内面布目圧痕	粗、石・長・赤・砂・泥・石灰か、0.1～５　焼成良好 内・外：橙色7.5YR6/6	断面実測
216		第１包含層	製塩土器	残存高2.1 体部の一部	外面ナデ、内面布目圧痕	良好、石・長・砂・石灰か、0.1～２　焼成良好 内・外：橙色5YR6/6	断面実測

第53表　庄境遺跡出土遺物観察表　金属製品

掲載番号	遺構番号	出土地点 出土層位	器種	材質	法　量　(cm)				備　　考
					長さ	幅	厚み	重量(g)	
17	SK1020		刀子	鉄	5.1	1.4	0.9	13.0	茎・刃とも端部欠損

宮ノ本遺跡

遺構写真図版　遺物写真図版

Ⅱ地区から桑野川下流を望む

Ⅰ地区から桑野川上流を望む

図版 2

Ⅰ地区　調査前風景（東から）

Ⅱ地区　調査前風景（西から）

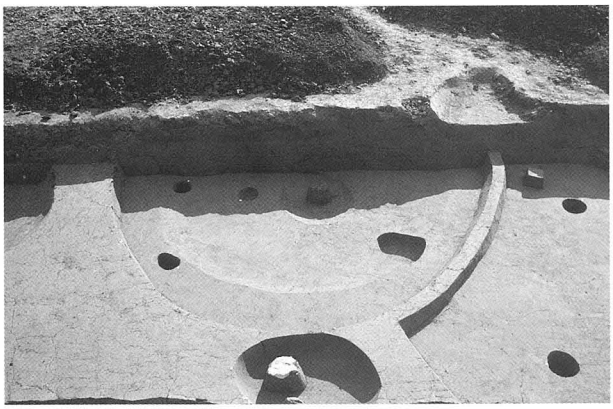
Ⅱ地区
第 4 遺構面完掘状況
（北東から）

Ⅱ地区
SX4001　礫出土状況
（北から）

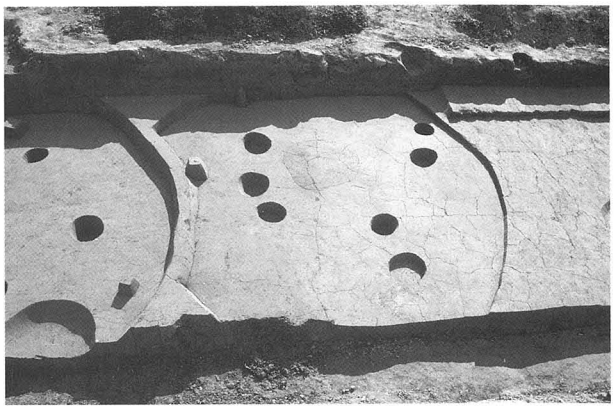
Ⅱ－4区　第3遺構面完掘状況（西から）

Ⅱ－5区　第3遺構面完掘状況（南西から）

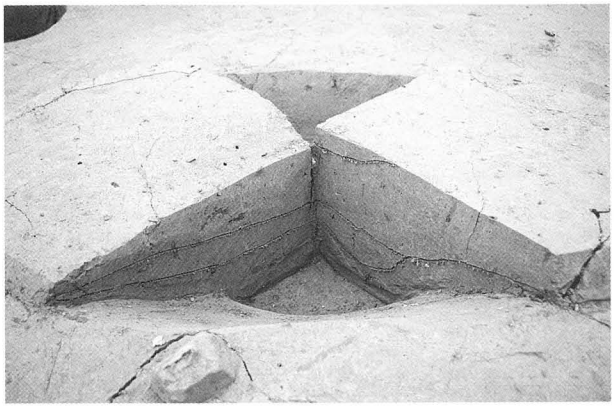
図版 4



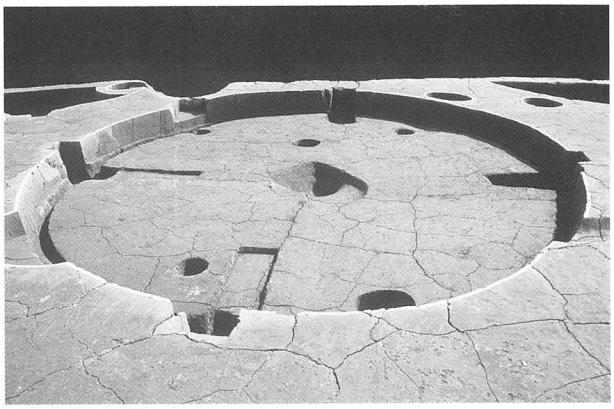
Ⅱ地区　SB3001　完掘状況（北から）



Ⅱ地区　SB3002　完掘状況（北から）



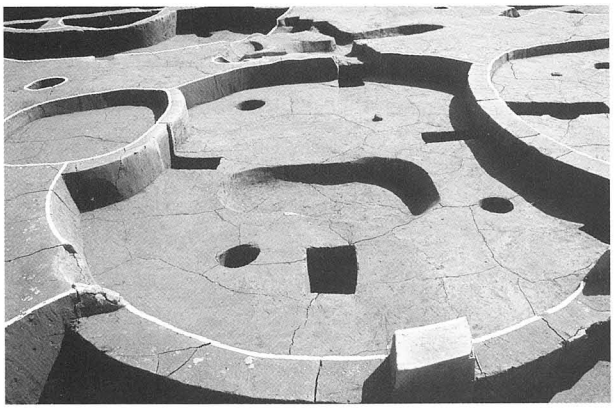
Ⅱ地区　SB3004EH1　土層堆積状況



Ⅱ地区　SB3004　完掘状況（北から）

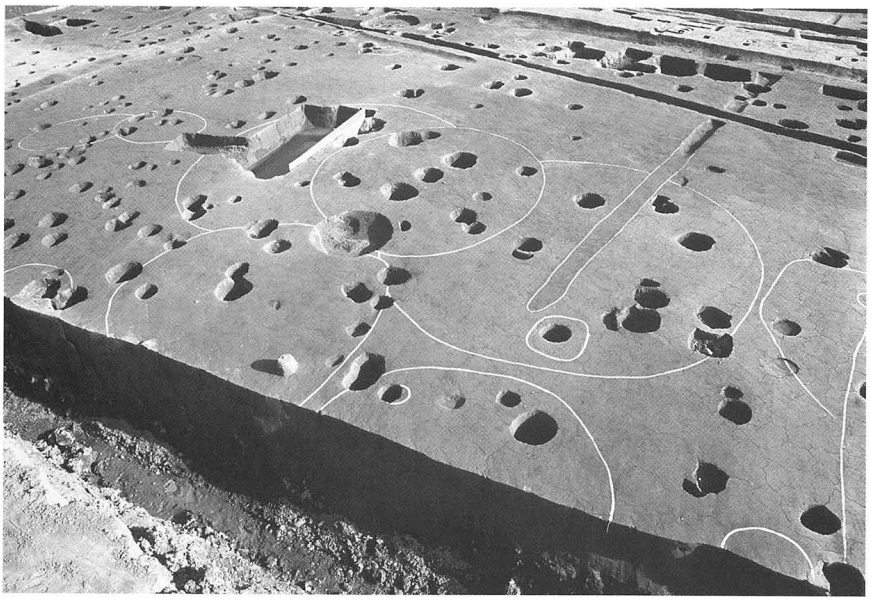
Ⅱ地区　SB3005　完掘状況（北から）

Ⅱ地区　SB3006　完掘状況（東から）



Ⅱ地区　SB3007　完掘状況（北から）

Ⅱ地区　SB3008　完掘状況（東から）



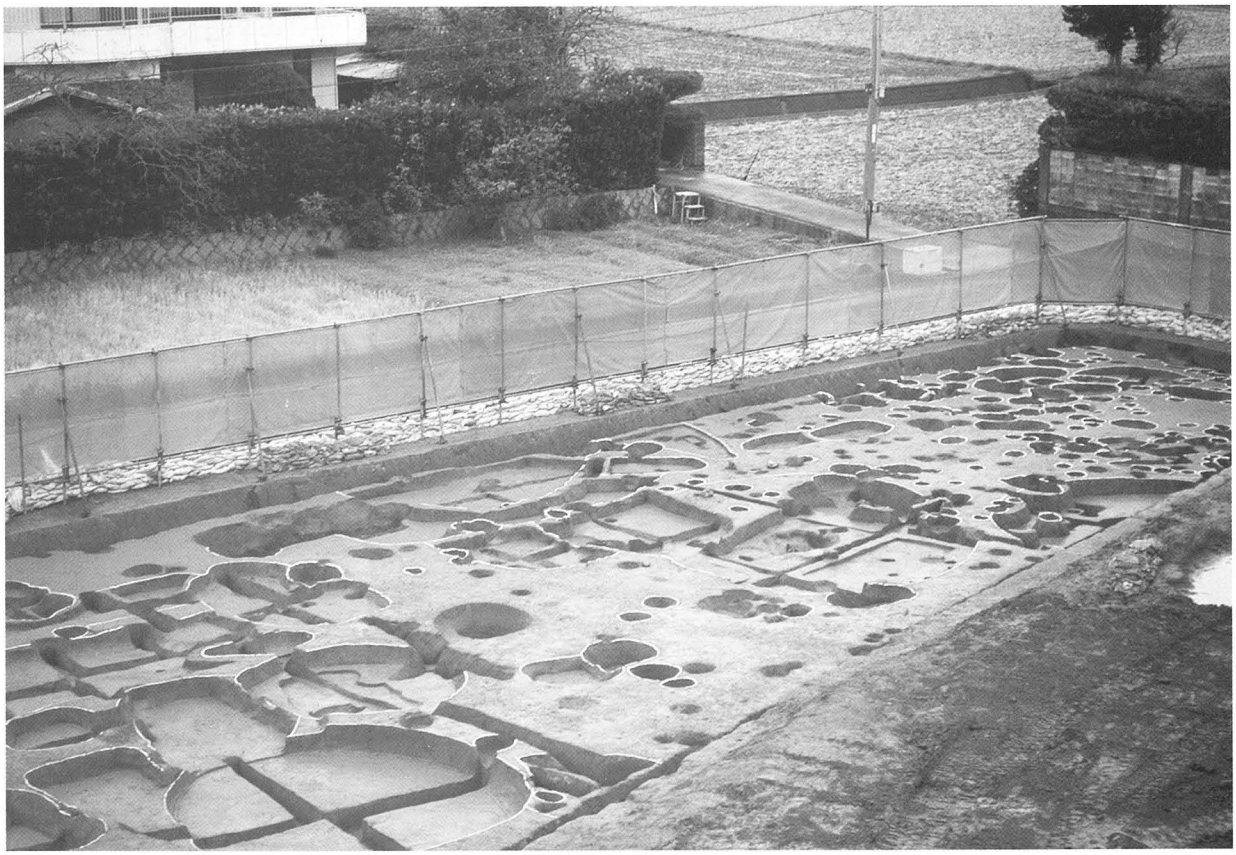
Ⅱ－４区　第２遺構面
検出状況（北西から）

Ⅱ－５区　第２遺構面
検出状況（東から）

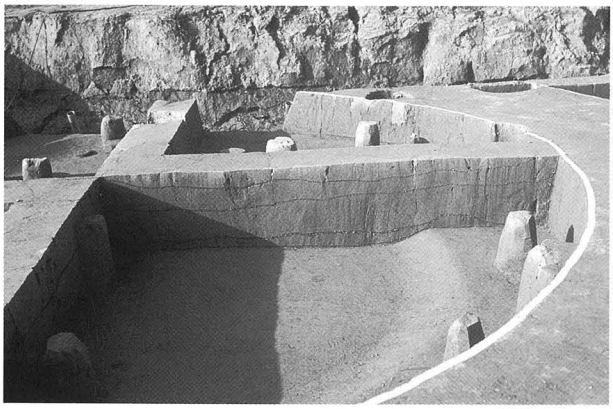
Ⅱ－７区　第２遺構面
検出状況（北から）

図版 6

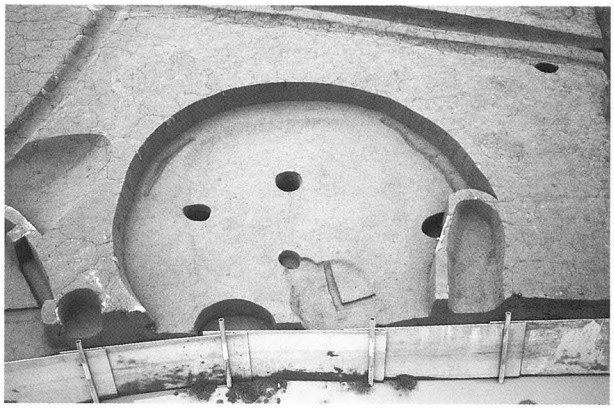
Ⅱ－4区　第2遺構面完掘状況（東から）



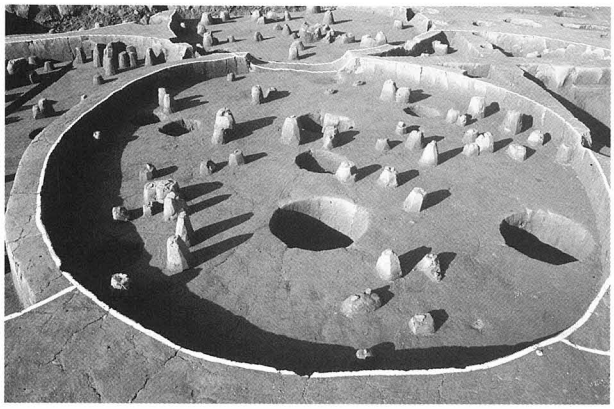
Ⅱ－5区　第2遺構面完掘状況（南西から）



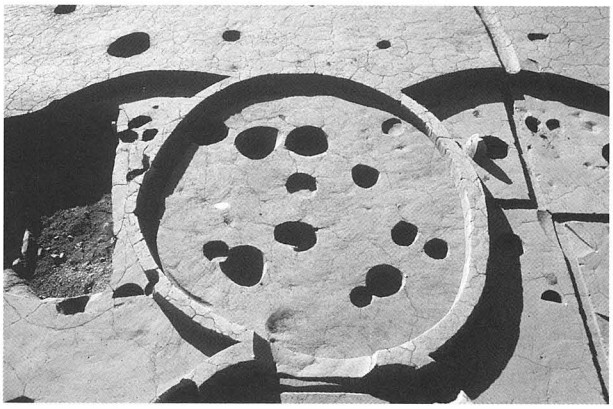
Ⅱ地区　SB2001　土層堆積状況



Ⅱ地区　SB2001　完掘状況（北から）

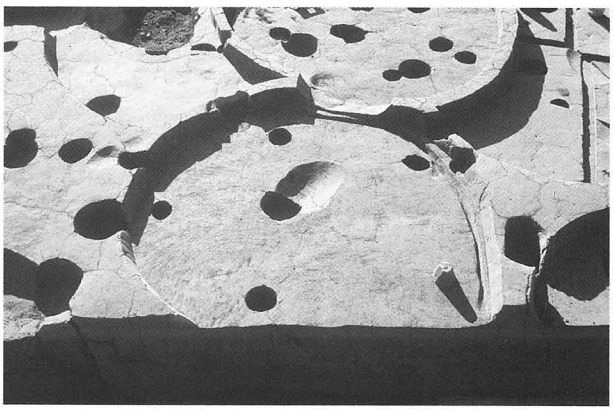


Ⅱ地区　SB2002　遺物出土状況（南から）

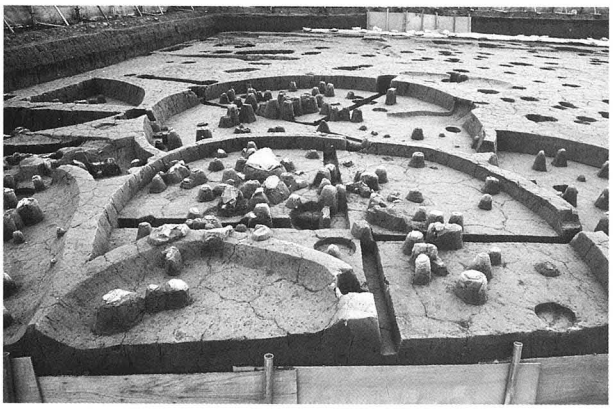


Ⅱ地区　SB2002　完掘状況（北から）

Ⅱ地区　SB2003　完掘状況（東から）



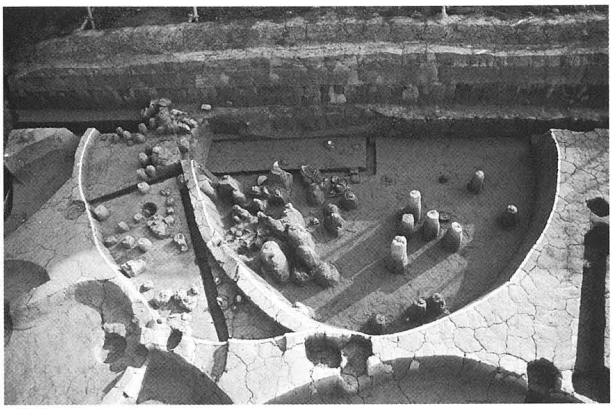
Ⅱ地区　SB2004　完掘状況（北から）



Ⅱ地区　SB2005　遺物出土状況（北から）

Ⅱ地区　SB2005　完掘状況（西から）

図版 8



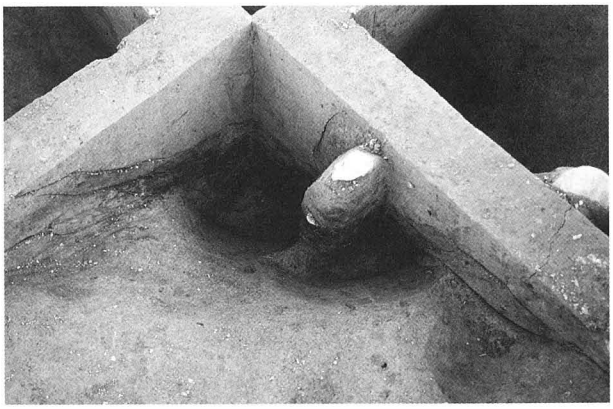
Ⅱ地区　SB2007　遺物出土状況（西から）

Ⅱ地区　SB2007　大型石包丁出土状況（東から）

Ⅱ地区　SB2007・SB2008　完掘状況（西から）

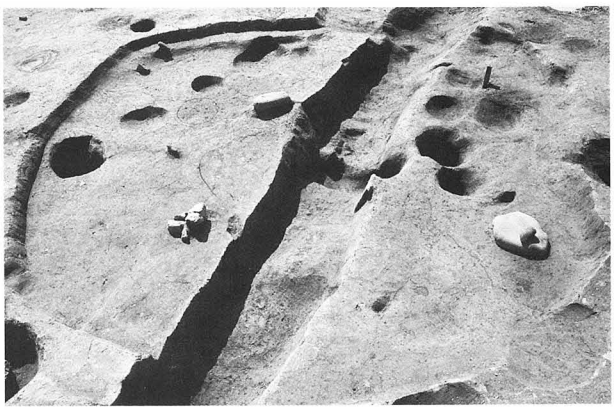
Ⅱ地区　SB2011　遺物出土状況（東から）

Ⅱ地区　SB2010　弥生土器出土状況（西から）

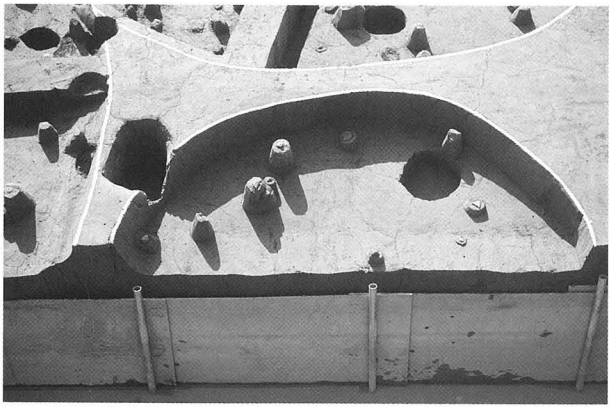


Ⅱ地区　SB2010EK1　土層堆積状況

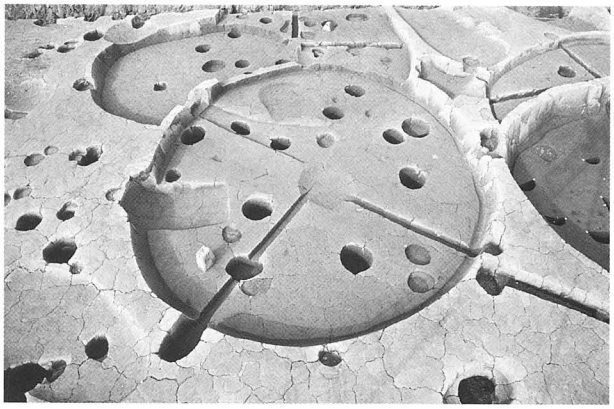
Ⅱ地区　SB2010　完掘状況（南から）



Ⅱ地区　SB2011　遺物出土状況（東から）



Ⅱ地区　SX2002　遺物出土状況（北から）

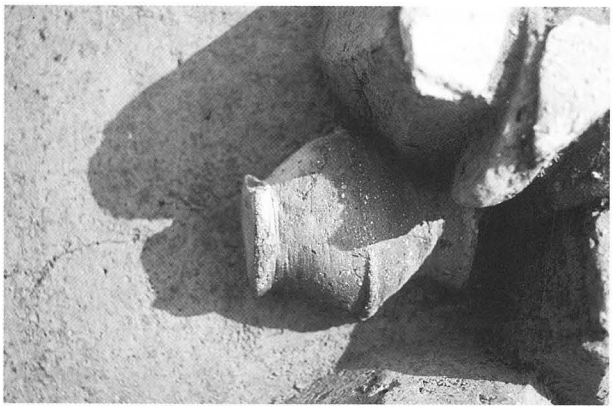


Ⅱ地区　SX2004　完掘状況（南から）

Ⅱ地区　SX2018　遺物出土状況（東から）

Ⅱ地区　SX2020　遺物出土状況

Ⅱ地区　SX2020　遺物出土状況

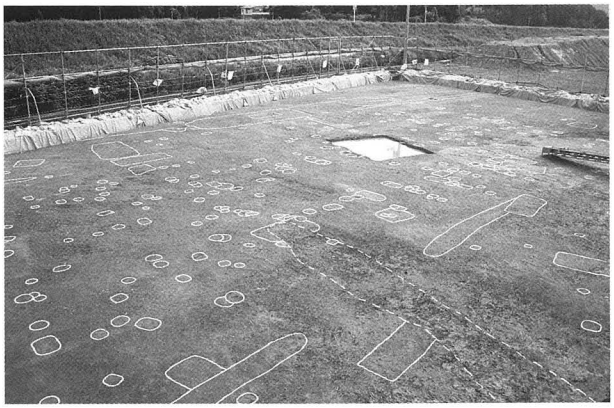


Ⅱ地区　SX2020　ミニチュア壺出土状況

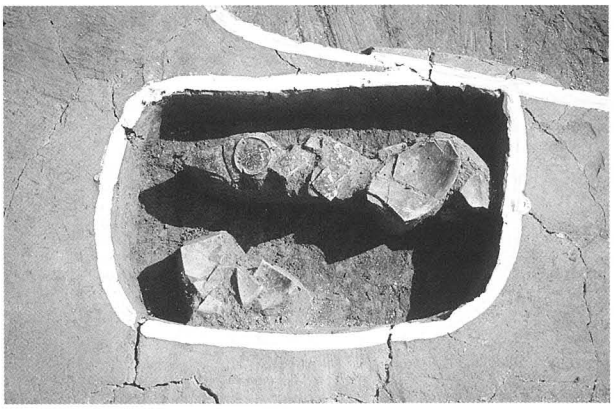
Ⅱ地区　SK2018　弥生土器出土状況（西から）

Ⅱ地区　SK2104　遺物出土状況（南西から）

図版10



Ⅰ－1区　第1遺構面検出状況（北東から）



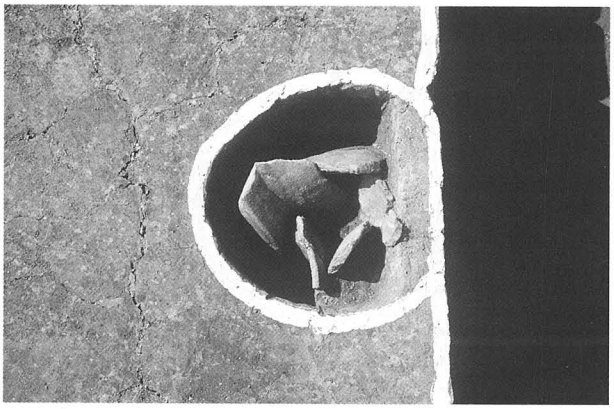
Ⅰ地区　SP12359　遺物出土状況

Ⅰ地区　SD1005　遺物出土状況

Ⅰ地区　SD1002～SD1004　完掘状況（西から）

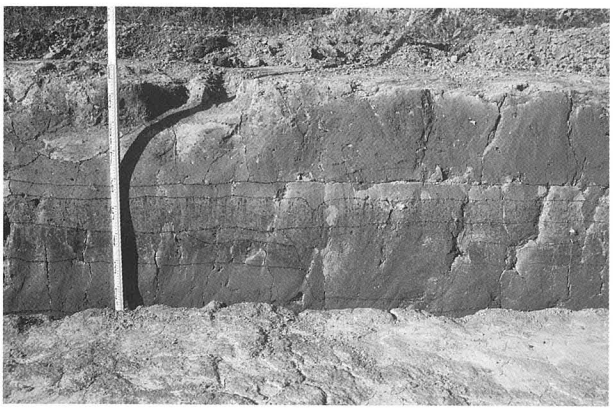
Ⅰ－1区　第1遺構面完掘状況（北から）

Ⅰ－２区　第１遺構面完掘状況（東から）

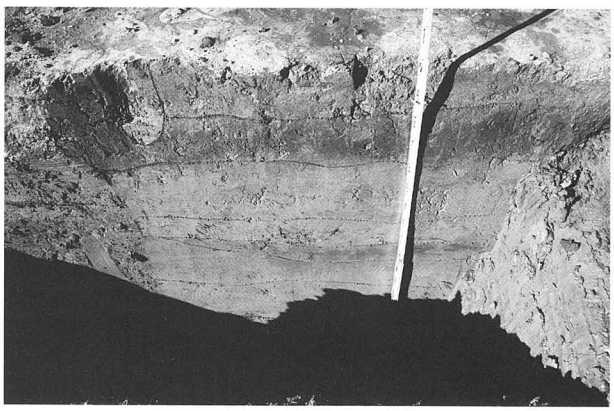


Ⅰ地区　SP10385　遺構出土状況（東から）

Ⅰ地区　SA1015　完掘状況（南から）



Ⅰ－１区　北壁土層堆積状況



Ⅰ－１区　確認トレンチ土層

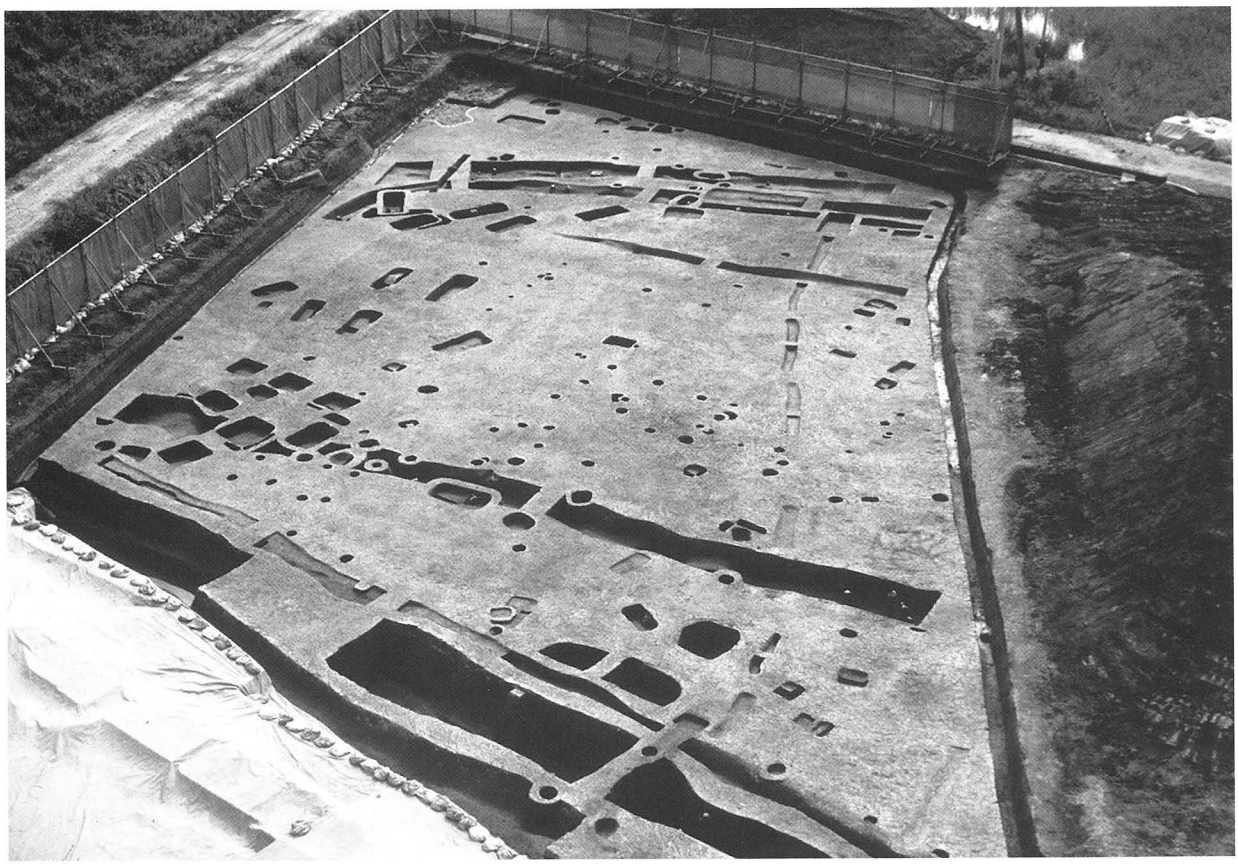
図版12

Ⅰ地区　遺構掘削作業風景

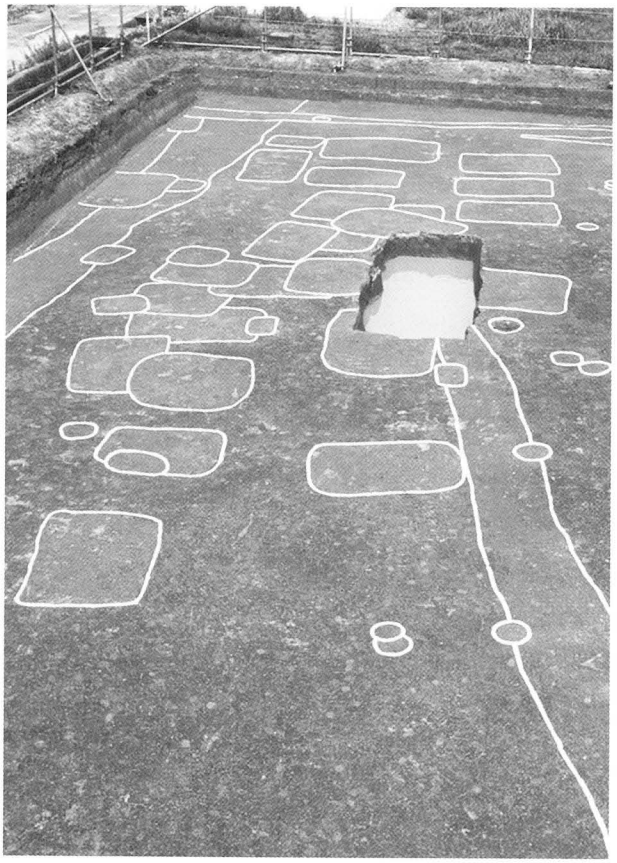
Ⅰ地区　精査作業風景

Ⅰ－3区　第1遺構面検出状況（東から）

Ⅰ地区　SK1181　鉄刀出土状況（東から）



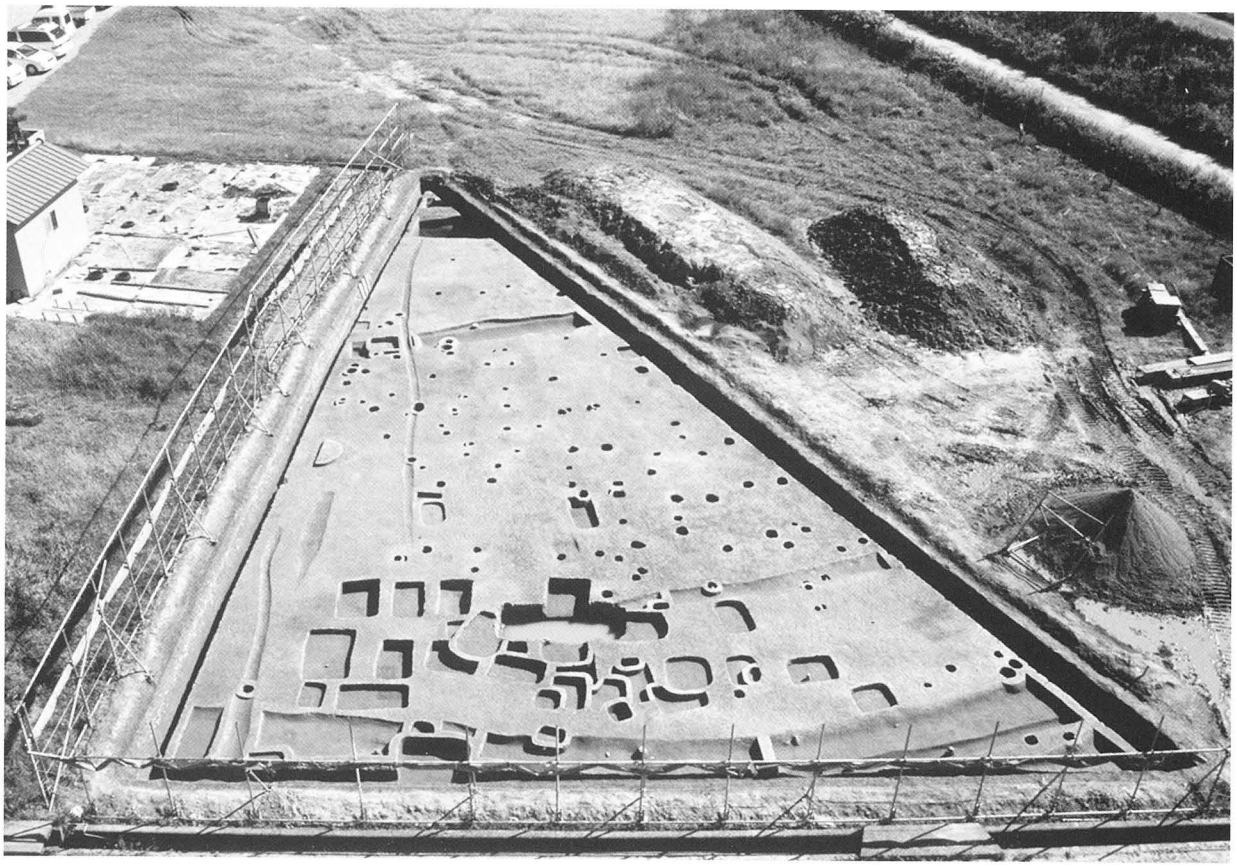
Ⅰ－3区　第1遺構面検出状況（北東から）



Ⅰ－4区　第1遺構面検出状況（南から）

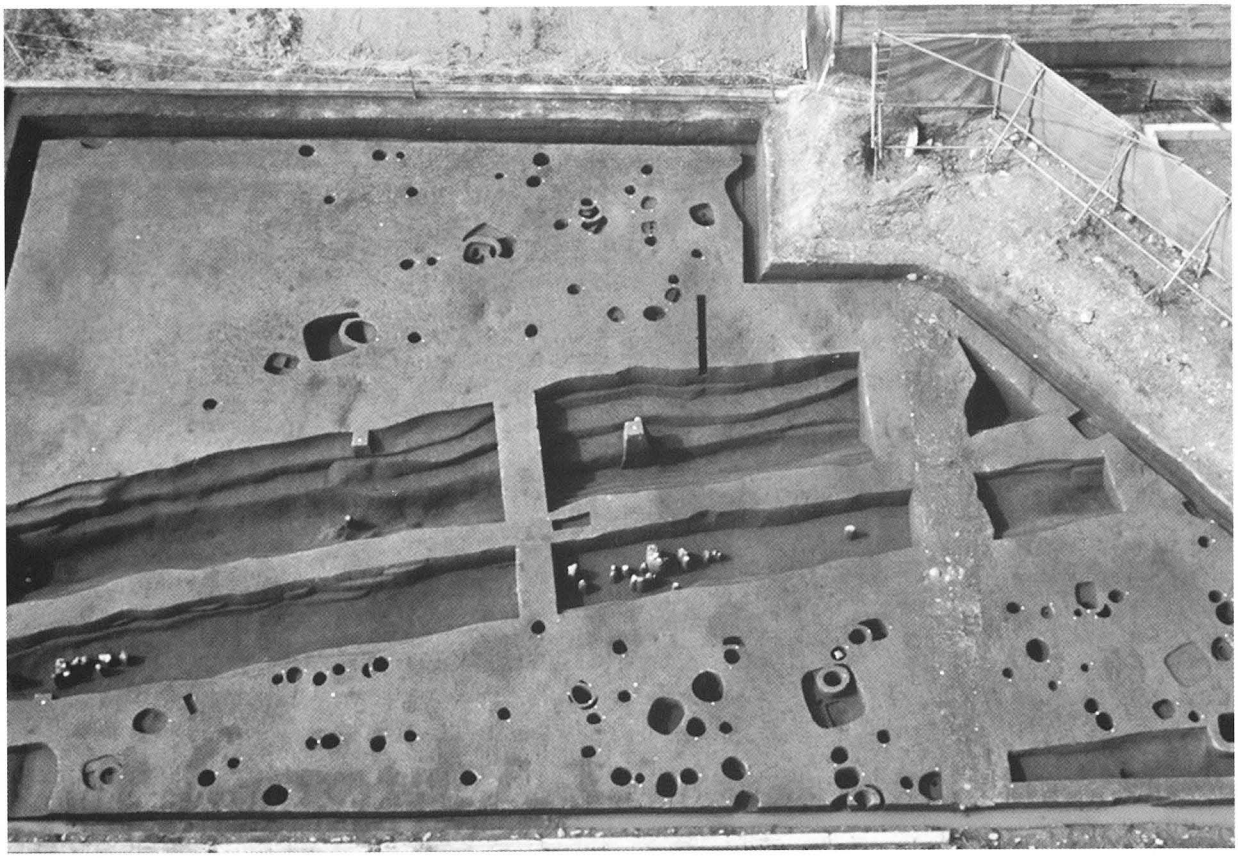
Ⅰ－4区　第1遺構面完掘状況（南から）

Ⅰ－4区　第1遺構面土杭群（西から）



Ⅰ－4区　第1遺構面完掘状況（西から）

図版14



Ⅰ－６区　第１遺構面完掘状況（東から）

Ⅰ－７区　第１遺構面検出状況（北から）